㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第141集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第13集

上栗須寺前遺跡群Ⅰ

藤岡扇状地扇端部における奈良・平安時代を中心とした集落址の調査

第3分冊《自然科学分析・写真図版編》

1993

群馬県教育委員会
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
日本道路公団

㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第141集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第13集

上栗須寺前遺跡群 I

藤岡扇状地扇端部における奈良・平安時代を中心とした集落址の調査

第3分冊《自然科学分析・写真図版編》

1993

群馬県教育委員会
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
日本道路公団

写真図版目次

PL. 1　篠塚狐穴地区(４ＡⅠ区)全景
PL. 2　篠塚狐穴地区(４ＡⅠ区)全景
PL. 3　４ＡⅡ区01・02号住居
PL. 4　４ＡⅡ区03・04号住居
PL. 5　４ＡⅡ区06・07号住居
PL. 6　４ＡⅡ区08・09号住居
PL. 7　４ＡⅠ区10号住居、４ＡⅠ区11号住居
PL. 8　４ＡⅠ区12・13号住居
PL. 9　４ＡⅠ区14・15号住居
PL.10　４ＡⅠ区16・17号住居
PL.11　４ＡⅠ区18・19号住居
PL.12　４ＡⅠ区21・22号住居
PL.13　４ＡⅠ区23～25号住居
PL.14　４ＡⅠ区26・27号住居
PL.15　４ＡⅠ区28・30号住居
PL.16　４ＡⅠ区32・33号住居
PL.17　４ＡⅠ区34号住居
PL.18　４ＡⅠ区35・36号住居
PL.19　４ＡⅠ区37・38号住居
PL.20　４ＡⅠ区39・40号住居
PL.21　４ＡⅠ区41・42号住居、03号竪穴状遺構
PL.22　４ＡⅠ区43・44・56号住居
PL.23　４ＡⅠ区45・46号住居
PL.24　４ＡⅠ区47・48号住居
PL.25　４ＡⅠ区52・53号住居
PL.26　４ＡⅠ区54・55号住居
PL.27　４ＡⅠ区57・58号住居
PL.28　４ＡⅠ区59・60号住居
PL.29　４ＡⅠ区61・64号住居
PL.30　４ＡⅠ区65・66号住居
PL.31　４ＡⅠ区01～08号掘立柱建物
PL.32　４ＡⅠ区09～16号掘立柱建物
PL.33　４ＡⅠ区17号掘立柱建物、02～05号竪穴状遺構、掘立柱建物・柵列・垣根全景
PL.34　４ＡⅠ区01・04号溝、01～03・05号土坑、４ＡⅡ区02号溝
PL.35　４ＡⅠ区07・08・10・206・208・801号土坑、01～03・19号墓坑
PL.36　４ＡⅠ区04・05・07・08・10～12・15号墓坑
PL.37　４ＡⅡ区01号井戸、４ＡⅠ区02号井戸
PL.38　篠塚四反歩地区(４Ｂ区)全景
PL.39　篠塚四反歩地区(４Ｂ区)全景
PL.40　４Ｂ区01・02号住居
PL.41　４Ｂ区03・04号住居
PL.42　４Ｂ区05号住居
PL.43　４Ｂ区06号住居
PL.44　４Ｂ区掘立柱建物群全景、01～05号掘立柱建物
PL.45　４Ｂ区08～11号掘立柱建物
PL.46　４Ｂ区01～04号溝
PL.47　４Ｂ区05・06・08～11号溝、旧河道
PL.48　４Ｂ区01・03・15・16・18・19・25・32・137・142・233・234・242号土坑
PL.49　４Ｂ区244～246・271～300・327・337・375・385号土坑
PL.50　４Ｂ区386・429～433・436・442・1085～1088号土坑
PL.51　４Ｂ区469・478(19号掘立柱建物P4)・551・602・607・608・651・652・673号土坑
PL.52　４Ｂ区672(23号掘立柱建物P8)・705・706・721・830・838号土坑
PL.53　４Ｂ区01・03～05号墓坑
PL.54　４ＡⅡ区01・04・06・07号住居出土遺物
PL.55　４ＡⅡ区08・09号住居、４ＡⅠ区10号住居出土遺物
PL.56　４ＡⅠ区11・14・15・16・17・21号住居出土遺物
PL.57　４ＡⅠ区18・21号住居出土遺物
PL.58　４ＡⅠ区21・22号住居出土遺物
PL.59　４ＡⅠ区23～26号住居出土遺物
PL.60　４ＡⅠ区26号住居出土遺物
PL.61　４ＡⅠ区26号住居出土遺物
PL.62　４ＡⅠ区26・28号住居出土遺物
PL.63　４ＡⅠ区28～30・32号住居出土遺物
PL.64　４ＡⅠ区32～35号住居出土遺物
PL.65　４ＡⅠ区36・37号住居出土遺物
PL.66　４ＡⅠ区37～40号住居出土遺物
PL.67　４ＡⅠ区41～43号住居出土遺物
PL.68　４ＡⅠ区41・43・44号住居出土遺物
PL.69　４ＡⅠ区45～48号住居、02号井戸出土遺物
PL.70　４ＡⅠ区52～55号住居、02号井戸出土遺物
PL.71　４ＡⅠ区55・57号住居出土遺物
PL.72　４ＡⅠ区57～61号住居出土遺物
PL.73　４ＡⅠ区61・64・65号住居出土遺物
PL.74　４ＡⅠ区66号住居、05号掘立柱建物、08・437・566・745・801・1274号土坑、01号溝出土遺物
PL.75　４ＡⅠ区01号溝、02号井戸、散布範囲、４Ａ区旧河道出土遺物
PL.76　４ＡⅠ区旧河道、グリッド・表採、４Ｂ区01・05号住居出土遺物
PL.77　４Ｂ区05・06号住居出土遺物
PL.78　４Ｂ区06号住居、01・02号溜池、06・19号掘立柱建物出土遺物
PL.79　４Ｂ区04・05・11・15・16号溝、31号掘立柱建物、25・32・246・327・352・361・369・375・561・705・777号土坑、表採出土遺物
PL.80　４Ｂ区04号溝、137・705号土坑、旧河道、グリッド出土遺物
PL.101　篠塚清太地区(5区)全景
PL.102　５区全景、５区東側三角地
PL.103　５区01・02号住居
PL.104　５区03・04号住居
PL.105　５区05～07号住居
PL.106　５区08・09号住居
PL.107　５区08～11号住居
PL.108　５区10・11・34・37号土坑、01号溜井、01～03号焼土遺構
PL.109　篠塚清太地区(５Ａ区)全景
PL.110　５Ａ区04号溝、13・15号住居
PL.111　５Ａ区01号住居
PL.112　５Ａ区01～03号住居
PL.113　５Ａ区03号住居
PL.114　５Ａ区04～06号住居
PL.115　５Ａ区07～09号住居
PL.116　５Ａ区09・10号住居
PL.117　５Ａ区10～12号住居
PL.118　５Ａ区12・13号住居
PL.119　５Ａ区14～17号住居
PL.120　５Ａ区17・18号住居、04・06・07号溝
PL.121　５Ａ区02～04・08号溝
PL.122　５Ａ区04～07号溝、01・02号掘立柱建物
PL.123　５Ａ区87・201～206・221・241・242・247～249・251号土坑、土坑群
PL.124　５Ａ区256・257・270・275・283・284・289・290・292・293・313・331・333・334号土坑
PL.125　５Ａ区378・379・402・404～406・413・414号土坑、01号墓

坑
PL.126　下大塚北原地区(５B区)全景
PL.127　５B区全景、グリッド遺物出土状態
PL.128　５B区01号住居
PL.129　５B区02・03号住居
PL.130　５B区03～06号住居
PL.131　５B区06・07号住居
PL.132　５B区08～10号住居
PL.133　５B区11・12号住居
PL.134　５B区12・13号住居
PL.135　５B区14・15号住居
PL.136　５B区01号掘立柱建物、18・20・59号土坑、01号土器溜り
PL.137　下大塚北原地区(６区)全景
PL.138　６区掘立柱建物群、側道部分全景
PL.139　６区01号住居
PL.140　６区02・03a号住居
PL.141　６区03ａ・03ｂ号住居
PL.142　６区03ｂ・04号住居
PL.143　６区05号住居
PL.144　６区06号住居
PL.145　６区07号住居
PL.146　６区08号住居
PL.147　６区09号住居
PL.148　６区10～12号住居
PL.149　６区11～13号住居
PL.150　６区13・14号住居
PL.151　６区14～16号住居
PL.152　６区16号住居
PL.153　６区06・17号住居、01・02号掘立柱建物
PL.154　６区03～08・12～14・18号掘立柱建物
PL.155　６区09～11・15～17・19号掘立柱建物
PL.156　６区掘立柱建物群
PL.157　６区01・02・04・06号溝、247・248号土坑
PL.158　６区07～09号溝、01号井戸、222号土坑
PL.159　６区247～249・280号土坑、01～04号墓坑
PL.160　６区05～07号墓坑、墓坑群
PL.161　６区08～10号墓坑、北壁基本土層、水田址
PL.162　６区水田址
PL.163　本動堂台地区(７区)全景
PL.164　７区全景、溝群
PL.165　７区01・02号住居
PL.166　７区02・03号住居
PL.167　７区03・04号住居
PL.168　７区04・05号住居
PL.169　７区06号住居
PL.170　７区07・08号住居
PL.171　７区01・07～09号住居
PL.172　７区10・11号住居
PL.173　７区11・12号住居
PL.174　７区12・13号住居
PL.175　７区13・14号住居
PL.176　７区15・16号住居
PL.177　７区16・17号住居
PL.178　７区17・18号住居
PL.179　７区19号住居
PL.180　７区19・20号住居、01・02号溝
PL.181　７区02～04・06号溝
PL.182　７区01・04・05・07・12・14・16・17号土坑
PL.183　７区21・28・33～38号土坑
PL.184　７区43・46・55・65・74・79・113～115号土坑、02号溝縁辺ピット群
PL.185　７区02号溝縁辺ピット群、103・110～118号土坑
PL.186　７区119･120･123号土坑、02号溝縁辺ピット群、01号墓坑、01号粘土
溜り
PL.187　５区01～03号住居出土遺物
PL.188　５区06・07・09号住居、５A区02号住居出土遺物
PL.189　５A区02・03号住居出土遺物
PL.190　５A区03号住居出土遺物
PL.191　５A区03・04・06～10号住居出土遺物
PL.192　５A区10・12～14・17号住居出土遺物
PL.193　５A区14・17号住居、378号土坑、５区02・11・33・68号土坑出土遺物
PL.194　５区11･33号土坑、グリッド、５A区203･313号土坑、02･03号溝出土遺物
PL.195　５区・５A区グリッド・表採、５B区01・02号住居出土遺物
PL.196　５B区02・06・09～11号住居出土遺物
PL.197　５B区11～13・15号住居出土遺物
PL.198　６区01号住居出土遺物
PL.199　６区02・03a号住居出土遺物
PL.200　６区03a・03b号住居出土遺物
PL.201　６区03b号住居出土遺物
PL.202　６区04～09号住居出土遺物
PL.203　６区09～12・14～16号住居出土遺物
PL.204　６区16号住居出土遺物
PL.205　６区16号住居、07号溝、５B区01号土器溜り出土遺物
PL.206　５B区01号土器溜り、18号土坑、６区160･222･280号土坑、01・04・07号墓坑出土遺物
PL.207　６区08号墓坑、５B区グリッド出土遺物
PL.208　５B区グリッド、７区01～05号住居出土遺物
PL.209　７区05～07号住居出土遺物
PL.210　７区07～09号住居出土遺物
PL.211　７区09・11号住居出土遺物
PL.212　７区12号住居出土遺物
PL.213　７区13～15・19号住居出土遺物
PL.214　７区19・20号住居、01～03号溝出土遺物
PL.215　７区04号溝、01号粘土溜り、08・09トレンチ、グリッド出土遺物
PL.216　７区55号土坑、01号溝、02・08・09トレンチ、グリッド・表採出土遺物、薦編み石
PL.217　薦編み石
PL.218　薦編み石
PL.219　薦編み石
PL.220　薦編み石、竈構築材

V　自然科学分析

1　上栗須寺前遺跡出土須恵器の胎土分析

群馬県工業試験場　小　沢　達　樹
群馬県埋蔵文化財調査事業団　岸　田　治　男

(1) はじめに

考古学は、その学問生成の端緒から型式学的操作によって、遺物に相対的時間を与えることに成功し、かつ遺物の地域差による集団動向の抽出にもある程度の成果を収めている。そのうえ近年における周辺諸科学の進展により、学際的な協力による考古学の多大な成果も期待できる状況が生まれつつある。本稿の胎土分析も土器の産地推定法として、有力な武器になると考えられている。

特に群馬県では、各地の古窯跡群の調査研究が進み、生産地である窯跡から出土する須恵器の胎土分析による古窯跡群の特定もある程度可能となってきている。上栗須寺前遺跡群の位置する藤岡地方は、古代から窯業の盛んな地域で、本郷埴輪窯跡は6世紀中頃から生産を開始しており、その後8世紀段階になると、下金井地区で須恵器の生産が始まり10世紀の始め頃まで継続すると考えられている。また周辺の古窯跡群では吉井古窯跡群や乗附古窯跡群が知られている。

上栗須寺前遺跡群は、須恵器生産地に近接する消費地としての性格をもつ遺跡で、そのような遺跡の消費須恵器の搬入先の究明は興味あるところである。そこで分析資料には須恵器の各器種を網羅し、時期については8世紀初頭から9世紀中葉のものを各区から抽出した。

上栗須寺前遺跡胎土分析資料観察表

No.	住居番号	遺物番号	器　種	時期	①胎土　②焼成　色調　内　容
983	509	0020	須恵器坏蓋	3期	①細砂　②還元　③灰色　堅く焼き締められており，断面は暗灰色で微小な白色粒子と片岩系鉱物を含む．
984	503	0055	須恵器擂鉢	3期	①細砂　②還元　③暗灰黄　焼き締めは甘く，断面は暗褐色で微小な白色粒子と石英粒子と片岩系鉱物を含む．
985	503	0057	須恵器坏	3期	①細砂　②還元　③灰色　堅い焼き締めをもち，断面は暗灰色で極小の白色微粒子と黒色微粒子が全体に含まれる．
986	603a	1090	須恵器坏	5期	①細砂　②還元　③灰白　堅く焼き締められ，断面は灰色で黒色粒・黒色微粒子と白色極小微粒子が全体に含まれる．
987	603a	1095	須恵器 高台付椀	5期	①細砂　②還元　③灰色　堅く焼き締められ，断面は暗灰色で片岩系鉱物の白色粒子と石英粒子を全体に含む．
988	603a	1116	須恵器坏蓋	5期	①細砂　②還元　③灰色　堅く焼き締められ，断面は暗灰色で白色微粒子と石英粒・片岩系鉱物が含まれる．
989	616	1273	須恵器甕	6期	①細砂　②還元　③暗灰色　焼き締めが甘く，断面は暗褐色で白色微粒子と石英粒・片岩系鉱物を含む．
990	611	1186	須恵器坏	5期	①細砂　②還元　③黄灰　堅い焼き締めで，断面は灰色を呈し白色微粒子と片岩系鉱物・石英粒と黒色粒子を全体に含む．
991	611	1190	須恵器坏蓋	5期	①細砂　②還元　③灰色　焼き締めは甘く，断面も灰色で白色微粒子と黒色微粒子を含み片岩系鉱物も見られる．
992	5A03	0205	須恵器坏	7期	①細砂　②還元　③灰色　堅い焼き締めで，断面も灰色で細長い黒色粒と黒色微粒子が全体に含まれ，石英粒も見られる．
993	5A03	0207	須恵器坏	7期	①細砂　②還元　③灰色　堅い焼き締めで，断面は暗灰色を呈し白色微粒子が全体に含まれ，黒色粒子も散在する．
994	5B12	0481	須恵器甕	7期	①細砂　②還元　③暗灰色　焼き締めは甘く，断面は灰色で白色微粒子と黒色微粒子が含まれている．
995	711	0831	須恵器坏蓋	6期	①細砂　②還元　③灰色　堅く焼き締められ，断面も灰色で細長い黒色粒子と白色微粒子と片岩系鉱物を含む．

No.	住居番号	遺物番号	器　種	時期	①胎土　②焼成　色調　内　容
996	705	0743	須恵器 高台付椀	8期	①細砂　②還元　③灰色　堅く焼き締められ，断面も灰色で白色極小微粒子を含み僅かに片岩系鉱物を含む．
997	705	0744	須恵器 高台付椀	8期	①細砂　②還元　③明赤褐　焼き締めは甘く，断面も明赤褐色で白色極小微粒子を含む．
998	705	0747	須恵器坏	8期	①細砂　②還元　③灰色　堅い焼き締めで，断面も灰色を呈し細長い黒色粒と白色微粒子と石英粒・片岩系鉱物を含む．
999	705	0753	須恵器鉢	8期	①細砂　②還元　③橙色　焼き締めは甘く，断面も橙色で白色粒と白色極小微粒子と片岩系鉱物を含む．

⑵　分析方法及び測定条件

蛍光X線分析　分析用試料は各試料を10㎛以下に粉砕し、2～3ｇを径2.5cmの円板に成型して使用した。測定条件は、次のとおりである。

蛍光X線分析装置．理学電気㈱製ＫＧ－４型

X線管球；銀対陰極　40kV，30mA

分光結晶；Fe，Sr，RbにはLiF（２d＝4.028Å）

Ca，K，Ti，Si，AlにはEDDT（２d＝8.808Å）

MgにはADP（２d＝10.648Å）

検出器；LiFを使用したとき、S・C

EDDT，ADPを使用したとき、P・C

時定数；１

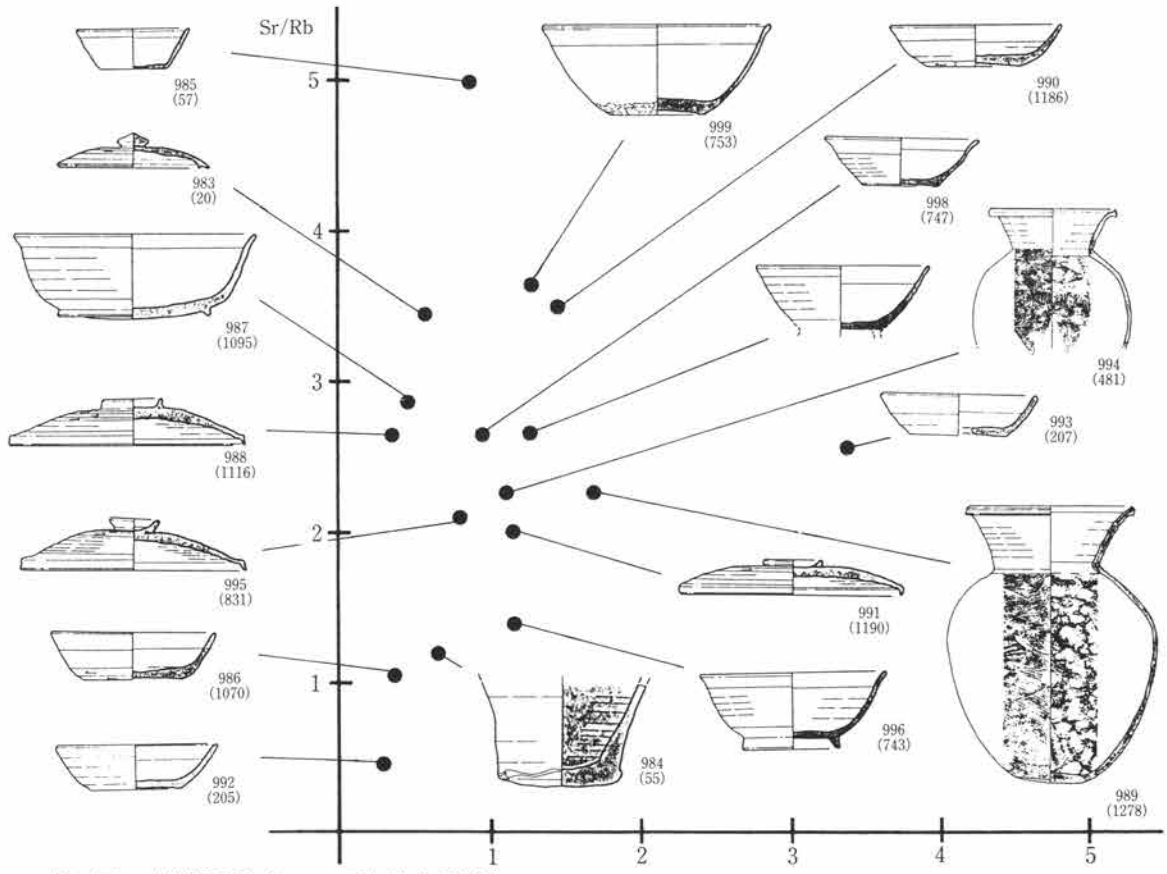
計数法；Fe，Ca，K，Ti，Sr，Rbはチャートにより、Si，Al，Mgは定時計数法によった。なお走査速度は4°/minとした。

波高分析器；積分方式

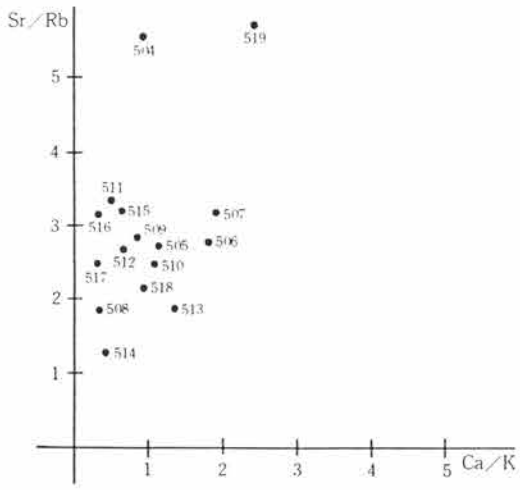
測定線；FeKβ，CaKα，KKβ，TiKα，SiKα，AlKα，MgKα，SrKα，RbKα各１次線を使用した。

X線照射面積；20mmϕ

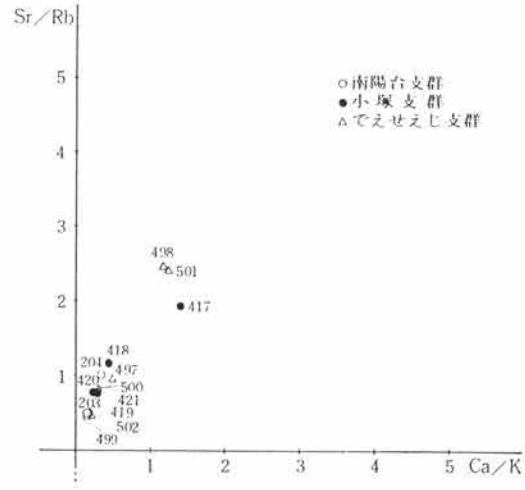
標準試料；群馬県埋蔵文化財調査事業団から依頼を受けた土器６点（分析通番試料295，310，336，345，360，380）を化学分析し、標準試料とした。



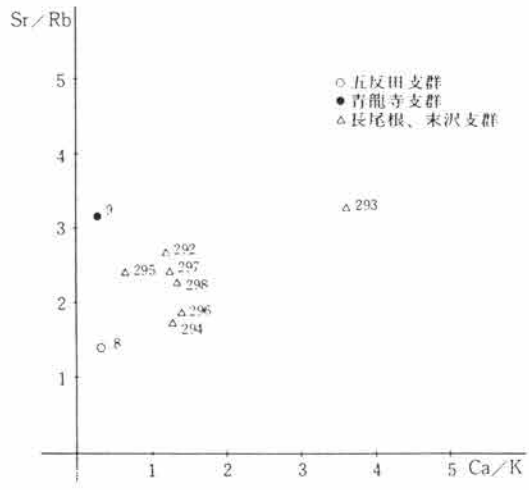
第１図　寺前遺跡群（６・７区）胎土分析値



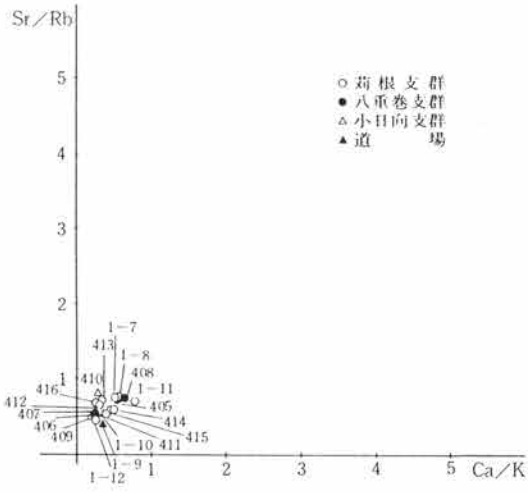
上栗須遺跡試料



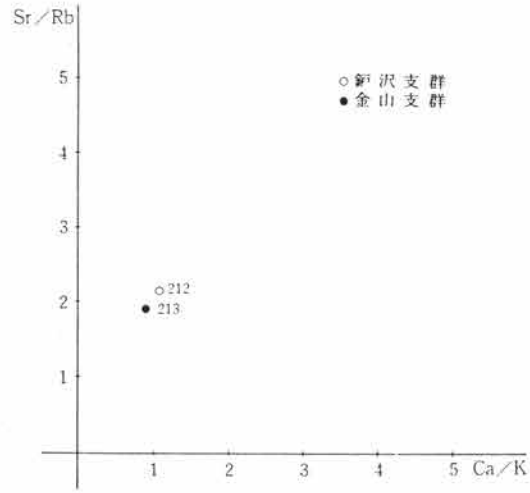
乗附古窯跡群試料



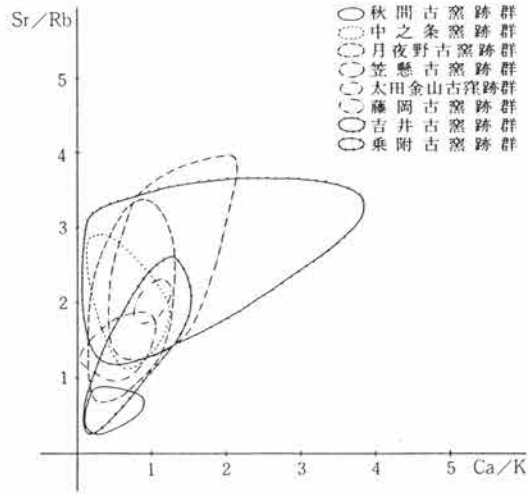
吉井古窯跡群試料



秋間古窯跡群試料



藤岡古窯跡群試料



群馬県内古窯群の領域

第2図　胎土分析値

表　寺前遺跡試料　胎土分析値一覧

	SiO_2(%)	Al_2O_3(%)	Fe_2O_3(%)	TiO_2(%)	CaO(%)	MgO(%)	K_2O(%)	Ca/K	Sr/Rb
983	71.35	19.86	4.57	1.01	0.66	1.02	1.24	0.53	3.43
984	71.35	18.07	4.88	1.14	0.85	1.55	1.27	0.67	1.20
985	68.11	21.22	6.14	1.15	0.85	1.40	0.98	0.87	5.00
986	74.11	15.43	5.44	0.79	0.54	1.22	1.43	0.38	1.08
987	71.89	18.02	6.10	1.02	0.67	0.70	1.35	0.49	2.88
988	72.50	17.30	3.87	0.76	0.70	1.08	1.98	0.35	2.63
989	58.54	14.81	7.82	1.28	2.39	3.25	1.41	1.69	2.27
990	71.83	18.82	5.89	1.13	1.34	1.49	0.91	1.47	3.50
991	64.75	16.61	7.89	1.25	1.20	1.90	1.07	1.12	2.00
992	73.41	18.43	6.49	0.93	0.43	1.11	1.57	0.28	0.46
993	62.37	12.10	6.91	1.06	3.10	1.25	0.92	3.38	2.56
994	70.36	16.55	7.15	0.91	0.99	1.12	0.90	1.10	2.17
995	69.33	18.76	6.91	1.17	0.95	1.50	1.19	0.80	2.10
996	61.28	18.48	8.97	1.25	1.66	2.98	1.40	1.19	1.40
997	56.19	17.77	9.32	1.35	1.59	2.37	1.29	1.24	2.63
998	65.06	21.80	6.00	0.96	1.24	2.27	1.35	0.92	2.63
999	58.23	18.90	8.02	1.22	1.58	2.84	1.21	1.30	3.67

表　上栗須遺跡試料　胎土分析値一覧

	SiO_2(%)	Al_2O_3(%)	Fe_2O_3(%)	TiO_2(%)	CaO(%)	MgO(%)	K_2O(%)	Ca/K	Sr/Rb
504	67.4	22.5	4.20	0.89	0.84	0.42	1.11	0.92	5.51
505	65.8	18.7	5.60	1.15	0.97	1.01	1.03	1.13	2.70
506	59.6	16.9	6.8	1.25	1.92	2.90	1.27	1.85	2.77
507	59.0	17.8	8.4	1.21	1.89	2.55	1.20	1.92	3.18
508	68.1	20.5	3.85	0.91	0.48	0.72	1.60	0.37	1.86
509	65.8	21.1	6.71	1.33	0.87	1.48	1.13	0.89	2.62
510	65.4	16.7	5.72	1.04	1.09	1.09	1.20	1.10	2.42
511	69.9	19.1	5.2	0.93	0.66	1.03	1.64	0.50	3.33
512	65.8	19.6	5.25	0.92	0.90	1.14	1.60	0.70	2.67
513	61.4	17.9	9.4	1.36	1.25	2.25	1.06	1.43	1.84
514	68.6	17.4	4.1	0.97	0.60	1.02	1.71	0.44	1.26
515	69.4	20.2	6.55	0.96	0.59	0.80	1.03	0.69	3.03
516	69.8	20.2	3.62	0.92	0.40	0.43	1.45	0.34	3.13
517	66.6	23.4	2.75	1.06	0.32	0.53	1.32	0.29	2.18
518	64.1	16.6	6.35	0.92	1.13	1.18	1.48	0.94	2.13
519	58.9	18.5	6.90	1.08	1.69	1.09	0.83	2.42	5.71

表　秋間古窯跡群試料　胎土分析値一覧

		SiO_2(%)	Al_2O_3(%)	Fe_2O_3(%)	TiO_2(%)	CaO(%)	MgO(%)	K_2O(%)	Ca/K	Sr/Rb
苅根支群	1-07	66.9	23.0	4.48	1.09	0.46	1.69	1.19	0.53	0.78
(I～III号窯灰原)	1-08								0.55	0.77
	1-11								0.79	0.71
	1-12	68.9	20.0	4.76	0.89	0.30	1.14	1.75	0.24	0.46
	411	76.0	15.8	3.83	0.88	0.49	0.88	1.75	0.39	0.55
	412	61.6	26.3	8.95	1.38	0.38	0.88	1.70	0.31	0.64
	413	69.9	19.8	5.13	0.96	0.40	1.00	1.52	0.36	0.68
	414	65.0	20.9	8.21	1.03	0.51	0.82	1.42	0.50	0.58
	415	66.9	18.9	7.15	0.92	0.44	0.86	1.31	0.46	0.58
	416	71.1	20.7	3.95	0.98	0.24	0.93	1.24	0.27	0.68
八重巻支群	405	71.6	20.5	6.50	1.03	0.61	0.53	1.32	0.64	0.72
	406	72.3	21.3	4.43	0.85	0.37	1.06	1.95	0.26	0.51
	407	73.8	17.1	5.05	0.92	0.40	0.69	2.03	0.28	0.54
	408	71.6	19.0	5.75	1.01	0.73	0.89	1.57	0.64	0.75
小日向支群	409	74.2	19.5	3.95	0.95	0.58	0.84	1.69	0.23	0.48
	410	74.6	15.1	4.42	0.93	0.45	0.82	2.19	0.28	0.79
道場	1-09								0.35	0.40
	1-10	68.9	13.9	5.24	1.00	0.35	1.20	1.57	0.31	0.56

表　乗附古窯跡群試料　胎土分析値一覧

		SiO_2(%)	Al_2O_3(%)	Fe_2O_3(%)	TiO_2(%)	CaO(%)	MgO(%)	K_2O(%)	Ca/K	Sr/Rb
南陽台支群	203	75.2	16.2	2.75	0.99	0.29	1.28	2.25	0.14	0.51
	204	69.6	20.6	4.26	0.96	0.52	0.77	1.64	0.36	1.00
小塚支群	417	66.9	18.0	4.25	0.97	1.18	1.17	1.15	1.41	1.82
	418	70.2	15.7	5.61	0.87	0.61	0.97	1.85	0.45	1.15
	419	69.3	17.5	6.45	0.78	0.44	0.98	2.78	0.22	1.00
	420	72.7	16.6	4.25	0.81	0.35	0.64	1.96	0.24	0.78
	421	71.6	18.8	3.75	0.88	0.36	0.83	1.53	0.32	0.75
でえせえじ支群	497	66.6	21.1	5.82	0.90	0.45	1.18	1.16	0.46	0.97
	498	68.4	17.6	5.35	1.27	1.07	1.09	1.18	1.20	2.45
	499	75.4	17.0	3.12	0.82	0.19	0.38	1.71	0.13	0.47
	500	69.6	21.8	4.00	0.82	0.33	0.90	1.29	0.31	0.85
	501	69.4	17.2	6.02	1.26	1.11	1.07	1.08	1.25	2.40
	502	73.1	17.2	5.20	0.82	0.31	1.11	2.13	0.18	0.48

表　吉井古窯跡群試料　胎土分析値一覧

		SiO_2(%)	Al_2O_3(%)	Fe_2O_3(%)	TiO_2(%)	CaO(%)	MgO(%)	K_2O(%)	Ca/K	Sr/Rb
五反田支群	x-1	67.3	17.7	3.00	0.74	0.53	0.83	2.13	0.33	1.40
青龍寺支群	x-2	69.8	20.2	3.30	0.87	0.36	0.49	1.54	0.30	3.16
長尾根・末沢支群	292	71.3	17.0	4.02	0.95	1.39	0.82	1.55	1.19	2.65
	293	57.5	21.3	7.45	1.16	2.19	0.60	0.78	3.68	3.28
	294	61.8	18.0	7.80	1.17	1.51	2.50	1.55	1.28	1.71
	295	63.7	23.8	6.70	1.21	0.66	0.73	1.35	0.65	2.39
	296	60.3	18.0	6.00	1.20	1.73	3.23	1.62	1.41	1.85
	297	71.3	15.7	4.25	0.68	1.39	0.70	1.47	1.25	2.40
	298	65.7	17.2	7.52	1.15	1.76	1.67	1.71	1.35	2.23

(3) ま と め

上栗須寺前遺跡群出土須恵器の胎土分析により、含有量が地域特性を示すRb, Sr, K, Caの4元素（三辻1958）の値を、Rb/SrとK/Caの2因子を両軸にとった2次元分布図上にプロットしたのが第1図である。この結果を該遺跡の東方に位置する同時期の集落遺跡である上栗須遺跡資料と須恵器生産地の吉井古窯跡群資料，藤岡古窯跡資料，乗附古窯跡群資料，秋間古窯跡群資料とを比較検討することから、上栗須寺前遺跡群出土須恵器の様相を考究するのは今後の課題として、目に留まった事実だけを整理しておきたい。

①上栗須遺跡と該遺跡の須恵器は、分析資料の散らばり具合から、ほぼ同様の供給先からの搬入品である可能性が高い。

②供給先の特定は、未だ藤岡市下金井古窯跡群の全貌が明らかになっていない現在では困難だが、鮎川をひとつ隔てた近隣の吉井古窯跡群の領域と多くの部分でクロスしており、製品の大部分が吉井近辺のものである確率は高い。

③器種別に見ると須恵器坏蓋と須恵器高台付椀が近く、須恵器甕もまた別のまとまりの範疇に入り、ひとり須恵器坏だけが大きな散らばりを見せている。

この事実は何を意味するのであろうか。それらは、今後の古窯跡資料の増加をまつとともに、消費地における実態を究明するなかから、生産地と消費地との古代流通の様相解明の一視点として生かしていこうと考えている。

【参考文献】

1）「窯跡出土須恵器の蛍光X線分析」『考古学と自然科学』11号，1978，三辻利一

2）「土器の胎土分析」『塚廻り古墳群』（群馬県教育委員会）1980，花岡紘一，石塚久則

3）「村主遺跡出土土器を中心とした胎土分析」『大原II遺跡・村主遺跡』（群馬県埋蔵文化財調査事業団）1986，花岡・中沢

4）「胎土分析」『上栗須遺跡・下大塚遺跡・大塚遺跡』（群馬県埋蔵文化財調査事業団）1989，花岡・斎藤利昭

2　寺前遺跡の地質調査

古環境研究所

1．はじめに

遺跡の立地について検討を行うためには、遺跡の位置する地域の地形について微地形スケールでの地形学および地質学による課査が必要となる。今回、藤岡市寺前遺跡の発堀調査に伴い、寺前遺跡の位置する藤岡台地とその周辺地域について野外地質調査を行い、これらの観点からの検討が行われるようになった。調査の対象とした地域は、具体的におおよそ高崎市街地南部以南で埼玉県神川村以北、吉井町黒熊以東で埼玉県本庄市街地以西である。地質調査は現地において5日間の日程で行われた。

2．地質調査結果

調査対象地域の地形的な調査には、新井(1962)、Yamazaki(1984)、杉原重夫(1988)などの調査がある。しかしいずれの研究においても、とくに中位以上の地形面の形成年代についての記載が充分ではない。

今回の野外地質調査の成果を、地形学図（第3図）として示した。調査対象地域はおおよそ山地および丘陵、河岸段丘、泥流堆積面、沖積低地、現河床に大きく区分される。なお、調査対象地域南西部の藤岡市西平井付近には丘陵や河岸段丘を斬って発達する活断層が認められた。

(1)　山地および丘陵

調査対象地域の山地はおもに古生代の三波川変成岩類から構成される。また丘陵はおもに侵食作用によって形成されたものであり、おもに板鼻層と呼ばれる第三紀中期中新世の水成層などから構成されている。

(2)　河岸段丘

河岸段丘には、高位より低位のものまで、多くの段丘面がある。高位より大きく高位段丘、中位段丘、下位段丘と3区分する。高位段丘は藤岡市黒熊や埼玉県児玉町宮内原周辺に認められる。少なくとも2段の段丘面に区分することができる。これらの高位段丘の形成年代については、今回の調査でも段丘構成層の上位に良好なテフラの露出が確認されていないため現在までのところ不明である。しかし地形の開析状況などから中期更新世に形成された南関東地方の多摩面に対比されるものと考えられる。なお、詳細については不明であるが、烏川右岸高崎市上根小屋付近に認められる段丘も高位段丘に対比されるものかも知れない。

中位段丘は、藤岡市緑埜付近に認められる。この段丘面についても高位段丘と同様に段丘構成層の上位に良好なテフラの露出が確認されていないため形成年代は現在までのところ不明である。しかし開析の程度や他の段丘面との関係などから後期更新世の比較的前期に形成された南関東地方の武蔵野多摩面に対比されるものと考えられる。なお赤城山南麓地域において、この段丘面に対比される段丘の形成年代は約5～4万年前と考えられている（早田，1990）。

低位段丘は高位（Ⅰ面）と（Ⅱ面）の段丘にさらに細分される。前者は藤岡台地や本庄台地と呼ばれる段丘化した扇状地性の段丘で特徴付られる。藤岡台地はおもに鮎川の堆積作用によって形成されたものである。寺前遺跡は本地形面上に位置している。一方本庄台地は、神流川の堆積作用により形成されたものである。ただし神流川により形成された扇状地性の段丘は現神流川左岸の藤岡市神田から小林にかけての地域にも残されている。これらの扇状地性地形の発達期あるいは開析期に堆積したと思われる。低地の構成層には約2.1—2.2万年前に南九州始良カルデラから噴出した始良 Tn 火山灰（AT，町田・新井，1976）が認められる（群馬県埋蔵文化財調査事業団，1989）。このことから、より高位のⅠ面は約2万年前前後に形成された可能

性が大きいものと考えられる。

より低位のII面は、鮎川や神流川の両岸に断片的に認められる。これらの地形の断面は確認されなかった。したがってその形成年代について詳細は不明であるが、他の段丘との関係などから更新世末期頃かも知れない。これら中位の段丘は鏑川の両岸にも認められる。

(3) 泥流堆積面

烏川左岸に広がる地域には、厚い泥流から構成される高低2面の泥流堆積面が広がる。高位の台地は前橋市周辺から高崎市周辺にかけて広く広がる前橋泥流堆積物により構成されている前橋台地と呼ばれる地形である。その地形は厳密には前橋泥流堆積面が秩積直後に広く侵食されてできたものであるが、泥流堆積物の層厚が10mを超えるほど厚く実際に侵食のために低下した高度が小さいと思われるため堆積面と考えて差し支えないものと思われる。前橋泥流の堆積年代は、最近では約2万年前と考えられている(早田，1990)。微地形スケールで細かくみると前橋台地の地形は、榛名火山に起源をもつ小河川沿いの自然堤防と、その背後の後背湿地から構成されている。

低位の泥流堆積面は、井野川低地帯のほとんどを占めて広がるものである。ここでは利根川により形成されたと考えられる井野川低地帯（早田，1990）を構成する礫層を覆って軽石を比較的多く混じえる層厚3m程度の泥流堆積物が認められる。早田（1990）はこの堆積を「井野川泥流堆積物」と呼び、その層位について約1.5万年前の浅間一白糸軽石(As-SP，町田ほか，1984)の上位と考えた。しかし最近では約1.3—1.4万年前の浅間一板鼻黄色軽石(As-YP，新井，1962，町田ほか，1984)のさらに上位にあると考えている。約1.1万年前の浅間一総社軽石（As-SJ，早田，1990，1991）との層位関係については不明である。

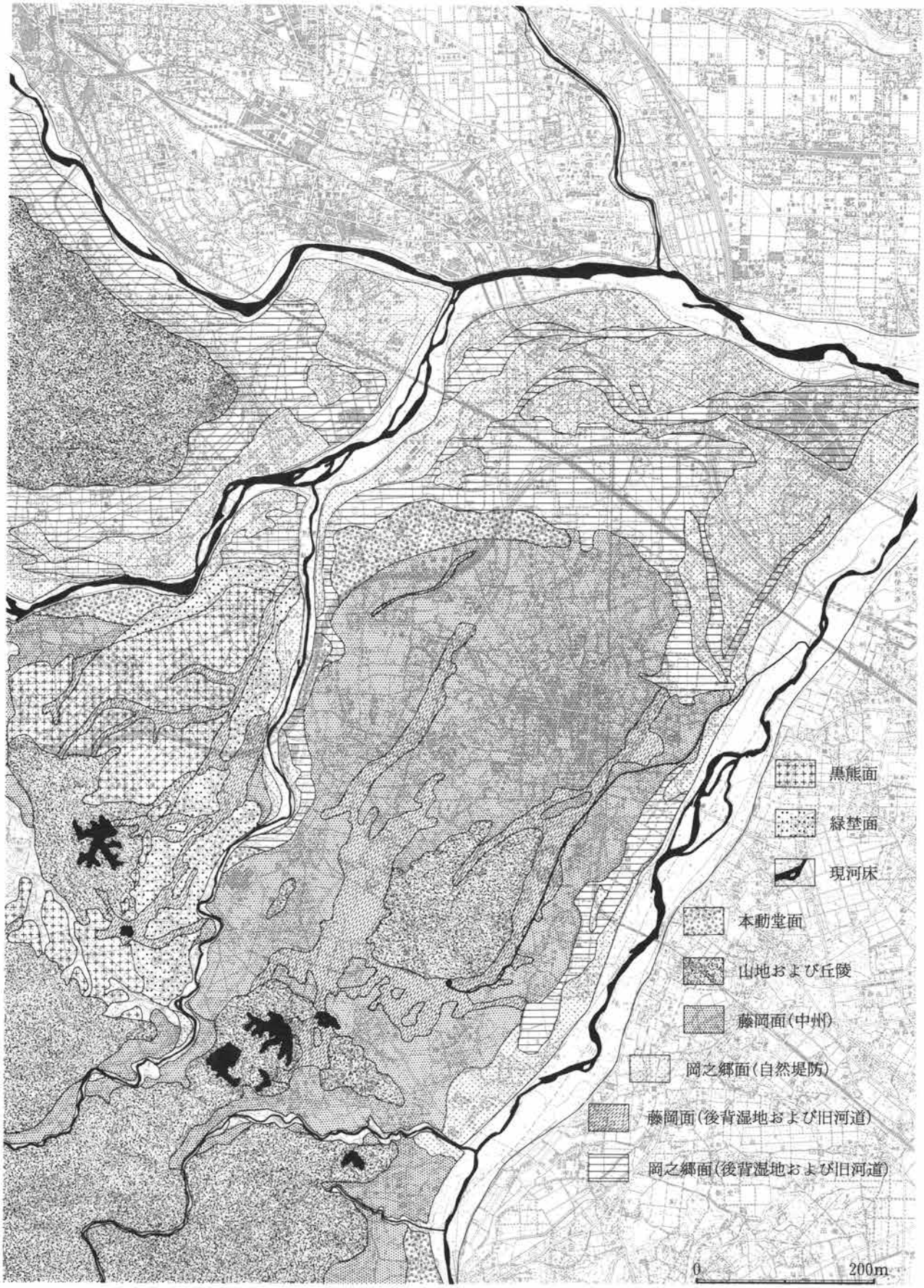
(4) 沖積低地

広瀬川、烏川、鏑川、鮎川、神流川、そして井野川などの河川沿いに各々広がる完新世に形成された細長い低地である。沖積低地は、高位のI面と下位のII面に区分できる。鮎川や神流川の下流部ではI面に対比される扇状地が認められる。各々鮎川扇状地、神流川扇状地と呼ばれるものである。これらの扇状地は大きく旧中州と旧河道から構成されている。とくに前者の占める割合が大きい。また旧河道では現河床と比較して蛇行の度合が大きい特徴が認められる。扇状地の形成年代については不明な点が多いが、扇状地形成時期にはおそらく河床勾配が現河床の勾配より小さかったため、このような違いがあるものと推定される。河床勾配の違いの要因には、利根川との合流点の位置が当時現在よりも下流にあった可能性のあることも関与しているのかも知れない。

広瀬川沿いには、広瀬川低地帯と呼ばれる広い沖積低地が広がっているが、この地形は現在の広瀬川により形成されたものではなく、天文年間（1532～1554年）頃現在の位置に河谷そのものの移動を引き起こしたと考えられている利根川により形成されたものである。広瀬川低地帯では、1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B，新井，1979）がのる高位のI面と低位のII面が認められる。すなわちII面の離水時期は1108（天仁元）年より新しい可能性が考えられる。

(5) 現河床

河川沿いに認められる河床のうち現利根川では、とくに江戸時代以降にも激しい流路移動が認められたようである。1783（天明3）年の浅間火山の噴火に伴い吾妻川から利根川沿いを流下堆積した天明泥流堆積物は河道を埋め、玉村五科より下流で流路を変化させたようである。


黒熊面
緑埜面
現河床
本勧堂面
山地および丘陵
藤岡面(中州)
岡之郷面(自然堤防)
藤岡面(後背湿地および旧河道)
岡之郷面(後背湿地および旧河道)
0
200m

第3図　地形区分図

3．ま と め

藤岡市寺前遺跡の周辺地域において野外地質調査を行い、地形区分を行った結果調査対象地域の地形は、山地および丘陵、河岸段丘、泥流堆積面、沖積低地、現河床に大きく区分された。地形によってはさらに細分されるものである。これらの成果は、地形学図に示した。また今回の調査においても、中位以上の地形面の形成年代についての資料が得られなかった。今後の調査が期待される。

文　献

新井房夫(1962)　関東盆地北西部地域の第四紀編年．群馬大学紀要自然科学編，10，p.1-79.
群馬県埋蔵文化財調査事業団(1989)　本郷山根遺跡．(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団報告集，第81集，162p.
町田　洋・新井房夫(1976)　広域に分布する火山灰―姶良 Tn 火山灰の発見とその意義―．科学，46，p.339-347.
町田　洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫(1984)　テフラと日本考古学―考古学研究と関係するテフラのカタログ―．古文化財編集委員会編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」，p.865-928.
早田　勉(1990)　群馬県の自然と風土．群馬県史編，1，p.35-129.
早田　勉(1991)　浅間火山の生い立ち．佐久考古通信，no.53，p.2-7.
杉原重夫(1998)　藤岡市滝前・滝下遺跡とその周辺の自然―とくに地形・地質について―．滝前・滝下遺跡調査会編「滝前・滝下遺跡」，p.240-279.
Yamazaki, H(1984) On the relationships between active faults and Basin-Forming movement. Geogr. Rept. Tokyo Metropol. Univ. №19, p.67-78.

3　上栗須寺前遺跡テフラ検出分析

古環境研究所

1．分析の目的

藤岡台地を構成する砂礫層の上位には、洪水に由来する粒堆積物や土壌の堆積が認められる。これらの堆積物中には、多くの降下テフラが含まれている。それらのテフラについて特徴を把握し、示標テフラとの同定を行うことにより、堆積物中に時間軸を設定することができる。ここでは、寺前遺跡の土層についてテフラ検出分析を行いテフラを検出するとともに、その特徴から示標テフラとの同定を試みる。

分析の対象とした地点は、４Ｂ区、５Ａ区、６区の３地点である。

2．分析の方法

分析は、次の順序で行われた。

１）試料15ｇを秤量

２）超音波洗浄装置により、泥分を除去

３）80℃で恒温乾燥

４）実体顕微鏡下で、特徴を観察

3．分析結果

(1)　4　B　区

土層断面を地質柱状図にして、第５図に示す。ここでは、５㎝連続で採取した試料のうち、奇数番号の試料を対象として、すなわち５㎝おきに分析を行った。分析結果を、表１に示す。

試料番号１～５には、淡褐色の軽石が多く含まれている。軽石の最大径は、４㎜である。軽石の発泡は、あまり良くない。斑晶として、斜方輝石が認められる。また、試料番号７から17にかけての層準には、スポンジ状によく発泡した１㎜程度の軽石が少量含まれている。

(2)　5　A　区

土層断面を地質柱状図にして、第５図に示す。また、分析結果を表２に示す。ここでは、畝状の遺跡を直接覆う７㎝の降下軽石層（試料番号２）が認められた。このテフラには最大径11㎜の比較的粗粒の黄白色軽石がとくに多く含まれている。比較的よく発泡している。

この地点では、埋没した谷が確認された。谷によって斬られた地層中には、層厚11㎝の黄橙色の軽石に富む暗灰色シルト層（試料番号３）がある。この地層には、最大径３㎜の黄白色細粒軽石が比較的多く含まれている。軽石には、微細な斑晶が含まれており、発泡の程度は良くない。

(3)　6　　区

土層断面を地質柱状図にして、第５図に示す。また、分析結果を表３に示す。この地点では、２層準にテフラが認められた。これらのうち上位のテフラ（試料番号１）は、層厚３㎝の灰色細粒軽石層である。このテフラには比較的良く発泡した黄白色軽石がとくに多く含まれている。軽石の最大径は、６㎜である。本テフラは、その特徴から５Ａ区の試料番号２に対比される。

下位のテフラ（試料番号２）は、暗灰色土壌中に多く含まれる黄灰色軽石である。軽石の最大径は６㎜で、発泡の程度はあまり良くない。この軽石は、４Ｂ区の試料番号１～５に含まれる軽石に対比される。

4．考察―示標テフラとの同定

寺前遺跡におけるテフラ検出分析の結果、4層のテフラが認められた。上位のテフラには、比較的粗粒の黄白色軽石が多く含まれる。軽石の最大径は11㎜で、比較的良く発泡している。これからの特徴から、本テフラは1783（天明3）年に浅間火山から噴出した浅間A軽石（荒牧，1968，新井，1979）に同定される。なお、本テフラの直下には、5A区において畝状の遺構が検出されている。

その下位のテフラは、淡褐色の軽石に富むテラフである。軽石の直径は、6㎜である。発泡の程度は、あまり良くない。本テフラは、その特徴から1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B，荒牧，1968，新井，1979）に同定される。6区では、As-Bの下位の層準に、水田の可能性のある遺構が検出されている。

下から2層目のテフラは、最大径1㎜程度の白色軽石粒である。スポンジ状によく発泡している。斑晶鉱物は、認めることができない。6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名―渋川テフラ層(Hr-S，早田，1989，噴出年代は、坂口，1986）のうちの降下テフラ（新井，1979の FA）に対比される可能性がある。ただし本テフラは純層で認められず、また量も少ないため降灰層準について詳しく議論することはできない。

最下位のテフラは、谷によって切られた地層中に認められる最大径3㎜の黄白色軽石である。軽石の発泡の程度は悪く、また微細な斑晶が多く認められる。このテフラには、ほかに斜方輝石が多く認められることから、完新世に浅間火山から噴出したテフラに同定されると考えられる。とくに約4,500年前に噴出した浅間D軽石（As-D，荒牧，1968，新井，1979，早田，1990)、あるいは寺前遺跡の発掘調査に伴い、直下の土壌から8190±170y.B.P（Gak-14945）の値が得られた軽石層（群馬県埋蔵文化財調査事業団，未公表資料）に対比される可能性が考えられる。今後、屈折率測定などを行ない、同定のためのより詳細な分析が必要である。

5．ま と め

寺前遺跡におけるテフラ検出分析では、4層のテフラが認められた。4層のテフラのうち、上位の2層は浅間A軽石（As-A)、浅間Bテフラ（As-B）にそれぞれ対比される。As-Bの下位のテフラは榛名―渋川テフラ層（Hr-S）に、最下位のテフラは、浅間D軽石（As-D）あるいは約8,200年前の浅間火山起源のテフラに同定される可能性が考えられる。

【参考文献】

新井房夫(1979)　関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層．考古学ジャーナル．№157，p.41-52
荒牧重雄(1968)　浅間火山の地質．地団研専報，14，p.45.
坂口　一(1986)　榛名二ツ岳起源ＦＡ・ＦＰ層下の土師器と須恵器．群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」，p.103-119.
早田　勉(1986)　6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害．第四紀研究，27，p.297-312.
早田　勉(1990)　群馬県の自然と風土．群馬県史通史編．1，p.35-129.

表1　寺前遺跡4B区のテフラ検出分析結果

試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径(mm)
1	＋＋＋	淡褐	4
3	＋＋＋	淡褐	3
5	＋＋＋	淡褐	3
7	＋	白	0.4
9	＋	白	0.5
11	＋	白	1
13	＋	白	0.4
15	＋	白	1
17	＋	白	1
19	—	—	—
21	—	—	—
23	—	—	—
25	—	—	—
27	—	—	—

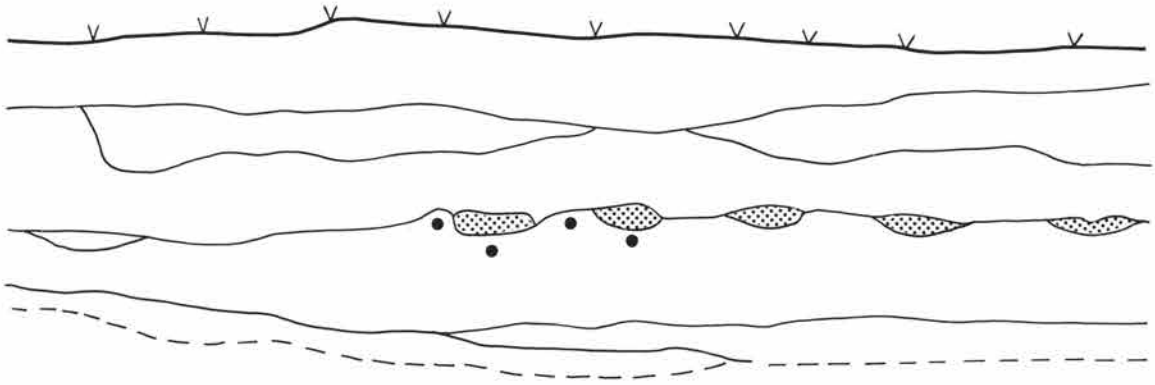
表2　寺前遺跡5A区のテフラ検出分析結果

試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径(mm)
2	＋＋＋＋	黄白色	11
3	＋＋	黄白色	3

表3　寺前II遺跡6区のテフラ検出分析結果

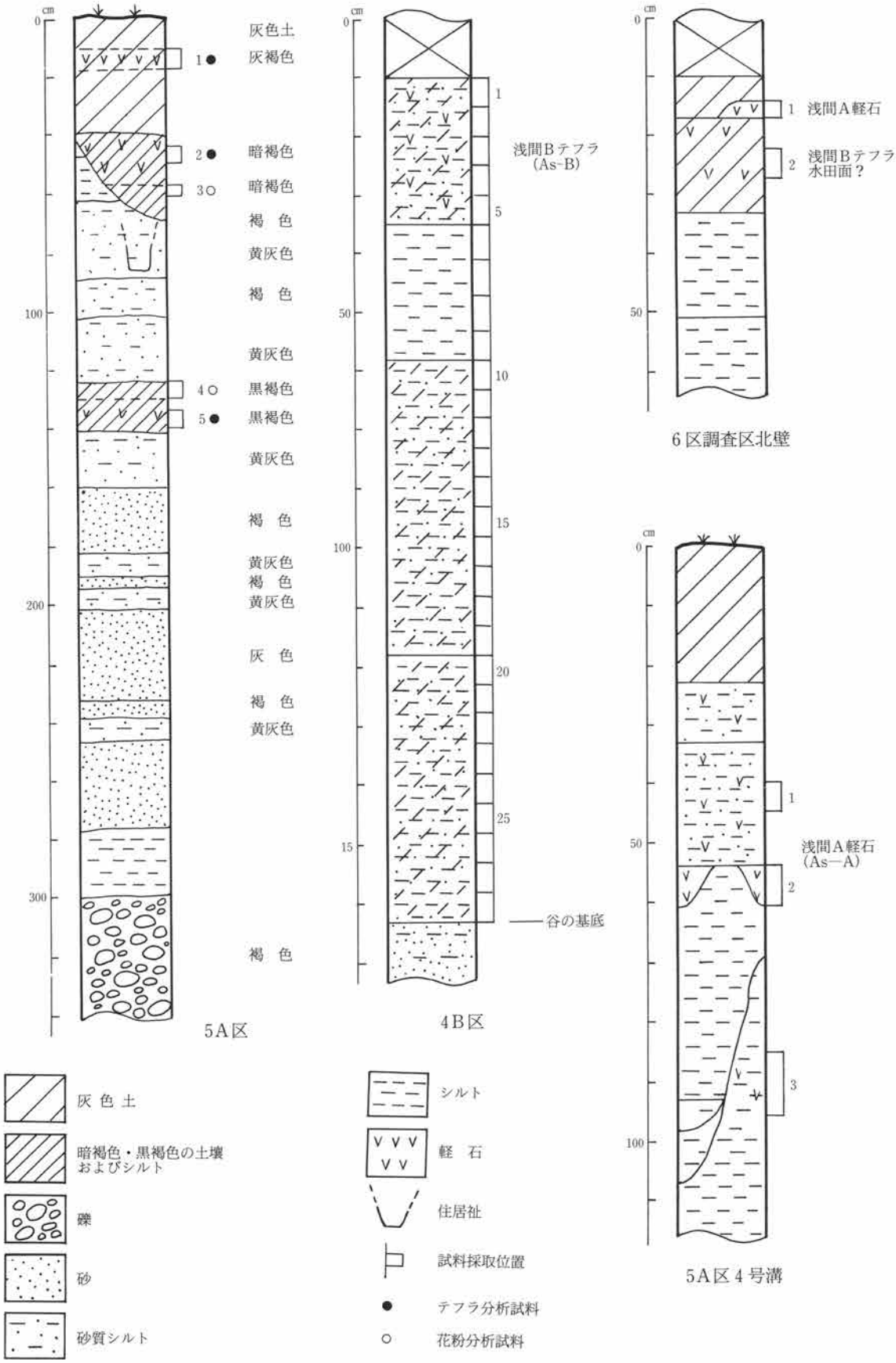
試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径(mm)
1	＋＋＋＋	黄白色	6
2	＋＋＋	淡褐	6

＋＋＋＋：とくに多い
＋＋＋：多い
＋＋：中程度
＋：少ない
—：認められない



1a：褐灰色土　As-A混土
1b：褐灰色土　As-A塊状に多量に含む.しまり弱い
1c：褐灰色土　As-A主体.畠、畝状
2　：暗褐色土　風化白色軽石含む
3　：灰黄褐色土　鉄分の沈着あり.黄色土細粒含む.粘性強い
4　：褐色土　灰黄褐色土.黄褐色土細粒含む.しまり弱い

第4図　テフラ分析試料採取位置


cm
0
100
200
300
灰色土
1● 灰褐色
2● 暗褐色
3○ 暗褐色
褐　色
黄灰色
褐　色
黄灰色
4○ 黒褐色
5● 黒褐色
黄灰色
褐　色
黄灰色
褐　色
黄灰色
灰　色
褐　色
黄灰色
褐　色
5A区
浅間Bテフラ
(As-B)
1
5
10
15
20
25
50
100
15
谷の基底
4B区
1 浅間A軽石
2 浅間Bテフラ
水田面？
6区調査区北壁
浅間A軽石
(As—A)
3
5A区4号溝
灰色土
暗褐色・黒褐色の土壌
およびシルト
礫
砂
砂質シルト
シルト
軽　石
住居祉
試料採取位置
テフラ分析試料
花粉分析試料

第5図　地質柱状図

4　上栗須寺前遺跡のプラント・オパール分析

1．はじめに

寺前遺跡では、浅間Aテフラ層の直下から畝状の遺構が、また浅間Bテフ混層の直下から水田状遺構が確認され、それぞれ当時の畠跡および水田跡と見られていた。この調査は、プラントオパール分析を用いて、これらの遺構におけるイネ科栽培植物の検討を試みたものである。

2．試　　料

試料は、浅間Aテフラ層直下の畝状遺構（５A区）については、畝部および溝部から各２点を採取した。また、浅間Bテフラ混層直下の水田状遺構（６区）については、田面部および畦部から各２点を採取した。採取にあたっては容量50㎤の採土管を用いた。第５図に５A区の土層断面図と分析試料の採取箇所を示す。試料数は合計８点である。

3，分　析　法

プラント・オパールの抽出と定量は、「プラント・オパール定量分析法（藤原，1976)」をもとに、次の手順で行った。

(1)　試料土の絶乾（105℃・24時間)，仮比重測定
(2)　試料土約１ｇを秤量，ガラスビーズ添加（直径約40㎛，約0.02ｇ）
　　※電子分析天秤により１万分の１ｇの精度で秤量
(3)　電気炉灰化法による脱有機物処理
(4)　超音波による分散（300W・42KHz・10分間）
(5)　沈底法による微粒子（20㎛以下）除去，乾燥
(6)　封入剤（オイキット）中に分散，プレパラート作成
(7)　検鏡・計数

同定は、機動細胞珪酸体に由来するプラント・オパール（以下、プラント・オパールと略す）をおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が300以上になるまで行った。これはほぼプレパラート１枚分の精査に相当する。試料１ｇあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率をかけて、試料１ｇ中のプラント・オパール個数を求めた。

また、この値に試料の仮比重と各植物の換算係数(機動細胞珪酸体１個あたりの植物体乾重，単位：10^{-5}ｇ）をかけて、単位面積で層厚１cmあたりの植物体生産量を算出した。換算係数は、イネは赤米、ヨシ属はヨシ、タケ亜科はゴキダケの値を用いた。その値は、それぞれ2.94（種実重は1.03)，6.31，0.48である（杉山・藤原，1987)。

4．分析結果

プラント・オパール分析の結果を表１に示す。なお、分析試料からは多様なプラント・オパールが検出されたが、ここでは稲作跡等の検証が主目的であるため、定量はイネ，ヨシ属，タケ亜科，ウシクサ族（ススキやチガヤなどが含まれる)，キビ族（ヒエなどが含まれる）の主要な５分類群に限定した。

5．考　　察

(1)　稲作の可能性について

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料１ｇあたりおよそ5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している。また、その層にプラント・オパール密度のピークが認められれば、上層から後代のものが混入した危険性は考えにくくなり、その層で稲作が行われていた可能性はより確実なものとなる。以上の判断基準にもとづいて、各地点ごとに稲作の可能性について検討を行った。

５Ａ区では、浅間Ａテフラ層直下から検出された畝状遺構の畝部および溝部について分析を行った。その結果、すべての試料からイネのプラント・オパールが検出された。このうち、畝-２ではプラント・オパール密度が4,300個/ｇと比較的高い値であり、その他の試料では800～2,900個/ｇと比較的低い値である。なお、いずれも直上を浅間Ａテフラ層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した危険性は考えにくい。したがって、同遺構で稲作が行われていた可能性が考えられる。

６区では、浅間Ｂテフラ混層直下から検出された水田状遺構の田面部および畦部について分析を行った。その結果、すべての試料からイネのプラント・オパールが検出された。密度は田面部で900～2,900個/ｇ、畦部で2,100～3,100個/ｇと比較的低い値である。したがって、同遺構で稲作が行われていた可能性は考えられるものの、上層や他所からの混入の危険性も否定できない。

(2)　イネ科栽培植物の検討

プラント・オパール分析で同定される分類群のうち、栽培植物が含まれているものには、イネ以外にもキビ族（ヒエなどが含まれる）やムギ類、ジュズダマ属（ハトムギが含まれる）などがある。このうち、同遺跡では５Ａ区の溝-２からキビ族が少量検出された。同族には、ヒエやアワ、キビなどが含まれるが、現時点ではプラント・オパールの形態からこれらの栽培種と他の野・雑草を識別するに至っていない（杉山ほか，1988）。

また、イネ科栽培植物の中には未検討のものもあるため、不明としたものの中には栽培種に由来するものが含まれている可能性が考えられる。５Ａ区の畝-１，２から検出されたプラントオパール(写真№７，８)は、群馬県内の他の畠跡においても普通に検出されており、その検出状況などから栽培種に関係するものである可能性が考えられている。これらの分類群の給源植物の究明については今後の課題としたい。

6．ま　と　め

以上のように、浅間Ａテフラ層直下から検出された畝状遺構、および浅間Ｂテフラ混層直下から検出された水田状構では、いずれもイネのプラント・オパールが検出され、稲作が行われていた可能性が認められた。

また、前者の畝状遺構からはキビ族や栽培種に関係すると見られるプラント・オパールが検出され、イネ以外にもなんらかのイネ科植物が栽培されていた可能性が認められた。

なお、プラント・オパール分析で復原できる植生は現在のところイネ科植物に限定されるため、根菜類などの畠作物は対象外となっていることに留意されたい。

【参考文献】
杉山真二・藤原宏志(1987)　川口市赤山陣屋跡遺跡におけるプラント・オパール分析．赤山―古環境編―．川口市遺跡調査会報告，第10集，p.281-298.
杉山真二・松田隆二・藤原宏志(1988)　機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用―古代農耕追究のための基礎資料として―．考古学と自然科学，20，p.81-92.
藤原宏志(1976)　プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)―数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法―．考古学と自然科学，9．p.15-29.
藤原宏志(1979)　プラント・オパール分析法の基礎的研究(3)―福岡・板付遺跡(夜臼式)水田および群馬・日高遺跡(弥生時代)水田におけるイネ(O. sativa L.)生産総量の推定―．考古学と自然科学，12，p.29-41.
藤原宏志・杉山真二(1984)　プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)―プラント・オパール分析による水田址の探査―．考古学と自然科学，17，p.73-85.

表1　プラント・オパール分析結果

5A区

試料名	深さ cm	層厚 cm	仮比重	イネ 個/g	(籾総量) t/10a	ヨシ族 個/g	タケ亜科 個/g	ウシクサ族 個/g	キビ族 個/g
畝-1	—	—	1.41	2,900	—	900	21,200	2,900	0
畝-2	—	—	1.43	4,300	—	800	17,200	1,700	0
溝-1	—	—	1.55	2,300	—	700	26,200	1,500	0
溝-2	—	—	1.57	800	—	800	29,500	7,300	1,600

6区

試料名	深さ cm	層厚 cm	仮比重	イネ 個/g	(籾総量) t/10a	ヨシ族 個/g	タケ亜科 個/g	ウシクサ族 個/g	キビ族 個/g
水田面-1	—	—	1.48	900	—	900	13,600	6,300	0
水田面-2	—	—	1.59	2,600	—	0	22,400	3,500	0
畦-1	—	—	1.48	3,100	—	0	12,400	3,100	0
畦-2	—	—	1.58	2,100	—	0	24,100	8,000	0

IV　成果と問題点

藤岡扇状地先端部から北の低湿地にかけて占地する上栗須寺前遺跡群では、弥生時代遺構の存在は確認できなかったが、縄文時代から古墳・奈良・平安時代・中世を経て現代まで、連綿として人間の営みが痕跡となって残されていた。該報告書で扱う篠塚狐穴，四反歩，清太，下大塚北原，本動堂台地区では、古墳時代末から奈良・平安時代・中世までの遺構・遺物が数多く検出され、幾多の事実が明らかになってきた。本章ではそれらの事実成果と、いくばくかの明らかになってきた問題点を列挙していき、詳説及び考察については後日の機会を待ちたい。

1　遺　　物

(1) 土　　器

土器は、煮沸用具の土師器甕や羽釜を基準に、それらの煮沸用具と共伴する土器群から土器組成を認定し、14類の土器組成群に分類した。そして、土師器甕を基準に共伴する各土器群の消長や形態変化から土器組成の画期を見いだし、廃棄された竪穴住居址が埋没する時間内に打ち捨てられた土器組成群に14期の順序を与えてみた。以下その特徴に触れてみたい。

土器組成群

14期の順序

1期～1類土器組成

該期の土器組成は6･01住出土の器肉の厚い土師器長胴甕タイプと共伴するもので、土師器坏は模倣坏で稜線が甘くかつ体部も浅くて小型化する傾向をもつ。球形胴甕は底部に台を有するタイプである。この時期に鮎川を隔てた隣町の吉井町矢田遺跡では、天井部が高くカエリをもたない須恵器坏蓋とそれを受ける身坏が確認されている。

6・01住

矢田遺跡

2期～2類土器組成

該期の土器組成は5A・17住出土の器肉が若干薄くなる土師器長胴甕タイプと共伴するもので、土師器坏は小型化した稜の甘い模倣坏にかわって、体部の湾曲する8世紀型の坏が主流になる。須恵器は大甕とカエリのある天井部の高い坏蓋の出現が2類の画期であるが、1類と2類の間に位置付けられる4A･54住には、カエリをもちさらに天井部の高い古式の須恵器坏蓋が存在する。

5A・17住

2類の画期

3期～3類土器組成

8世紀初頭に位置付けられる該期の土器組成は5A･14住を基準資料とし、前段階の土器様相とは表情がだいぶ異なり律令的様相を帯びてくる。土師器甕は長胴甕の要素は残るものの、器肉が薄く口縁部が横に広がり、頸部斜めケズリの胴部に膨らみをもつ。土師器坏は法量の3種分化のみられる体部の湾曲する8世紀型のものと、体部がS字状に屈曲し大きく開く盤状坏の2タイプがあり、盤状坏の存在が該期の特徴である。須恵器は、宝珠鈕とカエリを有する須恵器坏蓋と、身坏で体部が直線的に立ち回転ヘラ切り調整の底部をもつ。また須恵器坏にも大小の2種分化が見られる。

8世紀初頭
5A-14住

律令的様相

3種分化

2種分化

4期～4類土器組成

該期の土器組成は、焼失の後ある時間差をおいて洪水砂により埋没した4B･04住の土器組成を基準資料としている。土師器甕は3類の長胴甕に比べ高さが2/3程度に縮小し、体部には斜めヘラケズリが施される。土師器坏は体部の湾曲する坏の法量分化が2種にとどまり、盤状坏も

洪水砂
4B・04住

2種分化

存在する。土師器鉢や土師器台付甕の出現も４類土器組成の特徴である。須恵器は坏，坏蓋，甕，摺鉢が見られるが、土器組成の主体にはならず供献具としての機能を果たすものと思われる。

５期～５類土器組成

6・03ａ住
6・03ｂ住
「くの字状」口縁

該期の土器組成は6・03ａ，6・03ｂ住の土器組成を基準資料としている。土師器甕は前期よりもさらに短胴化が進み、胴部が太くなり、口縁が明瞭な「くの字状」となる。貯蔵用と考えられる球形胴甕と須恵器大甕が混在するが、主流は球形胴甕である。土師器坏は体部が湾曲するタイプで法量分化は認められず、土師器鉢は４類の口縁が外反するものから幾分内湾気味のものとなる。須恵器坏蓋はリング状鈕が出現し、カエリを有する小型のものと端部にカエリを有する大型のものが共存する。須恵器高台付椀は、付け高台とケズリ出し高台で底部の張り出すものの２種類がある。須恵器坏は底部ヘラ削り調整である。

６期～６類土器組成

6・16住

該期の土器組成は6・16住の土器組成を基準資料とする。土師器甕の高さは５類と同様だが、口縁部が直立する傾向を示し、コの字口縁甕の前期段階の兆候をみせる。土師器坏は体部が湾曲するものと直線的に開くものが共存するが、いずれも平底化する。土師器鉢は体部が湾曲し、口唇部が直立する。須恵器坏蓋はボタン状鈕で端部が直角に折れる。須恵器坏は回転糸切り底をもち、貯蔵器としては須恵器大甕が主流となる。

７期～７類土器組成

5Ａ03住
7・12住
「つの字状」口縁

該期の土器組成は5Ａ・03，7・12住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は、６類段階の甕が若干変化し頸部が「つの字状」のものとコの字口縁甕が併存する。土師器坏はいずれも平底だが、体部が湾曲するものとＳ字状に屈曲するものと直線的に開くものに分かれる。７類土器組成の特色は、しっかりした高い高台を有する須恵器高台付椀の存在で、体部が湾曲して大きく開くものと直線的で深いものの２タイプである。

８期～８類土器組成

4Ａ141住
7・13住
コの字口縁

該期の土器組成は4Ａ・41，7・13住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は、すべてコの字口縁甕となり、土師器台付甕もコの字口縁となり、コの字口縁甕の最盛期である。土師器坏は、ほぼ体部が直線的に開くものに収斂される。該期の土器組成の特色としては、須恵器高台付皿の出現がある。須恵器高台付皿は10期まで存続する。

９期～９類土器組成

5Ａ・02住

該期の土器組成は5Ａ・02住の土器組成を基準資料とする。土師器甕はコの字口縁甕の終末段階で、頸部と口縁部が不明瞭になるものや頸部と体部の境が不明瞭になるものの２タイプが見られる。土師器坏はほとんどみられなくなり、僅かに須恵器坏と形態の類似したものが残るが、

食膳器の主体

食膳器の主体は須恵器坏に移る。

10期～10類土器組成

4Ａ・28住
4Ａ・34住
7・10住

該期の土器組成は4Ａ・28，4Ａ・34，7・10住の土器組成を基準資料とする。土師器甕はまったくの球形胴となり、前期のコの字口縁甕と比較すると、頸部や口唇部の厚さが特徴的である。

灰釉陶器

須恵器坏は直線的に大きく開く体部をもち、該期から灰釉陶器の出現が確認される。

11期～11類土器組成

該期の土器組成は4A・44住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は前期からの球形胴甕の頸部がさらに立ち、全体に器肉が厚くなり、口唇部先端に沈線が巡る。須恵器坏は大型化し、高台椀と変わらなくなるが、主体は須恵器高台付椀となる。この期から羽釜型甑が出現する。

4A・44住

羽釜型甑

12期～12類土器組成

該期の土器組成は4A・55住，4A・66住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は作りが雑になり、羽釜と併存するが煮炊器の主役の座を羽釜に譲り渡す。羽釜はしっかりした作りのもので容量に大小がある。

4A・55住
4A・66住

羽釜

13期～13類土器組成

該期の土器組成は7・19住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は消滅し、煮炊器は羽釜が、食膳器は須恵器高台付椀と土師質土器が担うようになる。土師質土器はこの期でその役割を終えるものと思われる。

7・19住

土師質土器

14期～14類土器組成

該期の土器組成は5B・01住の土器組成を基準資料とする。羽釜はその作りが極めて雑になり、煮炊具としての役割を別の用具にとって変わられる様相を示す。須恵器甕は焼きが甘く、酸化炎焼成を思わせるものである。該期の特徴は高台椀の大型化とカワラケ状の酸化炎焼成で糸切り底の小型坏の出現である。

5B・01

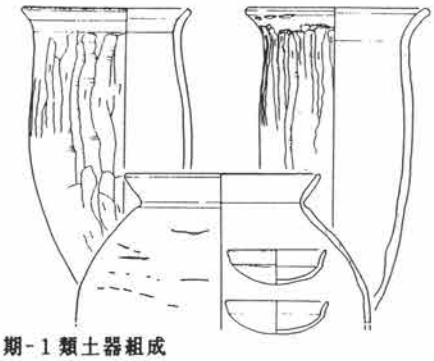
カワラケ

各期の時期については確定した資料をもたないが、群馬県内の基準資料と目される「萬年通寶（760）」の出土した松井田町愛宕山遺跡4号住の須恵器の年代を796～810年（綿貫1992）とすると、上栗須寺前遺跡の5A・03住を基準資料とする7期の7類土器組成は、後出する要素も考え合わせへ9世紀第1四半期の範囲で考えたい。また、吉井町黒熊中西遺跡10号住では「元

萬年通寶

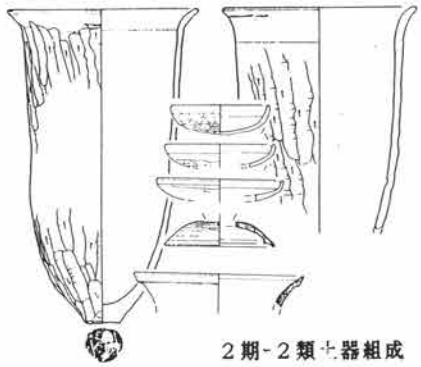
愛后山遺跡

黒熊中西遺跡

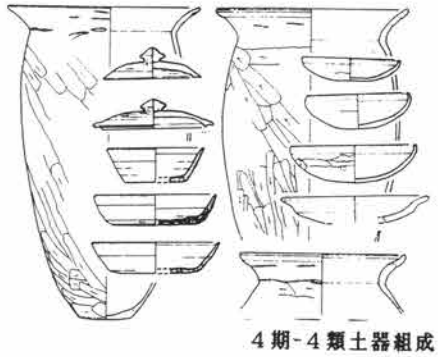


1期-1類土器組成

3期-3類土器組成



2期-2類土器組成



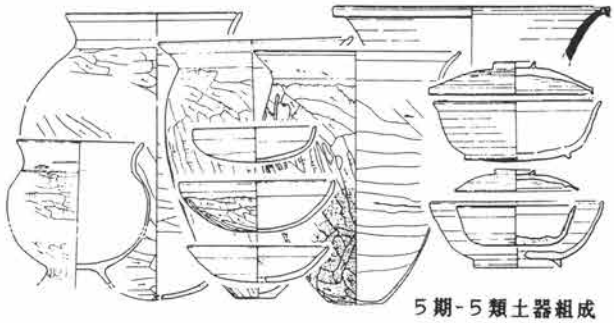
4期-4類土器組成

元慶四年

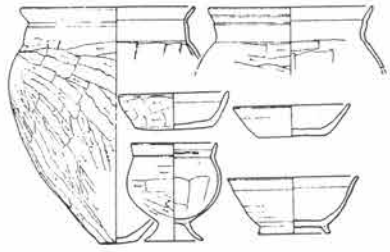
慶四年（880）」銘の刻まれた砥石が出土している。まだ詳しい資料批判等の検討はなされておらず無批判な時間設定はできないが、出土土器の比較から11期の11類土器組成が類似しており、

10世紀前葉

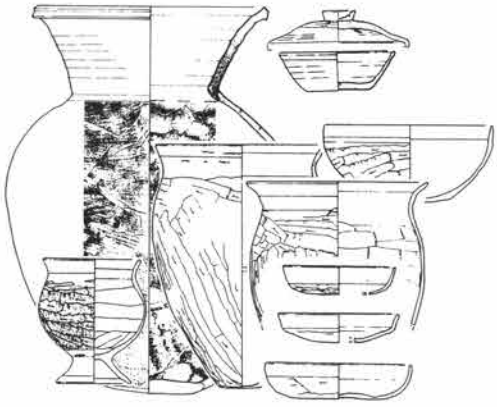
11期を10世紀前葉あたりに考えてみたい。最後に上栗須寺前遺跡群周辺のこれまでの成果から、該遺跡の継続期間を演繹すると、集落の開始する１期を７世紀前半に、終末段階の14期を11世紀前半に措定したい。



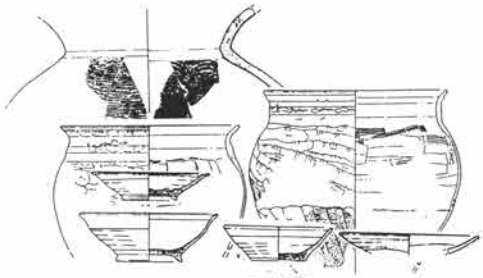
５期-５類土器組成



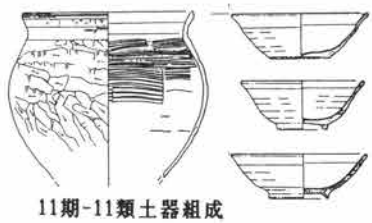
９期-９類土器組成



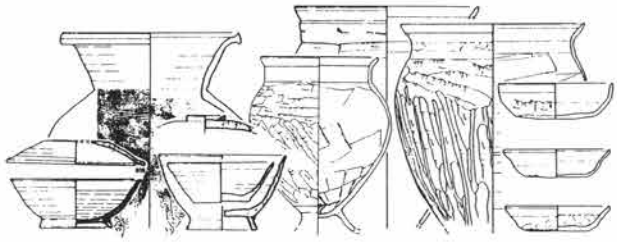
６期-６類土器組成



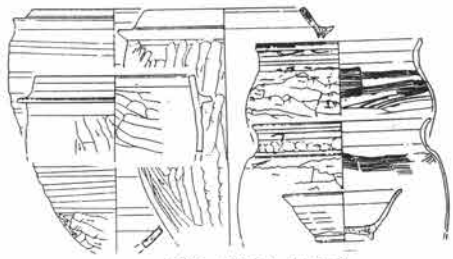
10期-10類土器組成



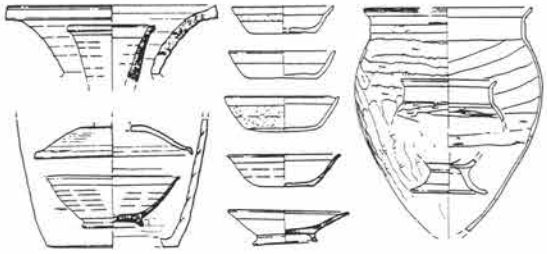
11期-11類土器組成



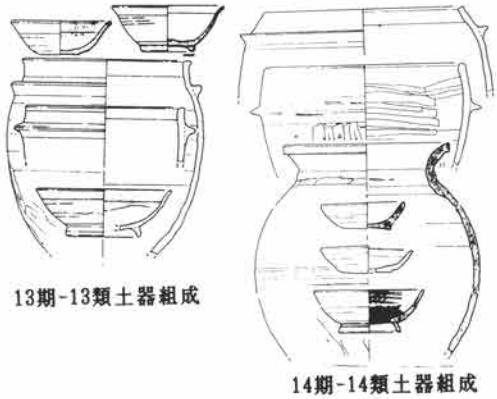
７期-７類土器組成



12期-12類土器組成



８期-８類土器組成



13期-13類土器組成

14期-14類土器組成

(2) 金属製品

出土金属製品は鉄製の刀子19点，鏃５点，鎌４点，釘５点，火打ち金３点，摂子１点，そして金環１点，鉄製馬具１点、鉄製不明品２点である。該遺跡の金属製品の出土は２期段階から確認され、７期段階で出土率のピークを迎え、13期段階まで出土が確認される。また金属製品の住居内出土率は86％で、この数字の示すものについての検討は後日の課題である。22ページの住居別出土遺物一覧表を見ると、鉄製品を６個体以上出土しているのは4A･26，4A･44，5A･03住で、これらの住居址はいずれも30㎡を超す大型住居である。このことの意味についても後日の課題としたい。

ピーク
住居内出土率
大型住居

ａ．刀　　子

刀子は３期段階から確認され、出土率のピークが８期で、11期までの出土が確認される。刀子は19例中僅か１例が住居外の出土で、住居内の出土率が95％にのぼり、統計的にも住居内での使用が裏付けられる。

ピーク
95%

ｂ．鉄　　鏃

鉄鏃については５個体検出されている。２期の４Ａ・04住からは逆刺の顕著な三角形鏃，６期の4Ａ・26住と７期の5Ａ・03住からは圭頭形鏃，11期の4Ａ・44住からは柳葉形鏃，12期の4Ａ･60住からは逆刺のある長三角形鏃である。これらの鉄鏃は各住居址に１個体の出土であり、とても武器としての使用は考えにくい。また4Ａ･60住を除いて、各住居址はどれも35㎡内外の面積を有する大型住居で、出土遺物量・質ともに同時期の住居から傑出しており、地域の有力者の居宅が想定できる。古くから弓矢には辟邪の威力があるとされ、古代東国集落には新築住居の安寧と居住者の平安を願う建築儀礼、すなわち家を支える柱穴に鉄鏃を埋納したり、屋根裏に矢を射る儀礼が存在した（松村1993）との推論があるが、地域の有力者にその建築儀礼が継承されて普遍化したとすれば、上栗須寺前遺跡の単独で大型住居内から出土する鉄鏃の意味について、ある程度の解釈が成立する余地があるだろう。

35㎡内外の大型住居
辟邪の威力
建築儀礼

(3) 石製品・土製品

ａ．砥　　石

砥石は19個体検出されている。上栗須寺前遺跡における砥石の出土状況の特色は、比較的小型の砥石が住居外（溝・土坑・溜池）から出土しており、その割合は50％に近い。また中には携帯用に小穴を穿っているものも見られる。砥石は当然刀子等の刃物に使用されるもので、刀子の出現時期と符丁を合わせるように３期から確認されている。今後の課題としては、他の遺跡との比較の中から、該遺跡の住居外からの砥石出土の割合の高さの意味するものについて考察したい。

出土状況
住居外出土

ｂ．紡　錘　車

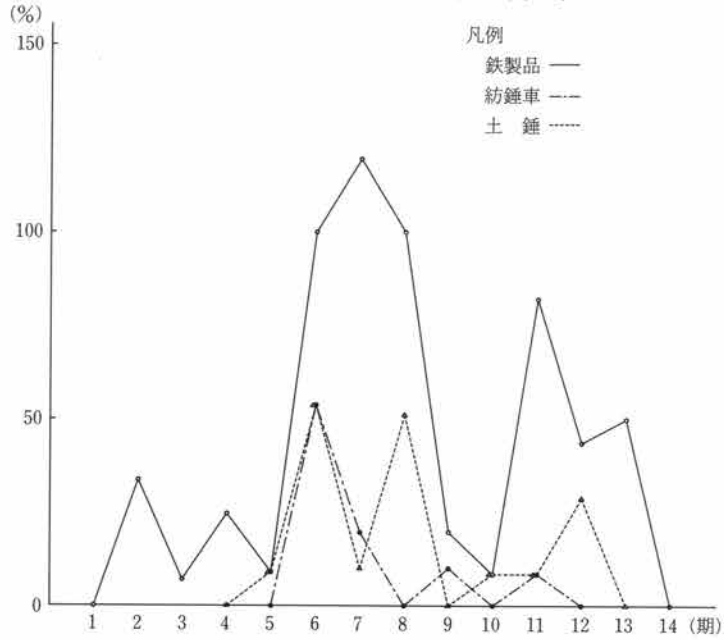
紡錘車は10個体確認されており、砥石の出土状態とは異なり90％が住居址内出土である。紡錘車の出土状況の特徴的なことは、６期に該遺跡の出土量の半分以上が集中しており、９世紀前半にピークのある吉井町矢田遺跡のありようとも若干の違いがある。

出土状態
９世紀前半

ｃ．土　　錘

土錘は17個体確認されて、１個体を除いてすべて住居址内の出土である。土錘は５期から出

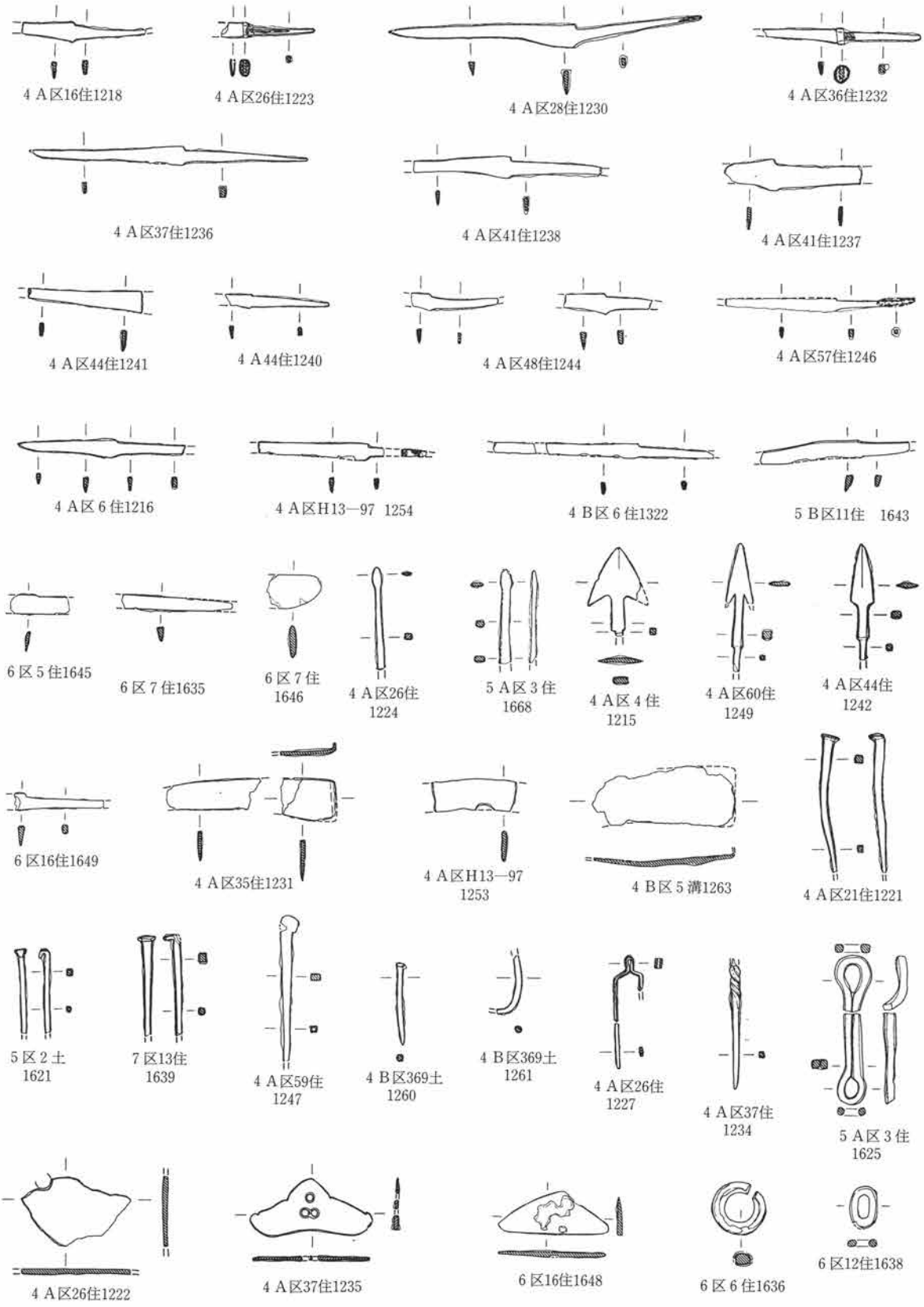
鉄製品、紡錘車、土錘の一住居当りの出土率



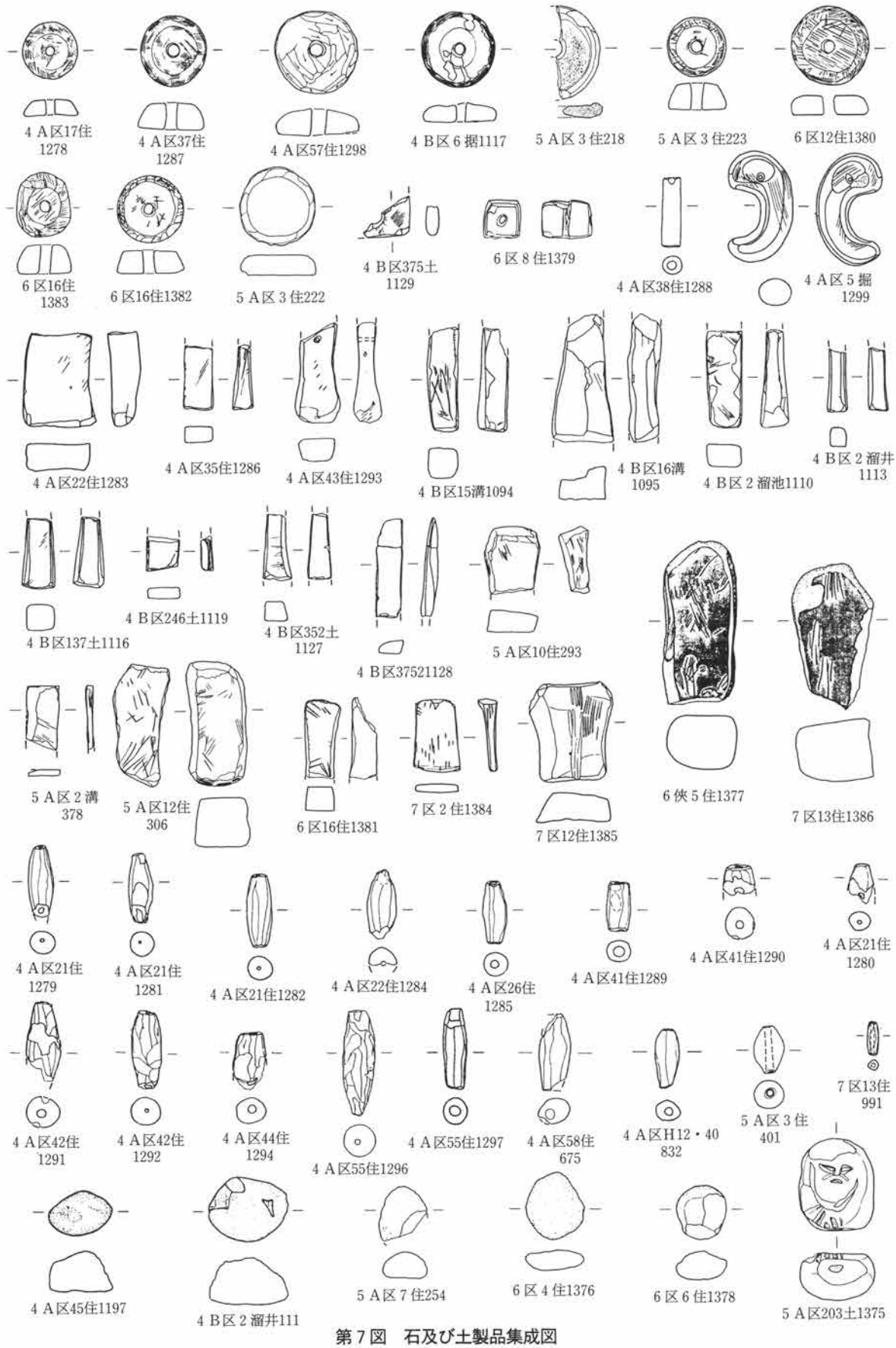
住居別出土遺物一覧表

区	住居番号	鉄製品 △	紡錘車 ▲	土錘 ■	石製品 □	墨書 ●	金環 ○
4A	4 号 住	△					
	6 号 住	△					
	11 号 住					●●	
	14 号 住				□		
	15 号 住				□		
	16 号 住	△					
	17 号 住		▲				
	21 号 住	△		■■ ■■			
	22 号 住			■	□		
	26 号 住	△△△ △△△ △					
	28 号 住	△					
	35 号 住	△			□		
	36 号 住	△					
	37 号 住	△△△			□		
	38 号 住				□		
	41 号 住	△△		■■			
	42 号 住			■■			
	43 号 住				□		
	44 号 住	△△△ △△△		■			
	48 号 住				□		
	47 号 住				□		
	48 号 住	△△					
	58 号 住			■■			
	57 号 住	△	▲				
	58 号 住			■			
	59 号 住	△					
	60 号 住	△△					
4B	06 号 住	△					

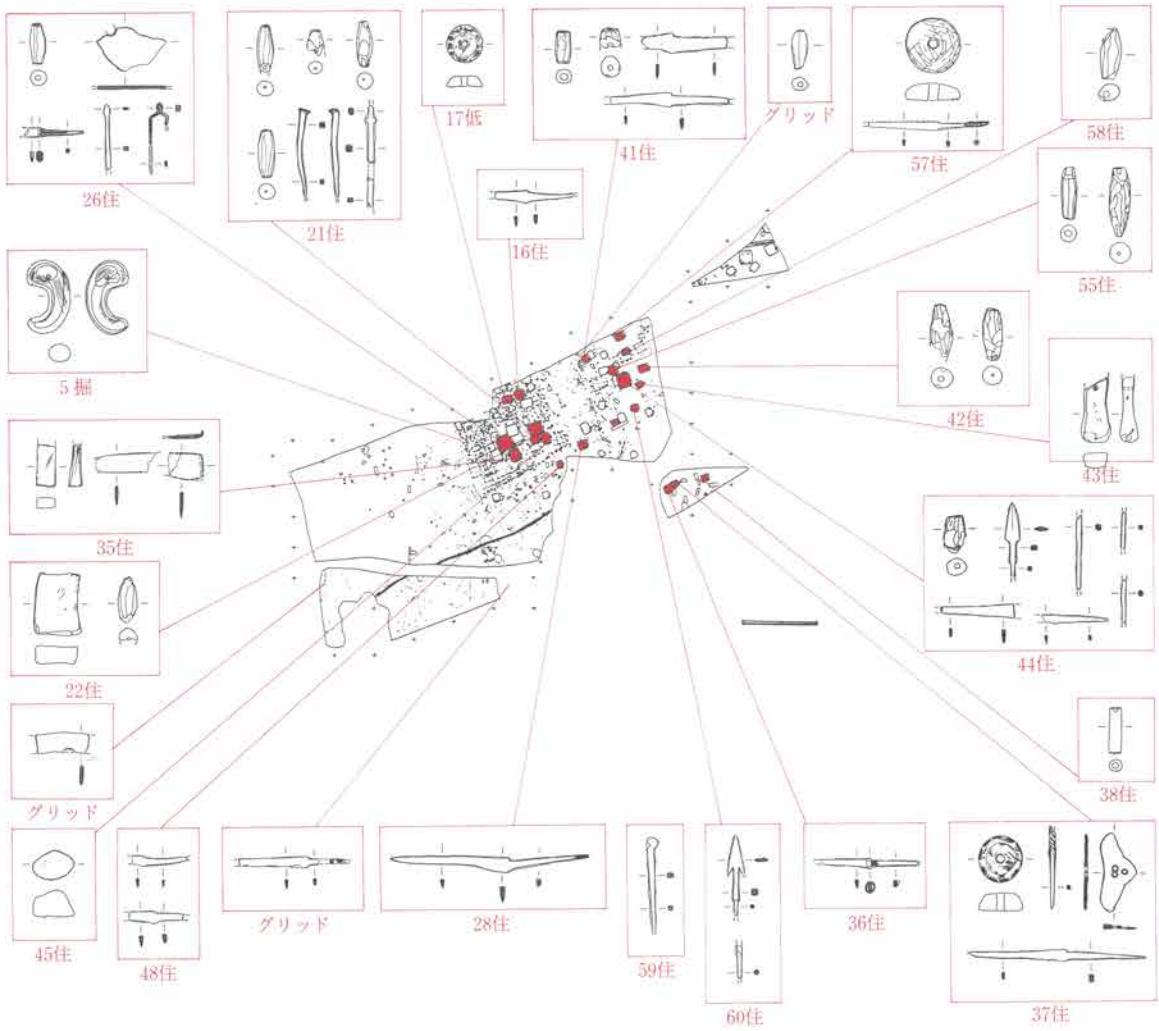
区	住居番号	鉄製品 △	紡錘車 ▲	土錘 ■	石製品 □	墨書 ●	金環 ○
5A	2 号 住	△			□□ □		
	3 号 住	△△△ △△△ △△	▲▲	■	□		
	4 号 住	△					
	6 号 住					●	
	7 号 住				□		
	8 号 住	△			□		
	10 号 住				□□		
	12 号 住				□		
	13 号 住	△					
5B	6 号 住	△					
	11 号 住	△			□		
	15 号 住				□		
6区	2 号 住	△△			□		
	4 号 住				□		
	5 号 住	△			□		
	6 号 住				□		○
	7 号 住	△△					
	8 号 住				□□		
	9 号 住	△					
	10 号 住				□		
	12 号 住	△	▲				
	16 号 住	△△	▲▲		□		
7区	2 号 住				□		
	4 号 住				□		
	5 号 住					●	
	7 号 住					●	
	11 号 住					●	
	12 号 住				□□		
					□□		
	13 号 住	△		■	□		
	14 号 住				□		
	19 号 住	△					


4 A区16住1218
4 A区26住1223
4 A区28住1230
4 A区36住1232
4 A区37住1236
4 A区41住1238
4 A区41住1237
4 A区44住1241
4 A44住1240
4 A区48住1244
4 A区57住1246
4 A区 6 住1216
4 A区H13—97 1254
4 B区 6 住1322
5 B区11住 1643
6 区 5 住1645
6 区 7 住1635
6 区 7 住
1646
4 A区26住
1224
5 A区 3 住
1668
4 A区 4 住
1215
4 A区60住
1249
4 A区44住
1242
6 区16住1649
4 A区35住1231
4 A区H13—97
1253
4 B区 5 溝1263
4 A区21住1221
5 区 2 土
1621
7 区13住
1639
4 A区59住
1247
4 B区369土
1260
4 B区369土
1261
4 A区26住
1227
4 A区37住
1234
5 A区 3 住
1625
4 A区26住1222
4 A区37住1235
6 区16住1648
6 区 6 住1636
6 区12住1638

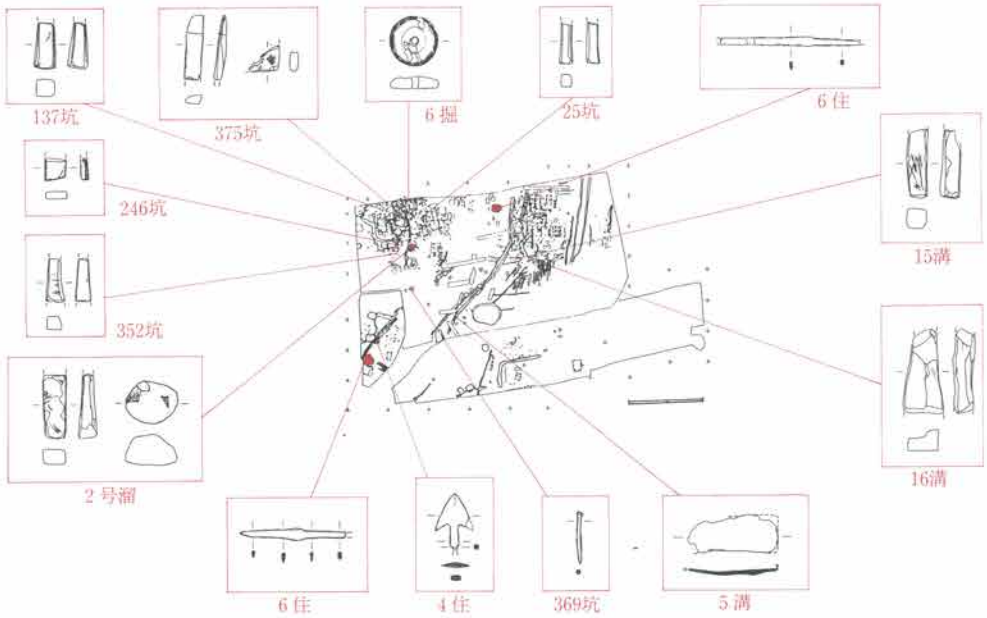
第 6 図　金属製品集成図



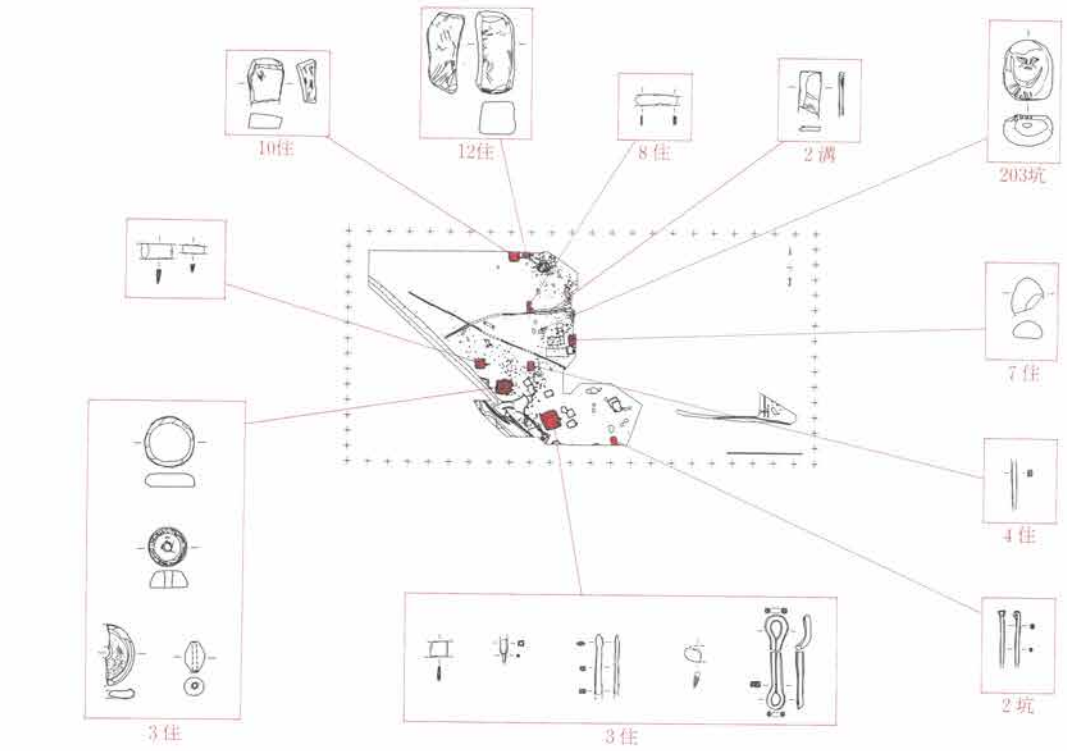
第 7 図　石及び土製品集成図

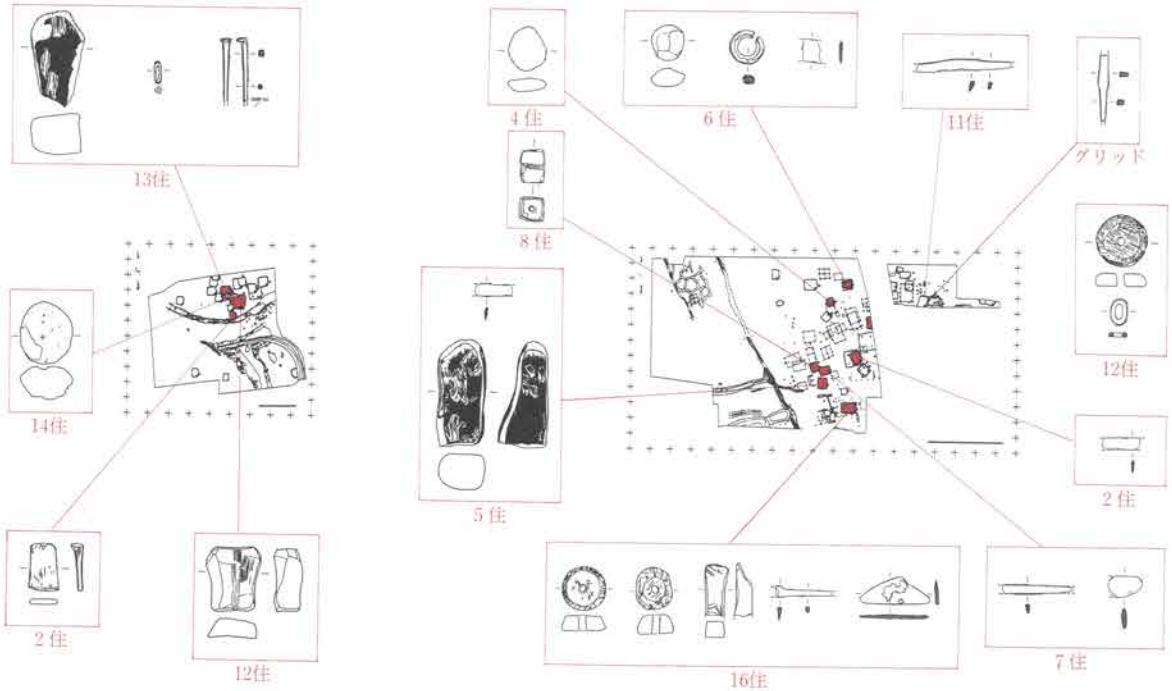


第 8 図　篠塚狐穴地区（４ＡⅠ区）遺物分布図



第 9 図　篠塚四反歩地区（４ＡⅡ・４Ｂ区）遺物分布図





第10図　下大塚北原地区（５Ｂ・６区）・本動堂参地区（７区）遺物分布図

現し、12期まで検出されている。出土遺跡地の分布には大きな偏りが見られ、全体の80%強が4A区から出土している事実は上栗須寺前遺跡群II，IIIの報告と合わせて考える必要があろう。　分布に偏り

(4) 遺物の住居址内分布について～特に土師器甕の接合関係

遺物は住居址内での出土位置と発見状態，個体の遺存状態，その遺物の帰属時期，火災の有無など住居廃絶時の状況，他の遺物との関係などの検討をへて、基本的に遺棄・廃棄・流入という類型に大別される(桐生1993)。土師器甕の出土状態を接合関係から見ると、平面的には竈を中心にした長三角形や長平行四辺形状の分布が見られる。また垂直分布は、竈から遠方へ行くにしたがい徐々にレベルを下げる傾向のものが多い。このことは、土師器甕の多くが竈に遺棄された形で存在し、住居廃絶後の竈解体時に壊されて四散したものと考えられる。またその後の埋没過程の中で、さらに変化に富んだ流入状況も加わり、接合分布として図示したような様相を示すものと思われる。　接合関係　垂直分布

2 遺　　構

(1) 竪穴住居址

第12図の竪穴住居址時期別形態分類図によると、竪穴住居址の面積はそれぞれ5㎡(極小型)，15㎡（小型)，25㎡（中型)，35㎡（大型)，45㎡（超大型）を中心とする10㎡程の領域にまとまる傾向がある。　形態分類図

7世紀段階では、超大型住居と中型住居と極小住居の組み合わせで、一般的には中型住居がこの時期の藤岡地方の民衆の住まいを示している。中型住居のほぼ4倍の面積の45㎡に近い超大型住居である5･03住は、隔絶した住まいのありようから、7世紀末における該地域の首長住居の候補のひとつであろう。　7世紀段階　首長住居

8世紀段階になると、超大型住居，大型住居，中型住居，小型住居，極小住居というように、5種類もの異なる面積を有する住居址が確認される。この時期も中型住居の割合が多いが、大型住居も普遍的で超大型住居の隔絶感はない。　8世紀段階

9世紀段階は、大型住居，中型住居，小型住居の3種類で、中型住居が数では突出している。この時期の大型住居は地域の首長層の住まいと考えられ、6区時期別遺構分布図からも理解されるように、掘立柱建物が数棟ほど竪穴住居の周囲を囲む景観が想定される。また該期の大型住居の特徴として、竈の左側の壁が外へ張り出す傾向が見られる。この傾向は神流川を越えた埼玉県児玉地方の大型住居でも看取される。　9世紀段階

10～11世紀段階では、すべて小型住居と極小住居で構成され、首長層の住まいは掘立柱建物に収斂されていくものと考えられる。小型住居のひとつの特徴として指摘できるのは、横長住居の比率の高い傾向である。これは竈の左側の空間を寝間と推定した場合、どんな小さな住居でも人が横になる空間が必要不可欠で、その空間を確保するために横長住居の必然性が出てくるものと考えられる。　10･11世紀段階　横長住居

(2) 掘立柱建物跡

上栗須寺前遺跡の掘立柱建物は、5期段階に総柱建物の倉庫として出現する。それ以降竪穴住居址と併存しながら、12期段階ころから首長層の居宅は庇付きの掘立柱建物となり（4A区　総柱建物　庇付き掘立

掘立柱建物群)、副屋等を備え周囲に柵や塀を構えるものとなる。そして、4B区に見られるよ
中世掘立　うな中世掘立柱建物跡が展開していく。

4A区の掘立柱建物跡について考えると、方位のバラツキは約25度の範囲に入っており、主軸方位の違いから分類すると、3期程度に分けることが可能である。第13図掘立柱建物跡比較
主屋　図から、面積の卓越した11掘立，7掘立，13掘立が主屋と考えられる。4A区掘立柱建物跡の面積は概略大中小に分かれ、その差は使用目的に起因するものであろう。今回の稿では4A区の柵列を伴う掘立柱建物跡群については、その変遷図も図示できず分析も何等加えられないが、後日改めて触れてみようと考えている。

(3)　方形区画遺構（37ページ参照）

方形区画遺構　該遺跡では方形区画遺構と推定されるものが4遺構確認されている。4AI区の柵列に囲まれた掘立柱建物群，4AII区の05溝と07柵列で囲まれた方形区画，6区最南端の02，04，07，08溝の区画，7区02溝の直角に曲がる区画が耕地図の地割りから方形区画が想定される。

また小字名を拾ってみると、調査地の西から東へかけて前屋敷，稲荷屋敷，原屋敷，鍛冶屋
中世居館　敷，番匠屋敷と中世居館を想像させる地名が、ほぼ標高80～90mの等高線上にのっている。確認された遺構と地名・伝承等との考究は今後の課題である。

a．4AI区方形区画遺構

50mの柵列　該遺構は南側を約50m程の柵列が巡り、東側にも一部分柵列が回っていたものと考えられる。
半町四方　北側は調査区外で不明だが、およそ半町四方の方形区画が推定される。また掘立柱建物跡の方位や切り合いから3期の変遷が予想される。4AI区の最終末竪穴住居址が12期であるからして、13期段階の10世紀後半にはすでに成立していたものと考えている。

b．4AII方形区画遺構

柵列　該遺構は西側と北側を幅1m程の05溝で囲まれ、南側を柵列で限られているが遺構はさらに南へ広がる可能性がある。東側には柵や溝は確認されず浅い小谷が存在し、区画線を兼ねていると思われる。区画の東西線は小谷までを含めると約25mを数え、南北線も25m位あるとすれば南郭の存在の確率は高い。時期に関しては、遺物が皆無であるので特定できない。

c．6区方形区画遺構

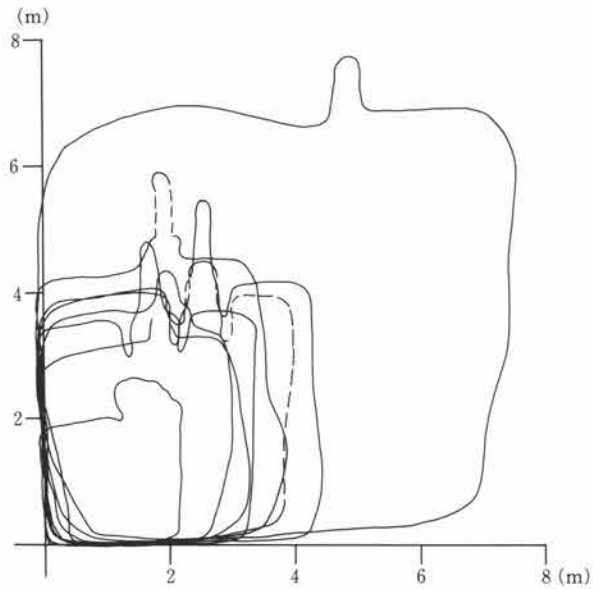
該遺構は6区最南端に位置し、その大部分は調査区外で方形区画の東北隅を確認したにすぎ
鍛冶屋敷　ない。この辺りの小字地名は中世居館を想像させる鍛冶屋敷であり、耕地図の地割りからも方形の区画が推定できる。平面図を見ると6･02，04溝が直交し、該方形区画遺構の外郭線と想定
中世墓群　できる。また外郭線の外側の鬼門の方角に当たる東北隅には、北宋銭が埋納された中世墓群が検出されており、方形区画遺構との可能性を考慮する必要があろう。

d．7区方形区画遺構

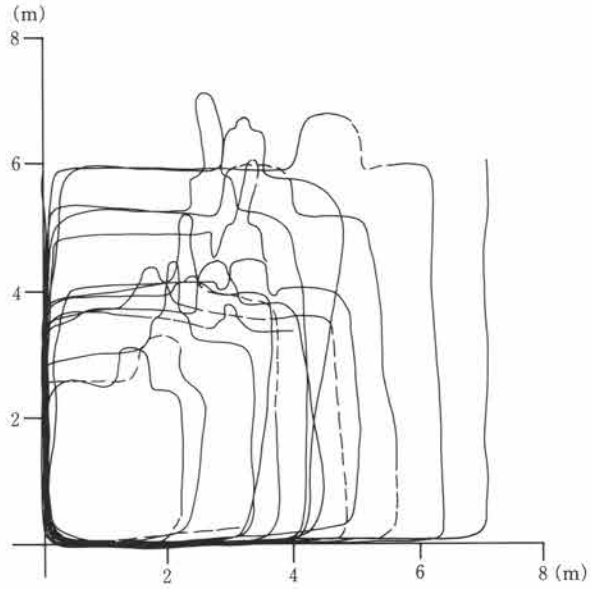
稲荷屋敷　該遺構は7区東南端に位置し、方形区画の北西隅が7･02溝として確認されている。稲荷屋敷
本動堂城　という小字名をもち、北西方向350mには中世城郭址とされる本動堂城が存在する。耕地図の地割りからも方形区画が窺え、あたり「台」という地名に似つかわしく比高差3mの台地上に立地する。

この遺構の内部には、周辺の竪穴住居址では古期（5期）に属する7･20住が存在し、該方形区画遺構の上限の時期と思われる。下限については、溝内に墨書のある須恵器坏底部と回転糸

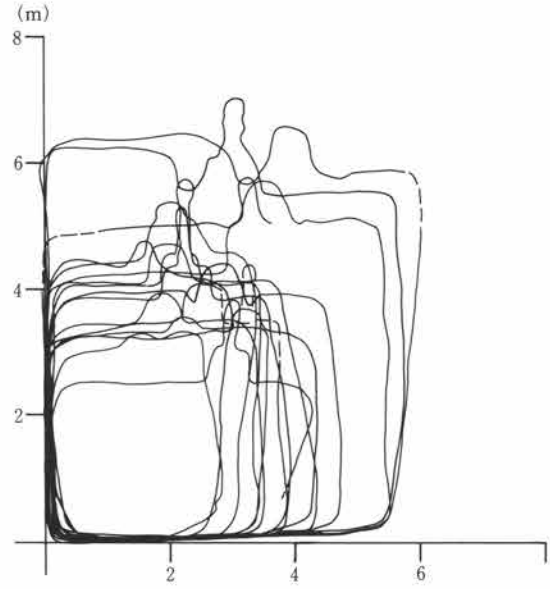
第12図　竪穴住居址時期別形態分類図



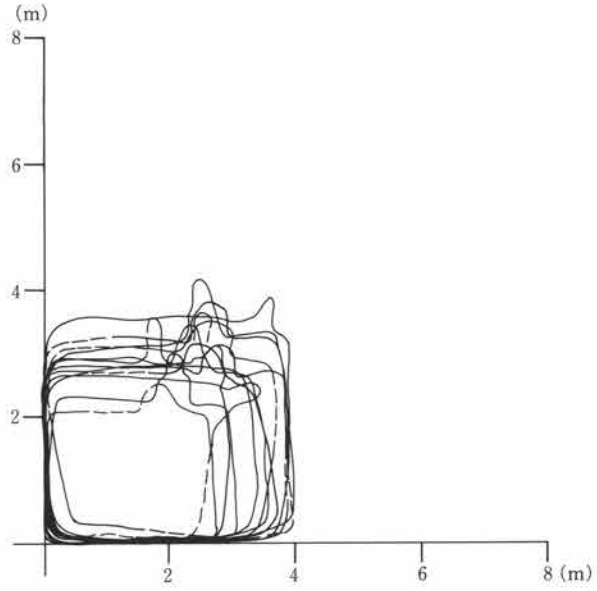
7 世 紀



8 世 紀

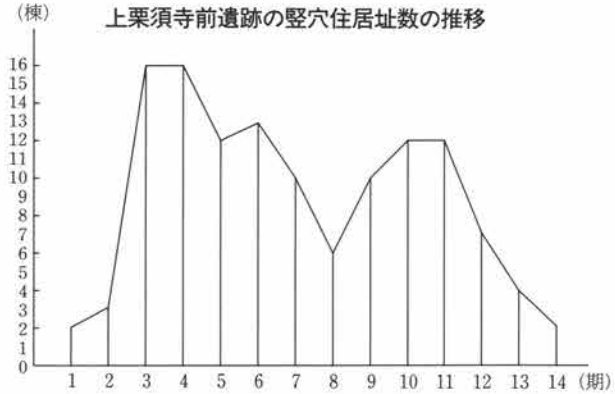


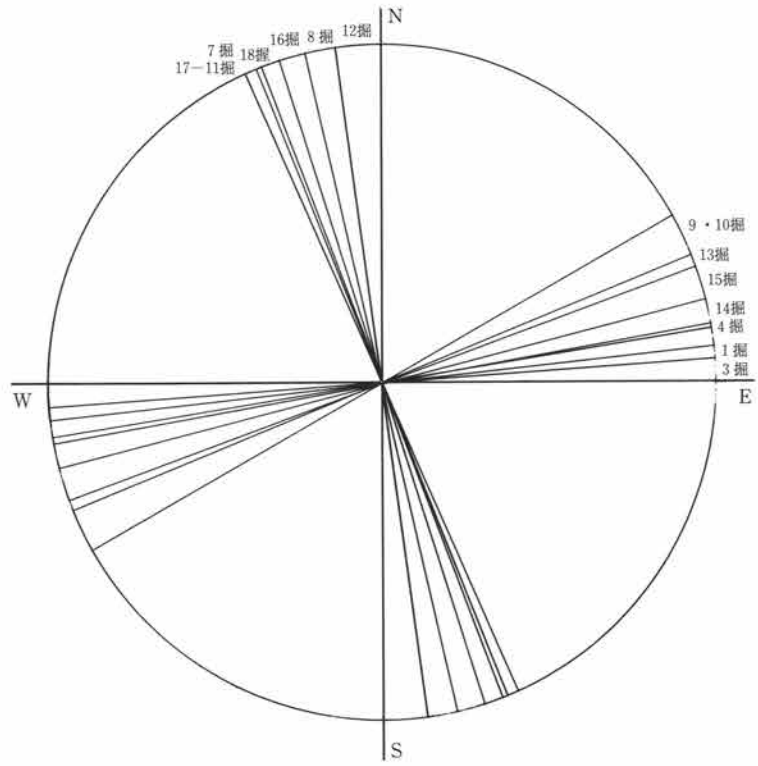
9 世 紀



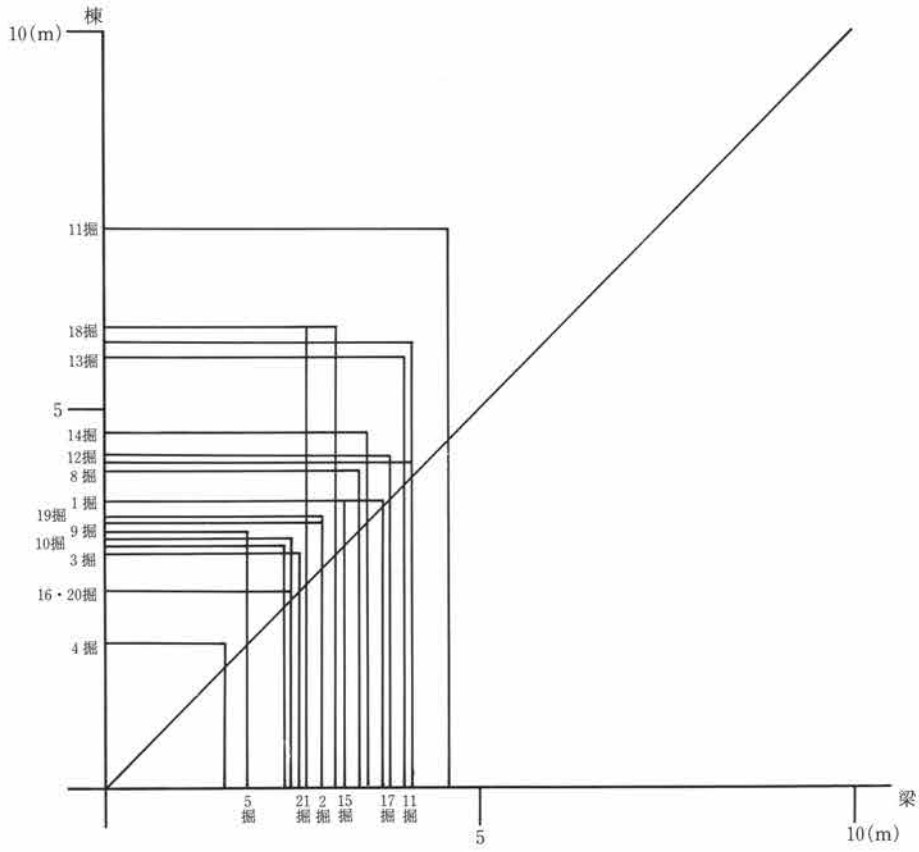
10～11世紀

上栗須寺前遺跡の竪穴住居址数の推移





掘立柱建物跡陳方位



第13図　掘立柱建物跡比較図

切り底の須恵器坏があり、埋没土の土層断面上部にはAs-B軽石層がレンズ状に厚く堆積している様相から(該溝は12世紀初頭にはほぼ埋まり切ってしまった)、埋没開始を10世紀中頃と考えると、国府機構の成立期から衰退期と符合する活動時期を有する遺構と言うことができる。　国府機構

(4) 集落変遷

上栗須寺前遺跡群は藤岡扇状地の扇端部を東から西に向かって巨大なトレンチを穿ったようなもので、扇状地上の微高地と小谷とが繰り返し立ち現れる遺跡景観を示している。下大塚北原地区の6区は小谷内に位置し該遺跡に人が居住を開始した1期から10期まで、継続して人々の生業の痕跡が随所に見られ、いわば上栗須寺前遺跡のごく普通の家族集団の変容が追える遺跡である。以下その変遷について若干の論述を試みたい。　遺跡景観　生業の痕跡

1期

2棟の竪穴住居址が20m程の距離をおいて並んで存在する。01住と10住である。どちらも小型住居だが、01住は柱穴と貯蔵穴を穿ち、遺物も土師器甕を中心に多いが、10住は柱穴もなく貯蔵穴のみで遺物は極端に少ない。この2棟の住居は、柱をもちしっかりした造りの01住（壁も立っている）を主屋に、10住を副屋にした集落景観が想定できよう。

3期

1期に人々の居住が開始されたが2期に一旦断絶があり、再び3期には2棟(06住，09住)の竪穴住居が東西に10mの距離をおいて並列して出現する。面積から言えば09住のほうが大きく主屋としての条件を備えているが、06住の出土遺物の中に金銅製の金環が含まれているため判断が難しい。いずれにしても、南に入り口を有する2棟の竪穴住居が並んで存在する集落空間である。東側の微高地には同期の竪穴住居が数棟たむろしている。　金環

5期

4期にも断絶をみた該地区の集落が、5期には大きくａ，ｂ，ｃ3小期の変遷を遂げる。　3小期の変遷

ａ期は45㎡もの超大型住居である11住と、倉庫とみられる総柱の掘立柱建物及びすぐ東に近接する2棟の掘立柱建物群である。ここでは当然巨大な11住が主屋で、11住のすぐ南には柵列が結われ、居宅の区画意識が窺われる。　ａ期

ｂ期は03ｂ住を中心にして鍵の手状に掘立柱建物が配され、17掘立は束柱痕をもち床ばりの可能性も考えられる。柵列はさらに西に伸びて南側の空間との区画意識を際だてている。　ｂ期

ｃ期も03ａ住を中心に掘立柱建物が鼎立する様相をしめし、竪穴住居1棟にたいして掘立柱建物複数棟という基本パターンは変わらない。柵列も僅かながら南側に認められる。　ｃ期

6期

該期はａ，ｂの2小期に分かれる。　2小期の変遷

ａ期は主屋と目される02住の縮小の故か、東西に立ち並ぶ掘立柱建物群の北側に、10㎡強の面積の04住が建てられる。6区の掘立柱建物は、この時期に大きい面積をもつものが多い傾向にある。柵列は南側と西側に一部認められる。　ａ期

ｂ期は南側の一角に16住が見られるだけだが、16住は5期段階からしきりに意識された南空間の敷地を有する別の集団に属する竪穴住居の可能性が強く、副屋としての掘立柱建物はさらに南に展開するものと予想される。　ｂ期

7期

1　期

0　30m

3　期

0　30m

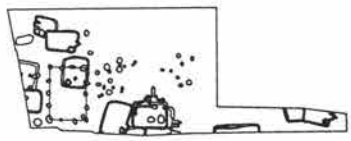
5 a 期

0　30m

第14図　6 区時期別遺構分布図

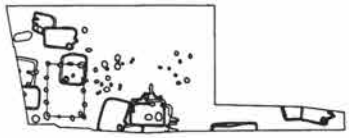
第15図　6区時期別遺構分布図

第16図　6区時期別遺構分布図



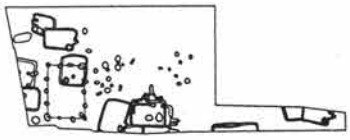
8 b期

0　　30m



9　期

0　　30m



10　期

0　　30m

第17図　時期別遺構分布図

住居パターン　該期の住居パターンは、竪穴住居1棟に対して掘立柱建物2棟の組み合わせで、基本的にはこのパターンが9期段階まで継続する。主屋は依然竪穴住居の可能性が強いが、すでにこの期あたりから主屋と副屋の位置が逆転して、竪穴住居が竈屋として機能し始めた可能性もある。

面積格差　13掘立と08住との面積格差は2倍近いものがある。

8期

2小期の変遷　該期はａ，ｂの2小期に分かれる。

ａ期，ｂ期ともに柵列を挟んで、掘立柱建物2棟と竪穴住居1棟で構成され、この様相からは主屋（寝屋）が掘立柱建物で、竪穴住居が竈屋と考えるとその狭さにも合点がいく。また07住は火災に会った可能性があり、それゆえに近接する敷地内に別の竈屋（05住）を築造したとすると矛盾がない。

主屋

竈屋

9期

該期は竪穴住居1棟と掘立柱建物2棟の基本パターンは変わらないが、竪穴住居も掘立柱建物も東側に移り、その面積規模は矮小化され、昔日の面影は既にない。律令体制の崩壊が地方の農民層の活力をも奪い取った故の現象と理解できるのだろうか。

律令体制の崩壊

10期

極小竪穴住居　該期になるとこの小谷では、全く矮小化された極小竪穴住居2棟しか見当たらず、掘立柱建物は姿を消してしまう。そして11期以降住居は営まれず、中世居館がこの地に築かれるまで、耕地として利用されていたものと考えられる。

上栗須寺前遺跡群では14期まで竪穴住居址が確認されているが、その最終末に近い時期のものは一様に微高地上に展開している。そのことから類推すると、6区でみた集落の構成員はおそらく東側の微高地上に居を移し、生業を継続したものと調査事実から推測している。

⑷　ま　と　め

上栗須寺前遺跡群は前述したように、扇状地の扇端部を東西に横切るために、微高地と小谷とが繰り返し立ち現れる地形的特徴をもっている。7世紀の初頭に扇状地上に営まれ始めた人々の生活を竪穴住居址の推移からおおまかに概観すると、8世紀前半に微高地上に爆発的に増加した奈良時代のムラは、後半になると小谷の沖積地にも広がりを見せる。この傾向は9世紀初頭にも見られるが、9世紀前半に洪水に襲われた影響からか、その後は極端な竪穴住居の減少をもたらし、一応の回復が確認されるのは9世紀末葉になってしまう。しかしながら、小谷の集落は9世紀後半になってもその打撃から立ち直れず、微高地に居を移して10世紀を迎える。6区の集落変遷から窺えることは、洪水を画期に竪穴住居から掘立柱建物への主屋の役割変換が行われた可能性が高い。そして徐々に竪穴住居はその役割を終え、掘立柱建物を中心とした建物構成が主流となり中世を迎えるものと思われる。

7ｃ初頭

8世紀前半

9世紀前半

9世紀末葉

10世紀

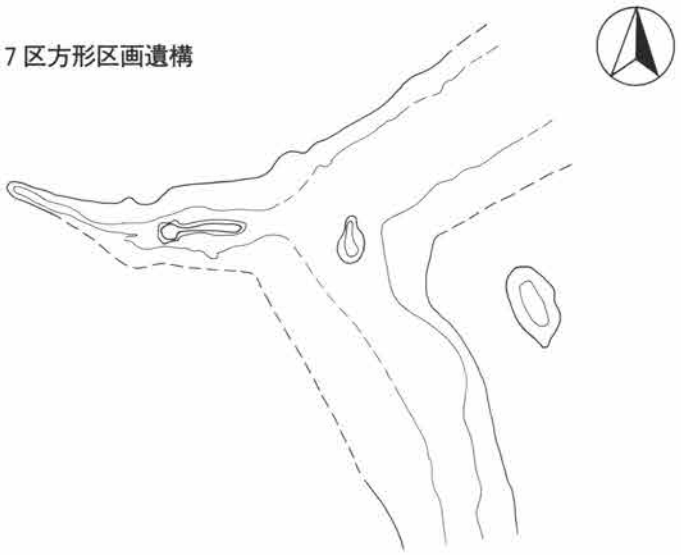
集落変遷

中世　6区の中世は土層断面の観察から推測すると、浅い小谷全体に水田耕作が開始され、徐々に耕作域を拡大していった様相が窺える。

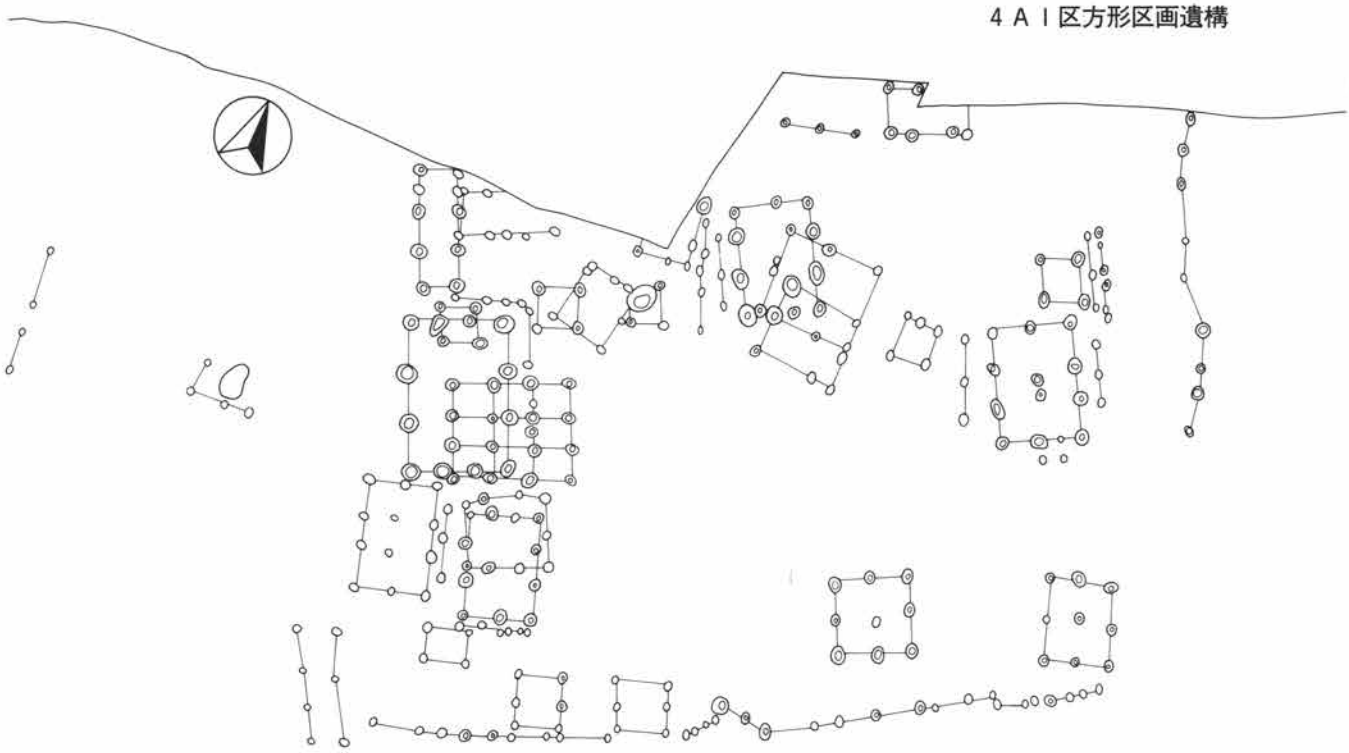
方形区画遺構一覧

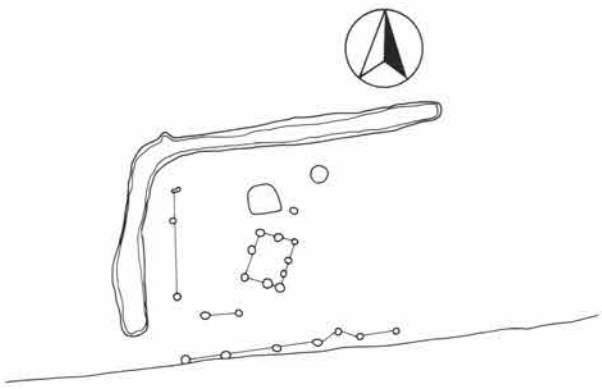
（1：400）

7区方形区画遺構

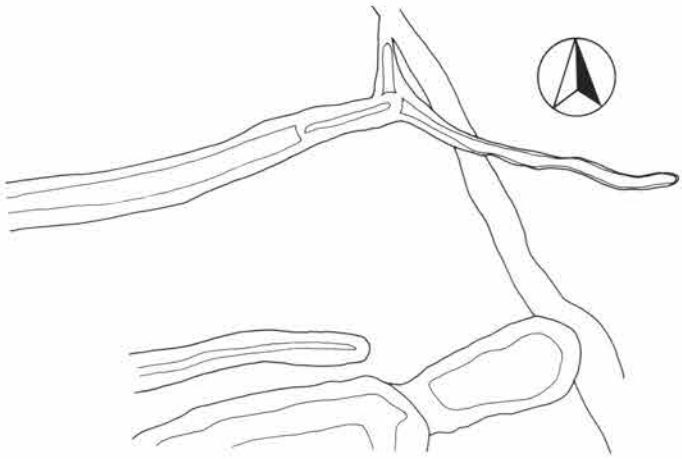


4 A Ⅰ区方形区画遺構





4 A Ⅱ区方形区画遺構



6区方形区画遺構

報告書抄録

フリガナ	カミクリステラマエイセキグン
書名	上栗須寺前遺跡群Ⅰ
副書名	関越自動車道（上越線）地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第13集
シリーズ名	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告
シリーズ番号	第141集
編集者名	岸田治男
編集機関	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒377　群馬県勢多郡北橘村大字下箱田784—2
発行年月日	西暦1994年3月25日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 m²	調査原因
カミクリ ステラマエ 上栗須寺前	フジオカ シ 藤岡市 シノヅカキツネアナ 篠塚狐穴 シノヅカヨンタン ブ 篠塚四反歩 シノヅカセイ ダ 篠塚清太 シモオオツカキタハラ 下大塚北原 モトユルギドウダイ 本動堂台	10209	10005 —00301	36°15′45″	139°04′20″	19920401 〜 19931025	11,398 2,822 1,139 2,730 1,125	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
上栗須寺前	住居	古墳時代	竪穴住居	7棟	土師器	
		奈良・平	竪穴住居	140棟	土師器・須恵器	
		安時代	掘立柱建物	56棟		方形区画遺構
		中世	掘立柱建物	25棟		
	溝	平安時代	溝状遺構	64条		
		中世	溝状遺構			
	方形区	平安時代	方形区画柵列	1ヶ所		
	画遺構	中世	方形区画溝	3ヶ所		

竪穴住居址形態一覧表

(m)

住居番号	東西軸	南北軸	長軸比	面積(㎡)	方　位	柱穴	形状	竈位置	期
4A01	2.40				N118°E	0	横長	南壁東	3
4A02	2.59				N 10°E	0	横長	北壁東	4
4A03					N 55°E	0	?	東壁	6
4A04					N103°E	0	横長	東壁南	2
4A06		4.05			N 67°E	0	?	東壁南	11
4A07		3.38			N 25°E	0	横長	北壁中	3
4A08	2.50	2.48	0.99	5.38	N 56°E	0	方形	東壁南	6
4A09	3.30	4.20	0.79	12.47	N 84°E	0	横長	東壁中	9
4A10	2.42	3.34	0.72	7.51	N 92°E	0	横長	東壁南	9
4A11	3.14	4.20	0.75	12.22	N 69°E	1	横長	東壁南	7
4A12	2.58	2.43	0.94	6.04	N 56°E	0	方形	東壁南	4
4A13	2.88				N 89°E	0	?	東壁南	12
4A14		4.02			N 95°E	0	?	東壁南	12
4A15	4.13	3.22	0.78	12.54	N 72°E	1	縦長	東壁中	5
4A16	3.26	3.30	0.99	10.62	N 65°E	0	隅丸	東壁南	5
4A17	3.54	2.70	0.76	7.88	N 78°E	6	縦長	東壁南	11
4A18	3.17	2.80	0.88	(6.86)	N178°W	0	横長	南壁東	2
4A19	2.80				N 95°E	0	?	?	5
4A21	5.30	4.70	0.89	18.40	N 72°E	2	台形	東壁南	6
4A22	3.40	3.40	1.00	11.85	N 76°E	0	方形	東壁南	10
4A23	4.10	3.95	0.96	15.58	N 70°E	0	縦長	東壁南	7
4A24	4.30	4.16	0.97	17.11	N 69°E	0	縦長	東壁南	7
4A25					N 68°E	0	?	?	6
4A26	6.20	5.70	0.92	33.32	N 67°E	0	縦長	東壁南	6
4A27	2.35				N 68°E	0	横長	東壁南	—
4A28	3.40	3.20	0.94	10.49	N 76°E	0	縦長	東壁南	10
4A29					N 81°E	0	?	東壁	8
4A30	3.30	4.80	0.69	16.48	N 71°E	0	横長	東壁南	8
4A32	2.52	2.86	0.88	7.07	N 80°E	0	横長	東壁南	10
4A33	3.40	2.66	0.78	8.70	N 67°E	0	縦長	東壁南	7
4A34	2.54	2.46	0.97	6.06	N 75°E	0	縦長	東壁中	10
4A35	4.10	4.52	0.91	17.97	N 67°E	2	横長	東壁南	5
4A36	3.53	2.80	0.79	9.27	N 66°E	0	縦長	東壁南	6
4A37	2.88	2.40	0.83	6.57	N 65°E	0	縦長	東壁南	7
4A38	2.34	2.34	1.00	7.33	N 75°E	0	方形	東壁南	7
4A39	4.06	3.90	0.96	15.46	N 62°E	0	縦長	東壁南	6
4A40					N120°W	0	?	?	10
4A41	2.90	3.08	0.94	(7.55)	N 76°E	0	方形	東壁南	8
4A42	4.04	2.92	0.72	11.39	N 73°E	0	縦長	東壁南	6
4A43	2.50	2.34	0.94	5.87	N 56°E	0	縦長	東壁南	6
4A44	5.00	5.50	0.91	27.43	N 72°E	4	横長	東壁南	11
4A45	3.70	4.20	0.88	(14.90)	N 74°E	1	横長	東壁中	5
4A46	2.60	3.10	0.84	7.87	N 67°E	0	横長	東壁南	11
4A47	2.54	3.46	0.73	8.45	N 68°E	0	横長	東壁南	7
4A48	2.08	2.86	0.73	5.60	N 78°E	0	横長	東壁南	11
4A52	2.74	3.52	0.78	9.59	N 80°E	0	横長	東壁中	10
4A53	3.62	2.74	0.76	9.61	N 77°E	0	横長	?	9
4A54	2.38	2.60	0.92	5.89	N 65°E	0	方形	東壁南	1
4A55	3.10	3.44	0.90	9.92	N 85°E	0	横長	東壁南	12
4A56		4.10			N 81°E	0	?	?	—
4A57	3.96	2.80	0.71	10.59	N 65°E	0	縦長	東壁南	6
4A58	3.06	2.46	0.80	7.23	N 61°E	4	縦長	東壁南	5
4A59	2.58	2.30	0.89	5.98	N 59°E	0	縦長	東壁南	11
4A60	2.80	2.81	1.00	7.37	N 87°E	0	方形	東壁南	12
4A61	2.50	2.30	0.92	(3.13)	N 86°E	0	縦長	東壁中	4
4A64	3.36	2.74	0.82	9.04	N136°W	0	縦長	西壁中	3
4A65	4.50	5.10	0.88	22.42	N 94°W	4	横長	西壁南	4
4A66	3.14	2.70	0.86	8.02	N 61°E	0	縦長	東壁南	5
4B01					N 93°E	2	?	東壁	1
4B02		2.00			N 81°E	0	縦長	東壁中	11

(m)

住居番号	東西軸	南北軸	長軸比	面積(㎡)	方　位	柱穴	形状	竈位置	期
4B03		2.50			N 69°E	0	縦長	東壁中	10
4B04	2.50	2.18	0.87	4.86	N 77°E	0	縦長	東壁南	—
4B05	3.10	4.00	0.78	(11.30)	N 60°E	0	横長	東壁南	4
4B06	2.80	2.86	0.98	7.82	N 98°E	0	方形	東壁南	6
5 01	2.90	3.74	0.78	(9.13)	N 81°E	0	横長	東壁南	14
5 02	2.96	2.36	0.80	9.93	N 67°E	0	縦長	東壁南	3
5 03	6.60	6.50	0.98	43.82	N 70°E	4	方形	東壁南	3
5 04	1.76	2.06	0.85	4.68	N 82°E	0	縦長	東壁南	3
5 05	2.52	2.72	0.93	7.50	N 67°E	0	方形	東壁南	2
5 06	2.62	5.10	0.51	(13.97)	N 72°E	0	?	東壁南	1
5 07	2.40				N 69°E	0	?	東壁	11
5 08	2.90	2.18	0.75	7.53	N 72°E	0	横長	東壁南	3
5 09	3.40	3.26	0.96	11.28	N 60°E	0	方形	東壁南	3
5 10	2.24				N 76°E	0	?	東壁南	—
5 11		2.50			N 90°E	0	?	東壁南	11
5 12					N 4°E	0	?	?	—
5A01		2.46			N 97°E	0	?	東壁中	—
5A02	3.44	3.10	0.90	9.77	N 89°E	2	縦長	東壁南	9
5A03	5.00	5.00	1.00	28.77	N 98°E	4	方形	東壁中	7
5A04	2.46	3.38	0.73	8.31	N 92°E	0	横長	東壁南	10
5A05	2.48	2.46	0.99	7.69	N 67°E	0	方形	東壁南	—
5A06	2.12	3.76	0.56	7.97	N 72°E	0	横長	東壁南	12
5A07	2.74	3.10	0.88	8.49	N 77°E	0	横長	?	9
5A08		3.92			N 85°E	0	?	東壁南	12
5A09	2.90	2.86	0.99	8.29	N 84°E	0	方形	東壁南	4
5A10	3.68	3.54	0.96	12.04	N 92°E	0	?	東壁南	3
5A11	4								—
5A12	2.82				N 94°E	0	?	東壁	3
5A13	2.54	3.12	0.81	8.98	N 85°E	0	横長	東壁中	13
5A14	3.66	2.98	0.81	10.90	N 81°E	0	縦長	東壁中	3
5A15	2.62				N 85°E	0	?	?	4
5A16		3.74			?	?	?	東壁南	—
5A17		3.60			N 67°E	1	?	東壁南	2
5A18	3.72				N106°E	4	方形	東壁南	7
5B01	3.13	3.64	0.86	11.75	N 94°E	0	横長	東壁南	14
5B02	3.34				N102°E	0	?	東壁	10
5B03	3.56				N 97°E	0	?	東壁	11
5B04	5.68				N 89°E	0	?	?	—
5B05		2.64				0			—
5B06	4.20				N 91°E	0	?	東壁南	4
5B07		3.52			N 10°E	0	3		—
5B08									—
5B09	4.28	3.30	0.77	16.76	N 1°W	0	横長	北壁西	3
5B10					N 7°W				4
5B11	3.18	4.04	0.79	13.98	N101°E	0	横長	東壁南	3
5B12	4.12	2.56	0.62	10.86	N 78°E	0	縦長	東壁中	7
5B13	4.60				N 93°E	0			4
5B14	2.42	2.42	1.00	7.73	N 65°W	0	不整	西壁中	4
5B15	3.58				N 90°E	0		東壁中	3
6 01	3.56	3.92	0.91	16.58	N 46°E	4	横長	東壁南	1
6 02	3.68	4.40	0.84	16.59	N 77°E	0	横長	東壁南	6
6 03a	5.50	5.90	0.93	34.75	N 79°E	4	方形	東壁南	5
6 03b	4.84	4.88	0.99	26.86	N 79°E	4	方形	東壁南	5
6 04	2.60	2.70	0.96	10.96	N 74°E	0	方形	東壁南	4
6 05	3.48	4.34	0.80	16.53	N 92°E	1	横長	東壁南	8
6 06	3.28	2.78	0.85	12.75	N 86°E	0	縦長	東壁南	3
6 07	3.72	3.02	0.81	12.61	N 73°E	0	縦長	東壁中	8
6 08	2.82	3.20	0.88	11.60	N 68°E	0	横長	東壁南	7
6 09	4.98	3.78	0.76	20.65	N 87°E	0	縦長	東壁南	3
6 10	3.16	3.06	0.97	10.73	N 48°E	0	方形	東壁中	1

遺構一覧表

(m)

住居番号	東西軸	南北軸	長軸比	面積(㎡)	方　位	柱穴	形状	竈位置	期
6 11		6.66			N 78°E			5	—
6 12		4.28			N 6°W			9	—
6 13	2.52	3.58	0.70	9.91	N 94°E	0	横長	東壁南	10
6 14	2.30				N 85°E	0			10
6 15	2.22	1.90	0.86	5.11	N 77°E	0	縦長	東壁南	4
6 16	5.74	4.14	0.72	24.44	N 88°E	1	縦長	東壁南	6
6 17	2.34	2.42	0.97	6.16	N 87°E	0			—
7 01	3.60	3.56	0.99	15.56	N 83°E	0	方形	東壁南	9
7 02	1.96	2.68	0.73	5.84	N 81°E	0	横長	東壁南	11
7 03	2.26	2.28	0.99	6.03	N 88°E	0	方形	東壁南	13
7 04	2.96	3.04	0.97	10.83	N 86°E	0	方形	東壁南	9
7 05	2.56	3.14	0.82	8.64	N105°E	0	横長	東壁南	8
7 06	2.74				N 89°E	0		東壁南	4
7 07	2.56	3.44	0.74	8.80	N 79°E	0	横長	東壁南	10

(m)

住居番号	東西軸	南北軸	長軸比	面積(㎡)	方　位	柱穴	形状	竈位置	期
7 08	4.70	5.10	0.92	23.97	N 87°E	3	方形	東壁南	7
7 09	2.44				N 90°E	0	8		—
7 10	3.00	3.16	0.95	9.76	N 82°E	0	方形	東壁南	10
7 11	3.48	4.00	0.87	13.26	N 81°E	0	横長	東壁南	6
7 12	5.96	5.42	0.91	32.30	N 95°E	4	方形	東壁南	7
7 13	3.72	2.70	0.73	10.04	N 79°E	0	縦長	東壁南	8
7 14	3.58	3.34	0.93	14.19	N 78°E	0	方形	東壁南	5
7 15	2.70	3.34	0.81	8.76	N 99°E	0	横長	東壁南	13
7 16	2.70	3.22	0.84	8.69	N 99°E	0	横長	東壁南	12
7 17	1.64	1.84	0.89	3.66	N 81°E	0	横長	東壁南	—
7 18	1.86	2.44	0.76	5.48	N100°E	0	横長	東壁南	11
7 19	2.16	3.06	0.71	6.60	N 82°E	0	横長	東壁南	113
7 20		3.28			N 64°E	0			5

竪穴状遺構址形態一覧表

(m)

住居番号	東西軸	南北軸	長軸比	面積(㎡)	方　位	柱穴	形状
4A01	2.21	3.15	0.70	5.55	N 13°W	0	楕円
4A02	1.82	2.36	0.77	4.36	N 22°W	0	隅丸
4A03	1.88	2.79	0.67	5.29	N 23°W	0	方形
4A04	2.55	2.58	0.99	5.77	N 15°W	0	方形

竪穴状住居址竈計測一覧表

(cm)

住居番号	位置	炊口	燃焼部			煙道部			煙道口	
		幅	幅	高さ	奥行	幅	高さ	長さ	高さ	角度
4 A01	壁内	50	43	14	94					66°
4 A02	壁央	47	40	29	90					78°
4 A03	壁央	62	60	15	96					70°
4 A04	壁内	48	44	31	88	20	9	34	24	76°
4 A06	壁外	42	40	27	105					64°
4 A07-1	壁内	90	66	32	94				29	70°
4 A07-2						14	14	45		
4 A08	壁央	43	37	20	53					68°
4 A09	壁内	46	37	40	146				15	28°
4 A10	壁央	64	59	37	106					41°
4 A11-1	壁央	42	40	45	147					33°
4 A11-2	壁央	50	28	40	185					39°
4 A12	壁央	46	37	22	57					17°
4 A13	壁央	52	46	37	102					84°
4 A14	壁央	52	50	18	133					56°
4 A15	壁内					24	8	108		
4 A16	壁央	54	46	36	92					79°
4 A17	壁央	48	36	35	132					28°
4 A18	壁内	48	47	18	80	20	24	131	10	43°
4 A21	壁央	74	70	37	85					86°
4 A22	壁央	48	50	36	66					68°
4 A23	壁央	54	45	60	60	11	16	72	30	34°
4 A24	壁央	60	55	36	78					78°
4 A25	壁央			74		20	20	75	23	80°
4 A26	壁内	100	32	17	114					54°
4 A27	壁央	50	50	33	84					73°
4 A28	壁央	52	34	30	93					37°
4 A29	壁外	42	36	24	106					69°
4 A30	壁央	49	49	40	62					79°
4 A32	壁央	50	40	18	38					61°
4 A33	壁央	52	48	28	60					65°
4 A34	壁央	50	40	16	60					55°
4 A35	壁内	48	50	63	68	18	14	70	46	54°

(cm)

住居番号	位置	炊口	燃焼部			煙道部			煙道口	
		幅	幅	高さ	奥行	幅	高さ	長さ	高さ	角度
4 A36	壁央	46	34	27	50	28	15	85		15°
4 A37	壁央	48	43	39	70	17	23	107	10	19°
4 A38	壁央	49	49	45	55	9	14	59	30	74°
4 A39	壁央	45	37	20	110					46°
4 A40	壁内	64	52	20	62					86°
4 A41	壁央	64	59	35	95					61°
4 A42	壁央	44	39	23	82	10	2.5	25	20	48°
4 A43	壁央	32	30	25	42	12	4	43	18	52°
4 A44-1	壁内	70	66	36	84					51°
4 A44-2	壁内		43	23						30°
4 A45-1	壁外	40	38	14	97					9°
4 A45-2	壁外		33	16	65					43°
4 A46	壁外	50	47	25	64					28°
4 A47	壁央	48	41	20	52					32°
4 A48	壁外	46	42	16	44					48°
4 A52	壁外	54	50	32	42	12	10	20	20	84°
4 A54	壁外	52	34	11	74					57°
4 A55	壁外	55	49	44	78					57°
4 A57	壁内	48	57	15	56					59°
4 A58	壁外	55	55	19	74					61°
4 A59	壁外	36	33	12	50					10°
4 A60	壁央	50	40	9	46					
4 A61	壁央	48	40	30	66					
4 A64	壁央	48	46	17	85					69°
4 A65	壁央	54	50	42	80					87°
4 A66	壁央	60	46	50	79					88°
4 B01-1	壁央			(34)	(156)					
4 B01-2						36	10	146		
4 B02	壁外	42	36	18	60					
4 B03	壁外	40	30	21	70					
4 B04	壁外	40	34	25	48					
4 B05	壁内	52	38	24	36					
4 B06	壁央		50	23	74					

(cm)

住居番号	位置	炊口	燃焼部			煙道部			煙道口	
		幅	幅	高さ	奥行	幅	高さ	長さ	高さ	角度
5 01	壁央	30	30	30	68	9	32	60	14	40°
5 02	壁外	50	64	40	54	15		33	12	
5 03	壁央	40	45	60	51	30	38	75	24	
5 04	壁外	70	45	17	42					
5 05	壁央		35	18	21	13	6	20	8	
5 06	壁内	15	10	44	40					
5 08	壁内	29	29	40	30	8	6	28	24	
5 09	壁内	57	46	66	65				47	
5 11	壁外		49	23	60					
5 A01	壁央	56	50	30	47	28	15	100	10	緩く立ち
5 A02	壁外	59	59	42	80	18	13	140	22	垂直
5 A03	壁外	57	72	51	62	20	20	76	29	30°
5 A04	壁外		58	26	40	20	2	32	14	30°
5 A05	壁内		50	33	36	20	5	45	28	45°
5 A06	壁外	56	60	24	23	20	15	70		なだらか
5 A08	壁外	50	55	15	31	15	6	90	10	
5 A09	壁内	45	37	26	50	23	5	32		
5 A10	壁央	52	55	70	57	20	25	75	38	
5 A11	壁央		45	15	72					
5 A12	壁央	40	55	63	75	10	25	80	20	
5 A13	壁央	44	47	44	22	13	28	65	10	
5 A14	壁央	55	45	90	62	20	29	105		
5 A17	?		54	?	46					
5 A18	壁外		?	49	85	16	6	54	22	
5 B01	壁央	38	30	43	45	16	17	19	25	
5 B02	壁央	53	29	?	35	18	?	17		
5 B03	壁央		25	23	45					
5 B06-1	壁央	66	49	51	60	19	19	90	26	
5 B06-2						(13)	(13)	(84)		
5 B06-3						(16)	(16)	(89))		
5 B08	壁外		33	20	31					
5 B09	壁外		32	36	59					
5 B10	壁外	63	69	63	67	16	2 7 110	30		
5 B11	壁央	52	43	6	39					
5 B12	壁央		50	55	56					
5 B14	壁内		44	21	56					

(cm)

住居番号	位置	炊口	燃焼部			煙道部			煙道口	
		幅	幅	高さ	奥行	幅	高さ	長さ	高さ	角度
6 01	壁内	50	45	24	45	18	18	110		
6 02	壁外	57	50	39	60		26			
6 03-a	壁央		87	13	10.6					
6 03-b	壁央									
6 04	壁央	63	48	39	49	12	8	78	22	
6 05	壁央	63	41	15	65					
6 06	壁央	52	48	32	59			16		
6 07	壁央	50	45	19	55					
6 08	壁央	52	49	29	65			22		
6 09	壁央	63	59	49	58	19	20	120	25	
6 10	壁内	60	64	31	59	16	8	11		
6 13	壁央	47	44	19	44					
6 14	壁央	54	50	13	45		5	23		
6 15	壁央	48	42	22	60					
6 16	壁央	62	57	34	100					
6 17	壁央	42	43	15	46					
7 01	壁央	60	56	34	60	15		71	24	
7 02	壁央		47	10	41	21		35		
7 03	壁央	35	42	18	54	17	15		5	
7 04-1	壁央	49	46	29	56					
7 04-2	壁央	35	40	31	40					
7 05	壁外	39	39	11	52					
7 06	壁内	42	44	38	67	13		27	22	
7 07	壁外	54	36	41	58				26	
7 08	壁央	73	60	35	74					
7 10	壁内		40	23	60					
7 11	壁央	56	45	24	65					
7 12-1	壁央	63	49	34	78					
7 13	壁央	52	52	46	51				19	
7 14	壁内	42	45	45	72	22	17	63	8	
7 15	壁央	56	39	15	62					
7 16	壁央	63	56	13	55					
7 17	壁央	47	45	16	47					
7 18	壁央			12						
7 19	壁央	44	42	34	45	16	12	49	8	

遺構一覧表

掘立柱建物址規模計測表

(m)

遺構番号	グリッド	主軸方位	棟方向	桁		梁		面積(m²)
				長さ	柱間	長さ	柱間	
4 A01	H12-94	N 28°W	南北	6.3	3間	1.9	1間	12.0
4 A02	H12-84	N 75°E	東西	5.3	3間	2.3	1間	12.2
4 A03	H12-94	N 65°E	東西	2.0	1間	1.9	1間	3.8
4 A04	H12-95	N 25°W	南北	2.3	1間	2.2	1間	5.1
4 A05	H13-05	N 31°W	南北	7.9	3間	4.8	3間	38.0
4 A06	H13-05	N 66°E	東西	6.3	3間	5.2	3間	32.8
4 A07	H13-15	N 27°W	南北	6.0	3間	4.0	2間	24.0
4 A08	H13-16	N 24°W	南北	5.3	3間	3.8	3間	20.1
4 A09	H13-27	N 32°W	南北	2.7	2間	2.6	1間	7.0
4 A10	H13-08	N 30°W	南北	4.1	2間	4.0	2間	16.4
4 A11	H12-99	N 25°W	南北	4.3	2間	3.5	2間	15.1
4 A12	H12-88	N 38°W	南北	6.4	3間	4.3	2間	26.2
4 A13	H12-78	N 35°W	南北	2.4	1間	2.3	1間	5.5
4 A14	H12-86	N 36°W	南北	5.5	3間	4.0	2間	22.0
4 A15	H12-96	N 32°W	南北	2.1	1間	1.7	1間	3.6
4 A16	H12-86	N 11°W	南北	3.3	1間	2.7	1間	8.9
4 A17	H13-26	N 23°W	南北	2.7	2間	2.4	1間	6.5
4 A18	H12-87	N 80°E	東西	5.0	3間	4.6	3間	23.0
4 A19	H12-87	N 3°E	南北	4.3	2間	4.1	(2間)	17.6
4 A20	H12-95	N 13°E	南北	3.3	2間	3.1	1間	10.2
4 A21	H13-15	N 33°W	南北	3.9	2間	3.4	2間	13.3
4 A22	H13-25	N 72°E	東西	2.2	1間	1.8	1間	4.0
4 A23	H12-66	N 48°E	南北	4.3	4間	2.4	1間	10.3
4 A24	H12-87	N 5°W	南北	2.0	1間	1.9	1間	3.8
4 A25	I 12-61	N 27°W	南北	6.7	4間	1.9	2間	12.7
4 A26	I 12-61	N 69°E	東西	4.7	2間	4.4	2間	20.7
4 A27	I 12-42	N 29°W	南北	4.2	2間	3.9	2間	16.8
4 A28	I 12-42	N 16°W	南北	4.1	2間	3.9	2間	16.0
4 A29	I 12-43	N 59°E	東西	3.9	2間	3.4	2間	13.3
4 A30	I 12-33	N 78°E	東西	2.4	1間	1.8	1間	4.3
4 A31	E14-60	N 11°W	南北	2.9	1間	1.7	1間	4.9
4 A32	F14-77	N 20°E	南北	(2.8)	3間	2.1	2間	5.9
4 B01	F13-70	N 5°W	南北	5.9	3間	2.9	1間	17.1
4 B02	F13-71	N 5°W	南北	7.1	3間	5.1	2間	36.2
4 B03	F13-73	N 2°W	南北	3.9	2間	3.8	2間	14.8
4 B04	F13-91	N 83°E	東西	4.0	2間	3.6	1間	14.4
4 B05	F13-71	N 1°W	南北	6.6	2間	4.1	2間	27.1
4 B06	F13-62	N 8°W	南北	4.1	2間	4.0	2間	16.4
4 B07	F13-62	N 23°W	南北	2.3	1間	2.2	1間	5.1
4 B08	F13-63	N 80°E	東西	3.7	2間	2.7	1間	10.0
4 B09	F13-73	N 78°E	東西	3.8	2間	3.2	2間	12.2
4 B10	F13-73	N 82°E	東西	4.7	2間	4.0	2間	18.8
4 B11	F13-69	N 88°E	東西	3.9	2間	3.7	2間	14.4
4 B12	F13-89	N 88°E	東西	3.9	2間	3.7	1間	14.4
4 B13	F13-67	N 15°E	南北	3.5	2間	3.4	2間	11.9
4 B14	F13-68	N 3°E	東西	2.1	1間	1.6	1間	3.4
4 B15	F13-68	N 4°W	南北	4.5	2間	4.3	2間	19.4
4 B16	F13-62	N 70°E	東西	6.0	3間	3.1	2間	18.6
4 B17	F13-71	N 82°W	東西	3.6	2間	2.3	2間	8.3
4 B18	F13-88	N 81°W	東西	5.4	3間	5.3	2間	28.6
4 B19	F13-64	N 90°E	東西	2.6	2間	1.5	1間	3.9
4 B20	F13-78	N 89°E	東西	3.4	3間	1.7	1間	5.8
4 B21	F13-67	N 70°W	東西	3.4	2間	2.7	1間	9.2
4 B22	F13-67	N 77°E	東西	4.6	3間	3.6	2間	16.6
4 B23	F13-89	N 87°E	東西	5.1	2間	3.2	2間	16.3
4 B24	F13-89	N 65°E	東西	4.5	2間	3.3	2間	14.9
4 B25	F13-88	N 85°W	東西	1.9	1間	1.8	1間	3.4
5 A01	D14-34	N 85°E	東西	6.1	4間	2.9	2間	18.2

(m)

遺構番号	グリッド	主軸方位	棟方向	桁		梁		面積(m²)
				長さ	柱間	長さ	柱間	
5 A02	D14-44	N 89°E	東西	8.8	4間	3.1	1間	27.6
5 B01	B13-91	N 0	南北	6.7	4間	4.6	3間	30.3
6 01	A13-87	N 84°E	南北	3.8	2間	3.7	2間	14.7
6 02	A13-98	N 81°E	東西	3.6	2間	2.9	2間	10.8
6 03	A13-88	N 86°E	東西	3.1	1間	2.6	1間	9.2
6 04	A14-49	N 80°E	東西	1.9	1間	1.6	1間	3.2
6 05	A14-09	N 79°E	南北	3.4	2間	(1.9)	1間	6.5
6 06	A14-09	N 83°E	南北	3.1	2間	(0.6)		(1.9)
6 07	A14-19	N 22°W	南北	5.9	3間	4.1	2間	26.0
6 08	A14-07	N 13°W	南北	4.2	2間	3.4	2間	14.3
6 09	A14-28	N 61°E	東西	3.3	2間	2.5	1間	8.6
6 10	A14-27	N 61°E	東西	3.2	2間	2.4	1間	8.2
6 11	A14-28	N 24°W	南北	7.4	3間	4.6	3間	35.7
6 12	A14-26	N 8°W	南北	4.3	2間	4.1	2間	17.9
6 13	A14-45	N 68°E	東西	5.7	3間	4.0	2間	23.3
6 14	A14-46	N 76°E	東西	4.7	3間	3.5	2間	17.1
6 15	A14-56	N 70°E	東西	3.3	2間	3.2	2間	10.9
6 16	A14-58	N 18°W	南北	2.6	2間	2.5	1間	6.6
6 17	A14-37	N 24°W	南北	4.4	3間	3.8	2間	16.7
6 18	A14-09	N 21°W	南北	6.1	3間	3.1	2間	18.9
6 19	A14-01	N 17°W	南北	3.5	2間	2.9	2間	10.2
6 20	A14-39	N 81°E	東西	2.6	1間	2.5	1間	6.5
6 21	A14-36	N 16°W	南北	6.1	3間	2.7	1間	16.5

4AI区掘立柱建物址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立	1	0.70	0.65	0.25	2	0.75	—	0.20	3	0.88	0.78	0.33	4	0.75	0.65	0.40	5	0.70	0.68	0.35
	6	0.70	0.65	0.35	7	0.88	0.73	0.33	8	0.70	0.68	0.35								
2号掘立	1	0.88	0.60	0.25	2	0.45	0.30	0.33	3	1.65	—	0.35	4	0.35	0.35	0.20	5	0.75	0.65	0.35
	6	0.80	0.55	0.40	7	0.45	0.35	0.35												
3号掘立	1	0.60	0.55	0.50	2	0.65	0.65	0.53	3	0.75	0.55	0.50	4	0.65	0.60	0.35				
4号掘立	1	0.65	0.55	0.57	2	0.68	0.57	0.60	3	(0.55)	0.50	0.80								
5号掘立	1	0.80	0.70	0.45	2	1.35	0.80	0.35	3	0.68	0.60	0.65	4	1.10	0.80	0.50	5	1.00	0.75	0.60
	6	0.80	0.80	0.58	7	0.90	0.85	0.55	8	0.93	0.85	0.55	9	0.93	0.75	0.45	10	0.90	0.70	0.40
	11	0.95	0.70	0.65	12	0.95	0.90	0.55												
6号掘立	1	0.68	0.60	0.25	2	0.70	0.58	0.45	3	0.80	0.68	0.55	4	0.73	0.63	0.65	5	0.65	0.65	0.35
	6	(0.70)	(0.60)	0.20	7	(0.60)	0.50	0.20	8	0.80	0.63	0.35	9	0.63	0.40	0.40	10	0.65	0.60	0.35
	11	0.70	0.68	0.35	12	0.68	0.55	0.35	13	0.50	0.45	0.50	14	0.75	0.60	0.25	15	0.60	0.55	0.30
	16	0.60	0.55	0.40																
7号掘立	1	0.50	0.50	0.35	2	0.38	0.38	0.23	3	0.45	0.45	0.30	4	0.45	0.35	0.45	5	0.55	0.55	0.50
	6	0.50	0.45	0.40	7	0.35	0.35	0.10	8	0.50	0.45	0.40	9	0.55	0.50	0.25	10	0.50	0.45	0.20
8号掘立	1	0.40	0.40	0.35	2	0.85	0.65	0.50	3	0.40	0.40	0.30	4	0.60	0.55	0.75	5	0.60	0.50	0.50
	6	0.68	0.57	0.40	7	0.70	0.60	0.45	8	0.75	0.70	0.25	9	0.75	0.40	0.45	10	0.55	0.50	0.43
	11	1.00	0.75	0.40	12	0.65	0.55	0.30	13	0.70	0.55	0.50	14	0.65	0.60	0.40				
9号掘立	1	0.35	0.35	0.15	2	0.50	0.35	0.25	3	0.65	0.45	0.45	4	0.60	0.60	0.25	5	0.30	0.30	0.25
	6	0.45	0.35	0.55																
10号掘立	1	0.75	0.65	0.50	2	0.68	0.45	0.40	3	(0.60)	(0.50)	0.10	4	0.58	0.53	0.45	5	0.65	0.53	0.33
	6	0.80	0.55	0.40	7	0.80	0.80	0.45	8	0.65	0.45	0.40								
11号掘立	1	0.53	0.43	0.35	2	0.70	0.60	0.45	3	0.83	0.50	0.30	4	0.45	0.35	0.48	5	0.45	0.35	0.50
	6	0.48	0.38	0.45	7	0.58	0.50	0.43	8	0.43	0.33	0.45								
12号掘立	1	0.85	0.45	0.55	2	0.60	0.60	0.75	3	0.98	0.95	0.43	4	0.80	0.70	0.38	5	0.78	0.60	0.55
	6	0.73	0.68	0.68	7	0.43	0.33	0.20	8	0.85	0.75	0.35	9	0.65	0.48	0.60	10	1.05	0.53	0.73
	11	0.63	0.58	0.65																
13号掘立	1	0.55	0.55	0.40	2	0.80	0.55	0.55	3	0.85	0.75	0.53	4	0.80	0.55	0.45				
14号掘立	1	0.53	0.53	0.30	2	0.58	0.50	0.33	3	0.65	0.45	0.45	4	0.78	0.70	0.35	5	1.15	0.83	0.43
	6	0.83	0.63	0.38	7	0.72	0.60	0.45	8	0.88	0.80	0.45	9	1.10	0.95	0.58	10	0.90	0.85	0.40
	11	0.90	0.75	0.45																
15号掘立	1	0.43	0.38	0.30	2	0.60	0.45	0.35	3	0.50	0.45	0.45	4	0.50	0.50	0.45				
16号掘立	1	0.95	0.95	0.45	2	0.35	0.35	0.30	3	0.60	0.45	0.45								
17号掘立	1	0.45	0.35	0.35	2	0.65	0.50	0.25	3	0.53	0.45	0.48	4	0.35	0.35	0.53	5	0.35	0.35	0.35
	6	0.35	0.33	0.40																
18号掘立	1	0.50	0.45	0.43	2	(0.80)	0.60	0.40	3	0.45	0.40	0.10	4	0.30	0.30	0.20	5	0.30	0.30	0.10
	6	0.50	0.43	0.25	7	0.60	0.60	0.50	8	0.75	0.60	0.55	9	0.43	0.35	0.20	10	0.45	0.45	0.20
19号掘立	1	0.85	(0.85)	0.50	2	0.45	0.35	0.20	3	0.40	0.40	0.10	4	0.58	0.45	0.10	5	0.55	0.45	0.25
20号掘立	1	0.58	0.40	0.18	2	0.98	0.85	0.43	3	0.35	0.35	0.25	4	0.20	0.20	0.15	5	0.40	0.35	0.10
	6	0.45	0.35	0.20																
21号掘立	1	0.55	0.50	0.28	2	0.45	0.35	0.30	3	0.68	0.50	0.20	4	0.55	0.38	0.20	5	0.55	0.50	0.30
	6	0.65	0.43	0.40	7	0.70	0.50	0.45	8	0.68	0.45	0.30								
22号掘立	1	0.50	0.40	0.35	2	0.33	0.33	0.15	3	0.50	0.38	0.30	4	0.55	0.35	0.30				
23号掘立	1	0.70	0.48	0.15	2	0.35	0.30	0.45	3	0.65	0.50	0.45	4	0.55	0.55	0.48	5	0.58	0.50	0.35
	6	0.25	0.25	0.10	7	0.70	0.55	0.15	8	0.45	0.35	0.55								
24号掘立	1	0.55	0.40	0.20	2	0.50	0.45	0.20	3	0.45	0.45	0.25	4	0.40	0.35	0.23				
25号掘立	1	0.30	0.25	0.20	2	0.40	0.40	0.20	3	0.55	0.50	0.18	4	0.35	0.30	0.15	5	0.50	0.40	0.23
	6	0.40	0.40	0.20	7	0.45	0.30	0.18	8	0.60	0.45	0.20	9	0.50	0.35	0.13	10	0.40	0.35	0.18
	11	0.30	0.30	0.20																
26号掘立	1	0.45	0.35	0.15	2	0.45	0.30	0.23	3	0.60	0.50	0.20	4	0.50	0.35	0.20	5	0.90	0.70	0.28
	6	0.58	0.45	0.30	7	0.55	0.40	0.40												
27号掘立	1	0.62	0.44	0.40	2	0.30	0.25	0.19	3	0.44	0.41	0.19	4	0.39	0.35	0.55	5	0.40	0.35	0.12
28号掘立	1	0.37	0.36	0.18	2	0.56	0.51	0.29	3	0.46	0.32	0.26	4	0.36	0.35	0.21	5	0.36	0.34	0.24
	6	0.35	0.30	0.36																
29号掘立	1	0.59	0.47	0.19	2	0.40	0.34	0.15	3	0.72	0.54	0.14	4	0.27	0.26	0.10	5	0.54	0.40	0.16
	6	0.27	0.27	0.11	7	0.72	0.38	0.17	8	0.40	0.35	0.18								
30号掘立	1	0.50	0.45	0.17	2	0.25	0.24	0.12	3	0.41	0.34	0.22	4	0.35	0.35	0.17				
31号掘立	1	0.34	0.33	0.36	2	0.30	0.28	0.25	3	0.35	0.34	0.33	4	0.30	0.30	0.27				
32号掘立	1	0.40	0.36	0.17	2	0.40	0.35	0.18	3	0.40	0.36	0.17	4	0.50	0.50	0.25	5	0.35	0.34	0.15
	6	0.42	0.40	0.25																

遺構一覧表

4 B区掘立柱建物址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立	1	0.25	0.25	0.15	2	0.31	0.29	0.26	3	0.50	0.36	0.20	4	0.32	0.26	0.24	5	0.36	0.36	0.24
	6	0.50	0.46	0.40	7	0.40	0.40	0.32	8	0.53	0.35	0.23								
2号掘立	1	0.50	0.44	0.36	2	0.45	0.45	0.25	3	0.45	0.36	0.44	4	0.70	0.66	0.48	5	0.65	0.56	0.25
	6	0.71	0.62	0.31	7	0.54	0.50	0.56	8	0.66	0.54	0.35								
3号掘立	1	0.74	0.64	0.43	2	0.25	0.25	0.30	3	0.34	0.30	0.43	4	0.48	0.46	0.21	5	0.55	0.31	0.32
	6	0.64	0.50	0.36	7	0.54	0.45	0.15	8	0.42	0.40	0.30								
4号掘立	1	0.54	0.30	0.37	2	0.56	0.33	0.38	3	(0.65)	(0.65)	0.20	4	(0.50)	(0.45)	0.16	5	0.36	0.30	0.41
	6	0.41	0.35	0.36																
5号掘立	1	(0.45)	(0.45)	0.30	2	0.46	0.38	0.25	3	0.38	0.35	0.36	4	0.68	0.65	0.50	5	0.45	0.30	0.26
	6	0.40	0.35	0.25	7	0.51	0.38	0.45	8	0.54	0.50	0.34	9	0.45	0.36	0.39				
6号掘立	1	0.60	0.50	0.29	2	0.74	(0.60)	0.35	3	0.35	0.34	0.55	4	0.69	0.58	0.30	5	0.66	0.65	0.31
	6	0.53	0.40	0.36	7	0.55	0.45	0.45	8	0.55	0.45	0.37								
7号掘立	1	0.27	0.25	0.25	2	0.30	0.30	0.28	3	0.50	0.50	0.25	4	0.60	0.50	0.31				
8号掘立	1	0.30	0.26	0.21	2	0.40	0.36	0.21	3	0.45	0.37	0.24	4	0.42	0.40	0.40	5	0.46	0.46	0.26
9号掘立	1	(0.32)	(0.32)	0.14	2	0.60	0.54	0.36	3	0.43	0.40	0.35	4	0.56	0.30	0.28	5	0.32	0.28	0.17
	6	0.67	0.40	0.26	7	0.50	0.47	0.20	8	0.61	0.50	0.41								
10号掘立	1	0.65	0.50	0.35	2	0.80	0.65	0.43	3	0.46	0.45	0.30	4	(0.50)	0.39	0.42	5	0.54	0.50	0.51
	6	0.65	0.45	0.36	7	0.60	0.55	0.57												
11号掘立	1	0.43	0.30	0.40	2	0.47	0.30	0.30	3	0.43	0.40	0.13	4	0.36	0.26	0.40	5	0.35	0.35	0.58
	6	0.30	0.30	0.46	7	0.34	0.32	0.39	8	0.43	0.43	0.42	9	0.47	0.24	0.11				
12号掘立	1	0.50	0.40	0.40	2	0.40	0.36	0.16	3	0.50	0.45	0.32	4	0.72	0.59	0.32	5	0.70	0.63	0.16
	6	0.66	0.65	0.45																
13号掘立	1	0.30	0.30	0.37	2	0.26	0.25	0.15	3	0.40	0.30	0.14	4	0.40	0.30	0.20	5	0.85	0.60	0.31
	6	0.25	0.25	0.19	7	0.34	0.33	0.21	8	0.43	0.40	0.14	9	0.36	0.35	0.08				
14号掘立	1	0.30	0.29	0.24	2	0.32	0.27	0.22	3	0.32	0.31	0.32	4	0.45	0.35	0.27				
15号掘立	1	0.32	0.29	0.20	2	0.40	0.32	0.13	3	0.32	0.27	0.20	4	0.55	0.50	0.35	5	0.50	0.41	0.25
	6	0.55	0.46	0.26	7	0.52	0.46	0.16	8	1.02	0.33	0.14								
16号掘立	1	0.25	0.24	0.20	2	0.43	0.40	0.31	3	0.43	0.36	0.22	4	0.27	0.25	0.05	5	(0.41)	0.40	0.26
	6	(0.70)	0.70	0.17	7	0.40	0.40	0.24	8	0.55	0.50	0.50	9	0.67	0.49	0.32	10	0.45	0.39	0.37
17号掘立	1	0.51	0.40	0.45	2	0.45	0.34	0.41	3	0.45	0.41	0.31	4	0.46	0.37	0.19	5	0.71	0.55	0.90
	6	0.49	0.45	0.42	7	0.51	0.48	0.47												
18号掘立	1	0.40	0.36	0.22	2	0.40	0.39	0.18	3	0.36	0.36	0.24	4	0.26	0.25	0.11	5	0.51	0.43	0.20
	6	0.35	0.33	0.13	7	0.31	0.30	0.24	8	0.49	0.43	0.13	9	0.63	0.57	0.14	10	0.35	0.30	0.10
	11	0.35	0.35	0.10	12	0.40	0.40	0.13												
19号掘立	1	0.40	0.30	0.15	2	0.35	0.32	0.29	3	0.45	0.42	0.30	4	0.53	0.50	0.12	5	0.45	0.45	0.12
	6	0.56	0.53	0.20																
20号掘立	1	0.56	0.39	0.22	2	0.55	0.43	0.36	3	0.44	0.41	0.15	4	0.52	0.46	0.56	5	0.36	0.35	0.06
	6	0.41	0.41	0.25	7	0.60	0.52	0.42	8	0.50	0.45	0.24								
21号掘立	1	0.46	0.40	0.18	2	(0.65)	(0.56)	0.15	3	(0.65)	(0.55)	0.20	4	0.36	0.36	0.20	5	0.46	0.36	0.37
	6	0.68	0.46	0.18																
22号掘立	1	0.45	0.45	0.33	2	0.38	0.32	0.20	3	0.31	0.29	0.16	4	0.26	0.21	0.13	5	0.45	0.37	0.10
	6	0.39	0.39	0.09	7	0.42	0.40	0.12	8	0.46	0.42	0.18	9	0.26	0.26	0.18				
23号掘立	1	0.47	0.32	0.32	2	0.17	0.16	0.19	3	0.25	0.22	0.15	4	0.40	0.34	0.25	5	0.37	0.32	0.15
	6	0.50	0.36	0.23	7	0.30	0.25	0.11	8	0.37	0.35	0.16								
24号掘立	1	0.39	0.37	0.19	2	0.55	0.36	0.10	3	0.52	0.45	0.32	4	0.51	0.23	0.16	5	0.50	0.40	0.12
	6	0.70	0.66	0.16	7	0.60	0.51	0.17	8	0.69	0.62	0.45								
25号掘立	1	0.62	0.60	0.35	2	0.40	0.40	0.34	3	0.75	0.59	0.22	4	0.56	0.30	0.26				

5 A区掘立柱建物址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立	1	0.35	0.25	0.33	2	0.20	0.20	0.05	3	0.25	0.25	0.10	4	0.30	0.28	0.20	5	0.20	0.20	0.23
	6	0.30	0.25	0.10	7	0.20	0.20	0.10	8	0.25	0.25	0.05	9	0.30	0.30	0.25	10	0.30	0.30	0.18
	11	0.15	0.15	0.15	12	0.20	0.20	0.28												
2号掘立	1	0.33	0.33	0.23	2	0.30	0.30	0.18	3	0.35	0.35	0.20	4	0.40	0.35	0.33	5	0.30	0.30	0.15
	6	0.50	0.45	0.25	7	0.30	0.30	0.20												

5 B区掘立柱建物址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立	1	0.10	0.60	0.67	2	0.60	0.50	0.65	3	0.55	0.50	0.62	4	0.55	0.55	0.60	5	0.63	0.60	0.60
	6	0.85	0.45	0.85	7	0.93	0.35	0.80	8	1.05	0.85	1.00	9	0.75	0.55	0.80	10	0.75	0.65	0.75
	11	0.60	0.55	0.70	12	0.60	0.43	0.55	13	0.70	0.53	0.50	14	0.55	0.33	0.60				

6 区掘立柱建物址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立	1	0.57	0.57	0.40	2	0.58	0.55	0.48	3	0.60	0.50	0.52	4	0.50	0.50	0.33	5	0.72	0.60	0.55
	6	0.73	0.65	0.60	7	0.60	0.60	0.47	8	0.45	0.45	0.50	9	0.55	0.55	0.40				
2号掘立	1	0.53	0.45	0.35	2	0.40	0.33	0.15	3	0.45	0.43	0.25	4	0.58	0.50	0.35	5	0.80	0.45	0.33
	6	0.55	0.50	0.47	7	0.58	0.50	0.33	8	0.45	0.45	0.23								
3号掘立	1	0.22	0.22	0.30	2	0.15	0.15	0.23	3	0.47	0.45	0.05	4	0.45	0.45	0.05				
4号掘立	1	(0.85)	0.65	0.50	2	0.62	0.55	0.42	3	0.68	0.48	0.53	4	(0.62)	0.60	0.18				
5号掘立	1	0.50	0.45	0.15	2	0.58	0.47	0.25	3	0.50	0.42	0.25	4	0.45	0.45	0.10	5	0.55	0.48	0.23
6号掘立	1	0.45	0.45	0.25	2	(0.45)	0.37	0.25	3	0.35	0.35	0.20								
7号掘立	1	0.43	0.40	0.25	2	0.40	0.40	0.20	3	0.57	0.55	0.15	4	0.53	0.53	0.20	5	0.28	0.25	0.10
	6	0.28	0.28	0.28	7	0.63	0.35	0.28	8	0.45	0.45	0.30								
8号掘立	1	0.50	0.47	0.45	2	0.42	0.35	(0.55)	3	0.63	0.53	(0.60)	4	0.73	0.48	0.52	5	0.53	0.50	0.47
	6	0.45	0.40	0.45	7	0.35	0.30	0.30	8	0.55	0.45	0.57								
9号掘立	1	0.43	0.43	0.30	2	0.50	0.50	0.35	3	0.58	0.45	0.33	4	0.65	0.55	0.25	5	0.50	0.48	0.30
	6	0.53	0.53	0.33																
10号掘立	1	0.53	0.50	0.20	2	0.55	0.53	0.23	3	0.58	0.55	0.40	4	0.60	0.50	0.18	5	0.53	0.48	0.20
	6	0.55	0.45	0.20																
11号掘立	1	0.45	0.33	0.35	2	0.55	0.50	0.37	3	0.52	0.50	0.25	4	0.40	0.33	0.23	5	0.50	0.48	0.15
	6	0.55	0.48	0.30	7	0.45	0.43	0.30	8	0.55	0.50	0.25	9	0.40	0.37	0.25	10	0.60	0.45	0.30
	11	0.49	0.45	0.35	12	0.45	0.37	0.28												
12号掘立	1	0.47	0.40	0.13	2	0.20	0.20	0.09	3	0.35	0.23	0.30	4	0.45	0.42	0.15	5	0.45	0.40	0.20
	6	0.52	0.43	0.13	7	0.60	0.52	0.23	8	0.45	0.33	0.18								
13号掘立	1	0.68	0.47	0.21	2	0.55	0.45	0.15	3	0.42	0.30	0.10	4	0.30	0.28	0.20	5	0.65	0.55	0.18
	6	0.54	0.38	0.20	7	0.68	0.33	0.20	8	0.50	0.45	0.10								
14号掘立	1	0.35	0.33	0.10	2	0.40	0.27	0.13	3	0.33	0.30	0.12	4	0.47	0.43	0.20	5	0.50	0.32	0.13
15号掘立	1	0.38	0.35	0.20	2	0.40	0.38	0.25	3	0.35	0.35	0.20	4	0.30	0.30	0.28	5	0.35	0.32	0.23
	6	0.40	0.40	0.25	7	0.30	0.30	0.28	8	0.40	0.40	0.25								
16号掘立	1	0.70	(0.55)	0.17	2	0.30	0.30	0.23	3	0.33	0.20	0.23	4	0.50	0.42	0.18	5	0.32	0.27	0.20
	6	0.45	0.43	0.20																
17号掘立	1	0.45	0.45	0.42	2	0.53	0.35	0.30	3	0.47	0.45	0.42	4	0.58	0.45	0.37	5	0.55	0.48	0.45
	6	0.50	0.47	0.25	7	0.57	0.35	0.25	8	0.40	0.28	0.18	9	0.42	0.33	0.23				
18号掘立	1	0.54	0.47	0.33	2	0.33	0.30	0.20	3	0.45	0.42	0.30	4	0.38	0.35	0.27	5	0.40	0.32	0.12
	6	0.48	0.45	0.35	7	0.42	0.40	0.37	8	0.45	0.35	0.32	9	0.32	0.25	0.15				
19号掘立	1	0.35	0.32	0.30	2	0.32	0.30	0.15	3	0.25	0.25	0.45	4	0.53	0.50	0.22	5	0.35	0.32	0.30
	6	0.23	0.23	0.20	7	0.85	0.45	0.22												
20号掘立	1	0.68	0.62	0.30	2	0.62	0.57	0.20	3	0.65	0.63	0.33								
21号掘立	1	0.30	0.30	0.18	2	0.48	0.45	0.24	3	0.62	0.50	0.28	4	0.62	0.60	0.28	5	0.53	0.48	0.32
	6	0.54	0.45	0.30	7	—	0.40	0.35	8	0.40	0.38	0.32								

遺構一覧表

4 A I 区柵列址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1 号柵列	1	0.40	0.30	0.20	2	0.32	0.26	0.22	3	0.45	0.36	0.21	4	0.46	0.42	0.15	5	0.50	0.35	0.15
	6	0.40	0.34	0.16																
2 号柵列	1	0.35	0.28	0.14	2	0.22	0.16	0.10	3	0.25	0.25	0.11	4	0.33	0.30	0.14				
3 号柵列	1	0.34	0.23	0.25	2	0.34	0.25	0.20	3	0.50	0.35	0.25	4	0.55	0.38	0.27				
4 号柵列	1	0.35	0.34	0.17	2	0.30	0.25	0.15	3	0.26	0.25	0.19	4	0.25	0.24	0.15				
5 号柵列	1	0.43	0.30	0.20	2	0.33	0.30	0.20	3	0.45	0.40	0.17								
6 号柵列	1	0.35	0.35	0.43	2	0.25	0.21	0.16	3	0.36	0.25	0.19	4	0.32	0.31	0.19	5	0.50	0.45	0.20
	6	0.47	0.47	0.40	7	0.44	0.40	0.50	8	0.50	0.35	0.27	9	0.40	0.35	0.20	10	0.40	0.40	0.24
7 号柵列	1	0.42	0.40	0.22	2	0.45	0.32	0.14	3	(0.42)	0.35	0.90	4	0.38	0.36	0.10				
8 号柵列	1	0.21	0.21	0.15	2	0.32	0.30	0.18	3	0.30	0.27	0.19	4	0.65	0.45	0.50	5	0.49	0.45	0.35
	6	0.35	0.30	0.34	7	0.64	0.36	0.27	8	0.44	0.42	0.36	9	0.54	0.50	0.30	10	0.40	0.36	0.40
	11	0.67	0.45	0.19	12	0.55	0.40	0.22	13	0.55	0.30	0.39	14	0.46	0.42	0.25	15	0.73	0.50	0.23
	16	0.62	0.36	0.15	17	0.92	0.77	0.46												
9 号柵列	1	0.52	0.30	0.14	2	0.46	0.33	0.27	3	0.45	0.40	0.26								
10号柵列	1	0.45	0.36	0.21	2	0.30	0.24	0.11	3	0.32	0.26	0.90	4	0.54	0.30	0.20	5	0.35	0.30	0.10
	6	0.40	0.33	0.15																
11号柵列	1	0.56	0.42	0.26	2	0.73	0.55	0.13	3	0.76	0.70	0.18	4	0.45	0.40	0.15				
12号柵列	1	0.80	0.73	0.27	2	0.55	0.45	0.20	3	0.72	0.61	0.15	4	0.59	0.51	0.05				
13号柵列	1	0.40	0.34	0.14	2	0.40	0.38	0.21	3	0.30	0.26	0.14	4	0.40	0.40	0.36				
14号柵列	1	0.31	0.27	0.17	2	0.51	0.30	0.24	3	0.30	0.30	0.19								
15号柵列	1	0.34	0.32	0.15	2	0.52	0.44	0.18	3	0.41	0.34	0.90	4	0.46	0.45	0.14				
16号柵列	1	0.37	0.35	0.18	2	0.43	0.35	0.16	3	0.42	0.40	0.16								
17号柵列	1	0.40	0.35	0.14	2	0.36	0.24	0.90	3	0.50	0.38	0.10								
18号柵列	1	0.36	0.30	0.14	2	0.51	0.45	0.10	3	0.55	0.42	0.19								
19号柵列	1	0.30	0.30	0.13	2	0.55	0.41	0.18	3	0.43	0.41	0.19	4	0.79	0.55	0.27	5	0.46	0.30	0.41
20号柵列	1	0.55	0.51	0.19	2	0.38	0.36	0.12	3	0.36	0.29	0.20	4	0.80	0.70	0.24				
21号柵列	1	0.30	0.25	0.29	2	0.60	0.45	0.18	3	0.54	0.34	0.29	4	0.40	0.38	0.30				
22号柵列	1	0.40	0.35	0.21	2	0.60	0.42	0.24	3	0.45	0.37	0.46	4	0.69	0.36	0.51				
23号柵列	1	0.50	0.45	0.15	2	0.26	0.25	0.11	3	0.62	0.40	0.11	4	0.77	0.48	0.90	5	0.38	0.28	0.12
	6	0.50	0.44	0.35	7	0.40	0.24	0.70												
24号柵列	1	0.47	0.37	0.24	2	0.73	0.60	0.26	3	0.49	0.32	0.16	4	0.45	0.43	0.16	5	0.49	0.39	0.17
25号柵列	1	0.51	0.20	0.10	2	0.34	0.31	0.12	3	0.40	0.35	0.17								

4 B 区柵列址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1 号柵列	1	0.37	0.35	0.10	2	0.35	0.31	0.37	3	0.42	0.33	0.22								
2 号柵列	1	0.32	0.30	0.06	2	0.62	0.47	0.09	3	0.40	0.37	0.11								

4 A I 区垣根址規模計測表

(m)

	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1 号垣根	1	0.46	(0.44)	0.26	2	0.38	0.38	0.14	3	0.40	0.40	0.13								
2 号垣根	1	0.36	0.30	0.24	2	0.46	0.35	0.16	3	0.45	0.35	0.25								
3 号垣根	1	0.60	0.45	0.41	2	0.55	0.40	0.39	3	0.80	0.64	0.40								
4 号垣根	1	0.50	0.41	0.19	2	0.32	0.25	0.05												
5 号垣根	1	0.36	0.29	0.19	2	0.48	0.24	0.15	3	0.25	0.25	0.16								
6 号垣根	1	0.47	0.40	0.42	2	0.56	0.42	0.36	3	0.45	0.34	0.41								
7 号垣根	1	0.32	0.20	0.40	2	0.33	0.25	0.17	3	0.35	0.30	0.33								
8 号垣根	1	0.36	0.35	0.30	2	0.31	0.29	0.19	3	0.26	0.25	0.44								
9 号垣根	1	0.45	0.40	0.16	2	0.59	0.48	0.19	3	0.35	0.33	0.15								
10号垣根	1	0.36	0.30	0.06	2	0.44	0.40	0.33	3	0.50	0.46	0.36	4	0.34	0.26	0.20				
11号垣根	1	0.40	0.34	0.10	2	0.40	0.35	0.12												

1．篠塚狐穴地区（４ＡＩ・II区）

４ＡII区01号住居出土遺物（第14図・PL54）略号：器—器高、ロ—ロ径、底—底径

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器	器 〈2.9〉		①細砂 ②還元 ③明褐灰	ロクロ成形カエリあり。天井部左回転篦削	
	坏蓋	口 20.9		7.5YR-7/2 ④¾(鈕欠損)	り調整	
2	須恵器	器 4.7	+55埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	ロクロ成形。外面底部左回転篦削り調整	口唇部炭素
	盤	口 19.4		Y-7/1 ④¾		吸着
3	須恵器	長 〈10.1〉		①細砂 ②還元 ③褐灰10	外面平行叩き目内面同心円当て目	
	甕	厚 0.8		YR-6/1 ④破片(胴部)		
4	土師器	器 12.4	+48	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持	磨滅
	坏	口 3.6		YR-6/6 ④ほぼ完形	ち篦削り調整	
5	土師器	器 2.8	+50	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持	磨滅底10.5
	坏	口 11.2		YR-6/8 ④ほぼ完形	ち篦削り調整	
6	土師器	器 〈3.8〉	+55	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部外反気味。底部手持ち篦削り調整	磨滅
	盤	口 (18.0)		YR-6/8 ④破片(口縁部)		

４ＡII区02号住居出土遺物（第18図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
7	須恵器	器 〈2.1〉		①細砂 ②還元 ③灰白10	ロクロ成形カエリあり。天井部左回転篦削	
	坏蓋	口 (18.4)		YR-7/1 ④破片(端部)	り調整	
8	須恵器	長 〈10.0〉	+6	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	外面平行叩き目内面同心円当て目	
	甕	厚 0.7		Y-7/1 ④破片(肩部)		
9	土師器	器 〈3.5〉	+12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持	磨滅
	盤	口 (18.0)		-6/6 ④破片(口縁部)	ち篦削り調整	
10	土師器	器 〈3.2〉	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持	
	坏	口 (12.0)		-6/6 ④破片(口縁部)	ち篦削り調整	

４ＡII区03号住居出土遺物（第22図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
11	土師器	器 28.0		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部外反気味横撫で。胴部上位に張りを	磨滅。外面
	甕	口 (20.6)		YR-6/8 ④½(口縁・底部)	もち上位横方向、下位縦方向、底部篦削り	胴部炭素吸
		底 5.1			調整	着
12	土師器	器 〈3.5〉		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	胴部・底部篦削り調整	外面炭素吸
	甕	底 (5.4)		-6/6 ④破片(底部)		着

４ＡII区04号住居出土遺物（第26図、PL54）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
13	土師器	器 3.3	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持	磨滅。外面
	坏	口 11.4		-6/6 ④完形	ち篦削り調整	底部黒斑
14	土師器	器 〈2.6〉	+4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	
	坏	口 (12.3)		-6/6 ④破片(口縁部)	ち篦削り調整	
15	土師器	器 〈2.4〉	カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	磨滅
	坏	口 (14.2)		-7/6 ④破片(口縁部)	ち篦削り調整	
16	土師器	器 〈10.3〉	−9	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙	口縁部直立気味外反横撫で。胴部直線的で	
	長甕	口 (22.0)		7.5YR-8/6 ④破片(口縁部)	縦方向篦削り内面篦撫で調整	
17	須恵器	器 〈2.9〉	+8	①細砂 ②還元 ③灰N-5/	ロクロ成形カエリあり。天井部回転伴う篦	
	坏蓋	口 (12.4)		④破片(端部)	削り調整	
18	須恵器	器 〈3.7〉	+6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	口縁部横撫で調整	
	甕	口 (19.2)		-6/1 ④破片(口縁部)		
1215	鉄製品	長さ (5.9)	埋土	刃の逆刺の一部及び茎を欠失したもの。平根腸抉三角形鏃である。逆刺		幅(3.1)
	鉄鏃	厚さ 0.6		はやや浅めだがはっきりと造りだしており鏃身関も明瞭に直角関を造り		
				だしている		

４ＡII区06号住居出土遺物（第31・32図、PL54）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
19	土師器	器 〈25.4〉	+1+3+4埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5	口縁部コの字状横撫で。胴部上位に張りを	外面胴部一
	甕	口 19.8		YR-6/8 ④½	もち上位横方向、下位縦方向、底部篦削り	部炭素吸着
		底 (4.4)			調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
20	土師器 甕	器 〈25.1〉 口 23.0	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④¼(底部欠損)	コの字状口縁。胴上位張る。上位横、下位縦底部箆削り。内面上位横方向刷毛目	
21	土師器 甕	器 〈9.2〉 口 (18.4)	+4+5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味外反。胴上位張る。上位横下位縦方向、底部箆削り、胴内面横方向箆撫で	内外面炭素吸着
22	土師器 甕	器 〈13.2〉 口 (18.9)	表採	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(上半部)	口縁部直立気味外反横撫で胴上位張る上位横下位縦、底部箆削り胴内面横方向箆撫で	外面胴部炭素吸着
23	土師器 甕	器 〈8.3〉 口 (21.2)		①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/8 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。胴部上位に張りをもち上位横方向箆削り内面箆撫で	
24	羽釜	器 〈4.0〉 口 (21.0)	+4表採	①粗砂 ②酸化 ③断面にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁先端部平ら。鍔はCタイプ	内外面燻し状
1216	鉄製品 刀子	長さ (11.4) 厚さ 0.3	−7	茎の端部を欠損している。刃は細長く両関で茎はしっかりとした造りで茎長と刃身がほぼ同じ形態のものである		幅(1.3)

4 A II区07号住居出土遺物（第37図、PL54）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
25	須恵器 坏蓋	器 〈2.3〉 口 (11.6)	床下埋土 カマド埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰5YR-5/1 ④破片(端部)	ロクロ成形カエリあり。天井部左回転箆削り調整。鈕は宝珠状か	
26	土師器 坏	器 3.2 口 10.5	+8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	
27	土師器 坏	器 3.8 口 12.8	+14	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	
28	土師器 坏	器 3.9 口 13.3	+6 +7 +8 +28	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④¾	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	磨滅著しい
29	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (12.1)	+20	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	
30	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (11.2)	+22	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	外面一部黒斑
32	土師器 長甕	器 〈6.3〉 口 (20.0)	カマド内	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反横撫で。胴部外面縦方向箆削り内面横方向箆撫で調整	
33	土師器 甕	器 〈5.1〉 口 (22.0)	+23	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反横撫で。外面箆削り内面箆撫で調整	磨滅著しい
35	土師器 甕	器 〈3.0〉 底 (6.0)	+7 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(底部)	胴部外面箆削り内面箆撫で調整	内外面燻し状
36	土師器 小型甕	器 〈5.3〉 口 (11.4)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反。外面横方向箆削り内面箆撫でで調整	
37	須恵器 坏蓋	器 〈2.5〉 口 (14.9)	+11	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(端部)	ロクロ成形カエリあり。天井部右回転箆削り調整。鈕は宝珠状か	
38	須恵器 坏蓋	器 〈1.8〉 口 (16.9)	+17	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(端部)	ロクロ成形カエリあり。天井部手持ち箆削り調整	
883	須恵器 小型台付長頸壺	器 〈14.4〉 胴最大 13.5	+9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-7/1 ④¾(口唇・端部欠損)	ロクロ成形口縁部・台部・胴部横撫で調整	

4 A II区08号住居出土遺物（第41図、PL55）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
39	土師器 坏	器 3.9 口 12.0	−0.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち箆削り調整	
40	土師器 坏	器 3.8 口 12.8	−2.5 +2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	
41	土師器 坏	器 3.6 口 12.2	−3 −1 −0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち箆削り調整	口縁部一部炭素吸着
42	土師器 坏	器 3.2 口 12.0	−1.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち箆削り調整	外面底部黒斑
43	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (12.0)	−2.5 −2 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい
44	土師器 甕	器 〈6.3〉 口 (20.0)	±0〜+29(8個体) −1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反横撫で。胴部外面縦方向箆削り内面横方向箆撫で調整	
45	須恵器 甕	器 〈3.1〉 底 (14.5)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(底部)	外面平行叩きの後撫で内面横撫で調整	

4 A II区09号住居出土遺物（第46図、PL55）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
46	須恵器	器 2.8	+7 カマド内	①細砂 ②還元 ③褐灰10	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	
	高台付皿	口 12.8		YR-6/1 ④¾		
47	須恵器	器 〈2.3〉	+18 カマド内	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨滅著しい
	高台付皿	口 (12.6)		YR-8/2 ④¼		
48	須恵器	器 3.1	+4	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	ロクロ成形。左回転糸切り	底5.3
	坏	口 11.3		-7/1 ④½		
49	須恵器	器 3.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10	ロクロ成形回転糸切り	磨滅底6.0
	坏	口 12.8		YR-8/2 ④¼		
50	須恵器	器 3.6	+4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅
	坏	口 13.2		YR-8/2 ④¼		
51	須恵器	器 〈3.0〉	+2	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面一部
	坏	高台径 5.4		YR-8/1 ④¼		炭素吸着
52	須恵器	器 3.8	+9	①細砂 ②還元 ③明褐灰	ロクロ成形。左回転糸切り	外面底部黒
	坏	口 13.6		7.5YR-7/2 ④完形		斑。底6.3
53	須恵器	器 4.5	−3	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	ロクロ成形。左回転糸切り	軟質。磨滅
	坏	口 12.8		Y-7/1 ④ほぼ完形		底6.2
54	須恵器	器 3.4	−3	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
	坏	口 12.8		Y-7/2 ④完形		底5.0
55	須恵器	器 5.2	+10 埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	口縁一部黒
	高台付椀	口 14.4		Y-7/2 ④¾		斑高台径7.4
56	須恵器	器 4.4	+8表採	①細砂 ②還元 ③灰白10	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	軟質。赤変。
	高台付椀	口 15.5		YR-8/2 ④¾(高台部欠		黒斑。磨滅
				損)		
57	須恵器	器 〈3.9〉	+6−2	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	
	高台付椀	高台径 6.6		YR-8/1 ④¼		
58	須恵器	器 〈3.3〉	+13埋土	①細砂 ②還元 ③浅黄橙	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨滅。炭素
	高台付椀	高台径 6.6		7.5YR-8/3 ④¼		吸着
59	土師器	器 〈28.6〉	−7〜+12	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5	口縁部コの字状横撫で。胴部上位横方向下	底3.0
	甕	口 (21.0)	(11個体)	YR-6/6 ④¼(口縁・底部)	位縦方向、底部箆削り調整	
60	土師器	器 〈18.8〉	+3〜29(9個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	コの字状口縁。胴部上位横下位縦方向箆削	磨滅
	甕	口 19.2		-7/6 ④¼(上半部)	り調整。内面胴部箆撫で	
61	土師器	器 〈15.5〉	−1〜+3(7個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	コの字状口縁。胴部上位横、下位縦方向箆	
	甕	口 (19.4)	埋土	YR-7/6 ④破片(上半部)	削り調整。内面胴部箆撫で	
62	土師器	器 〈2.3〉	+2.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	胴部縦方向、底部手持ち箆削り調整。内面	
	甕	底 (3.7)		YR-7/6 ④破片(底部)	胴部横方向箆撫で調整	
63	土師器	器 〈4.0〉	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	胴部縦方向、底部手持ち箆削り調整。内面	外面燻し状
	甕	底 (3.4)		-6/6 ④破片(底部)	胴部横方向箆撫で調整	
64	土師器	器 〈3.3〉	−17	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	胴部縦方向、底部手持ち箆削り調整。内面	
	甕	底 (3.4)		YR-7/6 ④破片(底部)	胴部横方向箆撫で調整	
65	土師器	器 〈8.1〉	±0カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	外面胴部上位横方向、下位縦方向箆削り内	
	小型台付甕	底 (3.4)		YR-6/6 ④破片(下半部)	面箆撫で、台部上位接合横撫で調整	

4 A I区10号住居出土遺物（第50図、PL55）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
91	土師器	器 4.3	+10 +12 +12	①粗砂 ②酸化 ③赤褐5	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持	内面及び口
	坏	口 11.7		YR-4/6 ④¾	ち箆削り調整	縁炭素吸着
92	須恵器	器 〈6.5〉	+10	①細砂 ②還元 ③橙5YR	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台。高台	内面底部炭
	高台付椀	口 16.7		-6/6 ④½(高台部欠損)	部欠損後も使用か	素吸着
93	須恵器	器 5.1	+3 +12	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	内外面燻し
	高台付椀	口 14.0		橙7.5YR-6/3 ④½		状高台径6.2
94	須恵器	器 〈5.0〉	+5.5+6.5	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形回転糸切り。付高台	内外面一部
	高台付椀	口 (12.8)		黄橙10YR-7/3 ④¼		炭素吸着
		高台径 (6.2)				
95	須恵器	器 〈3.3〉	+10	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	内外面一部
	高台付椀	高台径 (5.9)		橙7.5YR-6/4 ④¼		炭素吸着
96	須恵器	器 〈3.8〉		①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	
	高台付椀	高台径 (6.3)		褐7.5YR-6/3 ④¼		
98	土師器	器 〈11.4〉	+17.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部コの字状横撫で。外面胴部横方向箆	胴内面及び
	甕	口 (22.0)		-6/6 ④破片(口縁部)	削り内面櫛状工具による横撫で調整	口縁炭付着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
99	土師器 甕	器 〈6.5〉 口 (20.4)	+10 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向箆削り内面胴部横方向箆撫で調整	内面炭素吸着
100	土師器 甕	器 〈6.9〉 口 (12.4)	+2 +3 +6.5 +6.5+8.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。外面胴部上位横方向箆削り内面胴部横方向箆撫で調整	内外面一部炭素吸着
101	土師器 甕	器 〈5.0〉 底 (4.4)	+3 +13 埋土 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部下位縦方向箆削り。内面櫛状工具による横撫で調整	砂底。外面燻し状
102	土師器 甕	器 〈4.9〉 底 (4.0)	+2 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-5/4 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち箆削り調整。内面櫛状工具による横撫で調整	
103	土師器 台付甕	器 〈2.3〉 高台径 (8.4)	+10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(台部)	台部横撫で調整	
791	須恵器 坏	器 3.8 口 12.3 底 5.7		①細砂 ②還元 ③明褐灰7.5YR-7/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 歪み著しい

4AI区11号住居出土遺物（第57図、PL56）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
104	土師器 坏	器 3.1 口 12.1	±0 +4.5 +6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¾	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち箆削り調整	
105	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (14.2)	−7.5 ±0 +0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	
106	土師器 台付甕	器 〈7.5〉 高台径 (8.4)	+7 +33.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④⅙	外面胴部下位縦方向箆削り。内面胴部横方向箆撫で。台部横撫で調整	
107	須恵器 坏	器 4.0 口 12.2	−0.5	①細砂 ②還元 ③灰褐5YR-6/2 ④½	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.4
108	須恵器 坏	器 4.0 口 12.3	−6	①細砂 ②還元 ③にぶい赤褐5YR- ④½	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面燻し状底6.1
109	須恵器 坏	器 3.5 口 13.0	+1 +7 +18.5	①細砂 ②還元 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.0
110	須恵器 坏	器 〈3.5〉 口 (13.0)	+4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。横撫で調整	
111	須恵器 高台付椀	器 〈3.2〉 高台径 (9.2)	表採	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④¼	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	外面底部墨書か
112	須恵器 高台付椀	器 〈1.9〉 底 (8.8)	+34	①細砂 ②還元 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④¼	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	内面黒色処理。篦磨き
113	須恵器 坏蓋	器 3.1 口 16.6	−5 ±0 +1	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り。天井部鈕なし	天井部墨書か

4AI区12号住居出土遺物（第60図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
115	土師器 坏	器 〈3.7〉 口 (16.8)		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち箆削り調整	
116	土師器 甕	器 〈8.7〉 口 (20.4)	−1 +2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向箆削り内面胴部横方向箆撫で調整	内面炭素吸着
117	須恵器 坏蓋	器 〈2.3〉 鈕 (4.2)		①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(天井部)	鈕はリング状。天井部右回転箆削り調整	

4AI区13号住居出土遺物（第64図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
119	須恵器 高台付椀	器 〈5.1〉 口 (14.6)	埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④¼	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨滅高台径(6.0)
120	須恵器 高台付椀	器 〈2.7〉 高台径 (6.6)	+9	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④¼	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨滅。内外面燻し状
123	羽釜	器 〈8.6〉 口 (21.6)	+10 +26	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁先端部内斜を呈す。鍔はAタイプ。口縁部横撫で。胴部内外面横撫で調整	磨滅著しい 鍔径(28.8)

4 A I 区14号住居出土遺物（第69図、PL56）

番号	器種・器形	大 き さ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成 ・ 整 形 技 法 の 特 徴	備　考
124	須恵器 高台付椀	器　4.1 口　13.5 高台径　7.4	+15	①細砂　②還元　③灰黄2.5Y-7/2　④¾	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨滅著しい 外面炭素吸着
125	須恵器 高台付椀	器　5.0 口　14.0	+11.5	①細砂　②還元　③にぶい黄橙10YR-7/4　④¾	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨滅著しい 高台径6.8
126	須恵器 高台付椀	器　〈4.2〉 高台径　(7.0)	+17	①細砂　②還元　③にぶい黄橙10YR-7/3　④¼	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨滅著しい
127	須恵器 高台付椀	器　〈2.5〉 高台径　(7.0)	+14 +16	①細砂　②還元　③にぶい黄褐10YR-5/4　④¼(底部)	ロクロ成形回転糸切り。付高台。底部撫で調整	内面黒色細処理篦磨き
128	須恵器 羽釜	器　〈7.5〉 口　(22.0)	+24	①細砂　②還元　③褐灰10YR-6/1　④破片(口縁部)	口縁先端部平ら。鍔はBタイプ。口縁部横撫で調整	
129	須恵器 甕	器　〈14.5〉 底　(12.5)	+13.5	①細砂　②還元　③灰白2.5Y-8/2　④破片(底部)	内外面撫で調整	
130	羽釜	器　〈22.7〉 口　(20.8)	−4.5 −0.5 −1 +14.5	①粗砂　②酸化　③橙5YR-6/6　④¼	口縁端部内斜。鍔はAタイプ。胴上位横撫で下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	一部炭素吸着 鍔径(25.1)
131	土釜	器　12.7 口　17.2	+0.5 +10 +12	①粗砂　②酸化　③橙5YR-6/6口縁部横撫で。胴部上位撫で下位縦方向篦　④¾	内面一部炭削り胴内面横方向篦撫で底部手持ち篦削り	素吸着
132	灰釉 高台付椀	器　〈2.5〉 高台径　(7.0)	+3.5	①細砂　②還元　③灰白7.5Y-8/1　④破片(底部)	ロクロ整形。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ。施釉方法は刷毛塗り。	光ケ丘1号窯式期
133	土師器 坏	器　〈3.5〉 口　(10.8)	−1	①粗砂　②酸化　③浅黄橙7.5YR-8/6　④¾	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅
134	土師器 甕	器　〈11.6〉 口　(14.0)		①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-6/6　④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。胴上位張る胴上位横下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面燻し状
135	土師器 甕	器　〈8.5〉 口　(15.0)	+15 +16 +16 +25	①粗砂　②酸化　③橙5YR-6/6　④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。胴部上位に張りをもつ	磨滅著しい
1277	石斧	長さ　9.0 厚さ　2.6	−17	④⅔ 石材重さ170g	バチ形を呈する	幅6.8

4 A I 区15号住居出土遺物（第74図、PL56）

番号	器種・器形	大 き さ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成 ・ 整 形 技 法 の 特 徴	備　考
136	土師器 坏	器　〈3.5〉 口　(12.8)	+15	①粗砂　②酸化　③にぶい橙5YR7/4　④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
137	土師器 甕	器　〈5.2〉 底　(6.2)	−2.5〜+22 (7個体)	①粗砂　②酸化　③橙5YR-7/6　④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち篦削り調整。内面篦撫で調整	底部赤変
138	須恵器 甕	長　〈11.5〉 厚　1.5	+6〜+27 (8個体)	①細砂　②還元　③灰白7.5YR-8/2　④破片(胴部)	外面平行叩き目。内面同心円当て目	
1206	打製石斧	長さ　4.7 厚さ　1.1		④破片 石材重さ30g	分銅形。打製石斧。エグレ部磨耗	幅5.0

4 A I 区16号住居出土遺物（第79図、PL56）

番号	器種・器形	大 き さ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成 ・ 整 形 技 法 の 特 徴	備　考
139	土師器 坏	器　〈3.5〉 口　(12.8)	+2 +4 +31	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-7/6　④¼	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅。内面口縁部燻し状
1218	鉄製品 刀子	長さ　(8.5) 厚さ　0.4	−4	刃の先端が欠損。茎は長く刃部長と同じかやや長いものと考えられる。刃は他の刀子と同じく細長い。全体に小形の造りの刀子である		幅(1.4)

4 A I 区17号住居出土遺物（第84図、PL56）

番号	器種・器形	大 き さ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成 ・ 整 形 技 法 の 特 徴	備　考
141	須恵器 椀	器　6.5 口　16.3	+0.5 +1.5 +2 +4 +13 +14	①細砂　②還元　③褐灰7.5YR-4/1　④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底8.1
142	須恵器 高台付椀	器　5.6 口　14.0	−1	①細砂　②還元　③灰白10YR-8/1　④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	外面口縁部一部炭素吸着
143	土師器 甕	器　〈5.0〉 口　(13.0)	+23.5	①粗砂　②酸化　③にぶい橙5YR-7/4　④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅著しい

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
144	土師器 甕	器 〈4.4〉 口 (20.0)	+8.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
1278	滑石製 紡錘車	径 4.0 厚さ 1.1	+14.5	④完形 石材重さ30g	断面台形を呈する。上側面は削痕多く見られる。底面平滑	孔0.6

4AI区18号住居出土遺物（第89図、PL57）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
145	土師器 坏	器 3.6 口 12.4	+3～+35(8個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
146	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (12.0)	+33 +33.5 +34.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	
147	須恵器 盤	器 〈2.0〉 口 (12.0)	+33	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④破片(端部)	ロクロ成形横撫で。底部左回転篦削り調整	

4AI区19号住居出土遺物（第91図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
118	土師器 甕	器 〈4.7〉 底 (5.0)		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面篦削り内面篦撫で調整	
122	須恵器 坏蓋	器 〈1.9〉 口 (13.8)	+25 +28 +39	①細砂 ②還元 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④¼	鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	鈕(4.9)
149	土師器 坏	器 〈2.5〉 口 (16.2)	+34	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	
150	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (14.8)	+28 +29	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
151	土師器 甕	器 〈5.1〉 口 (25.2)	+26	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で調整	
152	土師器 甕	器 〈4.2〉 底 (6.0)	+3 +4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち篦削り調整内面胴部横方向篦撫で調整	
153	須恵器 坏	器 〈5.6〉 口 (18.4)	+21 +29.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④破片(口縁・底部)	ロクロ成形横撫で調整	
154	須恵器 坏	器 〈3.7〉 口 (15.0)	+2 +11	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形横撫で調整	
155	須恵器 坏	器 〈3.2〉 底 (7.0)	−15埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(底部)	ロクロ成形，底部周辺右回転篦削り調整	
156	須恵器 坏	器 〈1.6〉 底 (11.6)	+27 +28	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形横撫で。外面底部手持ち篦削り調整	
157	須恵器 甕	長 〈6.4〉 厚 0.8	+43	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(胴部)	外面平行叩き目。内面同心円当て目	

4AI区21号住居出土遺物（第95～98図、PL56～58）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
160	土師器 坏	器 3.0 口 14.0	表採	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	
161	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (14.1)	−1 +0.5 +10 +11 +33	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅓	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	底 (12.2)
162	土師器 坏	器 〈3.6〉 口 (13.0)	+12.5 +27	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	内面磨滅底(11.6)
164	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.0)	+13.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	内外面磨滅
165	土師器 坏	器 〈4.1〉 口 (14.2)	表採	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅著しい
166	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (12.2)	+11 +18.5	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底 (7.0)
167	土師器 椀	器 〈5.8〉 口 (16.6)	−4 +29	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	
168	土師器 小型甕	器 〈7.7〉 口 (12.7)	+1.5 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。胴上位張る胴上位横方向篦削り、胴内面横方向篦撫で	外面胴部炭素吸着
169	土師器 甕	器 〈8.5〉 口 (20.5)	±0 +2.5 +2.5 +4.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅕	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	外面一部炭素吸着

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
170	土師器 甕	器 〈8.2〉 口 (17.6)	+6～+30(8個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④1/5	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	内面燻し状
171	土師器 甕	器 〈16.4〉 口 (21.0)	−6～+24.5 (9個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④1/4	口縁部外反気味横撫で。胴上位張る胴上位横下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
172	土師器 甕	器 〈7.0〉 口 (21.0)	+5～+27.5 (9個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-4/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	内面一部磨滅
173	土師器 甕	器 〈8.6〉 口 (21.5)	+11 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅著しい
174	土師器 甕	器 〈10.6〉 口 (21.0)	+11 +13.5 +24.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
175	土師器 甕	器 〈4.8〉 口 (22.0)	+24.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向篦削り調整	磨滅
176	土師器 甕	器 〈8.2〉 口 (20.0)	+6 +14 +21	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
177	土師器 甕	器 〈24.2〉 口 (21.0)	+7 +21 +21 +22.5 +23 +27	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④1/4	口縁部外反気味横撫で。胴上位張る上位横下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内面燻し状 磨滅
178	土師器 小型甕	器 〈4.4〉 口 (12.0)	+36	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	外面磨滅
179	土師器 甕	器 〈3.0〉 底 (10.0)	+6 +34	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部手持ち篦削り内面篦撫で調整	
180	土師器 甕	器 〈3.4〉 底 (5.0)	+10	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(底部)	外面胴部・底部手持ち篦削り内面篦撫で調整	内外面燻し状
182	土師器 台付甕	器 〈4.6〉 高台径 (8.6)	+13	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(台部)	台部内外面横撫で調整	
183	土師器 台付甕	器 〈4.0〉 高台径 (9.3)	+4 +4.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(台部)	台部内外面横撫で調整	
184	須恵器 坏	器 4.3 口 12.2	+1.5 +2 +2 +2.5 +46	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.1
185	須恵器 坏	器 3.7 口 12.5	+15.5 +18.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形糸切り後。底部周辺左回転手持ち篦削り調整。底部厚く重い	底6.1
186	須恵器 坏	器 3.7 口 11.9	+10	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形糸切り後。底部周辺右回転手持ち篦削り調整	底6.7
187	須恵器 坏	器 〈4.1〉 口 13.6	+7.5	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④1/2	ロクロ成形。左回転糸切り	
188	須恵器 坏	器 〈4.4〉 口 (12.6)	+21.5	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④1/3	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (6.0)
189	須恵器 坏	器 4.3 口 12.6	+26	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④1/2	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.0
190	須恵器 坏	器 4.4 口 14.1	+4 +12 +15.5 +20	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④1/2	ロクロ成形。左回転糸切り	底8.8
191	須恵器 坏	器 4.5 口 12.4	+3 +10 +20 +32.5 +50	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④1/2	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.1
192	須恵器 坏	器 〈2.6〉 底 (6.0)	+31	①細砂 ②還元 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④1/4	ロクロ成形糸切り後。底部周辺右回転手持ち篦削り調整	
193	須恵器 坏	器 〈3.6〉 底 (8.0)	+21	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④1/4	ロクロ成形糸切り後底部周辺右回転手持ち篦削り調整	
194	須恵器 坏	器 3.7 口 11.3	+11.5 +15 +16 +21 +32.5	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-7/6 ④1/2	底部右回転篦削り調整	内面黒色処理篦磨き
195	須恵器 坏蓋	器 2.9 口 13.3 鈕 3.3	−3 +20 +21	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④1/2	ロクロ成形。鈕はリング状天井部右回転篦削り調整	
196	須恵器 坏蓋	器 〈2.5〉 口 (14.8) 鈕 (5.0)	−2 +5 +29	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④1/3	ロクロ成形。鈕はリング状天井部回転伴う篦削り調整	天井部自然釉付着
197	須恵器 坏蓋	器 〈4.0〉 鈕 (2.9)	+5 +11 +21 +38	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/2 ④破片(天井・端部)	ロクロ成形。鈕は宝珠状天井部右回転篦削り調整	
198	須恵器 坏蓋	器 〈2.5〉 口 (18.7)	+5 +14	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(天井・端部)	ロクロ成形。鈕は宝珠状天井部右回転篦削り調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
199	須恵器 坏蓋	器 〈1.9〉 口 (14.4)	+15 +25	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/2 ④⅓(鈕欠損)	ロクロ成形。天井部右回転篦削り調整	
201	須恵器 短頸壺蓋	器 4.2 口 14.0	+12	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④½	ロクロ成形。鈕はリング状	鈕5.3
202	須恵器 長頸壺	器 〈12.5〉 口 (8.6) 頸 (6.0)	+7 +35	①細砂 ②還元 ③断面灰黄2.5Y-7/2 ④¼	ロクロ成形	外面肩部内面口縁部自然釉付着
203	須恵器 横瓶？	器 〈30.1〉 頸 (12.7)	+12～+30 (10個体)	①細砂 ②還元 ③灰10YR-6/1 ④¼(頸・胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目。口縁部横撫で調整	外面胴部にタール付着
204	須恵器 甕	器 〈6.7〉 口 (24.0)	+20 +22.5	①細砂 ②還元 ③断面灰白2.5Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。胴部内外面ロクロ調整	
205	須恵器 甕	器 〈18.6〉 口 (16.2)	−1+3～+24(24個体)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¼	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目ロクロ調整横撫で	
312	須恵器 甕	器 〈44.6〉 口 (25.0)	−1 +1 +2 +6 +7 +10	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5YR-6/1 ④¼(胴部)	外面平行叩き目。内面同心円当て目	外面自然釉胴部径(40.9)
1279	土錘	長さ (5.0) 幅 1.8	+15	④ほぼ完形	指撫で	表面磨滅孔0.2
1280	土錘	長さ (2.7) 幅 1.5	+10	④½	指撫で指おさえ	表面磨滅孔0.2
1281	土錘	長さ (4.9) 幅 1.8	+6	④ほぼ完形	指撫で	表面磨滅孔0.1
1282	土錘	長さ (5.1) 幅 2.7	−2	④完形	指撫で	表面磨滅孔0.2
1219	鉄製品 ノミ？	長さ (10.9) 厚さ 0.8	−2.5	おそらくノミの刃部及び茎と考えられる。刃部は欠損があってはっきりしないが細めのノミ工具と考えられる。茎は太く関部はしっかりとしたつくりである		幅(1.2)
1221	鉄製品 釘	長さ (9.1) 厚さ 0.6	−23.5	大形の釘である。茎途中から屈曲している茎立てに木質の遺存はない		幅0.6

4AI区22号住居出土遺物（第104・105図、PL58）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
206	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 15.2 高台径 7.3	−2 +1 +2 +3.5 +8埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅。内面口縁上半僅かに燻し状
207	須恵器 高台付椀	器 5.4 口 15.0	+1 +3 +15	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径6.4
208	須恵器 椀	器 4.4 口 14.1	+32	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/2 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	内面剝離底6.0
209	須恵器 高台付椀	器 5.0 口 14.7	−2 +1 +3 +38.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④½	ロクロ成形糸切り離し後付高台	磨滅高台径6.9
210	須恵器 高台付椀	器 〈5.4〉 口 (15.5) 高台径 (6.2)	+1 +4 +6 +9	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④¼	ロクロ成形糸切り離し後付高台	内外面底部炭素吸着
211	須恵器 高台付椀	器 〈4.6〉 口 (12.4) 高台径 (6.8)	+1+10	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④¼	ロクロ成形糸切り離し後付高台	内外面底部炭素吸着
212	須恵器 高台付椀	器 〈4.1〉 高台径 (6.3)	−4 +1 +3 +10 +21	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④¼(口縁・底部)	ロクロ成形糸切り離し後付高台	磨滅著しい
213	須恵器 坏	器 3.8 口 13.2 底 6.0	+20	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④完形	ロクロ成形右回転糸切り	磨滅。内面煤付着
214	須恵器 坏	器 〈4.1〉 口 (12.9)	−7 +8	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④⅓	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅底(5.4)
216	須恵器 高台付皿	器 3.1 口 13.3	+27	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④½	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
217	須恵器 高台付皿	器 3.1 口 12.9 高台径 5.8	−6 −5 −1.5	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形糸切り後付高台	磨滅著しい 内面底部炭素吸着
218	須恵器 高台付皿	器 2.4 口 12.9	−17 −10 −9.5	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④½	ロクロ成形糸切り後付高台	磨滅著しい 高台径6.0

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
219	須恵器 高台付皿	器 3.3 口 14.7	+21	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/2 ④½	ロクロ成形糸切り後付高台	磨滅著しい 高台径7.0
220	灰釉陶器 高台付壺	器 〈2.8〉 高台径 (8.8)	+27	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④⅛(底部)	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ	内面底部外面一部釉かかる
221	須恵器 甑	器 〈11.9〉 口 (26.2)	+0.5	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④破片(口縁部)	紐作りロクロ成形。口縁先端部内斜を呈す鍔はAタイプ	磨滅著しい
222	瓦	長さ (8.0) 厚さ 1.6	+28	①粗砂 ②中性 ③淡黄2.5Y-8/4 ④破片	外面ヘラ調整内面布目圧痕。桶巻も骨痕	幅(6.6)
223	土師器 小型甕	器 〈4.6〉 口 (12.0)	+28	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。内面胴部横方向篦撫で調整	内外面一部炭素吸着。磨滅
224	土師器 台付甕	器 〈2.3〉 高台径 (9.0)	−11	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(台部)	台部横撫で調整	
225	土師器 甕	器 〈18.1〉 口 (19.9)	−2+8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅙	コの字状口縁。胴上位横下位縦方向篦削り内面横方向刷毛目撫で	磨滅著しい 胴部炭素吸着
226	土師器 甕	器 〈6.5〉 口 (18.2)	+11.5 +12 +24	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅著しい
1283	砥石	長さ (10.0) 厚さ 3.0	+9.5	④½ 石材変質デイサイト重さ430g	大形品。断面長方形。四側面使用。狭側面反り返る	幅7.8
1284	土錘	長さ (4.9) 幅 2.0	+17.5	④½	指撫で	表面磨滅孔0.25

4AI区23号住居出土遺物（第110図、PL59）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
229	土師器 坏	器 〈4.0〉 口 (15.0)	+46 +49 +53.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼	口縁部直立気味。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅底(12.5)
232	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.0)	+23	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味。底部平底気味手持ち篦削り調整	
233	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (13.0)	+18	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
235	土師器 甕	器 〈5.9〉 口 (13.2)	+7	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面櫛状工具による横撫で調整	
236	土師器 甕	器 〈4.4〉 底 (5.3)	+5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-5/4 ④破片(底部)	内面篦撫で調整胴部縦方向、底部手持ち篦削り調整	
237	土師器 甕	器 〈12.7〉 口 (11.1)	+10 +27 +50	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼(口縁・底部)	口縁部コの字状。胴部縦方向、底部手持ち篦削り調整	
238	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 鈕 (5.2)	+31	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④¼	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	一条の隆帯あり
240	須恵器 坏蓋	器 〈1.7〉 鈕 (5.2)	+28	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(鈕)	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	
241	須恵器 坏蓋	器 〈2.0〉 口 (16.2)	+54	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(天井部)	ロクロ成形横撫でカエリあり。天井部回転伴う篦削り調整	
242	須恵器 坏	器 〈2.1〉 底 (9.0)	+50	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り後。底部周辺右回転手持ち篦削り調整	
243	須恵器 坏	器 〈3.6〉 口 (14.0)	+7	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④¼	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
247	須恵器 坏	器 3.2 口 13.2	−1 +10 +12 +22	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅
268	土師器 甕	器 〈7.7〉 口 (19.0)	+5 +30 +49	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り調整	
271	土師器 小型台付甕	器 〈10.5〉 高台径 (9.6)	+6 +9 +18	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼(下半部)	外面、胴部上位横方向篦削り下位縦方向篦削り。内面、胴部横方向篦撫で調整	外面胴部・底部炭素吸着

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
477	須恵器 坏	器 3.1 口 12.3	−33	①細砂 ②還元 ③黒灰N-2/ ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底5.9

4AI区24号住居出土遺物（第115図、PL59）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
227	土師器 坏	器 3.1 口 12.4	+3 +12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅底8.2
230	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.0)	+5 +8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④¼	口縁部直立気味。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
239	須恵器 坏蓋	器 〈2.0〉 鈕 (4.1)	+7	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(鈕)	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	
244	須恵器 坏	器 〈2.7〉 底 (8.0)	+1	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り後。底部周辺右回転手持ち篦削り調整	断面にぶい赤褐5YR-5/4
245	須恵器 坏	器 〈3.9〉 口 (13.0)	+8	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形回転糸切り	
248	土師器 坏	器 3.3 口 12.2	−2	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④½	口縁部外反気味。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底9.2
249	土師器 甕	器 〈17.8〉 口 (19.6)	−5 +4 +6 +8 +25	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④¼(上半部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向下位縦方向篦削り調整	磨滅著しい
250	土師器 甕	器 〈11.6〉 口 (19.2)	+9 +19	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向下位縦方向篦削り調整	磨滅著しい
251	土師器 甕	器 〈9.7〉 口 (21.2)	+10	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り調整	磨滅
252	土師器 甕	器 〈7.0〉 口 (17.2)	±0 +5.5 +27	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向篦削り調整	磨滅
253	土師器 甕	器 〈5.5〉 口 (23.2)	+1〜+24(27個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向篦削り調整	磨滅
254	土師器 甕	器 〈5.6〉 口 (17.4)	−1 ±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向篦削り調整	磨滅
255	土師器 甕	器 〈6.3〉 口 (19.4)	−7 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向篦削り調整	磨滅
256	土師器 甕	器 〈14.8〉 口 (19.4)	−7 −4 −1 ±0〜+28(26個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(上半部)	口縁部コの字状。外面胴部上位横方向篦削り調整	磨滅
257	須恵器 坏蓋	器 4.7 口 17.3	+6	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④完形	ロクロ成形鈕はボタン状。天井部右回転篦削り調整	鈕4.2
258	須恵器 坏	器 3.0 口 12.2	+4	①細砂 ②還元 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④½	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.0
262	土師器 坏	器 3.6 口 12.6	+1.5 +2	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¾	口縁部外反気味。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底8.1

4AI区25号住居出土遺物（第117・121図、PL59）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
265	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (14.0)	−1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
267	土師器 甕	器 〈22.1〉	−37 −35 −32 +3 +10.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¾(口縁・底部欠損)	外面胴部上位横方向下位縦方向篦削り調整	外面炭素吸着
269	土師器 長甕	器 〈4.5〉 口 (20.5)	+1 +20	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で調整	
270	土師器 甕	器 〈2.3〉 底 (4.0)	+11.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	
274	須恵器 坏蓋	器 〈2.0〉 口 (16.0)	−22	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¼	天井部右回転篦削り調整	
231	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (13.0)	+49.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部内彎気味。底部丸底気味手持ち篦削り調整	

４ＡＩ区26号住居出土遺物（第127・129～134図、PL59～62）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
260	土師器	器 2.9	−61.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④完形	口縁部直立気味。底部平底気味手持ち篦削り調整	底10.2
	坏	口 13.0				
261	土師器	器 3.5	−55	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味。底部平底気味手持ち篦削り調整	底9.8
	坏	口 13.5				
263	土師器	器 〈3.3〉	+2	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④¼	口縁部直立気味。底部平底気味手持ち篦削り調整	
	坏	口 (13.2)				
272	須恵器	器 2.5	−50 −49 −40	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④ほぼ完形	鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	鈕4.0
	坏蓋	口 14.0				
273	須恵器	器 〈2.0〉	−49 −44 −41	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④¼(鈕欠損)	天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	口 (14.0)				
275	須恵器	器 3.9	+26 +30	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④½	ロクロ成形鈕はリング状。天井部左回転篦削り調整	外面一部自然釉付着
	坏蓋	口 18.3				
276	須恵器	器 3.0	±0 +11 +11.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¾	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	口 19.4	+12 +16			
277	須恵器	器 2.2	+23	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④½	ロクロ成形カエリあり鈕はボタン状。天井部右回転篦削り調整	鈕3.8
	坏蓋	口 14.0				
279	須恵器	器 〈2.0〉	+6 +37.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④¼	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	鈕(4.0)
	坏蓋	口 (14.4)				
280	須恵器	器 〈3.0〉	+10.5 +31	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④¼	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	口 (15.2)				
281	須恵器	器 〈3.4〉	+27	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④¼	ロクロ成形鈕は宝珠状。天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	口 (16.8)				
282	須恵器	器 〈2.5〉	+25	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④¼	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	鈕(3.9)
	坏蓋	口 (18.0)				
283	須恵器	器 〈1.4〉	+2.5	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④破片(鈕)	鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	内面天井部重ね焼き痕あり
	坏蓋	鈕 (5.3)				
284	須恵器	器 〈1.7〉	+6 +7 +12	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④¼(鈕欠損)	ロクロ成形天井部回転糸切り後天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	口 (16.0)				
285	須恵器	器 〈2.7〉	+2	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④破片(端部)	ロクロ成形天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	口 (22.0)				
286	須恵器	器 〈2.6〉	+0.5 +2 +2.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④破片(端部)	ロクロ成形	端部繊維痕
	坏蓋	口 (20.0)				
288	須恵器	器 〈2.5〉	+8 +23	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(端部)	ロクロ成形天井部右回転篦削り調整	
	短頸壺蓋	口 (14.0)				
289	須恵器	器 6.0	+3 +6 +7 +8	①細砂 ②還元 ③橙5YR-6/8 ④½	ロクロ成形底部手持ち篦削り調整	内面篦磨き黒色処理
	坏	口 16.2	+20+30			
290	須恵器	器 4.3	+21	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	外面一部炭素素吸着。底8.0
	坏	口 13.5				
291	須恵器	器 3.7	+6	①細砂 ②還元 ③灰褐7.5YR-6/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.2
	坏	口 13.5				
292	須恵器	器 3.0	+20	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	内面磨滅
	坏	口 12.4				
293	須恵器	器 3.8	+26	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-5/1 ④½	ロクロ成形回転糸切り	
	坏	口 12.5				
294	須恵器	器 〈3.4〉	+28 +29	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④¼	ロクロ成形回転糸切り	
	坏	口 (13.0)				
295	須恵器	器 6.4	+18	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り口縁下部左回転篦削り調整	長岡京(吉井産)
	坏	底 4.5				
296	須恵器	器 3.6	+26	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形回転篦切り後底部周辺右回転手持ち篦削り調整	底8.7
	坏	口 13.8				
297	須恵器	器 3.4	+23 +35	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④½	ロクロ成形回転篦切り後底部周辺右回転手持ち篦削り調整	底9.0
	坏	口 13.2				
298	須恵器	器 〈2.3〉	+5	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④¼	ロクロ成形。左回転糸切り後底部周辺右回転手持ち篦削り調整	
	坏	底 (9.0)				
299	須恵器	器 〈3.2〉	+2 +15 +20.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④¼	ロクロ成形回転糸切り後底部周辺右回転手持ち篦削り調整	
	坏	口 (13.1)				
300	須恵器	器 〈3.7〉	−1 +1 +3 +4	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④½	ロクロ成形底部右回転篦削り調整	
	坏	口 14.2	+8 +19			

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
301	須恵器 坏	器 〈3.5〉 口 13.6	−14	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④½	ロクロ成形底部及び底部周辺左方向回転篦削り調整	
302	須恵器 坏	器 〈4.2〉 口 (10.4)	+4 +9	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④¼	削り出し高台底部及び底部周辺右方向回転篦削り調整	
303	須恵器 坏	器 〈3.5〉 口 (11.8)	+12〜+28.5 (7個体)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④¼	ロクロ成形回転糸切り後底部周辺右回転手持ち篦削り調整	
304	須恵器 椀	器 〈6.4〉 口 (14.8)	−5 +23.5 +29	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④¼	ロクロ成形回転糸切り。口縁端部水平	
305	須恵器 椀	器 5.7 口 15.7	±0〜+3	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形底部周辺右回転手持ち篦削り調整	歪みあり底9.4
306	須恵器 高台付椀	器 7.2 口 16.8	+11	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台底部撫で調整	高台径10.0
307	須恵器 高台付杯	器 4.7 口 10.6	+11.5	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台	底6.4
308	須恵器 高台付杯	器 4.0 口 11.0	+10 +30	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④½	ロクロ成形回転糸切り付高台	高台径7.4
309	須恵器 高台付杯	器 〈2.1〉 高台径(14.0)	+42	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形付高台底部周辺右回転手持ち篦削り調整	
310	須恵器 鉢	器 11.2 口 21.8	−15 +4 +5 +12.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④½	平底。ロクロ調整で短い口縁部が外反する	
311	須恵器 甕	器 30.9 底 19.0	+4〜+35 (21個体)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④½(口縁・底部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目底部平底気味	
313	須恵器 甕	口 (22.9) 厚み 1.0	−4+13〜+31(14個体)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁・胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	外面肩部自然釉付着
314	須恵器 甕	長さ 〈9.7〉 厚み 0.9	±0〜+34 (10個体)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④破片(肩部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
315	須恵器 甕	長さ 〈9.2〉 厚み 1.2	+4	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。五本一単位の櫛状工具4段波状文施す	
316	須恵器 甕	口 (19.8) 厚み 1.1	+18 +20 +21	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁・胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目の後撫で。口縁部撫で調整	
317	須恵器 甕	器 〈4.8〉 口 (21.4)	+7 +20	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	№318と同一か
318	須恵器 甕	厚み上部0.6 厚み下部0.9	±0〜+32 (10個体)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	
319	須恵器 甕	厚み 0.7	−1±0〜+27(32個体)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(口縁・胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目胴部外面撫で。口縁部撫で調整	
324	土師器 坏	器 2.9 口 13.2	+9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底10.0
325	土師器 坏	器 3.4 口 13.0	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底9.6
326	土師器 坏	器 3.0 口 13.5	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底8.7
327	土師器 坏	器 3.2 口 13.2	+12.5 +13	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底8.5
328	土師器 坏	器 3.2 口 12.9	+1 +5 +6 +13	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底10.8
329	土師器 坏	器 2.9 口 13.3	+5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	底9.7
330	土師器 坏	器 3.2 口 12.6	+3.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	底9.9
331	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 12.9	+22 +28 +29	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅底11.2
332	土師器 坏	器 3.5 口 12.7	+23 +25	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底8.6
333	土師器 坏	器 〈2.8〉 口 (12.8)	+13	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底 (10.6)
334	土師器 坏	器 3.5 口 13.9	+16 +17 +18	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底11.2
335	土師器 坏	器 3.0 口 14.0	±0 +9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底9.3

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
336	土師器 坏	器 3.5 口 12.8	±0 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅底11.2
337	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.2)	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底 (9.3)
338	土師器 坏	器 3.5 口 13.0	−1 +1 +18	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅底9.7
339	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (13.0)	+4 +8.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅
340	土師器 坏	器 3.4 口 13.0	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底11.8
341	土師器 坏	器 3.0 口 13.2	+10.5 +17	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底11.1
342	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 13.0	+8 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
343	土師器 坏	器 〈2.3〉 口 (13.0)	±0 +5 +20	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底 (12.0)
344	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (12.0)	+22	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅底 (9.8)
346	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (13.2)	+1.5 +9 +16	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅。内外面一部炭素吸着
347	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (13.2)	+20.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底 (10.4)
348	土師器 坏	器 3.3 口 11.9	+32	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④¾	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅底9.0
349	土師器 坏	器 〈2.8〉 口 (12.4)	+4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅
350	土師器 坏	器 3.9 口 13.3 底 8.0	+7 +15	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
351	土師器 坏	器 3.5 口 12.9 底 7.5	+3 +11 +12 +21	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
352	土師器 坏	器 3.8 口 13.5 底 7.0	+9 +15 +23	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅著しい。内面放射状篦研磨
353	土師器 坏	器 〈4.3〉 口 (13.2) 底 (7.2)	+16	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
354	土師器 坏	器 〈4.0〉 口 (13.0) 底 (6.8)	+29.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	内面放射状篦研磨。外面炭素吸着
355	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.4)	+8 +9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
356	土師器 坏	器 3.5 口 13.1 底 6.5	+3 +6 +20	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅著しい。内面放射状篦研磨
357	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (12.0)	+13 +18	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
359	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (11.0) 底 (6.7)	+22	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
360	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (12.6)	+33	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
361	土師器 坏	器 〈4.0〉 口 (14.2)	+16	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
362	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.4) 底 (8.1)	+15	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅著しい。内面放射状篦研磨
363	土師器 盤	器 〈1.9〉 口 (17.0)	+25	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい。底部吸炭

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
364	土師器 碗	器 〈5.2〉 口 (17.0) 底 (9.8)	+31	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち篦削り調整	磨滅。内面放射状篦研磨
365	土師器 鉢	器 11.7 口 23.2	−1 +2 +5 +6 +12.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。外面胴部・底部篦削り、内面篦撫で調整	
366	土師器 鉢	器 〈9.4〉 口 (22.8)	+15 +28 +30	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で胴部外面縦方向篦削り、内面横方向篦撫で調整	
367	土師器 小型甕	器 〈5.8〉 口 (14.2)	+1 +15 +18 +19 +27.5 +28	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¼(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅
368	土師器 小型甕	器 〈5.7〉 口 (17.0)	+5 +8	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
369	土師器 甕	器 〈16.0〉 口 〈20.5〉	±0 +1 +3 +14 +22 +25 +30.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½(上半部)	口縁部外反気味横撫で。胴上位横・下位縦・底部篦削り胴内面横方向篦撫で	外面肩部炭素吸着
370	土師器 甕	器 〈14.1〉 口 (21.2)	+19〜+27.5(8個体)−4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上位横・下位縦・底部篦削り胴内面横方向篦撫で	磨滅
371	土師器 甕	器 〈7.5〉 口 (24.8)	−1 +6 +16 +19	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
372	土師器 甕	器 〈8.1〉 口 (22.0)	+10〜+32.5 (13個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
373	土師器 甕	器 〈5.2〉 口 (22.0)	−1 +8 +12.5 +19	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
374	土師器 甕	器 〈10.7〉 口 (18.0)	+20	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	外面肩部一部炭素吸着
375	土師器 甕	器 〈5.4〉 口 (19.0)	+19	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅
376	土師器 広口甕	器 〈7.5〉 口 (19.6)	−10 ±0 +0.5 +1.5+2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
377	土師器 広口甕	器 〈8.1〉 口 (23.0)	+12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
378	土師器 小型甕	器 〈4.0〉 口 (11.0)	+26.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
379	土師器 広口甕	器 〈9.0〉 底 (7.0)	−0.5〜+3.6 (13個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面炭素吸着
380	土師器 甕	器 〈11.5〉 底 (5.5)	+18 +25	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(下半部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	磨滅
381	土師器 甕	器 〈3.7〉 底 (6.0)	±0+23	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	
382	土師器 甕	器 〈2.0〉 底 (6.2)	−4.5 ±0	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面底部黒斑
383	土師器 広口甕	器 〈4.2〉 底 (7.5)	+3 +4 +4.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面底部黒斑
384	土師器 広口甕	器 〈2.2〉 底 (8.0)	+5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面底部黒斑
385	土師器 台付甕	器 〈6.5〉 高台径(10.8)	+7.5 +12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(台部)	台部横撫で調整	磨滅
386	土師器 台付甕	器 〈2.8〉 高台径 (8.4)	+20.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(台部)	台部横撫で調整	磨滅
387	土師器 甕	器 〈3.5〉 底 (6.0)	+5 +7	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で底部焼成前の穿孔篦切り調整	外面一部黒斑
414	土師器 坏	器 〈2.7〉 口 (12.0)	+16	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅕	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい底部黒斑
1222	鉄製品 板状鉄	長さ (4.6) 厚さ 0.4	+21.5	用途不明の鉄製板状品。外側縁も一部生きているものがあるが、その形状は不定形である。厚みは0.4㎜でかなりあり本来的にこの程度の厚さを有していたものと考えられる		幅(7.5)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1223	鉄製品	長さ (6.3)	+0.5	刃のほとんどを欠失している。茎は細長く関部から茎の一部にかけて木	質が遺存しており柄の状況が一部復元できる角材である	幅1.1
	刀子	厚さ 1.1				
1224	鉄製品	長さ (6.9)	+24.5	茎部の一部及び茎を欠失している。刃部は鏃箭式と思われ先端部の極一	部のみ刃を有するものである。鏃身関は撫関で関部の退化が認められる	幅0.8
	鉄鏃	厚さ 0.8				
1225	鉄製品	長さ 5.8	+19	釘の茎と考えられる。頭部及び先端部が欠失している。断面長方形のや	や細めのつくりで屈曲している	幅0.6
	釘	厚さ 0.6				
1226	鉄製品	長さ (4.4)	+22.5	釘の茎と考えられる。断面四角形のしっかりとしたつくりで、両端は欠	失している。木質の遺存はない	幅0.8
	棒状鉄	厚さ 0.7				
1227	鉄製品	長さ (7.8)	+13	つまみの部分が一部欠失している。全体に厚手の造りでつまみ端部は細	く仕上げてある	幅0.3
	摂子	厚さ 0.3				
1228	鉄製品	長さ (3.5)	+16	釘の茎である。頭部及び先端部を欠失している。断面正方形のしっかり	とした造りだが途中より屈曲している	幅0.5
	釘	厚さ 0.5				
1285	土錘	長さ 4.3	+27	④完形	指撫で	表面磨滅孔
		幅 1.7				0.6

4AI区28号住居出土遺物（第141・143図、PL62・63）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
390	須恵器	器 5.2	+11	①細砂 ②還元 ③灰白10	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい
	高台付椀	口 14.2		Y-7/1 ④½		高台径6.4
391	須恵器	器 3.3	+7.5	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
	坏	口 12.4		黄橙10YR-7/2		内外面一部
		底 4.8				燻し状
392	須恵器	器 4.4	+5.5	①細砂 ②還元 ③明黄褐	ロクロ成形。左回転糸切り	内面底部黒
	坏	口 12.3		10YR-7/6 ④完形		斑内面口唇
		底 5.7				部煤付着
393	須恵器	器 4.1	−5	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
	坏	口 12.9		Y-7/2 ④ほぼ完形		底5.6
394	須恵器	器 〈4.2〉	+14.5	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台は	内面煤付着
	高台付椀	高台径 7.1		黄橙10YR-6/3 ④¾(口縁	粗雑な作り。	外面燻し状
				部欠損)		
395	須恵器	器 〈2.9〉	+3 +5.5	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	口縁一部炭
	高台付皿	口 (13.4)		黄2.5Y-6/3 ④⅓		素吸着
		高台径 (6.1)				
396	須恵器	器 〈4.4〉	+5 +19	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい
	高台付椀	口 (14.6)		Y-7/2 ④⅓		内面底部黒
		高台径 (7.0)				斑
397	須恵器	器 5.3	−10〜+16.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	ロクロ成形回転糸切り付高台	高台径6.2
	高台付椀	口 14.7	(10個体)	-7/1 ④¾		
398	須恵器	器 〈4.7〉	+13 +13.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい
	高台付椀	口 (15.6)		-7/2 ④⅓(高台部欠損)		内外面一部
		底 (6.0)				黒斑
399	須恵器	器 5.2	−5 +11	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5	ロクロ成形回転糸切り付高台口縁部横撫で	磨滅著しい
	高台付椀	口 14.3		Y-7/3 ④½	調整	高台径7.1
400	須恵器	器 〈5.2〉	+2 +15	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい
	高台付椀	口 (14.0)		Y-7/3 ④⅓		高台径(7.0)
401	須恵器	器 〈5.3〉	+6 +11.5	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形回転糸切り付高台	内面底部黒斑
	高台付椀	口 (14.6)		黄2.5Y-6/3 ④⅕		高台径(6.7)
403	須恵器	器 〈3.8〉	−9 −1 +10	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
	坏	口 (12.8)		Y-7/4 ④⅓		内外一部黒
		底 (6.0)				斑
404	須恵器	器 〈3.3〉	−23 −9.5	①細砂 ②還元 ③橙7.5	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (5.2)
	坏	口 (12.4)	+17.5	YR-6/6 ④破片(口縁・底		
				部)		
405	土師器	器 〈22.0〉	−2〜+19	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部コの字状横撫で。胴上位横・下位縦	内外面一部
	甕	口 19.5	(12個体)	YR-7/6 ④¾	縦方向篦削り内面横方向刷毛目横撫で	炭素吸着
406	土師器	器 〈12.0〉	−11 ±0 +2 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部コの字状横撫で。胴上位横・下位縦	磨滅。胴部
	甕	口 (20.9)	+13	YR-7/6 ④¼(上半部)	方向篦削り胴内面横方向篦撫で	炭素吸着
407	土師器	器 〈8.2〉	−1 +4 +5 +6.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方	やや磨滅
	甕	口 (20.0)		YR-7/6 ④¼(口縁部)	向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
408	土師器	器 〈7.3〉	−6 ±0 +5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方	
	甕	口 (24.0)	+15.1	YR-6/6 ④破片(口縁部)	向篦削り内面櫛状工具による横撫で	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
409	土師器 甕	器 〈9.3〉 口 (20.0)	+1 +5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面櫛状工具による横撫で	やや磨滅
410	土師器 甕	器 〈4.9〉 口 (20.0)	+10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
411	土師器 甕	器 〈4.6〉 底 (4.4)	−8	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面底部黒斑
412	土師器 甕	器 〈3.7〉 底 (3.6)	+13.5 +15	①粗砂 ②酸化 ③褐7.5YR-4/3 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面炭素吸着
1230	鉄製品 刀子	長さ 21.3 厚さ 0.6	−2	完形。刃は長く細い。特に刃先付近は細めで研磨により細くなったものと思われる。茎も長めで両関を呈する。全体に大形のつくりである。柄に木質の遺存は認められない		幅1.6

4AI区29号住居出土遺物（第146図、PL63）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
421	土師器 甕	器 〈4.3〉 口 (16.0)	+22 +24	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐2.5YR-5/4 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で調整	
416	須恵器 坏	器 3.3 口 12.0 底 7.0	−6	①細砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面一部炭素吸着

4AI区30号住居出土遺物（第151・152図、PKL63）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
278	須恵器 坏蓋	器 5.0 口 17.2	−18 +17	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④½	ロクロ成形鈕はリング状。天井部右回転篦削り調整	歪みあり鈕3.7
320	須恵器 甕	器 〈5.7〉 口 (21.7)	−1	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	内面口縁部自然釉付着
413	土師器 坏	器 3.2 口 12.0	−8 +1.5	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④½	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
415	須恵器 坏	器 3.9 口 12.4	+3 +12 +13 +27 +28	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	底部厚い底7.1
417	須恵器 坏	器 〈4.1〉 口 (12.6)	+5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④¼	ロクロ成形回転糸切り	磨滅著しい
418	須恵器 高台付椀	器 〈2.4〉 高台径 (8.4)	+18	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/2 ④¼(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
419	須恵器 高台付椀	器 〈3.8〉 高台径 (8.8)	+10	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④¼(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。やや高い高台。底部に厚みを持つ	
420	須恵器 坏蓋	器 2.7 口 18.0	+24	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④½(鈕欠損)	ロクロ成形回転糸切り。天井部一部手持ち篦削り調整	
422	土師器 坏	器 3.0 口 12.1	+8 +12.5 +34	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¾	口縁部外反気味先端内斜横撫で。底部平底手持ち篦削り調整	磨滅著しい底7.5
423	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.0)	+10 +24.5	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④⅓	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
424	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.0)	+24	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	
425	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.6)	+6.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
426	須恵器 坏	器 3.8 口 12.1	±0	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい底6.6
427	須恵器 坏	器 3.3 口 12.6 底 6.4	+11	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい外面炭化物付着
428	須恵器 坏	器 3.2 口 12.5	+14 +15.5 +24.5	①細砂 ②還元 ③灰10Y-4/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	
429	須恵器 坏	器 3.1 口 12.3	+3.5	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-7/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
430	須恵器 坏	器 〈3.0〉 底 (8.3)	+18 +24.5	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り	
431	須恵器 坏	器 〈3.9〉 口 (12.0)	+12	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④⅙	ロクロ成形回転糸切り	磨滅著しい底 (6.8)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
432	須恵器 椀	器 6.9 口 14.4	−1.5 −1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径7.6
433	須恵器 高台付椀	器 6.2 口 14.2	±0 +8 +15 +24	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径7.2
434	須恵器 高台付椀	器 〈2.2〉 底 (7.8)	+4	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④¼(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
435	須恵器 坏	器 〈3.3〉 口 (11.8)	+9 +10	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形	
436	須恵器 坏蓋	器 〈2.0〉 鈕 3.2	+26	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④¼(天井部)	ロクロ成形鈕はボタン状天井部右回転篦削り調整	磨滅著しい
443	土師器 甕	器 〈20.5〉 底 4.0	−1〜+28 (21個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④½(口縁部欠損)	胴上部張る。胴上位横・下位縦・底部篦削り胴内面横方向篦撫で	磨滅著しい 一部炭吸着
444	土師器 甕	器 〈9.8〉 口 (19.8)	+4〜+19.5 (9個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅著しい
445	土師器 甕	器 〈7.0〉 口 (20.0)	+15 +16 +17 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
446	土師器 甕	器 〈2.8〉 底 (4.0)	+21 +22.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	内面篦撫で調整	磨滅著しい
447	土師器 甕	器 〈7.8〉 底 (4.0)	+8 +11.5 +18 +20.5	①粗砂 ②酸化 ③褐7.5YR-4/3 ④破片(底部)	内面篦撫で調整	
448	土師器 小型台付甕	器 〈9.5〉 口 (14.0)	+0.5〜+21 (12個体)	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/6 ④¼(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上位張る。胴上位横・下位縦方向篦削り内面横方向篦撫で	やや磨滅一部炭吸着

4AI区32号住居出土遺物（第156図、PL63・64）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
451	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 13.6	+1	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台	内外面一部煤付着。磨滅
452	須恵器 高台付椀	器 5.7 口 15.8	+4 +4.5 +6	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	やや磨滅 高台径6.9
453	須恵器 高台付椀	器 4.6 口 14.6	+3.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④½	ロクロ成形。左回転糸切りの後付高台。高台は粗雑な作り	摩滅著しい 高台径8.1
454	須恵器 高台付椀	器 〈3.6〉 口 (14.3)	−1	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形	
455	須恵器 坏蓋	器 〈1.6〉 口 (14.1)	+19	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(端部)	ロクロ成形天井部右回転篦削り調整	
456	須恵器 高台付皿	器 2.7 口 13.0 高台径 7.0	+3	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい 内外面一部燻し状
457	土師器 甕	器 〈12.1〉 口 (20.9)	−5〜+1.5 (6個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④⅙(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。胴上位横・下位縦方向篦削り。内面胴部横方向篦撫で	
458	土師器 坏	器 3.1 口 12.6	+10 +13 +14	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底手持ち篦削り調整	磨滅著しい
459	土師器 小型甕	器 〈6.5〉 口 (11.6)	+7	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上部張る。胴上位横方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	摩滅著しい
462	須恵器 高台付椀	器 2.8 高台径 6.3	+7	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-6/3 ④½(口縁部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	

4AI区33号住居出土遺物（第161図、PL64）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
460	土師器 坏	器 3.3 口 12.4	+2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¾	口縁部直立気味横撫で。底部平底手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底10.7
461	須恵器 高台付椀	器 〈5.9〉 口 (14.0)	+8.5 +9.5 +10	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形付高台	磨滅著しい一部炭素吸着
463	土師器 小型台付甕	器 15.4 口 13.7	−18〜+10(5個体)カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④¾(台部欠損)	口縁部横撫で胴上部張る。胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	摩滅著しい 一部炭吸着
449	土師器 坏	器 3.3 口 12.0	−3 +9 +9.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¾	口縁部外反気味先端横撫で内面撫で調整底部平底手持ち篦削り調整	磨滅著しい

4 A I 区34号住居出土遺物（第165図、PL64）

番号	器種・器形	大 き さ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成 ・ 整 形 技 法 の 特 徴	備　考
464	須恵器 坏	器　3.6 口　12.8 底　5.5	−9	①細砂　②還元　③浅黄2.5Y-8/3　④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 一部煤付着
465	須恵器 坏	器　4.0 口　14.0 底　5.7	−7.5 −3.5 −1 カマド埋土	①細砂　②還元　③灰白5Y-8/1　④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 内外面一部煤付着
466	須恵器 坏	器　3.8 口　12.9	−6 カマド埋土	①細砂　②還元　③浅黄2.5Y-7/4　④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り	摩滅著しい 底6.1
467	須恵器 坏	器　4.2 口　13.9 底　5.2	−7 −0.5	①細砂　②還元　③灰白2.5Y-8/1　④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 内外面一部燻し状
468	須恵器 高台付椀	器　4.3 口　13.9 高台径　6.2	−10.5 −9	①細砂　②還元　③灰白2.5Y-7/1　④完形	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台部は粗雑な作り	摩滅著しい 内外面一部煤付着
469	須恵器 高台付椀	器　5.2 口　14.5 高台径　7.3	−9 −8.5	①細砂　②還元　③浅黄2.5Y-7/6　④完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台部は粗雑な作り	摩滅著しい 内外面一部煤付着
470	須恵器 高台付皿	器　3.1 口　13.1 高台径　6.3	−5	①細砂　②還元　③にぶい黄橙10YR-6/4　④完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	上半燻し状
471	須恵器 坏	器　3.9 口　12.5 底　6.3	−6.5 カマド埋土	①細砂　②還元　③浅黄2.5Y-7/3　④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	やや磨滅。 外面底部黒斑
472	須恵器 高台付椀	器　5.3 口　14.4	−9	①細砂　②還元　③灰白5Y-7/1　④¾	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい 高台径7.3
473	須恵器 高台付椀	器　5.5 口　15.8	埋土	①細砂　②還元　③灰白5Y-7/2　④½(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径7.6
474	土師器 甕	器　〈14.1〉 口　(20.3)	−11.5〜+2 (37個体)	①粗砂　②酸化　③橙5Y-6/6　④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で胴上部張る。胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	外面胴部黒斑
475	土師器 甕	器　〈19.7〉 口　(21.0)	−13.5 −8 −7 −6 −4 −1	①粗砂　②酸化　③橙5Y-6/6　④¼(上半部)	コの字状口縁。胴上部張る。胴上位横・下位縦方向篦削り内面櫛状工具による横撫で	
476	土師器 甕	器　〈3.2〉 底　(3.5)	−9.5 −9−5	①粗砂　②酸化　③にぶい赤褐5YR-5/4　④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面燻し状

4 A I 区35号住居出土遺物（第170図、PL64）

番号	器種・器形	大 き さ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成 ・ 整 形 技 法 の 特 徴	備　考
478	土師器 坏	器　〈3.6〉 口　(13.0) 底　(11.5)	+17 +17.5 +20	①粗砂　②酸化　③明赤褐2.5YR-6/6　④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	やや磨滅。 内外面一部炭素吸着
479	土師器 坏	器　〈3.3〉 口　(12.2)	+53 +57	①粗砂　②酸化　③にぶい橙5YR-6/4　④¼	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
480	土師器 坏	器　〈3.8〉 口　(12.7)	+36	①粗砂　②酸化　③にぶい橙5YR-6/6　④¼	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
481	土師器 坏	器　〈3.8〉 口　(12.9)	−14 −3 +13 +26.5	①粗砂　②酸化　③橙5YR-6/6　④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	外面底部黒斑底(11.4)
482	須恵器 高台付椀	器　〈1.6〉 高台径(8.1)	−45.5	①細砂　②還元　③灰白7.5Y-7/1　④破片(底部)	付高台。右回転篦削り調整	
1231	鉄製品 鎌	長さ　〈11.5〉 厚さ　0.6	+27	刃の一部を欠失しているものである。直刃鎌に近い形態を有するもので、茎端部に屈曲がある。刃の先端は欠損しており形態不明瞭		幅2.7
1211	土師器 坏	器　〈3.5〉 口　(12.3)		①粗砂　②酸化　③にぶい橙5YR-7/4　④破片(口縁部)	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
1286	砥石	長さ　〈6.6〉 厚さ　1.7	−9	④½石材変質デイサイト重さ750g	断面、長台形。天井部欠損。四側面使用	幅3.2

4 A I 区36号住居出土遺物（第175図、PL65）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
483	土師器	器 3.5	−1±0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持	歪みあり底
	坏	口 13.0		橙5YR-6/4 ④¾	ち篦削り調整	11.6
484	土師器	器 2.9	+6 +7 +11	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	
	坏	口 13.2		橙5YR-6/4 ④¾	ち篦削り調整	
485	土師器	器 4.2	−11	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部直立気味先端僅かに内斜横撫で底部	
	坏	口 14.0		-7/6 ④½	平底気味手持ち篦削り調整	
486	土師器	器 30.4	+9 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持	
	坏	口 12.9		2.5YR-5/6 ④½	ち篦削り調整	
487	土師器	器 〈2.2〉	−6 +9	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	底 (10.8)
	坏	口 (13.0)		赤褐5YR-5/4 ④¼	ち篦削り調整	
488	土師器	器 〈3.5〉	+1 +6 +14	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	磨滅著しい
	坏	口 (12.9)	埋土	橙5YR-7/4 ④⅓	ち篦削り調整	底 (11.6)
1232	鉄製品	長さ (7.5)	−6 −5	刃と茎の先端を欠失する。刃・茎ともに細長く刃部長と茎長がほぼ同じ		幅0.8
	刀子	厚さ 0.5		ものであるハバキを有する。茎に木質が一部残る		

4 A I 区37号住居出土遺物（第179・180図、PL65・66）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
489	須恵器	器 〈3.5〉	±0 +0.5 +1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	ロクロ成形。左回転糸切り	
	坏	口 (12.0)		-6/1 ④¼		
490	須恵器	器 3.0	+7	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	ロクロ成形。左回転糸切り	片口。器高
	片口坏	口 12.0		-5/1 ④完形		がやや低い
		底 6.1				
491	須恵器	器 3.9	+5	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。回転糸切り後底部周辺左回転	他に比べ重
	坏	口 14.6		黄橙10YR-7/4 ④完形	手持ち篦削り調整	い底8.2
492	須恵器	器 2.8	+6.5 +10 +11	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	ロクロ成形付高台	高台径7.0
	高台付皿	口 13.0	+24埋土	-4/1 ④ほぼ完形		
493	須恵器	器 2.8	−2 +3 埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10	ロクロ成形。天井部左回転糸切り後一部手	
	坏蓋	口 16.2		Y-7/1 ④ほぼ完形	持ち篦削り調整	
494	須恵器	器 〈29.5〉	+3 +13 +14	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	口縁部外反気味横撫で。胴部上位に張りを	
	甕	口 (31.2)		-8/1 ④¼(底部中央欠損)	もち胴部外面平行叩き目の後平行カキ目内	
		底 (16.0)			面同心円当て目平底	
1287	石製	径 4.9	+7.5	④完形	光沢あり。断面丸味がある台形。側面下半	孔0.8
	紡錘車	厚さ 1.8			横方向削痕。上面ドーナッツ状磨耗	
1234	鉄製品	長さ 8.8	−2	頭部にネジリを加えて装飾性を意識したものと考えられる。茎部は断面		幅0.6
	鉄鏃	厚さ 0.5		方形の通有の造りである。鏃で頸部にネジリを加える例は今の所、5世紀		
				代に限られている		
1235	鉄製品	長さ 3.5	+12			幅8.3
	火打ち金	厚さ 0.5				
1236	鉄製品	長さ 18.6	±0	完形である。刃は細長い。研ぎべりによるものと思われる。茎も長く、		幅1.0
	刀子	厚さ 0.5		両関を呈する刃長に近い長さを有する。柄に木質の遺存はない		
495	須恵器	器 〈24.5〉	+9〜+27(8個体)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	焼成前に穿孔。端部手持ち篦削り調整☆手	
	☆手付☆	口 (39.4)		-4/1 ④¼	は中位より上に添付内外面篦撫で口縁部外	
		底 (16.0)			反気味横撫で調整	
496	土師器	器 3.8	+10 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐	口縁部外反気味先端横撫で内面撫で調整底	楕円形に歪む
	坏	口 13.1		2.5YR-5/6 ④ほぼ完形	部平底気味手持ち篦削り調整	底部炭吸着
497	土師器	器 3.8	+8 +9.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	
	坏	口 14.6	カマド埋土	YR-6/6 ④¾	ち篦削り調整	
498	土師器	器 〈2.9〉	+1	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持	口縁部中位
	坏	口 (12.0)		橙5YR-6/4 ④⅙	ち篦削り調整	に段あり
499	土師器	器 〈8.9〉	−24.5 −22 −21	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部コの字状横撫で。胴上部張り上位横・	内外面一部
	甕	口 (19.3)	−21.5±0+6	-6/6 ④¼(口縁部)	下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	炭素吸着
500	土師器	器 〈10.5〉	±0〜+20.5(8個	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方	
	甕	口 (21.0)	体)埋土	-6/6 ④破片(口縁部)	向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
501	土師器	器 〈5.7〉	+7 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方	内外面一部
	甕	口 (20.0)		赤褐5YR-4/4 ④破片(口	向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	燻し状
				縁部)		
502	土師器	器 12.8	+2〜+26(8個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部コの字状横撫で。胴上部張る。上位	内外面一部
	小型台付甕	口 11.4	埋土	橙5YR-6/3 ④¾(台部欠	横・下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫	炭素吸着
				損)	で台部横撫で	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
503	土師器 小型台付甕	器 〈4.2〉 高台径 (8.8)	+9	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/3 ④破片(台部)	台部横撫で。胴部内面撫で調整	内外面一部燻し状

4AI区38号住居出土遺物（第184図、PL66）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
504	須恵器 坏	器 〈4.0〉 口 (12.7)	+27 +36	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④1/3	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (7.0)
505	須恵器 甕	長さ 〈19.9〉 厚み 0.9	−1 +1 +18	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/2 ④破片(上半部)	口縁部外反気味横撫で。外面格子状叩き目内面胴部内面同心円当て目の後撫で	
506	土師器 坏	器 3.2 口 12.3	−3 −0.5 +22 +24	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④3/4	口縁部外反気味横撫で。底部平底手持ち篦削り調整	磨滅著しい
507	須恵器 坏	器 〈3.8〉 口 (11.0)	±0 +3	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④1/4	ロクロ成形回転糸切り	磨滅著しい 底 (6.0)
508	土師器 坏	器 〈3.8〉 口 (13.5)	+4 +6.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で下半手持ち篦削り底部平底気味手持ち篦削り調整	
509	土師器 鉢	器 8.4 口 18.3 底 8.5	+23 +27 +38 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/2	口縁部外反気味先端で内斜横撫で内面撫で調整。外面口縁下半・底部手持ち篦削り調整	
510	須恵器 小型台付甕	器 11.7 口 10.9	−2	①細砂 ②還元 ③明赤褐5Y-5/8 ④3/4(台部欠損)	口縁部横撫で。胴上部張る。上位横・下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	摩滅著しい 一部炭吸着
511	土師器 小型台付甕	器 〈3.3〉 高台径 (8.0)	−4〜+29.5(5個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(台部)	台部横撫で内面篦撫で調整	
512	土師器 甕	器 〈17.6〉 口 (20.0)	−7.5〜+19(9個体)カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/8(上半部)	口縁部横撫で。胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	
513	土師器 甕	器 〈2.8〉 底 (4.8)	+6埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/8 ④破片(底部)	内面篦撫で調整	
514	土師器 甕	器 〈3.3〉 底 (4.6)	+34埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	内面篦撫で調整	内外面一部炭素吸着
1288	石製 管玉	長さ 2.4 幅 0.7	+11.5			

4AI区39号住居出土遺物（第189図、PL66）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
515	須恵器 坏蓋	器 2.1 口 16.1		①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④3/4	ロクロ成形天井部左回転糸切りの後一部手持ち篦削り調整	
516	土師器 坏	器 4.8 口 15.3		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④3/4	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	摩滅著しい
517	土師器 坏	器 4.2 口 12.4	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④1/2	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	

4AI区40号住居出土遺物（第193図、PL66）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
518	須恵器 坏	器 3.6 口 13.1	−11 −9	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.2
519	須恵器 高台付椀	器 5.5 口 13.7	−11.5	①細砂 ②還元 ③浅黄橙10YR-8/4 ④1/2	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径6.1
520	須恵器 高台付皿	器 〈3.0〉 口 (14.2) 高台径 (7.4)	±0 +4 +14 埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④1/3	ロクロ成形回転糸切り付高台	摩滅著しい 内外面一部炭素吸着
521	須恵器 小型台付甕	器 〈3.5〉 口 (11.7)	+12	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整口縁部外反気味横撫で調整	
522	土師器 小型台付甕	器 〈15.0〉 口 (12.2)	−10 −7 −5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(上半・台部)	口縁部コの字状横撫で胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で台部横撫で	外面炭素吸着
524	土師器 甕	器 〈3.3〉 底 〈4.9〉	+8埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/3 ④破片(底部)	胴部外面縦方向篦削り。内面横方向篦撫で調整	砂底
525	土師器 甕	器 〈7.6〉 底 〈3.9〉	+3 +15 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り。内面篦撫で調整	外面炭素吸着
526	土師器 甕	器 〈14.7〉 底 (5.4)	+2	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④1/4(下半部)	中位よりやや下位に接合部。外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	内外面一部煤付着

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
570	須恵器 椀	器 7.0 口 15.7	+5	①細砂 ②還元 ③明黄褐 2.5YR-7/6 ④ほぼ完形	漆書	高台径7.8

4 A I 区41号住居出土遺物（第197・198図、PL67・68）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
527	須恵器 坏	器 3.7 口 13.2	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/3 ④½	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 底6.1
528	須恵器 坏	器 3.9 口 13.4 底 5.8	−10 −6	①細砂 ②還元 ③明黄褐 2.5Y-7/6 ④¾	ロクロ成形回転糸切り	摩滅著しい 内外面一部 炭素吸着
529	須恵器 坏	器 〈1.8〉 底 (5.3)	+3 +16	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5 Y-3/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面一部 炭素吸着
530	須恵器 坏	器 4.7 口 13.2	±0 +2 +5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-6/4 ④½	ロクロ成形回転糸切り	摩滅著しい 内外面燻し
531	須恵器 椀	器 5.9 口 15.2 高台径 7.1	+25	①細砂 ②還元 ③淡黄2.5 Y-8/4 ④¾	ロクロ成形回転糸切り付高台	内外面やや 磨滅
532	須恵器 高台付椀	器 〈4.3〉 高台径 (7.0)	−0.5 +1.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
533	須恵器 高台付皿	器 〈4.2〉 口 (14.0)	±0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径(7.7)
534	須恵器 長頸壺	器 〈6.5〉 口 (10.0)	−7.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	内面に自然 釉付着
535	土師器 坏	器 3.1 口 12.2 底 8.1	+3.5 +12.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -7/6 ④½	口縁部外反気味横撫で底部平底手持ち篦削り調整	口縁一部炭 素吸着
536	土師器 坏	器 4.0 口 13.3 底 8.2	+1 +6 +35	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -6/6 ④½	口縁部外反気味端部横撫で内面撫で調整。底部平底気味手持ち篦削り調整	内外面一部 炭素吸着
537	土師器 坏	器 3.2 口 11.6	+2.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -6/6 ④½	口縁部外反気味横撫で。底部平底手持ち篦削り調整	
538	土師器 甕	器 25.8 口 19.0	+1〜+20.5(13個体)埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -6/6 ④¾(底部欠損)	口縁部コの字状横撫で。胴上部張る。上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面胴部 炭素吸着
539	土師器 甕	器 〈18.6〉 口 (21.0)	+3 +4 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上位横・下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	摩滅著しい
540	土師器 甕	器 〈17.4〉 口 (19.1)	−11.5〜+7.5 (7個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-5/8 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上部張る。上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面一部 炭素吸着
541	土師器 小型甕	器 〈4.9〉 口 (11.0)	+4 +6 +7.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。胴上部張る。上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面一部 炭素吸着
542	土師器 小型甕	器 〈4.8〉 口 (12.2)	+2 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横・下位縦方向篦削り	
543	土師器 小型台付甕	器 〈4.0〉 高台径 (8.7)	+9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(台部)	胴部内面篦撫で。台部内外面横撫で調整	
1237	鉄製品 刀子	長さ 9.3 厚さ 0.3	+8	大形の刀子で、刃の大部分と茎の先端部が欠失している。両関で茎は厚く巾広のもので刀子の中ではかなり大形のものと考えられる		幅1.5
1238	鉄製品 刀子	長さ (12.8) 厚さ 0.5	+18	刃と茎の先端が欠失する。刃部・茎ともに細長く、両関を呈する。刃部長、茎長がほぼ同じ長さになる形態のものである		幅1.2
1289	土錘	長さ 3.5 厚さ 1.7	+21.5	④完形	指撫で指おさえ	一部炭素吸 着孔0.8
1290	土錘	長さ (2.0) 幅 2.2	−7.5	④⅓	指撫で	表面炭素吸 着孔0.6

4 A I 区42号住居出土遺物（第202図、PL67）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
544	須恵器 坏	器 3.9 口 14.2 底 8.6	+9	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y -8/4 ④完形	ロクロ成形底部切り離し調整不明	摩滅著しい 口縁一部炭 炭吸着。重い
545	須恵器 坏	器 〈3.5〉 口 (11.5)	+5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④⅓	ロクロ成形底部平底篦撫で口縁部外反気味横撫で調整	口縁部中位 に沈線巡る
546	土師器 坏	器 3.4 口 12.3	+9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④完形	口縁部直立気味先端でやや内斜底部平底気味手持ち篦削り調整	刻書「圭」 一部炭吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
547	土師器 坏	器 3.1 口 12.8	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	底11.0
548	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (14.7)	±0 +1.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④⅓	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
549	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (15.2)	+5 +6 +7.5 +10.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅓	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	底 (13.0)
550	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (14.0)	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅓	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
551	土師器 甕	器 〈6.3〉 底 (5.3)	−1.5 −1	①粗砂 ②酸化 ③浅黄2.5Y-7/4 ④破片(底部)	内面篦撫で調整	
552	土師器 小型甕	器 〈3.5〉 口 (10.4)	−0.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
553	須恵器 甕	長さ (5.3) 厚み 0.9	+3.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-7/2 ④破片(肩部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	外面自然釉付着
1291	土錘	長さ (5.7) 幅 2.4	+7.5	④¾	指撫で	外面炭素吸着。孔0.55
1292	土錘	長さ 5.6 幅 2.1	+5.5	④完形	指撫で	内外面炭素吸着。孔0.2

4AI区43号住居出土遺物（第206図、PKL67・68）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
554	土師器 坏	器 3.4 口 11.7	+1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	底10.6
555	土師器 坏	器 3.9 口 12.8	+3 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	口縁一部炭吸着。底10.5
556	土師器 坏	器 〈2.2〉 口 (14.4)	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④⅓	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	摩滅著しい
557	土師器 甕	器 〈18.3〉 口 (27.7)	−5.5〜+5.5 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で。胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	摩滅著しい
558	須恵器 楕形☆	長さ 9.8 厚み 1.2	+9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	外面自然釉・石塊付着
1293	砥石	長さ 10.5 厚さ 2.4	+4.5	④¾石材変質デイサイト重さ170g	使用面に3〜6㎜の穿孔あり。三側面、狭側面磨耗	幅4.8

4AI区44号住居出土遺物（第209・210図、PL68）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
559	須恵器 坏	器 4.3 口 13.6 底 5.4	+17	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面一部炭素吸着
560	須恵器 高台付椀	器 4.2 口 14.1 底 6.2	+1	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④ほぼ完形(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	口縁一部炭化物吸着
561	須恵器 坏	器 7.0 口 8.0	−7.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④完形	ロクロ成形回転篦削り調整	底6.3
562	土師器 坏	器 〈4.2〉 口 (12.4)	+11	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④¼	口縁部外反気味先端内斜横撫で内面撫で調整底部平底気味手持ち篦削り調整	
563	土師器 甕	器 〈4.5〉 口 (13.9)	−11.5 −9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	内外面一部炭素吸着
564	土師器 台付甕	器 〈2.8〉 高台径(12.0)	−23.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(台部)	台端部横撫で。外面上位縦方向篦削り調整	
565	土師器 甕	器 〈17.6〉 口 (19.0)	−19 −6 +0.5 +5.5 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼(上半部)	口縁部コの字状ややくずれる。横撫で胴上部張り上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	
566	土師器 甕	器 〈18.8〉 口 (20.0)	−4 +9 +16.5 +31	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④¼(上半部)	口縁部コの字状くずれる。横撫で胴上部張り上位横・下位縦方向篦削り。内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
567	土師器 甕	器 〈17.0〉 口 (23.5)	−8〜−2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙(上半部)	口縁部外反横撫で中位に沈線巡る。胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
568	土師器 甕	器 〈18.8〉 口 (20.0)	−4.5 +12	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④¼(上半部)	口縁部外反気味。胴上位横・下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1239	鉄製品	長さ (4.5)	+2.5	鏃の茎の破片である。ともに茎の一部に木質が付着する		幅0.5
	鉄鏃	厚さ 0.7				
1240	鉄製品	長さ (7.0)	−5	刃の大部分を欠失するもの茎は細長く両関を呈する		幅0.9
	刀子	厚さ 0.4				
1241	鉄製品	長さ (7.8)	−8.5	刃の先端・基部及び茎を欠失したもので、細長い刃部を呈する		幅1.3
	刀子	厚さ 0.3				
1242	鉄製品	長さ (7.8)	−9	茎の一部を欠失している有頸長三角形(剣先形)鏃である。剣先を模した刃部の作りは丁寧で鏃身関は斜め関である。頸部は太めで両角関を呈し茎に至る		幅1.4
	鉄鏃	厚さ 0.4				
1300	鉄製品	長さ (8.1)		共に鉄鏃の茎と考えられる。茎先端及び茎基部は欠失しており茎長は不明。木質が一部付着している		
	鉄鏃	厚さ 0.7				
1301	鉄製品	長さ (4.0)		鉄鏃の茎と考えられる。茎先端及び茎基部は欠失しており、茎長は不明。木質が一部付着している		
	鉄鏃	厚さ 0.4				
1294	土錘	長さ (4.0)	+11.5	①粗砂 ②酸化 ③黒褐7.5 粘土巻き付。縦方向指撫で。板状に歪む YR-3/2 ④½		孔0.6
		厚さ 2.2				

4AI区45号住居出土遺物（第216図、PL69）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
572	須恵器	器 1.7	+3 +7 +9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ほぼ完形(鈕欠損)	ロクロ成形天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	口 15.1	+13.5			
573	須恵器	器 〈1.6〉	+6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -7/1 ④破片(天井部)	ロクロ成形カエリあり鈕はボタン状天井部右回転篦削り調整	
	坏蓋	鈕 (3.8)				
574	須恵器	器 〈2.7〉	+9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④¼	ロクロ成形鈕はリング状天井部右回転篦削り調整	鈕(4.0)
	坏蓋	口 (14.3)				
575	須恵器	器 〈4.9〉	+7.5 +10	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5Y-7/4 ④破片(口縁部)	ロクロ成形内面篦磨き内黒	高台付椀か
	坏	口 (20.3)				
576	土師器	器 3.3	+10.5 +11	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙 7.5YR-8/6 ④¾	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 内面底部布目痕
	坏	口 12.8	+11.5 埋土			
		底 10.2				
577	土師器	器 3.6	+7 +9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
	坏	口 13.2				
578	土師器	器 3.6	±0 +7 +10 +11	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/8 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
	坏	口 14.3				
579	土師器	器 〈2.6〉	+3 +5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④⅓	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
	坏	口 (13.0)				
580	土師器	器 〈3.3〉	+11	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/3 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
	坏	口 (13.2)				
581	土師器	器 〈3.0〉	+8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
	坏	口 (14.0)				
582	土師器	器 〈2.6〉	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
	坏	口 (14.0)				
583	土師器	器 〈9.8〉	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。胴上位横・下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	胴部外面黒斑
	広口甕	口 (22.2)				
584	土師器	器 〈7.2〉	±0 +9.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④⅛(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面赤変
	甕	底 (4.9)	+12			
1197	軽石	長さ 6.5		④石材角閃石安山岩重さ 80g	加工面、使用面見られない	幅4.8
		厚さ 4.6				

4AI区46号住居出土遺物（第219図、PL69）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
585	須恵器	器 5.6	+9.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径5.7
	高台付椀	口 14.0				
586	須恵器	器 5.3	+4 +6.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
	椀	口 15.8				
		底 7.0				
587	須恵器	器 5.1	−2 −1.5 ±0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台は粗雑な作り	内外面一部燻し状
	高台付椀	口 15.9				
		高台径 6.8				
588	須恵器	器 3.2	+6.5	①細砂 ②還元 ③浅黄橙 7.5YR-8/4 ④½(口縁部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
	高台付椀	高台径 6.1				

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
589	土師器 甕	器 〈7.4〉 口 (21.0)	+3 +3.5 +4 +8.5	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部中位に沈線による段を持つ。胴上位横方向篦削り。内面横方向刷毛目	内外面一部炭素吸着
590	土師器 甕	器 〈9.0〉 口 (19.0)	+8 +11.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
591	土師器 甕	器 〈2.5〉 底 (3.8)		①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐2.5YR-4/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	砂底

4AI区47号住居出土遺物（第224図、PL69）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
593	土師器 甕	器 〈22.7〉 口 (21.0)	−16〜+18.5(12個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅓(上半部)	口縁部コの字状ややくずれ、胴上位横・下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	
594	土師器 甕	器 〈6.8〉 口 (19.0)	−1〜+13(12個体)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙10YR-8/4 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面櫛状工具による横撫で	内外面一部炭素吸着
595	土師器 甕	器 〈6.6〉 口 (20.0)	−1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
596	土師器 甕	器 〈1.7〉 底 (4.2)	±0〜+12(12個体)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面燻し状
1295	砥石	長さ (5.5) 厚さ 1.7	+13.5	④破片石材変質デイサイト重さ45g	二面使用面。他の面は破砕	幅(3.9)

4AI区48号住居出土遺物（第227図、PL69）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
597	土師器 甕	器 〈6.3〉 口 (17.8)	+6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
598	土師器 甕	器 〈4.3〉 底 (3.9)	−2.5 +9.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	内外面一部炭素吸着
1243	鉄製品 刀子	長さ (5.9) 厚さ 2.5	+18	刃の大部分と茎の先端が欠失している両関を呈し茎はやや湾曲する。刃、茎ともに細長く、小形の刀子である		幅1.0
1244	鉄製品 刀子	長さ 5.8 厚さ 0.4	+9	刃と茎の先端が欠失している。両関を呈し茎は厚みあり、巾も広めである。全体の造りとしては、小形の刀子である		幅1.2

4AI区52号住居出土遺物（第231・232思、PL70）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
622	須恵器 高台付椀	器 4.6 口 14.7	−7 −6 −5 −2 +7	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④¾(高台部欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台部欠損後も使用	磨滅著しい外面底部黒斑
623	須恵器 高台付椀	器 〈3.7〉 口 (13.4)	−6 −4 +5 +36.5	①細砂 ②還元 ③浅黄橙10YR-8/3 ④⅓(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台部欠損後も使用か	内外面一部炭素吸着。磨滅
624	須恵器 椀	器 〈3.8〉 口 (12.9)	+13.5 +16	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④⅓	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 底 (5.1)
625	須恵器 高台付椀	器 〈3.6〉 口 (13.0)	−1 +2.5 +4 +6	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④⅓(高台部欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台部欠損後も使用か	内面内黒放射状篦研磨
626	須恵器 椀	器 〈3.6〉 口 (12.8) 底 (5.2)	+3	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④⅓	ロクロ成形回転糸切り	磨滅著しい外面底部黒斑
628	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 口 (18.0)	+22	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/2 ④⅓(端部)	ロクロ成形	
630	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 14.8 高台径 6.4		①細砂 ②還元 ③浅黄5Y-7/3 ④½	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい内外面一部炭素吸着
631	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 14.2 高台径 7.6	+4〜+44.5(6個体)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④¾	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい外面底部黒斑
632	須恵器 高台付椀	器 〈5.0〉 口 (17.1)	−11 −3 +21 +38.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形	
633	須恵器 高台付椀	器 〈4.5〉 口 (15.3)	+1 +21	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④⅓	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径(7.2)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
634	須恵器 甕	器 〈16.1〉 口 (34.0)	−1.5〜+24(9個体)	①細砂 ②還元 ③にぶい赤褐5Y-4/3 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。胴部外面撫で調整 胴部内面撫で調整	
635	平瓦	長さ (3.6) 厚さ 2.9	+31	① ② ③ ④破片		幅(5.9)
636	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (12.0)	+22	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整。外面中位に沈線	磨滅著しい
637	土師器 甕	器 〈4.6〉 口 (14.1)	+30	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
638	土師器 甕	器 〈7.5〉 口 (22.0)	−1 −0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
639	土師器 甕	器 〈10.6〉 底 (3.9)	+5〜+31(8個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④1/6(下半部)	胴部縦方向底部手持ち篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅著しい 底部燻し状
640	土師器 甕	器 〈5.0〉 底 (4.0)	−7 +3 +20	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/6 ④破片(底部)	外面縦方向篦削り内面撫で。底部篦削り	
641	土師器 甕	器 〈4.0〉 底 (4.1)	+12	①粗砂 ②酸化 ③赤褐2.5YR-5/6 ④破片	外面斜方向篦削り内面撫で。底部篦削り	

4AI区53号住居出土遺物（第234図、PL70）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
642	須恵器 坏	器 3.2 口 12.7 底 7.0	+5.5 埋土	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④3/4	ロクロ成形右回転糸切り	磨滅著しい 墨書「内」
643	須恵器 坏	器 〈3.6〉 口 (12.0)	−3.5 −2	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④1/3	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (5.3)
644	須恵器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.8)	−1 +3	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面燻し状、底(6.1)
645	須恵器 甕	器 〈22.0〉 底 (16.0)	−4.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④1/4(下半部)	胴外面平行叩き目内面同心円当て目。底部周辺手持ち篦削りロクロ調整の横撫で	
646	土師器 甕	器 〈5.0〉 口 (14.0)	−2〜+1.5埋土(4個体)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	内外面一部燻し状

4AI区54号住居出土遺物（第239図、PL70）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
647	須恵器 蓋	器 〈3.1〉 口 (15.0)	+5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形口縁部外反気味横撫で。外面底部天井部右回転篦削り調整	内面自然釉付着
648	土師器 坏	器 4.2 口 14.3	−1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
649	土師器 坏	器 3.7 口 15.0	+1.5	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
650	土師器 坏	器 3.9 口 15.4	−0.5 +7	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/6 ④3/4	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	内外面一部炭素吸着

4AI区55号住居出土遺物（第242図、PL70・71）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
652	須恵器 坏	器 〈1.5〉 底 (6.3)	+9	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-8/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
653	須恵器 高台付椀	器 5.4 口 13.1 高台径 6.2	+1	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台は粗雑な作り	磨滅著しい 内・外面底部黒斑歪みあり
654	須恵器 高台付椀	器 5.7 口 13.9 高台径 7.5	−1.5 −0.5	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/3 ④3/4	ロクロ成形。左回転糸切り付高台横撫で口唇部内面沈線あり	内外面一部炭素吸着
655	須恵器 高台付椀	器 5.4 口 12.5	+1 +6 +22.5	①細砂 ②還元 ③淡黄2.5Y-8/3 ④3/4	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台径が著しく小さい	磨滅著しい 高台径5.3
656	須恵器 高台付椀	器 5.5 口 13.0	+33.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④3/4	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径6.5
657	須恵器 高台付椀	器 5.5 口 13.6 高台径 6.6	カマド埋土	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④3/4	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい 内・外面底部黒斑

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
658	須恵器 高台付椀	器 〈3.6〉 底 (6.3)	+22.5	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	内外面一部炭素吸着
659	土師器 甕	器 〈17.8〉 口 (19.2)	カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④¼(上半部)	口縁部コの字状。胴上位張る胴上位横・下位縦方向篦削り。内面横方向刷毛目	内外面一部炭素吸着
660	土師器 甕	器 〈12.7〉 口 (20.6)	−2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(上半部)	口縁部コの字状。胴上位張り、上位横・下位縦方向篦削り内面横方向刷毛目	一部磨滅
661	土師器 甕	器 〈9.0〉 口 (18.0)	−11 −5 +15	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。胴上位張る。上位横方向篦削り。内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
662	羽釜	器 〈8.7〉 口 (18.5)	+17.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁先端部平ら鍔はBタイプ気味胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で	
663	羽釜	器 〈26.0〉 口 (19.6) 鍔 (24.0)	表採	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④¼(上半部)	口縁先端部内斜を呈す鍔はAタイプ横撫で胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で調整	
664	土師器 甕	器 〈5.3〉 底 (3.8)	−3.5 +21.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面櫛状工具による横撫で調整	外面底部黒斑
1296	土錘	長さ 7.3 幅 2.2	+8.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	粘土巻き付け後、縦方向指撫で	孔0.4
1297	土錘	長さ 5.5 幅 1.7	+32	①細砂 ②酸化 ③黒褐10YR-10/3 ④ほぼ完形	粘土巻き付け後、縦方向指撫で	孔0.65

4AI区57号住居出土遺物（第247図、PL71・72）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
665	須恵器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.6)	−5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④⅓	ロクロ成形回転糸切り	底 (6.0)
666	須恵器 坏	器 〈1.4〉 底 (7.2)	+6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	
667	須恵器 坏蓋	器 4.3 口 16.3	+9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形鈕はリング状天井部右回転篦削り調整	磨滅著しい 鈕3.9
668	土師器 坏	器 3.3 口 12.2	−3 +1.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味先端横撫で内面撫で調整底部平底手持ち篦削り調整	底8.4
670	土師器 甕	器 〈6.8〉 底 (5.0)	−11 ±0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面一部炭素吸着
672	土師器 甕	器 28.0 口 18.9 底 4.5	−6.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。胴上位横・下位縦・底部篦削り。胴内面横方向篦撫で	磨滅著しい 外面肩部・底部煤付着
673	土師器 甕	器 28.4 口 19.1 底 (5.8)	−2 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④¾(底部欠損)	コの字状口縁。胴上位横・下位縦・底部篦削り。内面胴部横方向篦撫で	磨滅著しい 外面一部炭素吸着
1076	土師器 小型台付甕	器 14.1 口 11.0 高台径 8.6		①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④完形	口縁部外反気味、横撫で。胴部上位に張りをもち胴部横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で台部横方向撫で調整	胴部内外面煤付着
1246	鉄製品 刀子	長さ 12.8 厚さ 0.3	+5	刃と茎の先端が欠失するもの、刃は特に細長い。茎には柄が遺存し両関を呈する		幅0.9
1298	土製 紡錘車	径 5.8 厚さ 2.0	+3	①砂粒 ②酸化 ③黄褐10YR-5/6	粘土紐巻き付け、篦削り調整。朱塗り？	孔0.9

4AI区58号住居出土遺物（第251図、PKL72）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
674	土師器 甑	器 〈2.2〉 底 (9.7)	+10	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片(底部)	焼成前に底部穿孔手持ち篦削り胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で調整	
675	土錘	長さ (5.4) 長径 2.2	注記なし	①細砂 ②還元 ③黄灰褐10YR-4/2 ④¾	外面撫で調整	内外面一部炭素吸着
676	須恵器 甕	長さ (6.0) 厚み 0.8	+9 +9.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面平行カキ目内面同心円当て目	
677	土師器 坏	器 4.2 口 15.0	+4 +6.5 +9 +10 +11.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底8.0
678	土師器 坏	器 〈2.8〉 口 (11.9)	+9.5	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④破片	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り外面口縁先端に浅い沈線	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
679	土師器 甕	器 〈10.2〉 口 (22.0)	+1.5 +1.5 +14	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。中位に弱い段を持持つ。胴上位横方向篦削り内面篦撫で	磨滅著しい
680	土師器 広口甕	器 〈6.4〉 口 (24.3)	−1 +4 +6.5 +6.5 +9 +11.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で上位に段あり外面胴上位横方向篦削り内面横方向篦撫で	口縁一部炭素吸着

4AI区59号住居出土遺物（第254図、PL72）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
681	須恵器 高台付椀	器 5.0 口 15.0	−4.5 +2	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④ほぼ完形(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台部欠損後も使用か	磨滅。内外面一部煤付着
682	須恵器 高台付椀	器 〈2.3〉 高台径 (6.1)	+4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④¼(底部)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
683	灰釉 高台付椀	器 〈2.5〉 高台径 (8.4)	+7	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/2 ④¼(底部)	ロクロ成形付高台。底部回転篦削り調整	重ね焼き痕 内外面施釉
1247	鉄製品 釘	長さ 9.8 厚さ 0.5	+1	頭部の一部及び茎の先端部が欠失している。しっかりとしたつくりの大形の釘で、頭部の屈曲が変形して直線状になっている		幅0.9

4AI区60号住居出土遺物（第258図、PL72）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
685	須恵器 高台付椀	器 4.8 口 13.3 高台径 5.9	+5.5 +8 +9.5	①細砂 ②還元 ③黄褐2.5Y-5/4 ④¾	ロクロ成形回転糸切り付高台横撫で調整	磨滅。内外面一部燻し状
686	須恵器 高台付椀	器 〈1.7〉 高台径 (6.6)	−4	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④¼(底部)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
687	羽釜	器 27.6 口 18.5 鍔 22.8	−4.5 +3 +8 +8.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④½(底部欠損)	口縁先端部内斜を呈す横撫で鍔はAタイプ胴部内外面ロクロ調整による横撫で外面下部手持ち篦削り調整	
688	土師器 甕	器 〈7.0〉 口 (22.0)	+11	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で外面胴部上位横方向篦削り内面横方向篦撫で調整	
1248	鉄製品 鉄鏃	長さ (3.5) 厚さ 0.4	+4	鏃の茎と考えられる。断面方形のしっかりとした造りの茎で、釘の茎の可能性もある		幅0.5
1249	鉄製品 鉄鏃	長さ (8.6) 厚さ 0.4	+7	茎の先端部が欠失している。有頸腸抉長三角形鏃。深い逆刺を有する長三角形状の鏃身に厚手のしっかりとした頭部を有し、両角関を有して茎になるものである		幅1.4

4AI区61号住居出土遺物（第261図、PL72・73）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
689	土師器 坏	器 3.8 口 14.8	−2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	底13.3
690	土師器 坏	器 3.6 口 13.3 底 12.4	−3 −2.5 −1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	外面磨滅口縁一部炭素吸着
691	土師器 盤	器 〈4.1〉 口 (17.8)	−6 −3.5 −2 −0.5 ±0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④¼	口縁部外反気味先端やや内斜横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	
692	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (13.0)	−2 −0.5 ±0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④⅓		底 (8.5)
693	浅鉢型☆	器 10.1 口 23.0 底 〈5.0〉	+9 +16.5 +17	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部外反気味横撫で。胴部縦方向底部手持ち篦削り。内面胴部横方向篦撫で調整。焼成前径3.0の穿孔	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
694	土師器 甕	器 〈21.7〉 口 (23.0)	−6〜+4(20個体)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④⅙(上半部)	口縁部横撫で胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
695	土師器 甕	器 〈15.5〉 口 (22.0)	−1.5〜+4(11個体)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④¼(上半部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部斜縦方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	外面一部炭素吸着

4AI区64号住居出土遺物（第264図、PL73）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
697	土師器 坏	器 〈6.7〉 口 (21.5)	+2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅙	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	
698	土師器 坏	器 3．4 口 11．3	−1	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④½	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
699	土師器 坏	器 〈3.7〉 口 (12.2)	+3+18	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④1/3	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	外面底部黒斑底(10.9)
700	土師器 坏	器 3.5 口 12.0	+11 +11	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④1/2	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	
702	土師器 甕	器 〈11.0〉 口 (22.0)	+9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向篦削り内面横方向篦撫で調整	内面燻し状

4AI区65号住居出土遺物（第269図、PL73）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
705	須恵器 坏	器 3.6 口 11.9	+1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④1/2	ロクロ成形右回転篦削り調整	底8.5
707	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 口 (15.0)	+11 埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④1/2	ロクロ成形カエリあり天井部右回転篦削り調整	
708	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 口 (17.0)	−19 +5	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片	ロクロ成形カエリあり天井部左回転篦削り調整	
709	須恵器 甕	長さ (8.0) 厚み 1.0	+8	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片	外面格子状叩き目内面平行当て目	
710	土師器 坏	器 5.5 口 16.7	+1 +1.5 +4 +6	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味先端横撫で内面撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整やや深い	
711	土師器 坏	器 3.9 口 14.1	+8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	底10.7
712	土師器 坏	器 3.8 口 12.7	+19 +24.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④3/4	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	底10.8
713	土師器 坏	器 3.6 口 13.1	+4 +16.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④3/4	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	底11.6
714	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (12.0)	−1 −1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④1/3(底部中央欠損)	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	内外面一部炭素吸着
715	土師器 坏	器 3.4 口 13.3 底 11.6	+8	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/2	口縁部直立気味横撫で平底気味の丸底手持ち篦削り調整	やや磨滅。内外面一部炭素吸着
716	土師器 坏	器 3.5 口 12.2	−10 +14	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④1/2	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	底11.2
717	土師器 坏	器 3.5 口 12.8 底 11.0	+4 +8.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④1/2	口縁部内彎気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	内外面一部炭素吸着
718	土師器 盤	器 3.8 口 14.6	+23 +24	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④1/2(底部中央欠損)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	
719	土師器 坏	器 〈2.7〉 口 (13.2)	+6 +9 +19 +24	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④1/4	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
720	土師器 坏	器 〈1.8〉 口 (14.0)	+15 +27	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	
721	土師器 坏	器 〈2.5〉 口 (15.3)	−1 +13.5 +17.5 +23	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片	口縁部外反気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	
723	土師器 甕	器 29.7 口 22.9 底 5.5	−15カマド内	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で外面斜縦方向篦削り底部手持ち篦削り調整胴部下位に接合部	
724	土師器 甕	器 〈14.5〉 口 (24.0)	−20 +1 +20 +33	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④1/3(上半部)	口縁部横撫で胴上位張る。上位横・下位縦方向篦削り。内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
725	土師器 甕	器 〈5.8〉 口 (20.0)	+15	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向篦削り下位縦方向篦削り調整	
726	土師器 広口甕	器 〈6.4〉 底 (10.7)	−9 −8	①粗砂 ②酸化 ③明黄褐10YR-7/6 ④破片(底部)	丸みを持つ平底外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	磨滅著しい
1207	縄文 深鉢	器 〈4.2〉 底 (6.0)	−15 +3	①細砂 ②良好 ③浅黄橙7.5YR-8/6 ④破片	底部磨滅しているが、うっすらと網代痕	
1208	縄文 深鉢	器 〈2.2〉	+8 +21.5	①細砂 ②良好 ③橙5YR-6/6 ④破片	無文	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1209	縄文 浅鉢	長さ 4.2 厚さ 0.8	±0	①細砂 ②普通 ③黒褐2.5Y-3/1 ④破片	3条の平行沈線。沈線間縄文施文と擦り消し	

4AI区66号住居出土遺物（第273・274図、PL74）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
727	須恵器 台付壺	器 〈2.9〉 底 (9.5)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(高台部欠損)	底部掻きやぶりあり台部横撫で外面胴部格子状叩き目内面平行当て目	
728	土師器 坏	器 3.6 口 14.7	+32 +38	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④橙5YR-6/8	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	底12.2
729	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (14.2)	+31 +31 +37 +38 +39	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/3	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	
730	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (13.5)	−1 ±0 +1 +16	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/4	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	やや磨滅
731	土師器 坏	器 〈4.1〉 口 (13.1)	+3 +3 +3.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④1/3	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい刻書「〆」
732	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.6)	+33 +38 +39	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④1/3	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	外面底部黒斑
733	土師器 把手付甑	長さ 〈2.8〉 把手径 2.4	+39	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(把手)	手びねり撫で調整	
734	土師器 甕	器 29.0 口 23.4 底 6.3	+23 +37 +38	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で胴部上位横方向下位縦方向底部篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	胴部上位から底部にかけ炭素吸着
735	土師器 広口甕	器 〈32.5〉 口 20.5 底 15.2	±0〜+23.5(16個体)−13.5〜−1(19個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④1/4(上半・下半部)	口縁部外反気味横撫で胴部上位横方向下位縦方向底部篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	外面底部黒斑
736	土師器 甕	器 〈18.3〉 口 (30.0)	+14〜+38(22個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(上半部)	口縁部横撫で胴上位張る。上位横・下位縦方向篦削り。内面横方向篦撫で	
737	土師器 甕	器 〈6.9〉 口 (23.0)	+4〜+43(20個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	口縁一部炭素吸着
738	土師器 広口甕	器 〈6.7〉 口 (23.2)	+1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	

4AI区01号竪穴状遺構出土遺物（第275図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
158	土師器 甕	器 〈6.7〉 底 (4.0)	+1	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/6 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち篦削り調整。内面胴部横方向篦撫で調整	
159	須恵器 坏蓋	器 〈2.6〉 鈕 (4.6)	+6.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④1/4	鈕はリング状。ロクロ成形端部横撫で鈕接合後天井部右回転篦削り調整	口 (14.0)

4AI区03号竪穴状遺構出土遺物（第277図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
599	須恵器 高台付坏	器 〈2.8〉	+21.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。削り出し高台	
600	須恵器 高台付椀	器 〈3.6〉 口 (14.0)	+3	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5Y-3/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形	内外面一部燻し状
601	須恵器 甕	長さ (9.5) 厚み 0.7	+23	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-6/2 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	

4AI区05号竪穴状遺構出土遺物（第279図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
696	須恵器 甕	長さ (7.6) 厚み 0.8		①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片	外面平行タタキ内面青海波当	

4AI区掘立柱出土遺物（第286・294・378、PL74）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
05号掘立P4	803	須恵器 坏	器 〈3.0〉 口 (11.8)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④1/4	ロクロ成形。底部平底開店篦切り離し	
05号掘立P11	1299	石製品 勾玉	長さ 3.8 幅 1.2	④完形 石材重さ15g	「コ」の字状を呈し、頭部穿孔周辺部半円に磨り込まれる	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
10号掘立P1	810	須恵器 甕	長さ 10.2 厚さ 0.9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y—5/1 ③破片(胴部)	胴部外面平行叩き目。内面同心当て目	外面自然釉付着
12号掘立P6	808	須恵器 坏蓋	器 〈2.4〉 口 (1.35)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片(端・天井部)	ロクロ成形。鈕はリング状天井部右回転篦削り調整	鈕(3.6)
12号掘立P6	862	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (13.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	底 (10.0)
27号掘立P5	1252	鉄製品 鉄鏃	長さ (3.6) 厚さ 0.2	円弧状を呈する。平板な造りの先端部を有する。刃を持ったかどうかは不明。先端付近の側縁部も薄手、板状になっている。基部は断面長方形やや厚みの造りをなす。鏃の可能性あり		幅0.85

4AI区柵列遺構出土遺物（第378図）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
08号柵列P17	812	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
08号柵列P9	817	土師器 坏	器 〈2.3〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄2.5Y-7/3 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	

4AI・II区溝出土遺物（第357～359図、PL74・75）

I区

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溝	772	須恵器 坏	器 3.6 口 12.9 底 5.7	①細砂 ②還元 ③浅黄5Y-8/4 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
01号溝	773	須恵器 坏	器 4.0 口 14.1 底 6.7	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部黒斑
01号溝	774	須恵器 坏	器 4.1 口 13.3 底 6.4	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
01号溝	775	須恵器 坏	器 3.6 口 12.7	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④¾	ロクロ成形回転糸切り	磨滅著しい 底6.0
01号溝	776	須恵器 高台付椀	器 5.4 口 15.7	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④½(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台高台部欠損後も使用	やや歪みあり。底6.8
01号溝	777	須恵器 坏	器 〈3.6〉 口 (12.8) 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④⅓	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部煤付着
01号溝	778	須恵器 坏	器 〈4.0〉 口 (12.9)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④⅓(底部欠損)	ロクロ成形回転糸切り	内外面一部炭素吸着
01号溝	779	須恵器 坏	器 〈2.4〉 底 5.6	①細砂 ②還元 ③明黄褐2.5Y-7/6 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	外面底部黒斑
01号溝	780	須恵器 高台付椀	器 〈5.7〉 口 14.6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④¾(高台部欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台高台欠損後も使用か	内外面一部炭素吸着
01号溝	781	須恵器 高台付椀	器 5.8 口 15.0 高台径 6.8	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④¾	ロクロ成形回転糸切り付高台横撫で調整	磨滅著しい 内外面一部黒斑
01号溝	782	須恵器 高台付椀	器 5.6 口 15.8	①細砂 ②還元 ③淡黄2.5Y-8/3 ④¾	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径7.0
01号溝	783	須恵器 高台付椀	器 5.8 口 15.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④½	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径7.4
01号溝	784	須恵器 高台付椀	器 〈5.9〉 口 (13.1)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1/1 ④⅓	ロクロ成形。左回転糸切り付高台横撫で調整	やや磨滅 高台径(7.0)
01号溝	785	須恵器 高台付椀	器 8.5 口 18.0	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-7/6 ④½	ロクロ成形回転糸切り付高台横撫で調整	磨滅著しい 高台径8.2
01号溝	786	須恵器 高台付皿	器 〈1.9〉 高台径 (7.0)	①細砂 ②還元 ③黒褐10YR-3/1 ④破片(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。重ね焼き痕あり	内外面一部炭素吸着
01号溝	787	須恵器 甕	長さ (10.0) 厚さ 1.1	①細砂 ②還元 ③にぶい赤褐2.5YR-5/3 ④破片(肩部)	口縁部横撫で胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
01号溝	788	土師器 坏	器 3.2 口 12.3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味先端横撫で。内面撫で調整底部平底手持ち篦削り調整	

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溝	789	土師器 甕	器 〈4.7〉 底 (6.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部箆削り内面箆撫で調整	
01号溝	790	土師器 小型台付甕	器 〈15.2〉 口 (13.8)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤 褐5YR-5/4 ④破片(口縁・胴下部)	口縁部直立気味横撫で胴上位横・下位縦方箆削り。内面横方向箆撫で	内外面一部燻し状
01号溝	793	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい
01号溝	794	土師器 坏	器 〈1.7〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち箆削り調整	
I区						
02号溝	71	鍋	器 〈10.3〉 口 (26.0)	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で。内外面箆撫で調整	内外面燻し状
02号溝	72	内耳鍋	長 (7.2) 幅 (5.8)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1/1 ④破片(口縁部)	☆手付着	厚(1.2)
02号溝	73	鉢	器 〈6.1〉 底 (11.4)	①細砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	内外面撫で調整	砂底

4AI・II区井戸出土遺物（第361・363図、PKL69・70・75）

II区						
遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号井戸	67	須恵器 甕	器 〈1.9〉 底 (11.0)	①細砂 ②還元 ③明褐灰7.5YR-7/1 ④破片(底部)	内外面箆撫で調整	砂底
01号井戸	68	鉢	器 〈4.8〉 底 (9.1)	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(底部)	内外面箆撫で。底部回転糸切り	
01号井戸	69	鉢	器 〈4.8〉 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/2 ④破片(底部)	内外面箆撫で調整	
01号井戸	70－1	瓦	長さ 〈15.0〉 厚さ 3.9	①粗砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片	外面、磨耗。内面、布目圧痕	
01号井戸	70－2	瓦	長さ 〈13.8〉 厚さ (3.9)	①粗砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片	外面、磨耗。内面、布目圧痕	
I区						
02号井戸	602	須恵器 小型短頸壺	器 5.2 口 9.1	①細砂 ②還元 ③淡黄2.5Y-8/3 ④ほぼ完形	口縁部直立気味広口。肩部上位で張りを持つロクロ成形底部回転箆切り離しか	底9.0
02号井戸	603	須恵器 小型壺	器 3.0 底 5.2	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④½(底部)	ロクロ成形。底部右回転箆削り調整	
02号井戸	605	須恵器 坏蓋	器 〈2.6〉 鈕 (3.3)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(天井部)	ロクロ成形。鈕はボタン状天井部右回転箆削り調整	
02号井戸	606	須恵器 台付壺	器 〈2.5〉 高台径(10.3)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④台部のみ	ロクロ成形。台部横撫で調整	
02号井戸	607	須恵器 甕	長さ (15.5) 厚み 1.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目の後撫で調整	
02号井戸	608	須恵器 甕	長さ (12.0) 厚み 1.1	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	
02号井戸	609	須恵器 甕	器 〈2.2〉 底 (10.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片(底部)	底部右回転箆削り調整。内面同心円当て目	自然釉付着
02号井戸	611	土師器 坏	器 3.4 口 11.4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい
02号井戸	612	土師器 坏	器 〈3.6〉 口 (11.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¼	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい 底 (6.6)
02号井戸	613	土師器 坏	器 3.3 口 11.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④½	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい 底8.7
02号井戸	614	土師器 坏	器 3.9 口 12.1 底 11.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい 外面底部黒斑
02号井戸	616	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (13.8) 底 (11.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
02号井戸	617	土師器 坏	器 〈4.3〉 口 (12.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅙	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち箆削り調整	磨滅著しい 底部黒斑

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号井戸	619	土師器 甕	器 〈4.5〉 口 (20.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
02号井戸	620	土師器 小型甕	器 〈7.3〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(上半部)	口縁部外反気味横撫で。胴上位横・下位縦方向篦削り。胴内面横方向篦撫で	
02号井戸	621	土師器 甕	器 〈3.3〉 底 (8.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	磨滅著しい 底部黒斑

4AI・II区土坑出土遺物（第378図、PL74）

II区						
151号土坑	66	土師器 甕	器 〈2.5〉 底 (7.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(底部)	外面胴部篦削り。内面篦撫で調整	外面燻し状
I区						
07号土坑	861	土師器 台付甕	器 〈2.7〉	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(台部)	台部横撫で調整	
08号土坑	796	土師器 坏	器 3.8 口 13.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④¾	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底11.5
435号土坑	799	須恵器 甕	長さ (6.2) 厚み 1.6	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-5/3 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	外面自然釉付着
437号土坑	1251	鉄製品 煙管	長さ 15.0 厚さ 1.2	ほぼ完形		幅1.0
486号土坑	800	土師器 台付甕	器 〈4.3〉 高台径(11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(下半部)	台端部横撫で外面胴部から台部上位にかけて縦篦削り内面胴部横方向篦撫で	
566号土坑	801	須恵器 坏	器 3.5 口 11.8	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④¾	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.3
575号土坑	802	土錘	長さ (4.6) 厚さ 1.1	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙10YR-8/3 ④¼	粘土巻き付け、縦方向指撫で	
710号土坑	804	土師器 坏	器 〈3.6〉 口 (15.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④½	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
713号土坑	806	土師器 鉢	器 〈4.0〉 口 (21.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整外面口縁部中位段あり	
745号土坑	807	土師器 坏	器 3.4 口 12.6	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5Y-6/8 ④¾	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底11.7
801号土坑	863	土師器 坏	器 3.4 口 12.0 底 9.2	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④¾	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	内外面一部炭素吸着
941号土坑	809	須恵器 高台付椀	器 〈3.5〉 口 (11.2)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④¼	ロクロ成形、底部回転糸切り後高台部貼り付	高台径(7.3)
1158号土坑	814	土師器 坏	器 3.6 口 14.3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	
1158号土坑	816	土師器 長甕	器 〈7.1〉 口 (22.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で胴上位横・下位縦方向篦削り内面横方向篦撫で	内面燻し状
1158号土坑	860	土師器 甕	器 〈2.1〉 底 (6.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	
1195号土坑	818	須恵器 高台付椀	器 〈2.8〉 高台径 (7.5)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④¼(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台炭素吸着	内外面一部
1198号土坑	819	土師器 甕	器 〈2.0〉 底 (6.4)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片(底部)	底部平底外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	
1274号土坑	864	須恵器 高台付椀	器 5.0 口 13.2 高台径 6.1	①細砂 ②還元 ③橙5YR-7/6 ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台	内外面一部炭素吸着
1274号土坑	865	須恵器 高台付椀	器 3.8 口 12.1	①細砂 ②還元 ③黄褐2.5Y-5/3 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 底5.2
1274号土坑	866	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 13.8	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④完形	ロクロ成形回転糸切り付高台粗雑な作り	磨滅著しい 高台径6.2
1358号土坑	871	縄文 深鉢	長さ (3.2) 厚み 0.9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④破片(口縁部)		
1390号土坑	868	須恵器 高台付椀	器 〈1.5〉 高台径 (7.7)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(台部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1432号土坑	869	須恵器 高台付坏	器 〈2.5〉 高台径(10.5)	①細砂 ②還元 ③灰10Y -6/1 ④破片(台部)	回転篦切りの後付高台。坏部下位右回転篦削り調整	
1471号土坑	870	土師器 坏	器 〈1.7〉 口 (11.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	
1574号土坑	821	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (13.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
1574号土坑	822	須恵器 坏蓋	器 〈2.6〉 口 (17.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④⅓(天井部欠損)	ロクロ成形。天井部右回転篦削り調整	
1589号土坑	824	土師器 坏	器 〈2.6〉 口 (12.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④⅓(底部欠損)	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	

4AI区墓坑出土遺物（第384図）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
07号墓坑	798	土師器 坏	器 〈2.6〉 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④¼(底部欠損)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整。内面放射状篦研磨	磨滅著しい
19号墓坑	1250	鉄製品 鉄鏃	長さ (15.2) 厚さ 0.45	鉄鏃の頸部・茎の一部である。関は棘状突起を有する棘状関である。頸部上部、茎先端が欠失している。		幅0.5

4AI区遺物散布出土遺物（第387図、PL75）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
H12-94 +3 +15	437	土師器 坏	器 〈2.7〉 口 (12.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④¼	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
H12-94 -2	438	土師器 甕	器 〈3.8〉 口 (20.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で調整	磨滅著しい
H12-94 ±0	440	須恵器 坏蓋	器 〈6.1〉 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(端・天井部)	ロクロ成形鈕はリング状天井部右回転篦削り調整	深い器高を持つ。鈕(4.4)
H12-94 +7.5	441	須恵器 広口浅甕	器 〈16.6〉 口 (21.2)	①細砂 ②還元 ③灰10Y -4/1 ④⅙(底部中央欠損)	紐作り。口縁部外反気味。胴部上位に貼りをもち内外面横撫で外面胴部下位カキ目	
H12-94 +12.5	442	須恵器 広口浅甕	長さ (14.5) 厚さ 0.8	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	

4A・B区旧河道出土遺物（第391～394、PL75・76・80）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
旧河道(4A) 埋土	739	須恵器 坏	器 4.6 口 14.7	①細砂 ②還元 ③灰10Y -5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形底部右回転篦削り調整。口唇一部欠損後も使用か	磨滅底9.7
旧河道(4A) 埋土	740	須恵器 坏	器 〈3.3〉 口 (12.3)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④¼	ロクロ成形。左回転糸切り	
旧河道(4A) 埋土	741	須恵器 坏	器 〈1.7〉 底 (5.5)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。回転篦切り離し	磨滅著しい
旧河道(4A) 埋土	743	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 口 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(端部)	ロクロ成形カエリあり天井部左回転篦削削り調整	
旧河道(4A) 埋土	744	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 口 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(端部)	ロクロ成形カエリあり天井部左回転篦削削り調整	
旧河道(4A) 埋土	745	須恵器 坏蓋	器 〈2.6〉 鈕 2.2	①細砂 ②還元 ③灰10Y -6/1 ④破片(鈕部)	ロクロ成形鈕は宝珠状天井部右回転篦削り調整	
旧河道(4A) 埋土	746	須恵器 長頸壺	器 〈13.4〉 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④¾(口唇部欠損)	紐作り横撫で胴部外面平行叩き下半部手持ち篦削り内面横方向篦撫で調整	
旧河道(4A) 埋土	747	須恵器 甕	器 〈8.0〉	①細砂 ②還元 ③オリーブ黒10Y-3/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目撫で調整内面同心円当て目外面に他の須恵甕付着	外面に自然釉かかる
旧河道(4A) 埋土	748	須恵器 甕	長さ (8.7) 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(頸部)	口縁部横撫で胴部外面平行叩き目撫で調整。内面同心円当て目撫で調整	
旧河道(4A) 埋土	749	須恵器 甕	長さ (7.7) 厚さ 0.6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(肩部)	外面平行カキ目胴部内面同心円当て目の後胴部内面撫で調整	
旧河道(4A) 埋土	750	須恵器 甕	長さ (7.6) 厚さ 0.9	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④破片(胴部)	外面格子状叩き目胴部内面同心円当て目	
旧河道(4A) 埋土	751	須恵器 甕	長さ (6.0) 厚み 0.6	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	外面格子状叩き目胴部内面同心円当て目	
旧河道(4A) 埋土	752	須恵器 甕	長さ (7.2) 厚み 1.0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
旧河道(4A) 埋土	753	土師器 坏	器 3.2 口 10.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	やや磨滅

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
旧河道(4A) 埋土	754	須恵器 坏	器 4.2 口 12.3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	ロクロ成形右回転糸切り底部やや厚みを持ち重い	底5.7
旧河道(4A) 埋土	755	土師器 坏	器 3.9 口 13.1 底 9.4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④¾	口縁部外反気味先端横撫で下半手持ち篦削り底部平底気味手持ち篦削り調整。内面放射状篦研磨。	磨滅著しい 刻書「☆」
旧河道(4A) 埋土	756	土師器 坏	器 3.8 口 13.6	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	内面口縁一部炭素吸着
旧河道(4A) 埋土	757	土師器 坏	器 3.6 口 13.0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④¾	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	外面磨滅
旧河道(4A) 埋土	758	土師器 坏	器 5.8 口 15.3	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-8/8 ④½	口縁部内彎気味横撫で丸底手持ち篦削り調整調整	外面磨滅
旧河道(4A) 埋土	759	土師器 坏	器 〈3.7〉 口 (11.5)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅓	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持篦削り調整口縁内面に浅い段あり	磨滅著しい
旧河道(4A) 埋土	760	土師器 坏	器 〈2.8〉 口 (13.5)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-8/8 ④¼	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4A) 埋土	761	土師器 坏	器 〈4.2〉 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4A) 埋土	762	土師器 坏	器 〈2.2〉 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち篦削り調整。底部に張りを持つ	磨滅著しい
旧河道(4A) 埋土	764	緑釉 高台付段皿	器 〈1.5〉 口 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④破片	ロクロ成形。内面に段を持つ口縁部に線刻刻による蓮花文	緑釉は剝離
旧河道(4A) 埋土	766	土師器 甕	器 〈2.3〉 底 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/6 ④破片(底部)	底部平底内面篦磨き	磨滅著しい
旧河道(4A) 埋土	767	土師器 甕	器 〈2.7〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(台部)	斜方向刷毛目。ハの字に開く。内、接合痕顕著。指撫で及び押え	S字状口縁台部
旧河道(4A)	768	土師器	器 〈6.2〉 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で調整	
旧河道(4A) 埋土	769	土師器 甕	器 〈7.1〉 口 (20.9)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-8/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で調整	磨滅著しい
旧河道(4A) 埋土	770	土師器 甕	器 〈2.2〉 底 (5.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	底部平底外面胴部・底部篦削り内面篦撫調整	
旧河道(4A) 埋土	771	縄文 深鉢	長さ 〈6.0〉 厚さ (1.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④破片(胴部上位・下位)	隆帯貼付。連続爪形文	阿玉台式
旧河道(4A) G13-77	792	土師器 台付甕	器 〈8.3〉 高台径 (9.9)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④¼(下半部)	外面胴部下位縦方向篦削り内面横方向篦撫で台部横撫で調整	内面燻し状
旧河道(4B) F14-38+63	1049	土師器 坏	器 3.7 口 12.9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	
旧河道(4B) F14-38+33	1050	土師器 坏	器 3.0 口 12.2 底 11.0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 外面底部黒斑
旧河道(4B) F14-38+79	1051	土師器 坏	器 3.2 口 10.8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④¾	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	やや磨滅気味
旧河道(4B) F14-37+49	1052	土師器 坏	器 4.3 口 13.2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④¾	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底10.9
旧河道(4B) F14-37+49・+66	1053	土師器 坏	器 3.4 口 12.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½	口縁部外反気味先端横撫で内面撫で。底部平底手持ち篦削り調整	底8.0
旧河道(4B) F14-37+15・+26	1054	土師器 坏	器 3.5 口 13.2	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④½	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	内面煤付着か底9.2
旧河道(4B) F14-37+10	1055	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	底 (9.0)
旧河道(4B) F14-37+30・+73	1056	土師器 坏	器 3.3 口 12.4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4B) F14-38+1	1057	土師器 坏	器 〈2.7〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	
旧河道(4B) F14-38+49	1058	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 12.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-8/8 ④½(底部中央欠損)	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4B) F14-38	1059	土師器 坏	器 〈3.8〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④¼	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4B) 第1トレンチ	1060	土師器 坏	器 〈3.9〉 口 (13.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④⅙	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
旧河道(4B) 埋土	1063	土師器 盤	器 〈3.0〉 口 (16.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④1/5	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4B) F14-34+39	1064	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④1/6	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4B) F14-47+39	1065	土師器 坏	器 〈2.7〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④1/6	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4B) F14-48	1068	土師器 坏	器 〈5.8〉 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい
旧河道(4B) F14-36	1070	土師器 甕	器 〈7.9〉 口 (20.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	磨滅著しい
旧河道(4B) F14-38+38	1072	土師器 甕	器 〈4.9〉 口 (20.3)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
旧河道(4B) 表採	1074	土師器 甕	器 〈5.0〉 底 (4.2)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-5/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	内外面一部燻し状
旧河道(4B) F14-37+2	1141	須恵器 坏	器 3.6 口 13.3 底 5.7	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 内外面一部炭素吸着
旧河道(4B) F14-37+15	1142	須恵器 坏	器 3.6 口 13.3	①細砂 ②還元 ③黄2.5Y-8/6 ④3/4	ロクロ成形。左回転糸切り	口縁一部炭素吸着
旧河道(4B) F14-38	1143	須恵器 坏	器 3.7 口 13.8	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④1/2	ロクロ成形右回転糸切り	外面底部黒斑。底7.6
旧河道(4B) F14-37+69～+81	1144	須恵器 坏	器 〈4.5〉 口 (14.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④1/3	ロクロ成形。左回転糸切り	
旧河道(4B) F14-47+61	1145	須恵器 坏	器 〈5.8〉 口 (14.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④1/4(高台欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台	摩滅著しい 一部吸炭
旧河道(4B) 埋土	1146	須恵器 坏	器 〈1.9〉 底 5.2	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④1/4(口縁部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 一部吸炭
旧河道(4B) F14-37+74	1147	須恵器 坏	器 〈4.0〉 口 (10.4)	①細砂 ②還元 ③明褐7.5YR-5/6 ④1/10	ロクロ成形回転糸切り	摩滅著しい
旧河道(4B) 埋土	1149	須恵器 坏	器 〈3.2〉 底 (6.6)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切りの後底部周辺手持ち篦削り調整	
旧河道(4B) F14-37+36	1151	須恵器 坏	器 〈4.0〉 口 (11.6)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④1/10	ロクロ成形回転糸切り	
旧河道(4B) F14-36	1152	須恵器 坏	器 〈1.9〉	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形底部篦削り調整	
旧河道(4B) F14-37+36	1153	須恵器 高台付椀	器 5.0 口 15.0	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-6/6 ④1/2	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	内外面一部煤付着
旧河道(4B) F14-37+58	1154	須恵器 高台付椀	器 〈3.3〉 高台径 (6.0)	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④1/3(口唇部欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台	摩滅著しい
旧河道(4B) F14-37+32	1155	須恵器 高台付椀	器 〈2.3〉 高台径 (6.9)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/3 ④1/3(口唇部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい
旧河道(4B) F14-38	1156	須恵器 高台付椀	器 〈3.4〉 高台径 (7.2)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④1/3(口唇部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい
旧河道(4B) F14-37+15・+17	1157	須恵器 高台付椀	器 〈4.3〉 高台径 (7.6)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④1/4(口縁部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい
旧河道(4B) F14-37+53	1158	須恵器 高台付椀	器 〈2.0〉 高台径 (7.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい
旧河道(4B) F14-30	1159	須恵器 高台付皿	器 3.0 口 14.1 高台径 6.3	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④完形	ロクロ成形回転糸切り付高台	摩滅著しい 口縁一部炭素吸着
旧河道(4B) F14-30+4	1160	須恵器 高台付皿	器 2.9 口 12.8 高台径 6.3	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④3/4	ロクロ成形回転糸切り付高台	摩滅著しい 内外面燻し状
旧河道(4B) F14-39+66	1161	須恵器 高台付皿	器 2.8 口 14.6 高台径 7.0	①細砂 ②還元 ③浅黄5Y-8/4 ④3/4	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	内面摩滅著しい内外面一部燻し状
旧河道(4B) F14-38+63	1162	須恵器 坏蓋	器 〈2.8〉 口 (11.5)	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④1/4(鈕欠損)	ロクロ成形カエリあり天井部右回転篦削り調整	鈕は宝珠状か
旧河道(4B) F14-46+23	1163	須恵器 坏蓋	器 〈6.3〉 口 (17.3)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(端部)	ロクロ成形天井部右回転篦削り調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
旧河道(4B) F14-38	1166	須恵器 台付壺	器 〈8.2〉 底 (7.6)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(底・台部欠損)	ロクロ成形。内外面撫で調整。台部剝離	摩滅著しい 外面燻し
旧河道(4B) F14-46+8	1167	須恵器 壺	器 〈9.3〉	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(下半部)	ロクロ成形。内外面撫で調整	底部他に比べて厚い
旧河道(4B) F14-35	1168	須恵器 坏	器 〈2.6〉 底 (9.9)	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-8/1 ④¼(底部)	ロクロ成形。外面手持ち篦削り内面篦撫で調整	
旧河道(4B) 埋土	1169	須恵器 甕	長さ 5.5 厚み 0.6	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
旧河道(4B) 埋土	1170	須恵器 甕	長さ 5.8 厚み 0.7	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-8/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目の後カキ目内面同心円当て目	
旧河道(4B) F14-38	1171	須恵器 高台付椀	器 〈3.5〉 高台径 (6.4)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
旧河道(4B) F14-38+41	1172	須恵器 甕	器 〈3.9〉 口 (20.3)	①細砂 ②還元 ③灰10Y -4/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部外反気味横撫で調整	
旧河道(4B) F14-37+9・+40	1175	土師器 小型甕	器 〈7.3〉 口 (10.2)	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5 YR-5/6 ④破片(上半部)	口縁部直立気味横撫で胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で調整	

4AI・II区グリッド・表採出土遺物（第395～397図、PL76・79・80）

II区						
遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
F14-84 グリッド	75	土師器 台付甕	器 〈3.8〉 高台径 7.8	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙 10YR-8/4 ④台部	外面縦方向篦削り。内面篦撫で。台部接合で横撫で調整	
G14-47 グリッド	77	陶器 高台付椀	器 〈2.5〉 高台径 (5.0)	①細砂 ②還元 ③浅黄橙 7.5YR-8/3 ④破片(底部)	ロクロ成形。付高台。肥前陶器。御器手碗 17C後～18C初	全面に釉かかる
G14-48 グリッド	78	須恵器 甕	長 (12.2) 幅 8.7	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目。内面同心円当て目	厚1.2
G14-48 グリッド	79	土師器 坏	器 4.2 口 13.2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	底11.7
I-1トレンチ	80	須恵器 高台付椀	器 〈1.9〉 高台径 (7.0)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 YR-8/2 ④¼	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨滅
I-3トレンチ	81	陶器 高台付椀	器 〈2.4〉 高台径 (5.5)	①細砂 ②還元 ③断面淡黄2.5Y-8/3 ④¼	ロクロ成形。付高台。瀬戸美濃。飼釉高台脇以下無釉.17～18C	全面に釉かかる
I-4トレンチ	83	須恵器 坏	器 2.5 底 6.9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④½	ロクロ成形。口縁下半左回転篦削り調整	
I-6トレンチ	84	土師器 甕	器 〈4.2〉 底 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④破片(底部)	外面篦削り。内面篦撫で調整	
表採	88	須恵器 甕	器 〈7.9〉 口 (34.8)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で。胴部内外面撫で調整	
表採	89	須恵器 高台付皿	器 2.6 口 12.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④½	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨滅著しい
表採	90	瓦	長さ 〈21.0〉 厚さ 5.4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④	外面、篦調整．内面、布目圧痕。指撫で消し	
I区						
H13-01 グリッド	825	須恵器 坏	器 3.5 口 13.7 底 7.2	①細砂 ②還元 ③浅黄橙 10YR-8/4 ④½	ロクロ成形。左回転糸切り	内面磨滅口縁燻し状煤付着
H13-06 グリッド	826	須恵器 坏	器 〈4.1〉 口 (12.7) 底 (7.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④⅓	ロクロ成形。左回転糸切り	底部にやや厚みを持つ
H13-47 グリッド	827	須恵器 高台付皿	器 〈2.3〉 口 13.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④¼(高台部欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台	内外面燻し状
H12-97 グリッド	828	須恵器 坏蓋	器 1.9 口 9.3	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形天井部回転糸切りの後右回転篦削り調整。鈕あり	鈕1.4
H12-78 グリッド	829	須恵器 坏蓋	器 〈2.8〉 口 (15.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④¼(天井部)	ロクロ成形鈕はリング状天井部右回転篦削り調整	鈕(4.1)
H12-98 グリッド	830	須恵器 坏蓋	器 〈1.6〉 口 (14.9)	①細砂 ②還元 ③オリーブ灰5Y-6/2 ④¼(天井部欠損)	ロクロ成形天井部右回転篦削り調整	天井部自然釉付着
H12-40 グリッド	832	土錘	長さ (4.8) 厚み 1.6	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-5/3 ④完形	外面撫で調整	一部炭素吸着。幅1.6

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
表採	833	須恵器	器 〈22.7〉	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5	口縁先端部平ら錐はCタイプ	
		羽釜	口 (28.6)	Y-7/4 ④¼(上半部)		
H12-95	835	須恵器	器 〈4.2〉	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	底部平底。胴部外面平行叩き目。胴部内面	
グリッド		甕	底 (12.7)	Y-8/2 ④破片(胴部)	撫で調整	
H12-78	836	須恵器	長さ (12.8)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	胴部外面平行叩き目胴部内面同心円当て目	
グリッド		甕	厚み 1.0	Y-8/1 ④破片(胴部)		
H13-58	837	須恵器	長さ (7.0)	①細砂 ②還元 ③にぶい	胴部外面平行叩き目胴部内面同心円当て目	
グリッド		甕	厚み 1.2	橙5YR-6/4 ④破片(胴部)		
H12-97	838	須恵器	長さ (8.9)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5	胴部外面平行叩き目胴部内面同心円当て目	
グリッド		甕	厚み 1.7	YR-6/2 ④破片(胴部)		
H13-06	841	須恵器	長さ (5.8)	①細砂 ②還元 ③灰5Y	胴部外面平行叩き目胴部内面同心円当て目	
グリッド		甕	厚み 1.2	-4/1 ④破片(胴部)	撫で調整	
H13-08	842	須恵器	長さ (8.1)	①細砂 ②還元 ③灰黄褐	胴部外面平行叩き目胴部内面同心円当て目	
グリッド		甕	厚み 0.8	10YR-5/2 ④破片(胴部)		
H12-98	843	土師器	器 〈4.0〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	内面放射状
グリッド		坏	口 (14.3)	YR-6/8 ④⅓	ち篦削り調整	篦研磨
H13-18	844	土師器	器 〈6.2〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持	内面放射状
グリッド		坏	口 (17.5)	YR-6/8 ④¼	ち篦削り調整	篦研磨
H12-95	845	土師器	器 〈4.1〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	磨滅著しい
グリッド		坏	口 (13.7)	YR-7/8 ④破片	ち篦削り調整	底 (11.3)
H12-95	847	土師器	器 〈3.4〉	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持	磨滅著しい
グリッド		坏	口 (12.2)	YR-6/8 ④破片	ち篦削り調整	
H12-78	848	土師器	器 〈4.0〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	
グリッド		坏	口 (13.8)	YR-7/6 ④破片	ち篦削り調整	
H13-06	849	土師器	器 〈3.9〉	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持	磨滅著しい
グリッド		坏	口 (13.2)	YR-7/8 ④破片	ち篦削り調整	
H13-27	850	土師器	器 〈3.3〉	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持	
グリッド		坏	口 (13.0)	7.5YR-8/6 ④破片	ち篦削り調整	
H12-95	851	土師器	器 〈3.0〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	磨滅著しい
グリッド		坏	口 (11.0)	YR-7/6 ④破片	ち篦削り調整	
H13-18	856	須恵器	器 〈3.6〉	①細砂 ②還元 ③にぶい	ロクロ成形。口唇部が平らで水平	
グリッド		高台付椀	口 (12.8)	橙7.5YR-6/4 ④破片		
H12-98	857	土師器	器 〈3.0〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持	磨滅著しい
グリッド		坏	口 (13.2)	YR-7/6 ④破片	ち篦削り調整	
H13-06	858	土師器	器 〈7.1〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方	磨滅著しい
グリッド		甕	口 (17.0)	YR-7/8 ④破片(口縁部)	向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
H12-17	859	土師器	器 〈3.2〉	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5	台部内外面横撫で調整	
グリッド		台付甕		YR-6/8 ④½(台部)		
I12-68	872	縄文	長さ (6.6)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙	口縁部、押圧。胴部2条の重線	
グリッド		深鉢	厚さ 0.9	7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)		
表採	873	須恵器	器 5.0	①細砂 ②還元 ③浅黄5Y	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい
		高台付椀	口 14.5	-7/3 ④½		
I12-83	874	灰釉陶器	器 〈2.4〉	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底	内外面口縁
グリッド		高台付椀	高台径 (7.5)	-7/2 ④½(底部)	部は回転ヘラナデ。光ケ丘1号窯式～大原	部施釉
					2号窯式期	
I12-40	876	土師器	器 〈2.7〉	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持	
グリッド		坏	口 (12.5)	橙7.5YR-7/4 ④破片	ち篦削り調整	
I12-51	878	土師器	器 〈2.4〉	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤	台部内外面横撫で調整	
グリッド		台付甕	高台径(10.0)	褐5YR-4/4 ④破片(台部)		
I13-35	879	土師器	器 〈8.2〉	①粗砂 ②酸化 ③赤褐5	口縁部外反気味横撫で。胴部外面縦方向篦	
グリッド		長甕	口 (22.5)	YR-4/6 ④破片(口縁部)	削り内面横方向篦撫で調整	
I12-83	880	土師器	器 〈6.5〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	口縁部コの字状横撫で外面胴部横方向篦削	比較的厚い
グリッド		甕	口 (15.6)	YR-7/6 ④破片(口縁部)	り内面胴部横方向篦撫で調整	
H12-95	1196	石斧	長さ 10.6	④完形	撥型を呈する	撥型幅6.1
グリッド			厚さ 1.8	石材黒色片岩重さ130		
G13-97	1253	鉄製品	長さ (5.8)	長方形の鉄板状品。長側辺の一部を欠損している。用途は不明。錆ぶく		幅2.1
グリッド		板状鉄	厚さ 0.4	れにより厚くなるも本来薄手の鉄板状であったものと考えられる		
H13-97	1254	鉄製品	長さ (8.5)	刃部先端及び茎の一部を欠失する。刃は細長く研ぎによるものと考えら		幅1.0
グリッド		刀子	厚さ 0.2	れる。両関で小さめの茎を有する		
I13-00	1255	鉄製品	長さ 1.2			幅1.1
グリッド		鉄砲玉	厚さ 0.9			

2．篠塚四反歩地区（4B区）

4B区01号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
884	土師器 坏	器 3.1 口 12.0	−6	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④完形	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底10.2
885	土師器 坏	器 2.9 口 10.2 底 7.0	−1 −0.5	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/6 ④¾	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 内面炭素吸着
886	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (12.0)	−2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	内外面一部炭素吸着
887	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.0)	+42	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底部黒斑
889	土師器 甕	器 〈7.0〉	−3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(底部)	底部丸底気味外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	
890	須恵器 高台付坏	器 〈1.9〉 高台径(16.0)	+23.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5YR-5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形付高台	
891	須恵器 甕	長さ 8.2 厚さ 1.5	+58	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
892	土師器 小型甕	器 〈8.9〉 口 (12.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③灰黄2.5Y-6/2 ④破片(上半部)	口縁部外反気味横撫で。胴部外面縦方向篦削り内面横方向篦撫で調整	

4B区02号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
893	須恵器 高台付椀	器 〈2.2〉	+9	①細砂 ②還元 ③浅黄5Y-7/3 ④破片(底部)	ロクロ成形付高台	磨滅著しい
894	土師器 坏	器 〈5.3〉 口 (16.0)	+10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り	磨滅著しい
897	土師器 甕	器 〈6.0〉 口 (14.0)	−1 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	

4B区03号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
896	土師器 甕	器 〈7.8〉 口 (18.0)	−11	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	

4B区04号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
899	内耳鍋	器 〈1.8〉 底 (15.1)	−6	①粗砂 ②酸化 ③灰褐7.5YR-5/3 ④破片(底部)	底部平底気味篦撫で調整	砂底気味

4B区05号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
915	須恵器 甑	器 〈2.0〉 底 (18.4)	+1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。底に18㎝の穿孔を焼成前に施す。穿孔は手持ち篦削り調整	
916	須恵器 鈕蓋	器 〈1.9〉 鈕 4.8	±0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④¼(端部欠損)	ロクロ成形鈕はリング状天井部右回転篦削り調整	
918	須恵器 坏蓋	器 〈1.5〉 口 (14.6)	±0埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(端部)	ロクロ成形カエリあり	
919	須恵器 鉢	器 15.4 口 17.9 高台径 9.7	−12	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④完形	ロクロ成形口縁先端部はやや丸みを持ち内斜底部・底部周辺手持ち篦削り調整	内面・底部摩耗底部比較的厚い
920	須恵器 小型甕	器 18.5 口 14.2 底 8.3	−10	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で胴部外面平行叩き目ロクロ調整	外面胴部自然釉かかる 胴19.5
921	土師器 坏	器 3.6 口 12.3	−0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	口縁一部炭素吸着
922	土師器 坏	器 3.5 口 12.0	−3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-8/8 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底10.5

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
923	土師器 坏	器 3.8 口 10.8 底 9.3	−7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 外面底部黒斑
924	土師器 坏	器 3.4 口 11.7	−9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底10.1
925	土師器 坏	器 3.3 口 12.4	−2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	外面底部黒斑
926	土師器 坏	器 3.5 口 11.1	−1.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底9.8
927	土師器 坏	器 4.5 口 14.3 底 9.9	−11	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 外面底部黒斑
928	土師器 坏	器 5.6 口 15.8	−12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	内面底部煤付着
929	土師器 甕	器 3.5 口 15.6	−16	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底13.3
930	土師器 甕	器 4.3 口 16.1 底 13.0	−10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	底部内外面炭素吸着
931	土師器 坏	器 4.1 口 13.5	−8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 一部吸炭
932	土師器 坏	器 3.8 口 12.3	−10 −7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	底8.3
933	土師器 坏	器 3.7 口 11.9 底 10.3	±0	①粗砂 ②酸化 ③明黄褐10YR-6/6 ④¾	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
934	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (11.0)	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部平底気味	内面煤付着
935	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (11.7)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部平底気味	
936	土師器 甕	器 〈14.6〉 口 (24.0)	−10 −5 −3 −2.5 ±0 +1	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(上半部)	口縁部外反気味横撫で胴上位横・下位縦方向篦削り胴内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
938	土師器 台付甕	器 〈4.3〉 高台径(10.0)	±0 +15	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/8 ④破片(台部)	台部横撫で。撫で調整	
939	土師器 甕	器 〈2.8〉	±0 ④破片(底部)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5Y-6/8	胴部外面篦削り内面篦撫で調整	底部砂底一部燻し状

4 B区06号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
900	須恵器 坏	器 〈2.1〉 底 (7.4)	+6	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/1 ④¼(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	
901	羽釜	器 〈25.7〉 口 20.0	−7 −3.5 +3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④½(底部欠損)	口縁先端部内斜。鍔はAタイプ。内外面横撫で胴下位縦方向手持ち篦削り	
902	須恵器 高台付椀	器 〈2.2〉 高台径 (8.4)	−4	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	外面底部煤付着。磨面有
904	須恵器 坏蓋	器 3.1 口 17.2	−9	①細砂 ②還元 ③にぶい黄褐10YR-5/4 ④½(鈕欠損)	ロクロ成形。天井部右回転篦削り調整	内面天井部磨面あり
905	土師器 坏	器 3.5 口 12.0	−2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味の平底手持ち篦削り調整	底部中央付近布の目
906	土師器 坏	器 3.2 口 11.6	−9 +3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¾	口縁部先端横撫で。底部平底。手持ち篦削り調整。中位に段あり。内面放射状篦研磨	底7.7
907	土師器 坏	器 2.7 口 12.3	−9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	口縁一部炭素吸着
908	土師器 坏	器 3.0 口 12.0	+1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④¾	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち篦削り調整	磨滅著しい 底10.0
909	土師器 甕	器 〈21.4〉 口 20.6	+0.5埋土 表採	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/3 ④¾(下半部欠損)	口縁部コの字・横撫で。胴上位張り横方向下位縦方向篦削り。内面横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
910	土師器 小型甕	器 〈5.4〉 口 (13.0)	−9 −3埋土	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/8 ④1/6(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	
911	土師器 甕	器 〈11.9〉 口 (20.0)	−8 +3埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。胴部上位に張り、横方向篦削り。胴内面横方向篦撫で調整	
912	土師器 甕	器 〈3.4〉	−8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	外面炭素吸着
913	縄文 深鉢	長さ 7.2 厚み 0.6	覆土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片	LR縄文施す	
1322	鉄製品 刀子	長さ (22.3) 厚さ 0.5	−16.5	刃及び茎先端が欠損。刃は極めて巾狭く長い。研ぎべりによると思われる。茎も細長く全体に細身の刀子である。両関を呈する		

4B区07号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1046	須恵器 坏	器 〈3.0〉 底 (7.2)	カマド内	①細砂 ②還元 ③灰10YR-8/1 ④1/2(底部)	ロクロ成形。底部回転糸切り未調整	
1047	土師器 坏	器 〈4.2〉 口 (12.6)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④1/4	口縁部横撫で、口唇端部やや内傾。体部指頭痕。体部下半から底部篦削り	
1048	土師器 坏	器 〈3.0〉 底 (4.2)	カマド内	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④1/2(底部)	胴下半斜方向、下端部横方向篦削り。底部篦削り。内面撫で	

4B区01号竪穴状遺構出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1137	須恵器 甕	長さ 7.4 厚み 1.1	−4	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目。平行カキ目内面同心円当て目	

4B区掘立柱建物出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
06号掘立P2	1117	石製 紡錘車	径 5.2 厚さ 0.8	④完形 石材デイサイト重さ59g	偏平な円盤状を呈し、両面平滑。上面ドーナツ状磨痕あり	孔0.9
19号掘立P4	1311	古銭	径 2.5 孔 0.75			
19号掘立P4	1312	古銭	径 2.4 孔 0.8			
19号掘立P4	1313	古銭	径 2.45 孔 0.7			
19号掘立P4	1314	古銭	径 2.4 孔 0.7			
19号掘立P4	1320	古銭	径 2.25 孔 0.6			
19号掘立P4	1321	古銭	径 2.35 孔 0.8			
21号掘立P2	1317	古銭	径 2.4 孔 0.75			

4B区溝出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溝 F13-70	973	擂鉢	器 底 (13.5)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④底部	底部回転糸切り	
01号溝 F13-70	975	内耳鍋	器 〈8.3〉 口 (31.0)	①細砂 ②還元 ③黒2.5Y-2/1 ④1/10(口縁部)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整内面横撫で調整	内外面燻し状
01号溝 F13-80	992	内耳鍋	器 〈5.1〉 口 (27.2)	①細砂 ②還元 ③褐7.5Y-4/4 ④1/6(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	内外面燻し状。磨滅
01号溝 F13-80	1079	須恵器 把手付甕	長さ 6.0 厚さ 3.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(把手)	手捻り篦削り調整	炭素吸着
01号溝 F13-80	1080	古瀬戸 瓶	長さ 5.3 厚み 1.3	①細砂 ②還元 ③暗オリ-ブ5Y-4/3 ④破片(胴部)	ロクロ調整。古瀬戸。鉄釉を外面に施す	内外面施釉 外面線刻文
02号溝 F13-81	980	内耳鍋	器 〈7.3〉 底 (19.0)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-4/1 ④1/6(底部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面横撫で調整	内外面燻し状。磨滅

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
03号溝 F13-82	981	内耳鍋	器 〈1.8〉 底 (20.0)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄褐10YR-5/4 ④破片(底部)	撫で調整	内外面燻し状
03号溝 F13-72	982	内耳鍋	器 〈5.6〉 口 (29.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④1/10(口縁部)	口縁部横撫で外面指おさえ内外面撫で調整	
04号溝 F13-87	1081	土師器 台付甕	器 〈3.1〉	①粗砂 ②酸化 ③黄橙10YR-7/8 ④破片(台部)	外面櫛状工具による撫で調整。口縁部「S」字状を呈する	砂底石田川
04号溝 F13-77	1082	須恵器 甕	器 〈12.8〉 口 (14.6)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④¼(上半部)	肩部2本の沈線区画。6本1単位の波状文2段	
04号溝 埋土	1083	須恵器 坏	器 〈2.6〉 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	
04号溝 F14-15	1084	須恵器 甕	器 〈8.0〉 口 (15.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(上半部)	ロクロ成形。口縁部内彎気味横撫で。内外面横撫で調整	
04号溝 埋土	1086	土師器 坏	器 〈3.0〉 厚さ 0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5Y-6/8 ④破片(底部)	底部平底気味手持ち篦削り調整	内面線刻
04号溝 F13-97	1087	縄文 小型深鉢	器 〈2.4〉 厚さ 0.5	①粗砂 ②普通 ③橙5YR-6/6 ④	平行沈線施す	
04号溝 F14-25	1088	石斧	長さ 9.9 厚さ 1.2	④完形 石材黒色片岩重さ110	分銅型呈し、えぐり磨耗	分銅型 幅7.2
04号溝	1214	縄文 深鉢	器 〈3.5〉 底 (6.0)	①粗砂 ②普通 ③橙7.5YR-6/6 ④破片	平底。無文	磨滅著しい
04号溝	1262	古銭	径 2.45 孔 6.3			
05号溝 F13-87	1090	須恵器 坏	器 〈1.3〉 底 (6.4)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい
05号溝 F14-34	1091	須恵器 坏	器 3.9 口 11.9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り口唇部吸炭	磨滅著しい
05号溝 F14-06	1104	羽釜	器 〈6.5〉 口 (20.0)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/4 ④破片(口縁部)	口縁先端部内斜を呈す鍔はAタイプ	外面炭素吸着
05号溝 F14-44	1263	鉄製品 板状鉄	長さ (9.6) 厚さ 0.3	板状の鉄製品であり短側辺部が共に欠失している。長側辺部はともに薄く扁平で、刃の有無は不明である。鎌の可能性はあるが、断定はできない。棱の屈曲は原状のものではないと考える		幅3.5
11号溝 G13-80	943	擂鉢	器 〈9.7〉 底 (12.8)	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5Y-3/1 ④下半部⅕	外面胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	
11号溝 G13-80	1092	打製石斧	長さ 8.5 厚み 1.1	④½ 石材珪質頁岩重さ90g	短冊状を呈し、刃部丸味を持つ。片面自然面残	短冊型 幅5.6
15号溝 F14-07	944	擂鉢	器 〈5.7〉 底 (10.0)	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-7/6 ④底部⅕	外面胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	外面底部磨滅
15号溝 F14-07	987	内耳鍋	器 〈12.7〉 口 (31.8)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④⅙(口縁部)	口唇部内彎横撫で外面指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	内外面燻し状
15号溝 F14-06	1094	砥石	長さ (10.9) 厚み 3.2	④½ 石材砥沢石重さ189.4g	角柱状を呈し、使用面縦方向条線.2面使用1面丸味を持ち1面荒削痕は丸味を持つ	幅3.2
16号溝 F14-08	1095	砥石	長さ (13.3) 厚み 3.5	④½ 石材砂岩重さ320g	天井部が欠損、断面長方形。四側面使用であるが自然面残す。擦痕は丸味をもつ	幅6.7

4B区溜池・池状遺構出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溜池	945	擂鉢	器 15.7 口 (31.8)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④破片(口縁部・下半部)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	底 (12.3)
01号溜池	946	擂鉢	器 〈15.8〉 口 29.5 底 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④⅕(底部欠損)	ロクロ成形回転糸切り。片口口縁部横撫で内面胴部横方向篦撫で。内面、磨面あり	外面底部周辺煤付着
01号溜池	947	擂鉢	器 12.8 口 (33.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④⅙(底部欠損)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整。内面胴部磨り面あり	外面口唇部磨滅
01号溜池	948	擂鉢	器 〈7.6〉 底 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④⅙(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	
01号溜池	989	内耳鍋	器 〈4.5〉 底 (20.0)	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④⅛(底部)	外面指おさえ内外面撫で調整内面全体外面胴部燻し状	
01号溜池	1105	須恵器 甕	器 〈5.8〉 口 (18.0)	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味先端で外反横撫で調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号溜池	950	擂鉢	器 15.0 口 (30.3)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④1/6(底部欠損)	口縁部横撫でロクロ成形回転糸切り。底部周辺手持ち篦削り。外面指おさえ	内面掻きやぶりあり
02号溜池	951	擂鉢	器 13.7 口 (32.7)	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5Y-3/1 ④1/8(底部欠損)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	
02号溜池	952	擂鉢	器 〈3.5〉 底 (12.7)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④1/4(底部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	
02号溜池	953	擂鉢	器 〈10.1〉 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④1/8(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	内外面磨滅
02号溜池	954	擂鉢	器 〈4.3〉 底 (11.2)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④1/4(底部)	外面胴部指おさえ撫で調整底部糸切り。内面磨り面あり	外面炭化物付着
02号溜池	955	擂鉢	器 〈4.5〉 底 (12.3)	①細砂 ②還元 ③オリーブ黒7.5Y-3/1 ④1/3(底部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	外面煤付着
02号溜池	956	擂鉢	器 15.3 口 (29.7)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄 2.5Y-6/3 ④破片(口縁・胴・底部)	外面胴部指おさえ撫で調整底部平底内面磨り面あり	底 (11.1)
02号溜池	961	擂鉢	器 13.8 口 (30.0)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-6/4 ④破片(口縁・胴・底部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	内外面磨滅 底 (13.7)
02号溜池	1003	内耳鍋	器 〈6.1〉 口 (28.0)	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5Y-3/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内外面燻し状内面横撫で調整磨滅。内耳付	
02号溜池	1004	内耳鍋	器 〈8.5〉 口 (29.0)	①細砂 ②還元 ③黒2.5Y-2/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内外面燻し状内面横撫で調整内面やや磨滅	
02号溜池	1005	内耳鍋	器 〈4.7〉 口 (25.7)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内外面燻し状内面横撫で調整(内耳付)	内外面磨滅
02号溜池	1007	内耳鍋	器 〈5.7〉 底 (18.5)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④1/8(底部)	撫で調整	外面一部燻し状
02号溜池	1008	内耳鍋	器 〈5.4〉 口 (30.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④1/12(口縁部)	口縁部外反口唇部やや内彎外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	外面一部燻し状
02号溜池	1011	内耳鍋	器 〈6.6〉 口 (28.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④1/10(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	
02号溜池	1106	擂鉢	器 〈6.2〉 底 (10.7)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④1/4(下半部)	底部平底。内面カキ目	磨耗。歪み著しい
02号溜池	1107	須恵器坏	器 〈1.6〉 底 (5.2)	①細砂 ②還元 ③暗灰黄2.5Y-4/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 一部吸炭
02号溜池	1108	須恵器 高台付椀	器 〈2.1〉 高台径(6.9)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/4 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
02号溜池	1109	古瀬戸 瓶	長さ 7.9 厚み 0.9	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-7/3 ④破片(胴部)	瓶の体部片。外面にスタンプ文を散らす。	外面自然釉付着菊花文
02号溜池	1110	砥石	長さ (10.2) 厚み 2.4	④1/2石材砥沢石重さ178.7g	天井部欠損。三面使用。狭側面磨耗部分と荒削り部分残る	幅3.6
02号溜池	1111	軽石製品	長さ 8.4 厚さ 5.0	④完形石材二ツ岳軽石重さ200g	マンジュウ形を呈し、底面磨面。横方向に削痕あり。側面大きく2ヶ所、面取り	幅6.7
02号溜池	1258	鉄製品 板状鉄	長さ (4.1) 厚さ 0.6	板状の鉄製品であるが半分は欠失してしまい、大きさは不明である。錆ぶくれによりやや厚くなっているが、本来は薄い平板な板と思われる		幅3.8
池状遺構	1077	須恵器 坏	器 〈1.7〉 底 (5.1)	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-8/1 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り	

4B区土坑出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
12号土坑	963	擂鉢	器 〈8.0〉 口 (25.8)	①細砂 ②還元 ③灰10Y-7/1 ④1/8(口縁部)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	
12号土坑	1112	陶器 高台付椀		①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	ロクロ成形付高台底部撫で調整。瀬戸・美濃系.17～18C。内面、灰釉	カンニュウ
17号土坑	1029	内耳鍋	器 〈19.2〉 口 (34.0)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片(上半・下半部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	内外面燻し状。磨滅
25号土坑	1113	砥石	長さ (6.6) 厚さ 2.1	④1/2石材砥沢石重さ49.3g	天井部欠損。断面方形、四側面及び一角使用	幅2.2

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
32号土坑	1308	古銭	径 2.35 孔 0.7			
32号土坑	1309	古銭	径 2.5 孔 0.75			
32号土坑	1310	古銭	径 2.3 孔 0.6			
137号土坑	965	擂鉢	器 〈10.3〉 底 (12.5)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④1/5(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整底部糸切り。内面磨り面あり	
137号土坑	1115	球形土製品	径 4.7 厚さ 4.7	①細砂 ②還元 ③淡黄2.5Y-8/4 ④完形	手づくね。棒状工具により刺突。周囲に刻み	孔0.6
137号土坑	1116	砥石	長さ (7.3) 厚さ 2.7	④1/2石材変質デイサイト重さ105g	天井部欠損。断面長方形。四側面及び各角使用	幅3.6
137号土坑	1259	古銭	径 2.3 孔 0.7			
246号土坑	1119	砥石	長さ (3.6) 厚さ 1.2	④破片石材砥沢石重さ29.6g	断面長方形。両面使用。側縁及び端部ノミにより面取り	幅3.5
307号土坑	1120	須恵器把手付鍋	長さ 10.3 厚み 0.9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(上半部)	ロクロ調整口縁部外反気味横撫で肩部に把手添付胴部内外面篦撫で調整	
327号土坑	1121	須恵器椀	器 4.7 口 14.3 高台径 6.4	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④完形	ロクロ成形回転糸切り付高台口縁部上半	磨滅著しい煤付着
327号土坑	1122	須恵器高台付椀	器 〈4.6〉 口 (14.0)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/4 ④1/3	ロクロ成形。左回転糸切り付高台高台径(6.6)	磨滅著しい
327号土坑	970	擂鉢	器 〈6.3〉 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1/1 ④1/8(底部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	
327号土坑	1033	内耳鍋	器 〈11.8〉 口 (30.0)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④破片(上半部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	内外面燻し状。磨滅
327号土坑	1101	内耳鍋	器 〈7.6〉 口 (28.0)	①粗砂 ②酸化 ③暗灰黄2.5Y-5/2 ④1/6(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整(内耳付)	内外面燻し状。磨滅
327号土坑	1102	内耳鍋	器 〈6.0〉 口 (30.8)	①粗砂 ②酸化 ③黒5Y-2/1 ④1/8(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	外面燻し状
341号土坑	1124	土師器甕	器 〈12.7〉 口 (19.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で外面胴部上位横方向下位縦方向篦削り内面胴部横方向篦撫で調整	外面炭素吸着
341号土坑	1126	内耳鍋	器 〈4.7〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面篦削り内面篦撫で調整	内外面一部炭素吸着
352号土坑	1127	砥石	長さ (6.8) 厚さ 2.0	④石材重さ		幅3.0
369号土坑	1260	鉄製品釘	長さ 5.4 厚さ 0.4	完形。頭部及び深部に一部木質残るも、木目の方向は不明である		幅0.5
369号土坑	1261	鉄製品釘	長さ 4.0 厚さ 0.45	断面が四角形状を呈し、方柱状の身部から釘としてよい。頭部が欠失し、茎端部がくの字に曲がっている		幅0.5
375号土坑	1128	砥石	長さ 10.3 厚さ 1.5	④1/2以上石材変質デイサイト重さ58.3g	端部欠損。形状はねじれたような状態で三側面使用	幅2.7
375号土坑	1129	石製模造品	長さ (4.8) 厚さ 1.3	④石材滑石重さ31g	側面、面取痕。表面荒砥による削痕あり。円孔部片側からの穿孔(ノミによるものか?)	幅(4.2)
378号土坑	1130	磁器皿	器 (4.0) 口 (21.0)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/9 ④1/5(口縁部)	ロクロ成形。焼成不良のため、不明確であるが、龍泉窯系青磁の可能性高い	内外面施釉
385号土坑	1103	擂鉢	器 〈5.3〉 底 (12.7)	①粗砂 ②酸化 ③灰5Y-6/1 ④1/4(底部)	外面胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	
385号土坑	1131	土師器甕	器 〈2.2〉	①粗砂 ②酸化 ③褐7.5YR-4/3 ④破片(底部)	外面胴部・底部篦削り内面篦撫で調整	内外面一部炭素吸着
432号土坑	1036	内耳鍋	器 〈13.0〉 口 (30.8)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④1/6(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	内外面燻し磨滅
469号土坑	1041	内耳鍋	器 〈11.5〉 口 (25.7)	①細砂 ②還元 ③灰黄褐10YR-5/2 ④1/12(上半部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	
516号土坑	1134	須恵器坏	器 〈3.1〉	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り	磨滅著しい一部煤付着
561号土坑	1135	石斧	長さ 10.8 厚さ 2.4	④完形石材重さ186.7g	分銅形を呈し、エグレ部磨耗。刃部先鋭い	幅6.7

遺物観察表

遺　跡　名	番号	器種・器形	大　き　さ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備　考
607号土坑	1136	土師器 甕	器　〈5.2〉	①粗砂　②酸化　③明褐7.5YR-5/6　④破片(底部)	外面胴部・底部箆削り内面箆撫で調整	砂底か。一部炭素吸着
647号土坑	1042	内耳鍋	器　〈9.3〉 口　(27.8)	①細砂　②還元　③褐灰10YR-5/1　④1/10(口縁部)	口縁部外反横撫で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横撫で調整	内外面燻し磨滅
650号土坑	972	擂鉢	器　〈7.0〉 底　(13.7)	①細砂　②還元　③にぶい黄2.5Y-6/3　④1/6(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	
705号土坑	1198	円形叩き石	長さ　(2.1) 厚さ　3.6	④1/2石材変玄武岩重さ1000g	上部煤付着	幅(8.0)
705号土坑	1316	古銭	径 2．35 孔 0．8			
777号土坑	1200	円形叩き石	長さ　12.7 厚さ　3.2	④完形 石材重さ1000g	全体に煤付着	幅16.0
830号土坑	1139	青磁 皿	長さ　2.7 厚み　0.7	①細砂　②還元　③明緑灰7.5GY-7/1　④破片(口縁部)		菊皿か
838号土坑	974	擂鉢	器　〈8.0〉 底　(12.0)	①細砂　②還元　③黄灰2.5Y-4/1　④1/6(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	

4B区グリッド出土遺物

遺　跡　名	番号	器種・器形	大　き　さ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備　考
グリッド H13-81	1043	内耳鍋	長さ　〈8.3〉 厚さ　1.3	①細砂　②還元　③黒褐10YR-3/2　④1/6(底部)	外面胴部指おさえ内外面横撫で調整	外面燻し状
グリッド 表採	1075	土師器 甕	器　〈28.0〉 口　(21.0)	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-7/6　④1/4(上半・下半部)	コの字状口縁。胴上位横・下位縦方向箆削り。胴内面横方向箆撫で	磨滅著しい
グリッド F13-77	1176	須恵器 高台付椀	器　〈2.3〉 高台径　(7.8)	①細砂　②還元　③黒褐2.5Y-3/1　④1/4(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	内外面一部炭素吸着
グリッド F13-56	1177	土師器 坏	器　3.3 口　12.7	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-6/8　④3/4	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち箆削り調整	外面一部炭素吸着
グリッド F13-76	1178	土師器 坏	器　〈4.0〉 底　(10.7)	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-7/6　④1/4(底部)	口縁部外反気味横撫で底部平底気味手持ち箆削り調整	
グリッド F14-44	1179	土師器 坏	器　〈3.6〉 口　(12.0) 底　(8.6)	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-6/6　④1/4	口縁部外反気味横撫で底部平底気味手持ち箆削り調整外面口縁部中位沈線あり	
グリッド F13-96	1181	土師器 坏	器　〈3.0〉 口　(12.2)	①粗砂　②酸化　③にぶい橙7.5YR-5/4　④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち箆削り調整	
グリッド F13-68	1182	土師器 台付甕	器　〈2.8〉	①粗砂　②酸化　③明黄褐10YR--6/6　④破片(台部)	台部外面カキ目内面撫で調整。口縁部「S」字状を呈する	
グリッド F13-76	1183	縄文前期 深鉢	長さ　4.0 厚さ　0.8	①粗砂　②普通　③赤褐5YR-4/8　④破片(胴部)	外面縄文繊維	
グリッド F13-57	1184	灰釉 高台付壺	器　〈4.4〉 高台径　(9.2)	①細砂　②還元　③灰白10Y-7/1　④1/4(底・胴部)	ロクロ成形付高台	外面胴部に施釉あり
グリッド F14-36	1185	須恵器 坏蓋	器　〈1.5〉 鈕　4.4	①細砂　②還元　③灰白7.5Y-8/2　④破片(鈕)	ロクロ成形。鈕はボタン状天井部回転伴う箆削り調整	
グリッド F14-36	1186	須恵器 長頸壺	器　〈4.5〉 口　(9.0)	①細砂　②還元　③灰白10Y-8/1　④破片(口縁部)	ロクロ成形横撫で調整	
グリッド F13-96	1187	須恵器 甕	長さ　14.8 厚み　1.1	①細砂　②還元　③灰7.5Y-6/1　④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
グリッド F13-46	1188	土師器 甕	器　〈6.5〉 口　(22.0)	①粗砂　②酸化　③橙5YR-6/8　④1/3(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向箆削り内面胴部横方向箆撫で調整	
グリッド F13-96	1189	土師器 長甕	器　〈6.0〉 口　(22.0)	①粗砂　②酸化　③にぶい橙7.5YR-6/4　④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で胴部外面縦方向箆削り内面横方向箆撫で調整	
グリッド F13-88	1190	石斧	長さ　10.0 厚さ　1.7	④完形 石材変玄武岩重さ112.4g	分銅形を呈し、快れ部磨耗	幅5.3
グリッド 表採	1199	円形 叩き石	長さ　12.4 厚さ　4.1	④ほぼ完形 石材重さ1180g	全体に煤付着	幅13.5
グリッド F14-37	1201	石斧	長さ　11.7 厚さ　3.0	④完形 石材重さ330g	分銅形を呈する。刃部磨滅。自然釉残す	幅6.9

3．篠塚清太地区（5・5A区）

5区01号住居出土遺物（第5図、PL187）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0001	須恵器 坏	器 3.0 口 9.3 底 5.4	−0.3 A	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙5YR-6/6 ④完形	口縁部横撫で、底部左回転底部回転糸切り	
0009	須恵器 坏	器 〈1.6〉 底 5.0	+7.5埋土	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(底部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0013	須恵器 高台付椀	器 (4.8) 口 (12.3) 底 6.8	埋土	①粗砂 ②還元、軟質 ③灰白10YR8/2 ④¼	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り後撫で調整 内面篦磨き	内面黒色処理
0016	須恵器 高台付椀	器 〈2.1〉 高台部 5.6	+4.0 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙7.5YR-7/6 ④¼(底部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	
0022	須恵器 甕	器 〈23.5〉 口 (29.8)	+9.5 +4.0 C	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(上半部)	内外面篦撫で調整	3、15住遺物と接合
0023	土釜	器 〈3.5〉 底 9.4	+8 +3.8〜33.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR−6/4 ④破片(底部)	外面 縦方向篦削り、底部周辺手持ち篦削り 内面 篦撫で調整	
0083	須恵器 台付甕	器 〈5.1〉	+50.0 C	①細砂 ②還元 ③明褐灰7.5YR−7/1 ④破片(底部)	外面 胴部下半部篦撫で、底部撫で 内面 胴部下半部篦撫で、内面底タール付着	09住遺物と接合
0111	須恵器 甕	器 〈3.3〉 厚 1.0	埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-5/④破片(頸部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	09住遺物と接合
0163	灰釉陶器 高台付椀	器 〈1.7〉 高台部 6.8	+31.6 C	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(底部)	高台は貼付、底部は篦撫で施釉方法不明見込み部に弱い沈線が1条巡る	
0165	灰釉陶器 高台付椀	器 〈2.3〉 高台部 (7.6)	+31.6埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	体部下位は篦削り高台は貼付、底部は篦撫で施釉方法は不明	

5区02号住居出土遺物（第9図、PL187）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0024	土師器 坏	器 3.4 口 11.7	+2.8 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0026	土師器 甕	器 〈4.6〉 口 (19.5)	+8.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0027	土師器 小型甕	器 〈4.4〉 口 (10.2)	+22.2 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0028	土師器 杯	器 3.8 口 11.8	+26.5 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YRR-7/3 ④⅓	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	

5区03号住居出土遺物（第15・16図、PL187）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0029	土師器 坏	器 3.6 口 11.1	+35.7 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で	
0030	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (9.1)	+62.1 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面一部黒斑
0031	土師器 坏	器 3.0 口 10.2	+15.8 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で	
0032	土師器 坏	器 3.2 口 (12.0)	+39.6 +8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面底斑
0033	土師器 坏	器 2.5 口 11.6	+20.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR−6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で	
0034	土師器 坏	器 3.4 口 (12.0)	+49.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④⅓	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で	外面底斑
0035	土師器 坏	器 3.0 口 (11.0)	+18.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面、口縁部横撫で、底部撫で	外面底部一黒斑
0036	土師器 坏	器 3.0 口 (11.0)	+29.1 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で	外面底部黒斑

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0037	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (14.0)	+9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙色5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部篦削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で	
0038	土師器 坏	器 2.4 口 10.6	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④1/6	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で	
0040	土師器 坏	器 3.5 口 11.5	+22.4 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④1/2	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で	摩滅
0041	土師器 坏	器 4.5 口 (11.0)	+42.9 −73.8 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で	摩滅
0042	土師器 小型甕	器 (14.0) 口 (11.0) 底 3 . 2	+54.5 +35.0 埋土 C	①粗砂 ②酸化 橙7.5YR-6/6 ④1/4(口縁・底部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0044	土師器 甕	器 7.3 口 20.8	+43.9 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	口縁部内部に黒斑
0045	土師器 小型甕	器 5.1	+9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-5/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	摩滅
0046	土師器 甕	器 5.2 口 18.6	+27.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0047	土師器 甕	器 9.7 口 22.8	+14.9 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位縦方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0048	土師器 甕	器 〈21.7〉 口 (19.4)	+31.6 +20.0 +9.5 +21.2 +53.8C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④1/4(口縁～胴部下位)	外面 口縁部横撫で、胴部上位横方向、下位縦方向篦削り調整 内面 口縁部横撫で、胴部上位横方向篦撫で	口縁部一部黒斑
0049	土師器 甕	器 1.0 底 5.1	+35.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐5YR-6/4 ④破片(底部)	外面篦削り調整内面篦撫で調整	
0050	土師器 小型甕	器 2.1 底 6.2	+31.5 +42.1 +21.2C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙10YR-7/3 ④破片(底部)	外面篦削り調整内面篦撫で調整	内面炭素吸着
0051	土師器 甕	器 〈2.8〉 底 3.6	埋土	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/6 ④破片(底部)	外面篦削り調整内面篦撫で調整	
0052	土師器 甕	器 3.1 底 4.0	+45.1 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-5//4 ④破片(底部)	外面篦削り調整内面篦撫で調整	
0053	須恵器 盤	器 〈3.0〉 口 (24.0) 底 (18.5)	+47.1 +43.4 +31.2 埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(口縁・底部)	口縁部横撫で、底部右回転篦削り調整	
0054	須恵器 台付盤	器 〈3.8〉 口 18.9	+30.9 +34.0 埋土	①粗砂 ②還元、軟質 ③浅黄橙10YR-8/4 ④破片(坏部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	出土遺物と接合
0055	須恵器 擂鉢	器 8.2 底 9.2	+34.2埋土	①細砂 ②還元 ③暗灰黄2.5Y-5/2 ④1/2(体～底部)	ロクロ成形。底部手持ち篦削り調整	内面底部剝離体部平滑
0056	須恵器 高台付坏	器 1.3 底 10.1	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④破片(底部)	高台部横撫で、底部右回転撫で調整	
0057	須恵器 坏	器 3.2 口 (8.8) 底 (4.8)	+29.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④1/2	口縁部横撫で、底部回転篦切り調整	
0058	須恵器 坏	器 3.9 口 (8.6) 底 5.8	+17.6 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④1/2	外面 口縁部横撫で、底部周辺篦撫で調整 内面 口縁部櫛状工具による横撫で調整	
0060	須恵器 坏	器 (4.0) 口 (14.4) 底 (8.0)	+35.8 +40.0 埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰N-5/灰白2.5Y-8/2 ④1/4	口縁部横撫で、底部回転篦削り調整	
0061	須恵器 坏蓋	器 2.5 端 11.3	+39.8 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④1/3(天井～端部)	ロクロ成形。端部・つまみ部横撫で、端部にカエリあり	天井部にタール付着
0062	須恵器 甕	長さ 8.3 幅 9.2	埋土	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	厚さ0.8
0063	須恵器 甕	長さ 12.5 幅 8.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	厚さ1.2

5区04号住居出土遺物（第19図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0064	土師器 甕	器 〈3.7〉 口 (18.7)	+4.1 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	
0065	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.6)	+12.2 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	
0066	土師器 坏	器 〈2.2〉 口 (10.7)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	

5区05号住居出土遺物（第22図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0067	土師器 坏	器 〈4.4〉 口 (11.7)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	
0069	土師器 甕	器 〈6.5〉 口 (19.8)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化赤褐10R-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0070	土師器 甕	器 〈2.9〉 底 (5.9)	+5.9 C	①粗砂 ②酸化 ③褐灰7.5YR-4/1 ④⅛(底部)	外面 篦削り調整 内面 撫で調整	内外面燻し状
0071	須恵器 小型甕	器 〈10.3〉	+17.9 +23.1 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目.内面当て目内外面胴部上位、ロクロ調整による横撫	

5区06号住居出土遺物（第26図、PL188）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0072	土師器 盤	器 〈3.4〉 口 (21.7)	+2.0埋土 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0073	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (10.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で調整	
0075	須恵器 高台付碗	器 5.4 口 13.6 底 6.3	+15.0 C	①粗砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④完形	内外面 口縁部・高台部横撫で。底部左回転糸切り	軟質。内外一部黒斑

5区07号住居出土遺物（第29図、PL188）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0077	須恵器 高台付碗	器 〈4.1〉 底 5.7	+37.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④⅓(体～高台部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	
0078	須恵器 高台付碗	器 〈4.3〉 口 (15.0)	+26.0	①細砂 ②還元、軟質 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。内外面 口縁部横撫で調整	
0079	土師器 甕	器 〈4.2〉 口 (22.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③明褐灰7.5YR-7/1 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	
0164	灰釉陶器 高台付皿	器 〈1.9〉 口 (14.2)	+36.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(口縁部)	内面見込み部に重ね焼き痕高台は剝落施釉方法は浸け掛け内面底部重ね焼き痕	

5区08号住居出土遺物（第33図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0080	土師器 甕	器 〈5.0〉 底 (5.7)	+20.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 篦削り調整 内面 篦撫で調整	
0081	土師器 坏	器 3.1 口 (10.0)	−0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	外面底部中央黒斑

5区09号住居出土遺物（第37図、PL188）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0012	須恵器 坏	器 4.1 口 13.0 底 6.5	−23.0 A	①粗砂 ②還元 ③橙7.5YR-6/6 ④½	内外面 口縁部横撫で。底部左回転糸切り	磨滅

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0020	須恵器 坏蓋	器 2.8 端 11.8 鈕 2.5	−17.0 A	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④完形	鈕宝珠状。天井部左回転篦削り、端部・鈕部横撫で、端部にカエリあり	
0021	須恵器 坏蓋	器 2.8 端 11.3 鈕 2.2	−16.0 A	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④完形	鈕宝珠状。天井部左回転篦削り、端部・鈕部横撫で、端部にカエリあり	
0082	土師器 甕	器 〈4.0〉 口 (22.0)	+6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	

5区11号住居出土遺物（第42図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0084	須恵器 坏	器 〈1.1〉 底 6.0	埋土	①粗砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④¼(底部)	底部左回転糸切り	軟質。磨滅
0085	土師器 甕	器 〈3.5〉 口 (19.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	

5A区02号住居出土遺物（第48・49図、PL188・189）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0166	須恵器 椀	器 5.0 口 15.2	+27.0 −13.5 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④¼(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0167	須恵器 高台付椀	器 6.4 口 14.8 底 8.0	+1.0埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白2.5Y-8/2 ④⅓	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0168	須恵器 椀	器 1.1 底 7.2	−10.5 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④¼	底部左回転糸切り	
0169	須恵器 椀	器 3.5 口 13.2 底 7.6	−2.0 B	①細砂 ②還元、軟質 ③黄灰2.5Y-5/1 ④⅕	口縁部横撫で、底部回転糸切り	磨滅
0170	須恵器 高台付椀	器 6.9 口 14.6 底 9.3	+7.0 −13.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④½	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0171	須恵器 椀	器 1.4 底 6.3	+27.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③灰黄2.5Y-6/2 ④¼(底部)	ロクロ成形。底部左回転糸切り	
0172	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 14.7 底 7.7	+3.0 +2.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④¾(口縁〜底部)	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り 高台部欠損後使用	口縁割れ口 摩耗
0173	須恵器 坏	器 3.9 口 14.9	+9.5 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④¾(口縁〜底部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0175	土師器 甕	器 26.6 口 19.7 底 4.4	−1.0 −5.0 +19.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5Y-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部上位横方向、下位縦方向篦削り調整 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0176	土師器 甕	器 (26.1) 口 18.7 底 4.6	+10.5 −1.0 +9.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④½(口縁・底部)	外面 口縁部横撫で、胴部上位横方向、下位縦方向篦削り調整 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で調整	磨滅
0177	土師器 甕	器 7.5 口 20.3	+14.5 +16.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0178	土師器 甕	器 7.1 口 20.8	−1.0 −5.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0179	土師器 甕	器 6.2 口 18.7	+7.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0180	土師器 甕	器 8.0 底 3.5	+2.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④⅙(底部)	外面胴下半部縦方向篦削り調整内面胴下半部篦撫で調整	
0181	土師器 小型台付甕	器 11.0 口 9.5 底 6.7	−2.0 −1.0 +9.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④½	外面 口縁部・台部横撫で、胴部篦削り 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で調整	
0224	土師器 坏	器 4.1 口 12.5 底 8.7	−4.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部手持ち左回転篦削り調整 内面 口縁部横撫で調整	内面篦記号「一」

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0225	須恵器 坏	器 3.4 口 13.0 底 5.2	−13.0 A	①細砂 ②還元、軟質 ③明褐灰7.5YR-7/2 ④ほぼ完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	磨滅
0226	須恵器 坏	器 3.7 口 12.8 底 6.8	−4.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0227	須恵器 高台付椀	器 5.6 口 15.6 底 8.0	−1.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¾	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り 高台部欠損後使用	口縁部一部欠損
0228	須恵器 坏	器 3.9 口 13.1 底 6.2	−4.0 A	①細砂 ②還元、軟質 ③明褐灰7.5YR-7/2 ④完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	磨滅
1374	砥石	長 13.7 幅 6.9 厚 4.5	−2.0	④½石材牛伏砂岩重さ450g	磨面1面。レンズ状を呈する	
1423	円形叩き石	長 13.5 幅 17.7 厚 3.6	+4.0	④完形石材デイサイト重さ1250g	卵形を呈し、中央部磨滅。側縁僅かに打痕見られる	
1424	円形叩き石	長 15.0 幅 13.8 厚 3.6	+11.0	④完形石材粗粒安山岩重さ1190g	楕円形を呈し、側縁部打痕見られる	
1623	鉄製品 刀子	長 (5.6) 厚 0.5	埋土	刃と茎の一部が残存する。刃部は巾は広く、大形の刀子であった可能性が高い		幅1.6

5 A区03号住居出土遺物（第54・55・57図、PL189〜191）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0182	土師器 坏	器 3.5 口 11.9 底 9.5	−18.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0183	土師器 坏	器 3.8 口 11.4 底 8.5	+11.0 −0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0184	土師器 坏	器 3.4 口 12.5 底 8.8	−8.0 −12.5 −13.5−20.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0185	土師器 坏	器 3.2 口 11.8 底 8.4	+4.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¾	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0186	土師器 坏	器 3.4 口 12.7 底 10.0	+9.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0187	土師器 坏	器 3.2 口 11.8 底 7.8	−3.0 +1.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0188	土師器 坏	器 3.0 口 11.9 底 7.8	+2.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④⅓	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0189	土師器 坏	器 3.4 口 12.0 底 4.8	−8.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④¼(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	
0190	土師器 坏	器 3.8 口 15.1 底 10.7	−11.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	
0191	土師器 坏	器 2.4 口 12.7 底 8.6	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	
0192	土師器 坏	器 3.0 口 13.5 底 10.0	−5.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0193	土師器 小型甕	器 10.3 口 12.4	−5.5 −4.0 −8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④⅓(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位篦撫で	
0194	土師器 甕	器 15.9 口 20.0	+1.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④¼(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0195	土師器 甕	器 13.5 口 23.7	+2.5 +3.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④⅙(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0196	土師器 甕	器 10.2 口 20.3	+3.0 +7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0197	土師器 甕	器 10.7 口 21.7	−16.5 −20.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④⅙(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0198	土師器 甕	器 8.4 口 20.6	+31.5 +34.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅛(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	竈煙道部の構築材
0199	土師器 甕	器 8.4 口 22.4	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0200	土師器 甕	器 9.9 口 19.9	+3.6 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	竈煙道部の構築材
0201	土師器 甕	器 15.0 口 17.1	+2.0 +17.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	胴部一部に黒斑
0202	土師器 甕	器 6.4 口 3.8	−4.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(下半部)	外面胴部篦削り、底部手持ち篦削り調整内面胴部篦撫で調整	
0203	土師器 甕	器 6.2 底 2.8	−17.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(下半部)	外面胴部縦方向篦削り、底部手持ち篦削り調整。内面胴部篦撫で調整	
0204	土師器 甕	器 1.7 底 4.0	0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面胴部底部縦方向篦削り調整内面胴部・底部篦撫で調整	
0205	須恵器 坏	器 3.5 口 12.6 底 7.1	−1.0 −5.0 −24.5 −27.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④ほぼ完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0206	須恵器 坏	器 3.3 口 12.6 底 7.0	+2.5 A	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④½	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0207	須恵器 坏	器 3.3 口 12.0 底 7.6	−27.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④½	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0208	須恵器 椀	器 6.1 口 16.0	−4.5 −7.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④¼(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0209	須恵器 坏	器 2.3 底 8.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰10YR-5/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0210	須恵器 高台付椀	器 2.9 底 6.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	高台部欠損後も使用
0211	須恵器 坏	器 3.4 口 12.8 底 8.0	+6.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/1 ④⅙(口縁～底部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	07・12号住出土遺物と接合
0212	須恵器 坏	器 3.0 口 14.3 底 10.0	−27.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0213	須恵器 坏	器 2.6 口 11.2	−7.0 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0214	須恵器 坏	器 2.8 口 12.1	埋土	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0215	須恵器 坏	器 3.5 口 13.1 底 7.3	埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白2.5Y-8/1 ④⅕	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0216	須恵器 高台付椀	器 1.9 底 8.9	−13.0埋土 B	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/1 ④破片(底部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	
0217	須恵器 壺	長 5.9 厚 0.9	+13.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(肩部)	ロクロ成形による撫で調整。肩部に2条の沈線2ケ所	
0218	須恵器 紡錘車	長 7.4 幅 2.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④½	底部回転糸切り。高台付椀の転用	厚さ0.6

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0220	土師器 甕	器 2.7 口 11.2	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	内外面櫛状工具による撫で調整	内外面赤色塗彩
0221	土師器 坏	器 3.4 口 11.0 底 7.8	+9.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0222	円形石板	長 5.3 幅 5.3	+11.0	④完形石材雲母石英片岩 重さ70g	円盤状を呈し、側縁部磨耗	厚さ1.4
0223	紡錘車	長 4.1 幅 4.1	−1.0	④完形石材 蛇紋岩重さ 50g	断面隅丸台形。上下面円形磨耗見られる	厚さ1.9
0401	土錘	長 3.2 細径 0.8	+18.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙10YR-7/2 ④完形	棒状工具に粘土細巻き付け成形	重さ10g 太径2.1
1624	鉄製品 板状鉄	長 (1.9) 厚 0.2		板状鉄製品。薄手扁平な造りの板状品であるが、刃の有無は不明である		幅1.6
1625	鉄製品 馬具引手	長 (10.0) 厚 0.6		引手金具の一部である。柄部の一部が欠失している.2条線引手で、柄部からくの字に曲がって引手壺にいたるくの字引手の形態を有する		幅1.2
1626	鉄製品 刀子	長 (1.8) 厚 0.5		刀子の刃の一部と考えられる。大形の刀子の刀と考えられる		幅1.3
1651	鉄製品 鑿	長 (2.5) 厚 0.3		ノミ状工具の頸・茎部の破片である。断面方形のしっかりとした造りの茎部に小さめの茎がついたもの		幅0.8
1666	鉄製品 鏃	長 (2.6) 厚 0.3		鏃の茎片である。一部木質がつく		幅0.4
1667	鉄製品 鏃	長 (2.5) 厚 0.4		鏃の茎片である。一部木質がつく		幅0.5
1668	鉄製品 鏃	長 (6.3) 厚 0.5		鏃の刃部及び茎部の一部である。刃部は小形の両角関を呈する。三角形鏃で頸は下部に行くほど、やや広がる形態を有する		幅0.6
1669	鉄製品 鏃	長 (2.9) 厚 0.4		鏃の茎片である。一部木質がつく		幅0.4

5 A区04号住居出土遺物（第60図、PL191）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0229	須恵器 甑	器 〈2.4〉 底 (20.8)	+3.0 +10.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい橙10YR-7/4 ④破片(裾部)	ロクロ成形。端部横撫で調整	
0232	須恵器 椀	器 〈5.9〉 口 (16.6)	埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0233	須恵器 椀	器 〈1.5〉 底 5.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0234	土師器 甕	器 〈5.7〉 口 (19.9)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	磨滅
0236	瓦	長 (2.7) 厚 1.5	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片	凸面は撫で整形。端面は一面	種別は不明
0399	須恵器 坏	器 3.4 口 14.7	−15.5 Ba	①粗砂 ②還元、軟質 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	磨滅
1627	鉄製品 釘	長 (4.4) 厚 0.4	+6.0	釘の頭部が欠失したもの。茎は断面方形のしっかりとした造りである		幅0.5

5 A区05号住居出土遺物（第64図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0237	土師器 甕	器 〈2.4〉 底 (6.0)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部篦削り調整 内面 胴部篦撫で調整	底部木葉痕

5 A区06号住居出土遺物（第68図、PL191）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0238	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 13.5 底 7.1	+5.0 Ba	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白5Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0239	須恵器 高台付椀	器 4.8 口 12.4 底 6.9	+12.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白5Y-7/2 ④完形	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0240	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 13.4 底 6.7	+4.0 A	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白7.5Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	外面口縁部に墨書「艹」黒斑
0241	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 12.8 底 6.5	+4.0 B	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白7.5Y-7/1 ④完形	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り	
0242	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 12.9 底 7.0	−22.5 A	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白5Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り	
0243	土師器 甕	器 〈7.6〉 底 4.1	+8.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(胴～底部)	外面 胴部・底部縦方向篦削り調整 内面 胴部・底部篦撫で調整	

5 A区07号住居出土遺物（第71図、PL191）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0244	土師器 坏	器 〈3.9〉 口 (14.1)	+2.0 +5.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④1/6(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で調整	
0247	須恵器 椀	器 〈2.2〉 底 (6.0)	+58.0 +60.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④1/4(底部)	底部左回転糸切り	
0248	須恵器 椀	器 3.8 口 (12.7) 底 (6.6)	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0249	須恵器 椀	器 〈2.3〉 底 6.9	+52.5 +54.5 C	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④1/4(底部)	底部左回転糸切り	
0251	須恵器 高台付皿	器 〈3.4〉 底 8.2	+62.5 C	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-5/1 ④1/4(底部)	高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0252	須恵器 甕	長 5.7 厚 1.0	+6.0 +9.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(頸～胴部)	外面 胴部平行叩き目 内面 同心円当て目	
0253	須恵器 台付甕	器 〈8.1〉 底 14.6	+30.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④1/4(胴下半～台部)	ロクロ成形。台部横撫で、底部撫で調整	底部内面自然釉付着
0254	石製品 砥石	長 5.1 幅 4.6	+55.0	④1/2石材軽石重さ30g	楕円形を呈し、底面に磨面あり	厚さ2.65

5 A区08号住居出土遺物（第75図、PL191）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0255	羽釜	器 〈8.0〉 口 (21.6)	+3.5 +11.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、鍔の形状はAタイプ、口縁部はDタイプ、外面篦撫で、内面撫で調整	
0256	羽釜	器 9.6 口 25.8	+3.5 +11.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、鍔の形状はAタイプ、口縁部はDタイプ、外面縦方向篦削り	
0257	土師器 甕	器 〈3.9〉 底 (10.0)	+17.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/3 ④破片(底部)	外面 篦削り調整 内面 篦撫で調整	
1425	円形叩き石	長 10.8 幅 13.1	+3.5	④完形石材雲母石英片岩重さ510g	円盤状を呈する。片面火熱を受ける	厚さ2.3
1628	鉄製品 刀子？	長 (4.0) 厚 0.2	+1.0	刀子の破片の可能性あり。刃及び茎の先端欠失。細身できゃしゃな造りである		幅1.1

5 A区09号住居出土遺物（第79図、PL191）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0258	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (10.9)	+29.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④1/5	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0259	土師器 坏	器 3.8 口 12.9	+8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-7/6 ④1/2	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0260	土師器 坏	器 4.3 口 14.2	+8.0 −11.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④3/4	外面 口縁部横撫で、体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、体部磨きあり	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0261	土師器 甕	器 〈2.1〉 底 8.1	+44.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部箆削り調整内面胴部・底部箆撫で調整	外面黒斑

5 A区10号住居出土遺物（第83・84図、PL191・192）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0262	土師器 盤	器 3.7 口 15.5	+7.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0263	土師器 盤	器 3.5 口 15.9	+4.0 +7.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0264	土師器 盤	器 〈3.8〉 口 (15.6)	+56.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0265	土師器 盤	器 〈3.0〉 口 (17.3)	−1.0 +3.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0266	土師器 盤	器 〈2.9〉 口 (16.4)	+2.0 +3.0 B	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	磨滅
0267	土師器 盤	器 〈2.8〉 口 (17.5)	−2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	
0270	土師器 坏	器 4.3 口 13.8	+7.5 +11.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅
0271	土師器 坏	器 3.5 口 11.9	+27.0 +38.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0272	土師器 坏	器 4.3 口 (14.7)	+48.0 +54.5 C	①細砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、箆磨き調整	
0273	土師器 坏	器 〈4.1〉 口 (10.5)	+7.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面底部一部黒斑
0274	土師器 坏	器 5.0 口 (13.5)	+52.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0275	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (10.1)	+51.5 +59.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅
0276	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (11.6)	−1.5 −2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で、底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0279	土師器 小型甕	器 15.0 口 (15.1)	+24.5 +28.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¾	外面 口縁部横撫で、胴部箆削り調整 内面 口縁部横撫で、胴部箆撫で調整	
0280	土師器 甕	器 〈3.3〉 口 (23.5)	+35.0 +50.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆撫で	
0282	土師器 甕	器 〈7.6〉 口 (20.6)	+55.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆撫で	
0283	土師器 甕	器 〈3.6〉 口 (20.3)	−1.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆撫で	
0284	土師器 甕	器 〈5.7〉 底 4.8	+4.0 +5.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④1/10(底部)	外面胴部下半・底部縦方向箆削り調整内面胴部下半・底部箆撫で調整	
0285	土師器 甕	器 〈2.4〉 底 4.6	−7.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部下半・底部縦方向箆削り調整 内面 胴部下半・底部箆撫で調整	
0286	須恵器 高台付坏	器 〈1.6〉 底 (9.7)	−3.0埋土 Ba	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白2.5Y-8/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。削り出し高台、底部右回転箆削り調整	
0287	須恵器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.4) 底 (8.0)	+54.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④⅙	口縁部横撫で、外面底部手持ち箆削り調整	
0289	須恵器 甕	器 〈4.5〉 口 (27.8)	+60.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	外面波状文
0290	須恵器 甕		+27.5 C	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0291	須恵器 甕		+56.5 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0292	須恵器 甕		埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	内面自然釉付着
0293	石製品 砥石	長 〈6.8〉 厚 2.2	+15.5	④½石材砥沢石重さ〈140g〉	広側面全面使用。狭側面磨耗	欠損後も使用幅5.3

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0295	須恵器 甕		+54.5 +20.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	12・13住出土遺物と接合
0296	須恵器 甕		+45.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(頸・胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
1663	打製石斧	長 16.1 厚 3.1		④完形石材緑色片岩重さ 〈490g〉	短冊状を呈する。中央刃部寄りに側縁部磨耗	幅7.8

5 A区11号住居出土遺物（第88図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0297	土師器 甕	器 (5.4) 口 (18.7)	−4.0 −5.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	

5 A区12号住居出土遺物（第92図、PL192）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0298	土師器 盤	器 3.3 口 15.9	−2.5 +2.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/3 ④¾	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0299	土師器 坏	器 3.7 口 11.9	−2.5 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/3 ④¾	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面底部黒斑
0300	土師器 坏	器 3.5 口 (12.7)	−10.0 −13.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面口縁一部に煤付着
0301	土師器 甕	器 9.4 口 (26.5)	−9.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0303	須恵器 盤	器 2.2 底 10.0	+41.0 C	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-5/1 ④¼(底部)	ロクロ成形。底部回転篦切り後、底部周辺右回転篦削り調整	14住出土遺物と接合
0304	須恵器 甕	器 3.8 口 (19.2)	+3.5 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で調整	
0306	砥石	長 12.3 幅 6.0	+1.0	④完形石材砥沢石重さ640	2面使用。使用面反り返る。未使用部分煤付着。僅かに磨耗	厚さ
0358	土師器 甕	器 4.9 口 (21.8)	+18.0 +35.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴部上位篦削り調整 内面 口縁部横撫で、胴部上位篦撫で調整	内外面一部に炭素吸着

5 A区13号住居出土遺物（第96図、PL192）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0307	須恵器 高台付椀	器 4.1 口 12.5 底 6.0	+20.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 白5Y-7/1 ④¾	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り	内外面一部炭素吸着
0308	須恵器 高台付椀	器 5.4 口 13.5 底 6.9	−2.0 −2.5 A	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 黄褐10YR-6/2 ④¾	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0309	須恵器 高台付椀	器 4.5 口 13.3 底 5.9	−4.0 −4.5 A	①細砂 ②還元、軟質 ③明 褐灰7.5YR-7/2 ④¼	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	外面一部黒斑
0310	須恵器 高台付椀	器 3.0 底 5.6	+27.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③明 褐灰7.5YR-7/1 ④⅓(底部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	磨滅
0311	須恵器 椀	器 4.4 口 11.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0312	須恵器 高台付椀	器 1.8 底 6.4	+27.0 B	①細砂 ②還元、軟質 ③オ リーブ黒5Y-3/1 ④¼(底部)	高台部横撫で、底部左回転糸切り	内外面炭素吸着
0313	須恵器 高台付椀	器 1.9 底 7.1	+5.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(底部)	高台部横撫で、底部左回転糸切り	口縁部一部煤付着
0314	須恵器 高台付椀	器 1.7 底 7.4	+27.0 C	①粗砂 ②還元、軟質 ③に ぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	ロクロ成形。高台部横撫で調整	磨滅

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0318	羽釜	器 6.9 口 (18.8)	−3.0 +7.0 C	①粗砂 ②還元、軟質 ③灰白7.5Y-7/1 ④1/10(口縁部)	口縁部横撫で、鍔の形状はAタイプ、口縁部はDタイプ。胴部上位内外面篦撫で	
1629	鉄製品 釘	長 (4.1) 厚 0.3	+6.0	釘の頭部及び先端部を欠失したものである。先端部が屈曲している		幅0.4

5 A区14号住居出土遺物（第101・103図、PL192・193）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0323	土師器 坏	器 4.2 口 (14.0)	−12.0 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅
0324	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (12.1)	+23.0 +47.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	磨滅
0325	土師器 坏	器 2.5 口 (10.8)	+45.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④⅙	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0326	土師器 坏	器 〈3.9〉 口 (10.4)	+42.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で調整	外面底部黒斑
0327	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (11.6)	+35.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で調整	磨滅
0328	土師器 盤	器 〈3.0〉 口 (17.0)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部篦撫で調整	底 (13.5)
0329	土師器 盤	器 〈2.5〉 口 (18.0) 底 (15.4)	+5.0 +8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部篦撫で調整	
0331	土師器 甕	器 35.0 口 (21.8) 底 5.9	+1.5 +2.0 埋土 A	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部上位横方向、下位縦方向篦削り調整 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で調整	外面一部黒斑
0332	土師器 甕	器 〈27.4〉 口 (22.8)	+10.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④⅙(口縁～胴下位)	外面 口縁部横撫で、胴部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で調整	内外面口縁部一部黒斑
0333	土師器 甕	器 〈12.5〉 口 (22.7)	−3.5埋土 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅛(口縁～胴部上位)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0334	土師器 甕	器 〈6.5〉 口 (17.3)	+18.5 +41.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0335	土師器 甕	器 〈5.4〉 口 (20.7)	+51.0 +62.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0336	土師器 甕	器 〈6.3〉 口 (18.4)	−6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0341	須恵器 坏	器 〈3.5〉 口 (13.0)	+40.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0342	須恵器 甕	長 (7.8) 厚 0.9	+48.0埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/4 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0343	須恵器 甕	長 (3.9) 厚 0.6	+35.0 +41.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	13住・406坑遺物と接合
1373	土師器 甕	器 〈5.3〉	−3.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(底部)	外面胴 部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面黒斑

5 A区15号住居出土遺物（第105図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0317	須恵器 甕	器 〈4.7〉 口 (24.8)	+17.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で調整	
0319	土師器 坏	器 3.1 口 (13.6)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④⅕	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅
0320	土師器 坏	器 3.5 口 (12.8)	+25.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅

5 A区17号住居出土遺物（第108図、PL192・193）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0344	土師器 甕	器 35.3 口 21.1 底 3.8	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④¾	外面 口縁部横撫で、胴部縦方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴部箆撫で調整	磨滅。外面底部木葉痕
0345	土師器 甕	器 〈24.0〉 口 (21.9)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴部縦方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴部箆撫で調整	

5 A区18号住居出土遺物（第112図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0346	須恵器 坏	器 〈3.4〉 口 (12.3)	−0.5 +4.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④⅓	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	底 (4.9)
0347	須恵器 坏	器 〈3.7〉 口 (12.7)	+1.0 −7.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白N-6/ ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	底 (7.2)
0348	須恵器 坏	器 〈2.6〉 底 (7.0)	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④破片(底部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0349	須恵器 坏蓋	器 〈3.0〉 端 17.8	+2.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白N-8/ ④⅙	天井部左回転箆削り、端分・鈕部横撫で調整	
0351	須恵器 甕	器 〈3.2〉 底 (7.1)	+1.5 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(底部)	底部糸切り後、右回転箆削り調整	
0352	土師器 甕	器 〈4.5〉 口 (18.9)	−11.0 −12.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向撫で	
0353	土師器 甕	器 〈8.2〉 口 (22.6)	+0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆撫で	
0355	土師器 甕	器 〈2.8〉 底 (3.9)	−6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部箆削り調整内面箆撫で調整	
0356	土師器 坏	器 〈2.8〉 口 (10.7) 底 (6.9)	−9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆撫で	外面底部黒斑
0357	土師器 甕	器 〈3.0〉 口 (10.8)	+0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③淡赤橙2.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向箆撫で	

5 A区溝出土遺物（第125図、PL194）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号溝	0374	擂鉢	長さ 〈8.4〉 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	外面 剝落。内面横撫で、摺り込みにより内面上方まで磨耗	
02号溝	0375	鉢 片口	長さ 〈11.6〉 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴部無調整。 内面 横撫で	
02号溝	0378	砥石	長さ 〈6.7〉 厚さ 0.6	④⅔石材頁岩重さ 〈20g〉	短冊状を呈する。両面使用。側面刃物による面取り	幅3.3
02号溝	0379	甑	器 〈2.2〉 底 (20.4)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(裾部)	端部横撫で整形。底部焼成前の穿孔	
02号溝	0380	須恵器 甕	長さ 7.1 厚さ 0.95	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号溝	0381	土師器 坏	器 〈4.3〉 口 (14.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部横方向、底部箆削り 内面 口縁部横撫で調整	
02号溝	1630	鉄製品 釘	長さ (4.7) 厚さ 0.5	釘の頭部及び先端部の欠失したものである。茎断面太めのしっかりとした造りである		幅0.5
02号溝	1664	打製石斧	長さ 15.9 厚さ 2.0	④完形石材黒色片岩重さ375g	分銅型、刃部丸味を持ち打痕あり、エグレ部磨耗	幅8.0
02号溝	1665	掻器	長さ 10.8 厚さ 1.7	④完形石材黒色頁岩重さ115g	隅丸台形状を呈する	幅6.2
03号溝	0383	須恵器 坏	器 2.9 口 10.3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½	底部回転糸切り	軟質底 (6.0)
03号溝	0384	土師器 甕	器 〈3.0〉 底 (5.8)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 箆撫で調整	外面黒斑
04号溝	0385	擂鉢	器 〈4.7〉 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(底部)	底部回転糸切り後周辺櫛状工具による横撫で調整	磨滅
04号溝	0386	青磁 高台付椀	器 〈1.6〉 底 4.2	①細砂 ②還元 ③オリーブ黄5Y-6/3 ④¼(底部)	ロクロ成形。高台部横撫で調整	内外面高台部まで施釉

5区土坑出土遺物（137～139図、PL193・194）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号土坑	0093	擂鉢	器 〈4.2〉 底 (17.0)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(底部)	外面 撫で調整 内面 櫛状工具による横撫で調整	外面痕。埋土
02号土坑	1621	鉄製品 釘	長さ (5.7) 横 0.7	茎部の一部欠失。やや細めの断面方形の茎を有し、一部木質が付着する		幅0.4
02号土坑	1622	鉄滓 横 5.7	縦 4.3			厚3.1
11号土坑	0108	須恵器 甕	器 14.6	①粗砂 ②還元、軟質 ③浅黄橙10YR-8/3 ④破片(胴部・底部)	ロクロ調整による横撫で。外面胴部下位箆削り調整	
11号土坑	0109	須恵器 甕	器 〈15.4〉	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙5YR-7/6 ④破片(頸部～胴部)	ロクロ調整による横撫で	
11号土坑	0110	須恵器 甕	長 18.0 幅 21.0 厚 1.0	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙5YR-6/6 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後、櫛状工具による横撫で調整 内面 剝離	01住竈・02住出土遺物と接合
11号土坑	0112	須恵器 甕	長 33.0 幅 9.0 厚 1.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後、撫で調整 内面 同心円当て目の後、横撫で調整	01住・34坑出土遺物と接合
11号土坑	0114	須恵器 大型甕	器 〈48.0〉 口 (30.6)	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④¼	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	土坑出土遺物と接合
11号土坑	0115	須恵器 甕	器 〈11.5〉 底 (18.8)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(底部)	外面 胴部下半横方向箆削り調整 内面 箆撫で調整	土坑出土遺物と接合
11号土坑	0116	須恵器 甕	器 〈26.7〉	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④½(肩～底部)	外面 平行叩き目と櫛状工具の撫で調整 内面 同心円当て目	遺構外出土遺物と接合
11号土坑	0118	須恵器 盤	器 3.5 口 (22.0) 底 (16.6)	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁～底部)	ロクロ成形口縁部横撫で。底部外面撫で 内面 櫛状工具による撫で調整	遺構外出土遺物と接合
11号土坑	0125	須恵器 坏	器 〈3.2〉 口 (13.0)	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白10YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形口縁部横撫で	
11号土坑	0132	土師器 甕	器 〈5.0〉 底 (7.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部下半箆削り調整 内面 胴部下半横方向箆撫で調整	
11号土坑	0154	緑釉 高台付碗	器 5.5 口 15.8 底 8.6	①細砂 ②酸化 ③灰オリーブ7.5Y-5/3 ④ほぼ完形	ロクロ整形、回転右回り。体部はヘラ削り、内外面ともヘラ研磨.2次焼成を受けている。	
11号土坑	0156	灰釉陶器 台付壺	器 〈4.0〉 台径 (13.6)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	高台は貼付。底部はヘラナデ、胴部下位はヘラ削り。施釉方法不明	
11号土坑	0157	灰釉陶器 高台付碗	器 〈4.3〉 口 (16.2)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ整形。施釉方法は浸け掛けか。釉調は不透明の黄灰色	遺構外出土遺物と接合

5A区土坑出土遺物（第139図、PL194）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
50号土坑	0359	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部箆削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
78号土坑	0361	須恵器 壺	長さ 4.0 厚さ 0.9	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(肩部)	外面 一条の沈線。ボタン状の貼付	
87号土坑	0360	灰釉陶器 高台付椀	器 〈2.4〉 底 (8.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	内面重ね痕あり
188号土坑	0362	須恵器 坏	器 〈2.3〉 底 (7.3)	①細砂 ②還元 ③浅黄橙7.5YR-8/3 ④破片(底部)	底部回転糸切り	
203号土坑	1375	石製品	長さ 6.3 厚み 3.2	④ほぼ完形 石材軽石重さ54.6g	半円形。割面に人面刻む。下端部擦り面あり。中央部穿孔	人面幅5.3
284号土坑	0364	須恵器 坏	器 〈2.7〉 底 (5.7)	①細砂 ②還元 ③褐灰5YR-4/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
313号土坑	1411	磨石	長さ 9.0 厚み 3.6	④完形 石材粗粒安山岩重さ345g	磨面、両面に見られる	
378号土坑	0400	須恵器 坏	器 2.3 口 9.2 底 5.4	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④ほぼ完形	底部右回転糸切り	内外面一部炭素吸着 灯明皿

遺物観察表

遺　跡　名	番号	器種・器形	大　き　さ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備　考
396号土坑	0368	須恵器 高台付椀	器　〈2.4〉 高台径 (5.7)	①細砂　②還元、軟質　③にぶい橙5YR-6/4　④¼(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	
402号土坑	0371	須恵器 高台付椀	器　〈3.3〉 高台径 (7.2)	①細砂　②還元　③灰白5Y-7/1　④⅓(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	
405号土坑	0366	須恵器 坏	器　〈3.7〉 口　(17.6)	①細砂　②還元　③灰白5Y-8/2　④⅙(口縁部)	高台部横撫で底部右回転篦削り調整	
405号土坑	0372	土師器 甕	器　〈5.0〉 口　(27.1)	①粗砂　②酸化　③橙5YR-6/6　④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	

5 A区墓坑出土遺物（第141図）

遺　跡　名	番号	器種・器形	大　き　さ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備　考
01号墓坑	0373	須恵器 坏	器　〈3.6〉 口　(11.9)	①粗砂　②還元、軟質　③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部手持ち篦削り調整	底　(3.4)

5・5 A区グリッド、表採出土遺物（第142・143図、ＰＬ194・195）

5区グリッド 遺　跡　名	番号	器種・器形	大　き　さ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備　考
D14－77 グリッド	0107	須恵器 甕	器　〈8.6〉 口　(26.4)	①細砂　②還元　③灰7.5Y-6/1　④破片(口縁・胴部)	口縁部ロクロ調整による横撫で、胴部外面平行叩き目、内面同心円当て目	
D14－78 グリッド	0152	土師器 高台付坏	器　〈2.9〉	①粗砂　②酸化　③にぶい橙5YR-6/4　④破片(台部)	外面 台部縦方向篦削り調整 内面 台部篦撫で調整	
D14－85 グリッド	0153	須恵器 坏蓋	器　〈2.8〉 鈕径　3.2	①細砂　②還元、軟質　③にぶい褐7.5YR-8/3　④破片(鈕部)	鈕宝珠状。鈕部横撫で調整	
D14－86 グリッド	0145	須恵器 台付盤	器　〈2.2〉	①細砂　②還元　③にぶい黄橙10YR-7/2　④破片(底部)	外面 坏部櫛状工具による横撫で調整。台部との接合部に掻きやぶりあり	
D14－86 グリッド	0146	須恵器 台付甕	器　〈5.0〉	①細砂　②還元　③褐灰7.5YR-4/1　④破片(胴部)	台部横撫で。外面平行叩き目、内面同心円当て目	
D14－87 グリッド	0143	須恵器 高台付椀	器　〈2.6〉 台径　7.6	①粗砂　②還元、軟質　③にぶい橙7.5YR-6/4　④¼(底部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	
D14－88 グリッド	0147	土師器 坏	器　〈2.6〉 口　(13.0)	①粗砂　②酸化　③橙5YR-7/6　④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
D14－88 グリッド	0148	須恵器 坏	器　3.3 口　(10.4) 底　(6.0)	①粗砂　②還元、軟質　③断面橙7.5YR-6/6　④⅙	ロクロ成形。口縁部横撫で、底部回転糸切り	内面一部炭素吸着
D14－88 グリッド	0150	須恵器 甕		①細砂　②還元　③褐灰10YR-5/1　④破片(底部)	外面 平行叩き目の後、櫛状工具による撫で調整．内面同心円当て目	
D14－89 グリッド	0136	土師器 坏	器　3.5 口　10.7	①粗砂　②酸化　③橙5YR-6/6　④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面底部黒斑
D14－89 グリッド	0137	土師器 坏	器　3.7 口　(12.0)	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-7/6　④¼	外面 口縁部横撫で、底部篦削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅
D14－89 グリッド	0138	土師器 坏	器　3.3 口　(12.2)	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-6/6　④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
D14－89 グリッド	0139	土師器 坏	器　〈3.1〉 口　(10.6)	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-6/8　④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
D14－89 グリッド	0140	土師器 坏	器　3.0 口　(10.3)	①粗砂　②酸化　③橙7.5YR-7/6　④¼	外面 口縁部横撫で、底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
D14－89 グリッド	0142	須恵器 甕	器　〈4.2〉 口　(19.2)	①細砂　②還元　③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で調整	
D14－98 グリッド	0117	擂鉢	器　〈8.9〉 底　11.5	①細砂　②還元　③灰5Y-5/1　④⅙(胴下半～底部)	外面 胴下位横方向篦削り調整 内面 胴下位横撫で調整	内面下部滑り面
D14－98 グリッド	0119	灰釉陶器 長頸壺	器　〈14.1〉 口　7.2	①細砂　②還元　③灰5Y-5/1　④¼(口縁～胴上半部	ロクロ成形．口縁部横撫で調整	内面口縁・端部外面肩部自然釉付着
D14－98 グリッド	0120	灰釉陶器 長頸壺	器　〈10.4〉	①細砂　②還元　③灰白2.5Y-7/1　④破片(頸部)	ロクロ成形。横撫で調整	外面自然釉付着
D14－98 グリッド	0121	須恵器 甕	器　〈4.7〉 底　(14.0)	①細砂　②還元　③灰N-4/ ④破片(胴下部～底部)	胴部外面平行叩き目、内面撫で調整底部平底	
D14－98 グリッド	0123	須恵器 甕	器　〈2.4〉 口　(14.0)	①細砂　②還元　③灰N-6/ ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で調整	外面釉付着
D14－98 グリッド	0124	須恵器 甕	長　5.3 厚　1.4	①細砂　②還元　③灰白10YR-7/1　④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
D14－98 グリッド	0126	須恵器 甕	器 〈3.5〉 口 (14.3)	①細砂 ②還元、軟質 ③にぶい褐 7.5YR-6/3 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	内面燻し状
D14－98 グリッド	0127	須恵器 坏	器 〈3.1〉 底 4.6	①細砂 ②還元、軟質 ③褐灰10YR-5/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	内外面炭素吸着
D14－98 グリッド	0133	土師器 坏	器 3.2 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④¼	外面 口縁部横撫で、底部箆削り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
D14－98 グリッド	0155	灰釉陶器 台付長頸壺	器 〈27.7〉 口 (13.9) 底 (12.1)	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④¼(口縁・胴・底部)	ロクロ整形。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ、胴部下半は回転ヘラ削り	
D14－98 グリッド	0162	灰釉陶器 高台付椀	器 〈3.7〉 台径 (8.6)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-7/1 ④破片(底部)	ロクロ整形。高台は貼付、見込み部に重ね焼き痕。施釉方法は漬け掛け	大原2号窯式期
D14－99 グリッド	0144	土師器 甕	器 〈2.5〉 底 (7.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(底部)	外面 横方向箆削り調整 内面 箆撫で調整	
5A区グリッド						
D13－83 グリッド	0393	縄文 深鉢	長さ 3.4 厚さ 0.85	①粗砂 ②☆☆ ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④破片(胴部)		
D13－83 グリッド	1022	須恵器 甕	器 〈5.4〉 口 (14.1)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片(口縁部)	内外面ロクロ調整による横撫で調整	
D13－94 グリッド	0395	須恵器 甕	器 〈5.1〉 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(底部)	胴部内外面ロクロ調整による横撫で調整	
D14－25 グリッド	0389	土師器 坏	器 3.0 口 14.7	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
D14－25 グリッド	0391	縄文 深鉢	長さ 6.4 厚さ 1.2	①粗砂 ② ③にぶい黄橙10YR-6/4 ④破片(口縁部)		
D14－25 グリッド	1018	土師器 坏	器 〈7.5〉 口 (20.1)	①細砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫での後横方向箆削り 内面 横撫で整形後箆磨きを施す	
D14－34 グリッド	0392	打製石斧	長さ (10.2) 厚さ 2.9	④ 石材珪質頁岩重さ 〈250g〉	分銅形を呈し、器肉肥厚	幅5.7
D14－84 グリッド	0394	打製石斧	長さ (6.5) 厚さ 3.6	④ 石材珪質頁岩重さ 〈160g〉	刃部欠損。短冊形か？肥厚	幅4.35
表採						
表採	0396	土師器 小型甕	器 6.5 口 14.9	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部横方向箆削り調整	磨滅
表採	0397	須恵器 坏	器 3.8 口 14.1	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	
表採	0398	須恵器 坏蓋	器 1.5 端径 16.9	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横撫で調整	
表採	1631	鉄滓	縦 4.4 横 6.0 厚さ 3.2			

4．下大塚北原地区（5Ｂ・6区）

5Ｂ区01号住居出土遺物（第147図、PL195）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0402	須恵器 坏	器　3.1 口　10.3	+7.0 C	①粗砂 ②還元、軟質 ③淡黄2.5Y-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0403	須恵器 椀	器　〈5.7〉 口　(9.0)	−1.0 +4.5 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③浅黄橙10YR-8/4 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	外面口縁炭素吸着
0404	須恵器 椀	器　〈4.0〉 口　(17.0)	−2.0 +2.5 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0405	須恵器 椀	器　〈4.2〉 口　(18.0)	−1.5 +1.0 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙5YR-6/8 ④1/6(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0406	須恵器 坏	器　〈2.6〉 口　(12.8) 底　(9.4)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④1/4(底部)	口縁部横撫で底部回転篦切り	12住遺構外出土遺物と接合
0407	須恵器 椀	器　〈1.8〉 底　(8.6)	−1.5 B	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-7/2 ④破片(底部)	底部糸切り後周辺篦削り調整	
0408	須恵器 高台付椀	器　〈1.4〉 口　(8.4)	+8.0 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	
0409	須恵器 坏蓋	器　〈1.5〉	+4.5 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(鈕部)	鈕はリング状。ロクロ成形。鈕部横撫で天井部左回転篦削り調整	
0410	須恵器 甕	長さ　10.0 厚さ　0.8	埋土	①細砂 ②還元 ③断面灰黄褐10YR-5/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目の後横撫で調整	
0411	灰釉陶器 高台付椀	器　〈4.7〉 口　(15.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ整形。施釉方法は刷毛塗りか光ケ丘1号窯式期	内外面施釉
0412	羽釜	器　〈9.5〉 口　(26.0)	−1.5 +1.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③灰黄褐10YR-5/2 ④破片(口縁部)	鍔はAタイプ口縁部横撫で外面胴部篦削り調整	06坑・遺構外遺物と接合
0414	土師器 小型台付甕	器　〈2.8〉	埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 篦削り調整内面 篦撫で調整	
0415	須恵器 甕	器　〈24.0〉 口　(19.7)	−0.5 −1.0 +1.5 +8.0B	①細砂 ②還元、軟質 ③灰褐7.5YR-4/2 ④破片(口縁・胴部)	外面 口縁・胴下半部篦削り調整 内面 口縁部横撫で調整	遺構外出土遺物と接合
0416	須恵器 椀	器　〈1.2〉 底　(7.0)	−8.0 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③断面にぶい赤褐5YR-5/3 ④破片(底部)	底部回転糸切り後右回転篦削り調整	
0417	羽釜	器　〈12.3〉 口　(22.0)	+24.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	鍔接合部の横撫で。外面胴部縦方向、内面横方向篦撫で調整	
0442	須恵器 甕	長さ　5.9 厚さ　1.4	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
0443	須恵器 甕	長さ　7.6 厚さ　1.1	−1.5 B	①細砂 ②還元 ③断面灰白10YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

5Ｂ区02号住居出土遺物（第152図、PL195・196）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0418	須恵器 坏	器　4.4 口　13.4	−12.0 A	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④3/4	口縁部横撫で底部左回転糸切り	口縁部煤付着 底6.1
0419	須恵器 高台付椀	器　5.3 口　13.6 高台径　7.3	−5.5 −1.0 +6.0 +4.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④1/2	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	口縁部内外面一部炭素吸着
0420	須恵器 高台付椀	器　3.6 高台径　7.1	+1.0 +18.0 C	①細砂 ②還元 ③暗灰黄2.5Y-5/2 ④1/2(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅。内外面炭素吸着
0421	須恵器 高台付椀	器　5.2 口　14.6	+2.0 A	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④3/4	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	高台径6.0
0423	須恵器 高台付椀	器　3.5 口　13.4	+6.0 +2.0 埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④3/4	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	歪みあり 高台径4.3

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0424	須恵器 椀	器 〈2.6〉 口 (5.2)	+21.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④¼(底部)	底部回転糸切り	磨滅底 (4.8)
0425	須恵器 椀	器 〈2.3〉 口 (10.6)	+6.0 +12.0 C	①細砂 ②還元 ③灰黄褐10YR-6/2 ④¼(底部)	底部左回転糸切り	底 (6.0)
0426	須恵器 椀	器 〈5.1〉 底 (7.0)	+14.0 +20.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④⅙(底部)	底部回転糸切り	磨滅
0428	須恵器 椀	器 〈4.5〉 口 (14.6)	+7.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	磨滅
0429	須恵器 高台付椀	器 〈1.5〉 高台径 (6.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④¼(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅
0433	土師器 甕	器 〈6.8〉 口 (20.0)	+5.0 +6.5 +9.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④⅙(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0434	土師器 甕	器 〈13.5〉 口 (21.0)	+11.5埋土 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④⅙(口縁部)	口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り。内面口縁横撫で、胴上位櫛状工具による横撫で	胴部にハゼ
0435	土師器 甕	器 〈17.3〉 口 (18.7)	+3.0 +11.0 C	①細砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④⅙(口縁部)	口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り。内面口縁横撫で、胴上位櫛状工具による横撫で	
0437	土師器 甕	器 〈6.0〉 口 (18.0)	−4.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、胴上位横方向篦削り。内面口縁横撫で、胴上位櫛状工具による横撫で	磨滅
0438	土師器 甕	器 〈6.0〉 口 (11.0)	−4.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で胴部上位横方向篦削り。内面口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0439	土師器 甕	器 〈5.8〉 口 (16.0)	+4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向篦撫で	
0441	灰釉陶器 長頸瓶	器 〈3.2〉 高台径 (9.0)	+3.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ整形。高台は貼付	内外面底部釉付着

5 B区03号住居出土遺物 (157図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0422	須恵器 高台付椀	器 〈5.5〉 口 (14.2)	+19.0 +22.0 埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④¼	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	高台径(6.0)
0427	須恵器 高台付椀	器 〈1.7〉 高台径 (5.4)	+21.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④¼(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	
0430	須恵器 甕	器 〈7.9〉 口 (23.6)	+37.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白10YR-8/2 ④破片(口縁部)	内外面横撫で調整	
0436	土師器 甕	器 〈11.0〉 口 (22.0)	+42.0 +44.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
0440	土師器 甕	器 〈7.5〉 口 (21.0)	−11.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
0444	須恵器 椀	器 〈3.4〉 口 (13.4)	−10.0 −12.0 B	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	磨滅
0445	須恵器 坏	器 〈4.7〉 口 (14.4)	−7.0 +1.5 B	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	磨滅
0446	須恵器 高台付椀	器 〈2.8〉 底 (7.1)	+29.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④¼(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅
0447	須恵器 高台付椀	器 〈1.8〉 底 (6.9)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅
0448	須恵器 坏	器 〈1.5〉 底 (6.8)	+10.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0449	灰釉陶器 高台付椀	器 〈1.7〉 高台径 (6.0)	+27.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④¼(底部)	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部はヘラナデ。見込み部に重ね焼き痕	漬掛け
0450	須恵器 甑	器 〈17.5〉 口 (26.0)	−1.0 +2.0 +3.0埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白10YR-7/1 ④⅛(口縁部)	鍔はBタイプ。口縁部横撫で調整	遺構外遺物と接合
0451	須恵器 台付壺	器 〈1.6〉 高台径(17.2)	+9.0 +15.0 埋土	①細砂 ②還元 ③明褐灰7.5YR-7/2 ④破片(台部)	高台部横撫で調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0452	土師器 甕	器 〈4.8〉 口 (19.6)	+4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	内面炭素吸着
0453	土師器 甕	器 〈6.2〉 口 (18.0)	+6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/8 ④破片(口縁部)	外面口縁部横撫で胴上位横方向箆削り。内面口縁部横撫で胴部櫛状工具による横撫で	
0454	土師器 甕	器 〈7.5〉 底 (5.0)	−8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 箆撫で調整	外面一部黒斑
0455	土師器 甕	器 〈2.7〉 底 (5.0)	+15.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 箆撫で調整	外面一部黒斑
0456	土師器 小型台付甕	器 〈14.8〉 口 (12.3)	−4.0 +2.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	遺構外出土遺物と接合

5 B区04号住居出土遺物（第160図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0457	須恵器 甕	器 〈7.7〉	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④1/10(底部)	外面 平行叩き目 内面 当て目の後撫で調整	

5 B区05号住居出土遺物（第162図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0458	須恵器 甕	器 〈3.8〉 口 (13.9)	+7.0 C	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	

5 B区06号住居出土遺物（第165・166図、PL196）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0460	土師器 坏	器 〈1.4〉 口 (15.9)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
0461	土師器 甕	器 〈5.2〉 口 (22.7)	−6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	胴部内外面炭素吸着
0462	土師器 甕	器 〈5.1〉 口 (21.6)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	磨滅
0463	須恵器 坏蓋	器 〈1.8〉 底 (14.3)	−2.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④1/4(天井部)	ロクロ成形カエリあり端部横撫で天井部左回転箆削り調整	
0464	須恵器 甕	長さ 6.6 厚さ 0.6	−10.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-5/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0465	須恵器 短頸壺	器 〈13.7〉 底 (10.5)	−8.5 +1.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④1/6(口縁部先端欠損)	端部横撫で胴部下半箆削り底部回転箆切り後手持ち箆削り調整	遺構外出土と接合
0566	土師器 甕	器 〈12.8〉 口 (25.4)	+5.5 +12.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/66 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁横撫で櫛状工具による横撫で	
0579	土師器 甕	器 〈3.0〉 口 (19.0)	+15.0 +43.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	内面炭素吸着
0588	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (13.0)	+8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	遺構外出土遺物と接合
0590	土師器 盤	器 〈3.0〉 口 (11.0)	−3.5 +65.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0598	須恵器 坏蓋	器 〈2.3〉 鈕 (6.0)	+18.0 C	①細砂 ②還元 ③内面灰10Y-6/1 ④破片(口縁部)	鈕はリング状横撫で天井部左回転箆削り調整	天井部自然釉付着
1031	土師器 甕	器 〈12.2〉 口 (25.3)	−2.0 −3.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐2.5YR-5/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	外面一部黒斑
1032	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (11.6)	+1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面一部黒斑
1033	須恵器 坏	器 〈3.5〉 底 (9.0)	−7.5 C	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	底部回転糸切り後手持ち箆削り調整	
1632	鉄製品 板状鉄	長さ 2.1 厚さ 0.4	埋土	板状品。薄手扁平な造りであるが。刃の有無は不明		幅2.4

5 B区07号住居出土遺物（第169図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0466	土師器 甕	器 〈4.9〉 口 (21.4)	−2.0 −3.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	
0467	須恵器 甕	器 〈13.4〉 胴 (20.6)	+10.0 C	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(胴部)	外面上位横方向櫛状工具による横撫で内面上位横撫で下位同心円当て目	12住・遺構外遺物と接合

5 B区09号住居出土遺物（第174・176図、PL196）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0459	土師器 坏	器 4.7 口 (16.0)	+11.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0553	土師器 坏	器 2.9 口 (11.4)	+12.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅。外面底部黒斑
0556	土師器 坏	器 2.3 口 (12.0)	+28.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/3 ④⅙	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0559	土師器 坏	器 〈3.9〉 口 (14.0)	+14.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	内面箆磨き
0565	土師器 甕	器 〈3.0〉 底 (4.0)	+34.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 箆撫で調整	
0567	土師器 甕	器 〈12.0〉 口 (23.0)	+6.0 +15.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	磨滅
0570	土師器 甕	器 〈10.9〉 口 (19.4)	+22.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	磨滅。内面口縁部炭素吸着
0573	土師器 甕	器 〈3.5〉 口 (24.0)	+16.0 +19.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	内外面 口縁部横撫で調整	
0574	土師器 甕	器 〈6.5〉 口 (20.8)	+33.5 +43.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	
0577	土師器 台付甕	器 〈3.0〉	−3.0 B	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 箆削り調整 内面 箆撫で調整	外面炭素吸着
0582	土師器 甕	器 〈1.6〉 底 (6.5)	+17.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 箆撫で調整	
0584	土師器 坏	器 〈6.2〉 口 16.0	+23.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
0587	土師器 坏	器 〈4.1〉 口 (16.4)	+14.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
0591	土師器 盤	器 〈3.7〉 口 19.0	+10.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0595	須恵器 坏蓋	器 〈2.0〉 口 (16.3)	+39.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-8/1 ④破片(端部)	端部・鈕部横撫で天井部左回転箆削り調整	
0599	須恵器 高台付椀	器 〈1.3〉 高台径11.1	+31.5 +33.5 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④破片(底部)	高台部横撫で、底部回転箆切り後右回転箆削り調整	
0602	須恵器 甕	長さ 7.5 厚み 0.9	+11.5 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0603	須恵器 甕	長さ 8.7 厚み 1.2	+13.5 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0633	須恵器 坏蓋	器 〈1.4〉 底 (12.6)	−6.0 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④⅓(端部)	端部・鈕部横撫で天井部左回転箆削り調整 端部にカエリあり	
0635	須恵器 坏蓋	器 〈3.4〉 口 (11.2)	+9.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④¼	鈕は宝珠状。端部・鈕部横撫で天井部左回転箆削り調整端部にカエリあり	鈕3.0
0637	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 鈕 (6.0)	+1.5 A	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/2 ④½(鈕部)	鈕はリング状。ロクロ成形鈕部横撫で調整	内面磨滅磨り面あり
0638	須恵器 坏	器 〈3.4〉 口 (14.6)	−3.5 B	①細砂 ②還元 ③灰N-5/④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部回転箆切り後右回転箆削り調整	
0639	須恵器 坏	器 3.5 口 (13.7)	+15.5 C	①細砂 ②還元 ③灰オリーブ5Y-6/2 ④⅓	口縁部横撫で底部回転箆切り後右回転箆削り調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0640	須恵器 坏	器 〈3.8〉 底 (7.0)	−5.5 C	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部回転糸切り後手持ち撫で調整	
0652	土師器 甕	器 〈6.1〉 口 (23.6)	+29.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
0681	須恵器 坏蓋	器 3.3 鈕 2.9	−1.0 +2.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④½	鈕は宝珠状。横撫で天井部左回転ヘラ削り端部カエリあり。自然釉付着	遺構外出土遺物と接合
0690	須恵器 甕	長さ 5.7 厚み 0.9	+21.0 +31.5 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	遺構外出土遺物と接合

5 B区10号住居出土遺物（第180図、PL196）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0653	土師器 甕	器 〈6.1〉 口 (20.9)	+12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0673	土師器 甕	器 〈2.5〉 底 7.0	+13.0 +26.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-5/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面黒斑
0674	土師器 坏	器 3.5 口 12.8	+19.0 +44.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅。外面底部黒斑
0675	土師器 甕	器 〈10.0〉 口 (23.6)	+13.0 +35.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0676	土師器 甕	器 〈6.1〉 口 (22.2)	+40.5 +45.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0677	土師器 甕	器 〈5.0〉 口 (21.4)	+12.0 +31.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0680	須恵器 坏	器 〈4.1〉 口 (12.6)	+7.5 +40.5 C	①細砂 ②還元 ③橙5YR-7/6 ④¼	口縁部横撫で底部回転篦切り後手持ち撫で調整	

5 B区11号住居出土遺物（第185・186図、PL96・97）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0485	土師器 坏	器 〈4.5〉 口 (14.7)	+4.0 C	①粗砂 ②酸化 ③灰褐7.5YR-4/2 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0486	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.2)	+7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0487	土師器 甕	器 〈10.0〉 口 (22.0)	+1.5 −3.0 +3.5 +6.0C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5Y-6/8 ④¼(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0488	須恵器 坏蓋	器 〈1.6〉 口 (18.6)	+7.0 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④⅙(端部)	ロクロ成形。端部横撫で天井部右回転篦削り調整	
0489	須恵器 瓶	器 〈7.3〉	+3.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-8/ ④破片(胴部)	ロクロ成形。外面胴部中位左回転篦削り 内面 篦撫で調整	
0547	土師器 坏	器 〈3.6〉 口 (12.8)	+14.0 B	①粗砂 ②酸化 ③内面明黄褐10YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅外面黒斑
0548	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (11.8)	+5.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0549	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (14.2)	+10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0550	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (11.5)	+10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0551	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (14.2)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④⅙	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0560	土師器 盤	器 〈2.1〉 口 (14.2)	+7.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0561	土師器 盤	器 〈3.3〉 口 (17.8)	+9.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅外面一部黒斑
0562	土師器 盤	口 (16.6)	+8.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0563	土師器 盤	器 〈4.2〉 口 (18.4)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0568	土師器 甕	器 〈6.0〉 口 (20.0)	+9.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0569	土師器 甕	器 〈1.9〉	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	磨滅
0571	土師器 甕	器 〈2.5〉 底 (9.0)	−33.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	
0572	土師器 甕	器 〈5.2〉 口 (22.0)	+6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0575	土師器 甕	器 〈3.5〉 底 (7.0)	+9.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面一部黒斑
0621	土師器 坏	器 4.0 口 (13.5)	+3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0622	土師器 坏	器 4.2 口 (12.4)	+34.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0634	須恵器 坏蓋	器 〈1.8〉 口 (13.4)	+26.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¼(端部)	ロクロ成形。端部・鈕部横撫で調整。端部にカエリあり	
0636	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 鈕 4.4	+10.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④⅙(鈕部)	鈕はリング状。ロクロ成形鈕部横撫で調整	
0641	須恵器 坏	器 〈2.0〉 底 (3.5)	+25.5 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0644	須恵器 長頸瓶	器 〈2.6〉 高台径 9.9	+10.5 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④⅙(底部)	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付。底部はヘラナデ。高台内に自然釉付着。	あり
0649	須恵器 甕	長さ 6.3 厚さ 0.9	+22.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0693	丸瓦	厚さ 0.9	+44.5 C	①細砂 ②半還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④破片	凸面は撫で整形。側面の面取りは1面	
0696	土師器 甕	器 〈10.0〉 口 (22.0)	+7.0 +9.0 +10.5 +11.0C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0697	土師器 甕	器 〈8.0〉 口 (19.4)	+3.0 +4.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
1420	円形叩き石	長さ 16.1 厚さ 4.1	+4.0	④完形石材雲母石英片岩重さ1160g	楕円形を呈し、断面板状。打痕不明瞭	幅12.2
1643	鉄製品	長さ 10.0 厚さ 0.4	−16.0 B	刀・茎の先端が欠失している。刃は細長い。茎は厚みあり、しっかりとしたつくりである。両関を呈する		幅1.1

5 B区12号住居出土遺物（第191・192図、PL197）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0468	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (12.8)	−3.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0469	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (11.7)	+2.0 +4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/6/ ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0470	須恵器 坏	器 〈3.2〉 口 (11.0)	+9.0 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④完形	口縁部横撫で底部左回転糸切り	一部煤付着 底 (6.8)
0471	須恵器 坏	器 3.4 口 (12.4)	+38.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④½	口縁部横撫で底部左回転糸切り	
0472	須恵器 坏	器 〈1.2〉 底 5.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④¼(底部)	底部左回転糸切り	
0473	須恵器 坏	器 〈1.8〉 底 5.5	+5.0 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④¼(底部)	底部左回転糸切り	磨滅
0474	須恵器 坏	器 〈2.0〉 底 6.0	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-7/1 ④¼(底部)	底部回転糸切り	磨滅著しい
0475	須恵器 椀	器 〈4.8〉 口 (13.6)	−2.0 B	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0476	須恵器 高台付椀	器 8.6 口 (14.2) 高台径 7.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④½	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	遺構外出土遺物と接合

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0478	須恵器 高台付盤	器 〈3.5〉 口 (26.2)	−6.0 A	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④¼	高台部横撫で調整	遺構外出土遺物と接合
0479	須恵器 椀	器 〈5.8〉 口 (15.7)	埋土	①細砂 ②還元 ③暗灰N-3/ ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	
0480	須恵器 坏蓋	器 〈1.8〉 鈕 4.2	+38.0 C	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/ ④破片(鈕部)	鈕はリング状。鈕部横撫で調整	磨滅
0481	須恵器 甕	器 〈21.5〉 口 (20.2)	−1.0 +13.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-4/ ④½(口縁部)	ロクロ成形。横撫で整形外面 平行叩き目。内面撫で調整	
0482	須恵器 甕	長さ 10.0 厚さ 0.8	+22.5 C	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	遺構外出土遺物と接合
0483	須恵器 甕	長さ 9.0 厚さ 0.8	−3.0 B	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0484	須恵器 甕	器 〈4.0〉 底 (10.2)	+28.5 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(底部)	ロクロ成形。内外面横方向篦撫で調整	
0683	須恵器 坏蓋	器 〈2.7〉 底 (21.6)	+49.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④¼(端部)	ロクロ成形。端部横撫で外面天井部篦撫で調整	
0685	須恵器 盤	器 〈2.4〉 口 (21.6)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④⅙	口縁部横撫で体部篦撫で底部回転篦切り後右回転篦削り調整	遺構外出土遺物と接合

5 B区13号住居出土遺物（第195図、PL197）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0491	土師器 坏	器 〈2.6〉 口 (13.3)	+1.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
0492	土師器 甕	器 〈15.0〉 底 5.2	+3.0 +4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④½(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面一部黒斑
0493	土師器 甕	器 〈5.0〉 底 (5.9)	+19.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	
0494	須恵器 台付壺	器 〈1.8〉 底 11.0	+38.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④1/10(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り後右回転篦撫で調整	転用硯磨り面あり

5 B区14号住居出土遺物（第200図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0477	須恵器 高台付盤	器 〈2.3〉 底 (13.8)	+53.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転篦切り後右回転篦削り調整	12住出土遺物と接合
0496	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (11.8)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	内外面口縁部横撫で調整	磨滅
0497	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (11.7)	+5.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	内外面口縁部横撫で調整	磨滅
0498	須恵器 甕	器 〈13.5〉 口 (34.2)	+23.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	12住・遺構外遺物と接合

5 B区15号住居出土遺物（第203・204図、PL197）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0499	土師器 坏	器 〈3.7〉 口 (12.0)	+17.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面底部黒斑
0500	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (10.8)	+34.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	内外面口縁部横撫で調整	磨滅著しい
0501	土師器 坏	器 〈4.2〉 口 (13.4)	+8.0 +32.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅外面底部黒斑
0502	土師器 坏	器 〈3.7〉 口 (12.3)	−9.0 +10.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	内面磨滅
0503	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (12.0)	−8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅外面底部黒斑
0504	土師器 坏	器 3.5 口 (11.4)	+5.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½	内外面口縁部横撫で調整	磨滅著しい

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0505	土師器	器 〈3.3〉	+0.5 +26.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	内外面口縁部横撫で調整	磨滅著しい
	盤	口 (18.6)	C	-7/6 ④1/3		
0506	土師器	器 〈2.8〉	+29.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	内外面口縁部横撫で調整	磨滅著しい
	盤	口 (19.6)	C	-6/8 ④1/6(口縁部)		
0507	土師器	器 〈2.9〉	−10.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り	外面底部黒
	坏	口 (11.7)	B	YR-6/6 ④1/6(口縁部)	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	斑
0508	土師器	器 〈3.3〉	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り	内面篦磨き
	坏	口 (11.7)		-6/6 ④1/6(口縁部)	内面 口縁部横撫で調整	
0509	土師器	器 〈11.3〉	−7.0 −8.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り	
	甕	口 (19.6)	Ba	-6/6 ④1/8	内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
0510	土師器	器 〈6.4〉	+26.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り	
	甕	口 (18.3)	C	褐7.5YR-6/3 ④破片(口	内面 口縁部横撫で胴部上位横方向篦撫で	
				縁部)		
0511	土師器	器 〈2.8〉	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 胴部・底部篦削り調整	
	甕	底 (3.6)		褐7.5YR-6/3 ④破片(底	内面 胴部・底部篦撫で調整	
				部)		
0512	土師器	器 〈3.4〉	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	外面 胴部・底部篦削り調整	
	甕	底 (3.6)		YR-6/6 ④破片(底部)	内面 胴部・底部篦撫で調整	
0514	須恵器	器 〈2.5〉	+8.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y	底部左回転糸切り	
	坏	底 6.3	B	-4/1 ④1/3(底部)		
0515	須恵器	器 〈4.0〉	+5.0埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5	口縁部横撫で底部右回転篦削り調整	底 (12.2)
	盤	口 (17.6)		YR-6/6 ④1/4(口縁部)		
0516	須恵器	器 〈3.5〉	+26.0	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5	口縁部ロクロ調整による横撫で	内面自然釉
	甕	口 (9.6)	C	YR-6/1 ④破片(口縁部)		付着
0517	須恵器	器 〈2.4〉	+31.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	天井部左回転篦削り端部横撫で調整	
	坏蓋	口 (16.7)	C	-5/1 ④1/6(端部)		
0518	須恵器	器 〈4.5〉	+23.0	①細砂 ②還元 ③にぶい	口縁部横撫で底部回転糸切り後右回転篦削	遺構外出土
	盤	口 (22.3)	C	黄橙10YR-7/2 ④破片(口	り調整	遺物と接合
				縁部)		
0519	須恵器	器 〈5.0〉	+23.6埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5	ロクロ成形口縁部横撫で外面胴部下位手持	遺構外出土
	小型短頸壺	口 (7.2)		YR-6/1 ④1/4(口縁部)	ち篦削り調整	遺物と接合
1421	円形叩き石	長さ 13.1	−4.0	④完形	楕円形を呈し、断面板状。打痕不明瞭	幅8.9
		厚さ 2.9		石材雲母石英片岩重さ485g		

6区01号住居出土遺物（第209・211図、PL198）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1034	土師器	器 〈34.0〉	−0.5 +2.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で胴部縦方向篦削り	底部木葉痕
	甕	口 (18.6)	+3.0 +3.5	-6/6 ④1/3	内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	
		底 7.2	A			
1035	土師器	器 〈36.3〉	−5.0 −8.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で胴部縦方向篦削り	外面一部黒
	甕	口 (20.8)	−9.5 −11.5	-6/6 ④1/2	内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	斑
1036	土師器	器 〈21.6〉	−11.0 +11.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	外面 胴部下半・底部縦方向篦削り調整	一部黒斑内
	甕	底 (3.5)	C	YR-7/6 ④1/6(下半部)		外面磨滅
1037	土師器	器 〈16.8〉	−5.0−8.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	外面 胴部下半・底部縦方向篦削り調整	
	甕	底 4.1	Ba	YR-6/6 ④1/4(下半部)		
1038	土師器	器 〈24.2〉	+0.5 +1.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 胴部縦方向篦削り調整	磨滅
	甕		Ba	赤褐2.5YR-5/4 ④破片	内面 胴部篦撫で調整	
				(胴部)		
1039	土師器	器 〈3.0〉	+13.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	内面 口縁部横撫で体部櫛状工具による横	磨滅
	坏	口 (13.7)	C	-7/6 ④破片(口縁部)	撫で調整	
1041	土師器	器 〈4.5〉	+21.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整	磨滅
	坏	口 (18.6)	C	橙7.5YR-6/4 ④破片(口	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
				縁部)		
1042	土師器	器 〈16.6〉	+0.5 +1.0	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り	磨滅著しい
	甕	口 22.2	+2.0 −3.0Ba	YR-6/6 ④1/4(上半部)	内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	外面黒斑

6区02号住居出土遺物（第215・216図、PL199）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1044	土師器	器 3.7	+6.0 +12.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅。外面
	坏	口 12.0	C	橙5YR-6/4 ④½	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	底部黒斑
1045	土師器	器 3.3	+7.5 +10.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅
	坏	口 15.2	C	橙5YR-6/4 ④⅓	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1046	須恵器	器 4.4	+8.0 +10.0	①細砂 ②還元 ③灰白N	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で底部回	
	高台付椀	口 12.0	C	-8/ ④ほぼ完形	転を伴う篦切り離し	
1047	須恵器	器 3.0	+0.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5	内外面口縁部横撫で外面底部左回転篦削り	
	坏	口 13.1	Ba	YR-6/1 ④⅓	調整	
1048	須恵器	器 1.7	+10.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	高台部横撫で底部左回転糸切り	
	高台付椀	底 6.0	C	YR-7/1 ④破片(底部)		
1049	須恵器	器 2.3	−11.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5	鈕粒リング状ロクロ成形。端部・鈕部横撫	磨滅鈕3.4
	坏蓋	口 14.4		Y-6/2 ④½	で天井部右回転篦削り調整	
1050	須恵器	器 3.0	+0.5 −2.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	鈕リング状ロクロ成形。鈕部横撫で	天井部自然
	坏蓋	鈕 3.8	Ba	-7/2 ④破片(天井部)		釉付着
1051	須恵器	器 2.2	+6.0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	ロクロ成形。端部横撫で	天井部自然
	坏蓋		C	-6/1 ④破片(端部)		釉付着
1052	須恵器	器 1.4	−2.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5	鈕ボタン状横撫で	
	坏蓋	鈕 3.8	B	Y-4/1 ④破片(鈕部)		
1054	須恵器	長さ 6.6	−5.0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	外面 縦方向平行叩き目。横方向沈線	
	甕	厚さ 0.9	B	-6/1 ④破片(胴部)	内面 同心円当て目	
1055	須恵器	長さ 18.0	+5.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y	外面 平行叩き目	
	大型甕	厚さ 1.5	C	-4/1 ④破片(胴部)	内面 同心円当て目	
1097	須恵器	器 〈2.8〉	+11.5	①細砂 ②還元 ③灰白N	ロクロ成形。端部横撫でカエリあり外面天	軟質。外面
	坏蓋	端部 (18.6)	C	-7/ ④破片(端部)	井部右回転篦削り内面篦撫で調整	ヘラ記号か
1103	須恵器	器 〈2.8〉	+4.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	天井部左回転篦削り端部横撫で天井部右回	03住出土遺
	坏蓋	端部 (15.0)	C	④破片(口縁・天井部)	転篦削り調整	物と接合
1141	土師器	器 3.9	−7.5 −11.0	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整	磨滅
	坏	口 (12.6)	埋土	YR-5/6 ④¾	内面 口縁部横撫で体部篦撫で調整	
1142	土師器	器 〈3.7〉	+6.0 +12.5	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整	
	坏	口 (12.8)	C	YR-6/6 ④½	内面 口縁部横撫で体部篦撫で調整	
1418	円形	長さ 15.3	+6.0	④ほぼ完形	円盤状を呈する	幅2.1
	叩き石	厚さ 2.4		石材変玄武岩重さ800g		
1637	鉄製品	長さ 〈10.4〉	+5.5	大形の釘の茎部と考えられる。頭部は欠失し、やや屈曲している。		
	釘	厚さ 0.8				
1644	鉄製品	長さ 〈4.0〉	埋土	刀子の刃部の破片の可能性ある。非常に薄手の造りである		幅0.2
	板状鉄	厚さ 1.2				

6区03a号住居出土遺物（第221～223図、PL199・200）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1057	土師器	器 28.3	−1.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り	外面下半部
	甕	口 22.2	A	橙7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	炭素吸着
		底 6.0				
1060	土師器	器 〈14.5〉	−3.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐	口縁部横撫で胴上位横方向下位縦方向篦削	外面頸部赤
	小型台付甕			2.5YR-5/6 ④¾(頸部	り。内面、口縁部横撫で胴部篦撫で	変胴部黒変
				～台部中位)		
1061	土師器	器 〈34.0〉	−5.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で胴部上位横方向篦削り	外面一部黒
	甕	口 (21.0)	A	-6/6 ④¾	下位縦方向篦削り調整	斑
		底 5.3			内面 口縁部横撫で胴部篦撫で調整	
1064	土師器	器 23.1	−1.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り	外面一部黒
	甕	口 24.7	Ba	-6/8 ④破片(口縁下位)	内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	斑
1067	土師器	器 3.6	+0.5 +2.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅
	坏	口 13.6	埋土	橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1070	土師器	器 3.4	−3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅。外面
	坏	口 13.0	A	-6/6 ④ほぼ完形	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	底部黒斑
1073	土師器	器 3.0	+3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で調整	磨滅著しい
	盤	口 14.2	A	-6/6 ④ほぼ完形	内面 口縁部横撫で調整	
1074	土師器	器 3.7	+4.0 +8.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅
	坏	口 12.5	−7.0埋土	-6/6 ④¾	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1075	土師器	器 〈3.3〉	−3.5 −7.0	①粗砂 ②酸化 ③ ④	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅。外面
	坏	口 (13.5)	Ba		内面 口縁部横撫で底部撫で調整	底部黒斑
1076	土師器	器 3.5	−2.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅
	坏	口 13.9		橙5YR-6/4 ④½	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1078	土師器	器 3.1	−1.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で調整	磨滅著しい
	坏	口 12.8	A	-6/6 ④½	内面 口縁部横撫で調整	
1079	土師器	器 3.9	+2.0 +3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	磨滅
	坏	口 14.0	−5.0A	-6/6 ④½	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1080	土師器	器 2.9	+2.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	内外面一部
	坏	口 14.0	A	橙7.5YR-7/4 ④½	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	黒斑
1083	土師器	器 4.0	+1.3	①細砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で調整	内外面磨滅
	坏	口 13.8	C	橙5YR-7/4 ④ほぼ完形	内面 口縁部横撫で、放射状等の篦磨き	著しい。外
						面底部黒斑
1084	土師器	器 4.1	埋土	①細砂 ②酸化 ③橙7.5	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	外面一部黒
	坏	口 8.0		YR-7/6 ④⅙	内面 口縁部横撫で底部撫で調整内外面磨	斑
					滅著しい放射状の篦磨き	
1086	土師器	器 4.0	+3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	
	坏	口 12.7	Ba	-6/6 ④¼	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1088	土師器	器 5.7	+9.0	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り	
	坏	口 17.6	C	YR-5/8 ④完形	内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1089	須恵器	器 3.8	+12.0	①細砂 ②還元 ③灰白N	口縁部横撫で底部回転篦切り後手持ち篦削	底10.8
	坏	口 13.4	C	-7/ ④ほぼ完形	り調整	
1090	須恵器	器 3.8	+0.5	①細砂 ②還元 ③灰白N	口縁部横撫で底部回転篦切り後右回転篦削	底8.0
	坏	口 13.2	A	-6/ ④ほぼ完形	り調整	
1091	須恵器	器 4.5	−5.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	口縁部横撫で底部回転篦切り後撫で調整	遺構外出土
	坏	口 (13.5)	A	④½		遺物と接合
		底 (9.6)				
1092	須恵器	器 3.3	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白N	口縁部横撫で底部回転篦切り後右回転篦削	遺構外出土
	坏	口 12.8		-7/ ④¾	り調整	遺物と接合
		底 9.1				
1093	須恵器	器 3.6	+7.0埋土	①細砂 ②還元 ③赤灰5R	口縁部横撫で底部回転篦切り後撫で調整	外面底部に
	坏	口 12.5		-5/1 ④¼		掻きやぶり
		底 (7.4)				あり
1094	須恵器	器 3.6	−3.0 +2.5	①細砂 ②還元 ③灰白N	口縁部横撫で底部回転篦切り後周辺手持ち	底9.0
	坏	口 13.3	Ba	-8/ ④ほぼ完形	篦削り調整	
1095	須恵器	器 6.8	−4.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	口縁部横撫で底部回転篦切り後削り出し高	底12.3
	高台付椀	口 19.2	A	④ほぼ完形	台撫で調整	
1096	須恵器	器 〈5.4〉	+19.5 +21.0	①細砂 ②還元 ③褐灰10	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	外面一部自
	坏	口 (17.2)	C	YR-5/1 ④破片(口縁部)		然釉付着
		底 11.8				
1098	須恵器	器 〈1.8〉	+15.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	ロクロ成形。端部横撫で調整	外面天井部
	坏蓋	端部 (16.0)		④破片(端部)		自然釉付着
1100	須恵器	器 〈2.0〉	+8.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰白N	ロクロ成形。端部横撫で調整	外面天井部
	坏蓋	端部 (18.9)		-7/ ④破片(端部)		自然釉付着
1102	須恵器	器 〈2.6〉	−1.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	鈕リング状天井部篦削り調整	外面天井部
	坏蓋	端部 (16.0)		④破片(天井部・端部)		自然釉付着
1104	須恵器	器 〈1.6〉	+9.5	①細砂 ②還元 ③灰白N	鈕リング状	
	坏蓋	鈕 5.3	C	-7/ ④破片(鈕部)		
1105	須恵器	器 〈1.4〉	+2.5	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	鈕リング状	
	坏蓋	鈕 3.8	B	④破片(鈕部)		
1108	須恵器	器 〈4.0〉	−1.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	ロクロ成形。台部に焼成前の穿孔	長方形透し
	器台	底 (13.7)	Ba	Y-8/1 ④破片(台部)		2ケ
1109	須恵器	器 〈2.5〉	−5.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	ロクロ成形。底部回転篦切り後右回転篦削	
	坏	底 (8.9)		④破片(底部)	り底部周辺篦削り調整	
1112	須恵器	長さ 7.8	+6.0	①細砂 ②還元 ③灰白N	外面 平行叩き目	
	甕	厚さ 0.9	C	-7/ ④破片(胴部)	内面 同心円当て目	
1113	須恵器	長さ 10.2	−3.0	①細砂 ②還元 ③灰白N	外面 平行叩き目	
	大型甕	厚さ 1.5	B	-7/ ④破片(胴部)	内面 同心円当て目	
1114	須恵器	長さ 12.9	+21.0	①細砂 ②還元 ③灰N-5/	外面 平行叩き目	
	大型甕	厚さ 1.5	C	④破片(胴部)	内面 同心円当て目	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1115	須恵器 坏蓋	器 2.4 端部 15.1	−4.5 A	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④ほぼ完形	鈕リング状天井部右回転篦削り調整端部・鈕部横撫で	外面自然釉付着。鈕4.4
1116	須恵器 坏蓋	器 3.7 端部 18.8	−2.5 A	①細砂 ②還元 ③灰N-7/ ④ほぼ完形	鈕リング状天井部右回転篦削り調整端部・鈕部横撫で	鈕4.6
1117	須恵器 坏蓋	器 2.5 端部 14.0 鈕 4.4	+5.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④ほぼ完形	鈕リング状天井部右回転篦削り調整端部・鈕部横撫で	15住遺物と接合。自然釉付着
1118	須恵器 台付盤	器 〈3.0〉 口 (20.7)	+10.5 C	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形。底部周辺右回転篦削り調整。口縁部横撫で	
1162	須恵器 高台付椀	器 〈7.5〉 口 (19.6)	+23.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④¼	ロクロ成形。底部回転糸切り後付高台口縁部横撫で	底 (10.0)
1279	須恵器 短頸壺蓋	器 3.8 端部(13.5) 鈕 (4.0)	−3.0 +28.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④¾	鈕リング状ロクロ成形端部・鈕部横撫で天井部右回転篦削り調整	16住出土遺物と接合

6区03b号住居出土遺物（第227・228図、PL200・201）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1056	土師器 甕	器 29.2 口 21.9 底 4.5	−8.0 −12.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で胴上位横方向下位縦方向篦削り調整 内面 口縁部横撫で胴部篦撫で	外面一部黒斑
1058	土師器 甕	器 26.3 口 23.1	−9.0 −10.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④¾(口縁〜胴部下半)	外面 口縁部横撫で胴上位より下位縦方向篦削り．内面口縁部横撫で、胴部篦撫で	磨滅
1059	土師器 小型台付甕	器 〈16.0〉 口 (14.5)	−8.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④¾(口縁〜台部中位)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向下位縦方向篦削り台部横撫で．内面胴部篦撫で	外面口縁部赤片胴部燻し状
1062	土師器 甕	器 〈19.5〉 底 (5.4)	−8.0 −9.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/8 ④½(胴部上位〜底部)	外面 胴部下位縦方向篦削り底部手持ち篦削り。内面胴部上位横、下位縦方向篦撫で	磨滅。外面一部炭素吸着
1063	土師器 甕	器 〈14.5〉 口 22.1	−9.0 −10.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④⅙(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位篦削り調整 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	外面一部燻し状
1068	土師器 坏	器 3.5 口 13.8	−6.0 −8.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅。外面一部黒斑
1069	土師器 坏	器 3.5 口 13.3	−6.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅．内外面一部炭素吸着
1071	土師器 坏	器 3.5 口 13.1	−17.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	内外面一部炭素吸着
1072	土師器 坏	器 3.4 口 13.4	−8.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	内外面一部炭素吸着
1077	土師器 坏	器 3.2 口 13.2	−5.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/3 ④½	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
1081	土師器 坏	器 3.2 口 13.9	−8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④¼	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅。外面一部黒斑
1082	土師器 坏	器 3.0 口 12.5	−16.0 −20.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/3 ④¼	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅。内外面炭素吸着
1087	土師器 坏	器 〈4.4〉 口 (16.0)	−12.5 −15.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	内面底部煤付着
1106	須恵器 坏蓋	器 〈1.0〉 端部 (15.9)	−14.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横撫で調整	
1111	須恵器 甕	器 〈6.0〉 口 31.2	−7.0 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形横撫で調整	

6区04号住居出土遺物（第232図、PL202）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1119	土師器 坏	器 4.0 口 (13.8)	−0.5 +1.0 +1.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④½	外面 口縁部横撫で体部・底部篦削り 内面 口縁部横撫で体部篦撫で調整	磨滅。外面一部黒斑
1120	土師器 坏	器 3.7 口 12.1	+30.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④¼	外面 口縁部横撫で底部篦削り調整 内面 口縁部横撫で底部篦撫で調整	磨滅

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1121	土師器 甕	器 8.2 口 17.8	+29.0 +43.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部篦撫で調整	
1122	土師器 甕	器 4.5 口 23.5	+18.5 +23.0	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	
1123	土師器 甕	器 4.8 口 21.1	−3.5 +26.0	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	内面胴部燻し状
1376	石製品 軽石	長さ 7.0 厚さ 2.0	+2.0	④ほぼ完形石材二ツ岳軽石 重さ80g	両面磨面あり	幅6.1

6区05号住居出土遺物（第236図、PL202）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1124	須恵器 坏	器 3.6 口 12.3 底 12.4	+4.0 +5.0 +9.5 C	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 外面一部黒斑
1125	須恵器 坏	器 3.9 口 12.4	+2.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④ほぼ完形	口縁部横撫で底部回転糸切り	底6.0
1126	須恵器 坏	器 〈3.3〉 口 (16.0)	+9.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	磨滅
1127	須恵器 高台付椀	器 〈2.3〉 底 (7.7)	+6.0 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り。付高台	
1128	須恵器 甕	器 〈4.5〉 口 (20.0)	+6.5 C	①細砂 ②還元 ③灰10Y-4/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	内面自然釉付着
1129	須恵器 大型甕	器 〈3.6〉	+4.0 C	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で外面波状文	
1132	土師器 坏	器 3.4 口 11.9	+5.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
1133	土師器 坏	器 3.0 口 12.0	+3.5 +4.0 +6.5 +7.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
1134	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (13.0)	−6.0 −7.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	内面煤付着
1135	土師器 甕	器 〈10.4〉 口 (20.0)	+5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	内外面一部燻し状
1136	土師器 甕	器 〈6.2〉 口 (19.0)	−2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	内外面口縁部燻し状
1138	土師器 甕	器 〈3.0〉 底 (5.0)	+7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部篦撫で調整	
1139	土師器 甕	器 〈2.2〉 底 (8.0)	+8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③内面明赤褐5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部篦撫で調整	外面一部黒斑
1377	砥石	長さ 16.5 厚さ 5.5	−2.5	④ほぼ完形石材変玄武岩重さ1700g	スタンプ状を呈する。擦痕不明瞭。若干条線あり	厚さ5.5
1645	鉄製品 刀子	長さ 〈4.0〉 厚さ 1.4	埋土	刀子の刃部の破片と考えられる。棟と刃の区別は明瞭である		

6区06号住居出土遺物（第241図、PL202）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1140	土師器 坏	器 5.4 口 (15.9)	+2.0 +10.5 +12.0 +16.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面口縁一部炭素吸着
1143	土師器 盤	器 〈2.5〉 口 (16.0)	+12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅著しい
1144	土師器 坏	器 〈4.1〉 口 (13.0)	+25.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	外面 口縁部横撫で体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅著しい
1145	土師器 盤	器 〈3.3〉 口 15.0	−3.0 −5.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅。内面一部炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1147	土師器 甕	器 〈3.4〉 口 (24.0)	−3.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	磨滅
1148	土師器 甕	器 〈7.7〉 口 (21.0)	+9.0 +9.5 +11.0 +15.0C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-5/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
1149	土師器 甕	器 〈7.6〉 底 (6.0)	+5.0 +6.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部篦撫で調整	外面一部黒斑
1150	須恵器 坏蓋	器 3.0 鈕 4.3	−2.0 +4.0 Ba	①細砂 ②還元 ③明オリーブ灰2.5GY-7/1 ④½	鈕リング状ロクロ成形。端部・鈕部横撫でカエリあり天井部右回転篦削り調整	
1151	須恵器 台付盤	器 〈9.5〉	埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(台部)	ロクロ成形。台部横撫で調整	
1378	軽石	長さ 5.6 厚さ 2.9	+7.0	④ほぼ完形石材角閃石安山岩重さ55g	円筒形を呈し、部分的に磨耗痕あり	幅5.2
1636	金銅製品 耳環	直径 3.6 厚さ 0.8	+29.5 C	金銅製耳環。銅の腐食激しく、金メッキ部をつきやぶり半分程銅の地肌がでている。耳環としては、小形のものである		

6区07号住居出土遺物（第246図、PL202）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1339	土師器 坏	器 3.6 口 (11.5)	−2.0 −14.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	磨滅著しい 底7.3
1340	土師器 坏	器 3.0 口 (12.9) 底 10.0	+4.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅内外面一部炭素吸着
1341	土師器 坏	器 2.8 口 (12.7) 底 10.1	+1.0 A	①細砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1342	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (11.8)	−1.0 −18.0 埋土	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1344	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 12.7	−3.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
1345	土師器 椀	器 〈7.0〉 口 (18.7)	+5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部篦削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
1346	土師器 椀	器 〈2.6〉 底 11.0	−13.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 底部篦削り調整 内面 底部篦撫で調整	
1347	須恵器 坏	器 3.7 口 (13.4)	+4.5 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④½	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 底6.8
1348	須恵器 坏	器 3.6 口 (12.3)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅底 (7.3)
1350	須恵器 坏蓋	器 〈1.1〉	+1.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片(天井部)	鈕リング状ロクロ成形。天井部右回転篦削り調整	
1351	須恵器 坏蓋	器 〈3.5〉 端部 (18.0)	−2.0 −4.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-5/1 ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横撫で天井部右回転篦削り調整	
1352	須恵器 坏蓋	器 〈3.0〉 鈕 4.0	−14.0 B	①細粒 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/1 ④破片(鈕〜天井部)	鈕ボタン状天井部回転篦削り調整	16住出土遺物と接合
1354	土師器 甕	器 〈17.7〉 口 (20.7)	+8.0 Ba	①粗粒 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位篦撫で	
1356	土師器 甕	器 〈5.9〉 口 (19.9)	−1.0 +2.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位篦削り調整 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	磨滅
1635	鉄製品	長さ 〈7.4〉 厚さ 0.4	−1.5	刃部先端を欠失する。棟側厚みあるしっかりとした造りであるが、刃部・茎ともに長い。ごく小さな段状を呈する関がある		幅1.0
1646	鉄製品 板状鉄	長さ 〈3.6〉 厚さ 0.4	埋土	不明板状品。平根鏃の刃部か火打金		幅2.2

6区08号住居出土遺物（第251図、PL202）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1152	須恵器 坏	器 〈3.3〉 底 (3.0)	−2.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④⅙	底部左回転糸切り	磨滅
1154	須恵器 坏	器 〈3.7〉 口 (12.5)	+19.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④¼	口縁部横撫で底部回転糸切り	底 (7.0)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1157	須恵器 甕	長さ 8.4 厚さ 1.1	+25.0 C	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-8/2 ④破片(肩部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	外面自然釉付着
1159	土師器 坏	器 〈4.3〉 口 (14.0)	−2.5 +4.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③浅黄橙10YR-8/4 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
1160	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (6.0)	+19.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
1161	土師器 甕	器 〈3.9〉	−4.0 +8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 撫で調整	外面燻し状
1379	滑石製品	長さ 3.5 厚さ 2.6	+23.5	④石材重さ40g		幅2.6穿孔あり
1659	掻器		+24.5	④完形石材硬質泥岩重さ35g	三角形を呈する	

6区09号住居出土遺物（第256図、PL202・203）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1163	土師器 坏	器 4.3 口 13.3	+1.5 +3.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-5/4 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
1164	土師器 坏	器 3.7 口 12.2	+1.0 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい 底部炭吸着
1165	土師器 坏	器 4.1 口 12.5	+1.5 +2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅。外面底部黒斑
1166	土師器 坏	器 3.9 口 (11.8)	+4.0 +14.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
1167	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (11.0)	+24.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④⅙	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	外面炭素吸着
1168	土師器 坏	器 〈4.7〉 口 (14.0)	+1.0 +3.5 −5.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④⅙	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅著しい
1169	土師器 小型台付甕	器 〈11.0〉 口 13.5	+4.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④¾(口縁～台部上位)	外面 口縁部横撫で胴部・台部上位縦方向篦削り調整内面胴部篦撫で調整	内外面一部炭素吸着
1170	土師器 甕	器 〈2.4〉 底 (4.4)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	
1171	須恵器 盤	器 3.5 口 16.6	−2.5 −3.0 −4.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④ほぼ完形	口縁部横撫でロクロ成形。底部回転篦切り後左回転篦削り調整	
1172	須恵器 盤	器 〈3.4〉 口 (17.6)	+16.0 +21.0 C	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-7/1 ④⅛	口縁部横撫でロクロ成形。底部右回転手持ち篦削り調整	
1173	須恵器 甕	長さ 6.3 厚さ 0.8	+3.0 +26.0 C	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後櫛状工具による横方向撫で調整内面同心円当て目	
1174	須恵器 甕	器 〈5.0〉 口 (17.6)	−4.0 B	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	内面自然釉少量付着
1647	鉄製品 釘	長さ 〈4.6〉 厚さ 0.4	+5.0	釘の茎出ある。断面長方形のやや細身小形の釘である		

6区10号住居出土遺物（第260図、PL203）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1175	土師器 坏	器 3.8 口 10.9	+9.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
1176	土師器 坏	器 3.7 口 11.4	−3.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
1177	須恵器 円形硯	器 〈5.4〉	+22.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片	硯部分は鍔によって台脚部と分ける。上位周辺は羽根状貼付が数ケ所。脚部は焼成前の長方の透かしを施す	遺構外出土遺物と接合
1419	円形叩き石	長さ 13.4 厚さ 3.3	+3.0	④ほぼ完形 石材雲母石英片岩重さ890g	円形を呈し、断面板状。打痕不明瞭	

6区11号住居出土遺物（第264・265図、PL203）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1178	土師器	器 3.4	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で体部箆削り調整	磨滅著しい
	坏	口 13.0	A	-6/8 ④ほぼ完形	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
1179	土師器	器 3.7	+2.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で体部箆削り調整	磨滅著しい
	坏	口 13.0	A	-6/6 ④完形	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
1180	土師器	器 2.8	−1.0 −3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁部横撫で体部箆削り調整	磨滅著しい
	坏	口 12.8	B	-6/6 ④¼	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
1181	土師器	器 3.0	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5	外面 口縁部横撫で調整	外面底部一
	坏	口 13.1		YR-6/6 ④¼	内面 口縁部横撫で調整	部炭素吸着
1182	土師器	器 (5.6)	+4.0 +9.0	①細砂 ②酸化 ③橙7.5	外面 口縁部横撫で体部横方向底部箆削り	内面放射状
	椀	口 (15.9)	+10.0 +11.0C	YR-7/6 ④½	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	箆研磨
1183	須恵器	器 4.4	+1.5	①粗砂 ②還元(酸化気味)	口縁部横撫でロクロ成形	磨滅軟質
	椀	口 16.7	B	③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)		
1185	須恵器	器 3.4	±0 +3.0	①細砂 ③還元 ③灰白2.5	口縁部横撫で底部回転箆切り離し後箆撫で	底9.6
	坏	口 13.4	Ba	Y-8/1 ④ほぼ完形	調整	
1186	須恵器	器 3.3	±0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5	口縁部横撫で底部左回転糸切り後周辺右回	
	坏	口 13.5	Ba	Y-6/1 ④¼	転箆削り調整	
1187	須恵器	器 3.6	−4.5	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5	底部右回転箆削り調整	
	坏	底 7.8	Ba	Y-6/1 ④破片(底部)		
1188	須恵器	器 2.2	+7.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	ロクロ成形。端部横撫で天井部右回転箆削	
	坏蓋	端部 19.3	C	Y-8/2 ④破片(端部)	り調整	
1189	須恵器	器 1.5	−1.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5	ロクロ成形。端部横撫で	
	坏蓋	端部 16.5	B	Y-6/1 ④破片(端部)		
1190	須恵器	器 2.8	+9.0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y	鈕リング状天井部右回転箆削り端部・鈕部	遺構外出土
	坏蓋	底 (17.3)	B	-5/1 ④¾	横撫で調整	遺物と接合
1193	須恵器	器 3.0	+3.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	ロクロ調整による横撫で	
	甕	口 31.8	B	Y-7/1 ④破片(口縁部)		
1194	須恵器	器 〈5.0〉	+6.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y	ロクロ調整による横撫で	
	甕	口 (27.6)	C	-5/1 ④破片(口縁部)		
1195	須恵器	器 〈4.3〉	+2.0	①細砂 ②還元 ③灰褐7.5	口縁部横撫で調整	外面自然釉
	大型甕		B	YR-6/2 ④破片(口縁部)		付着
1196	須恵器	長さ 14.1	+1.0 +2.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5	外面 平行叩き目	
	甕	厚さ 0.9	B	Y-6/1 ④破片(胴部)	内面 同心円当て目	
1197	須恵器	長さ 5.4	−2.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5	外面 横方向櫛状工具による撫で調整	
	甕	厚さ 0.9	B	Y-6/1 ④破片(胴部)	内面 撫で調整	
1198	須恵器	長さ 11.1	±0 −2.0 −3.0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5	外面 平行叩き目	
	甕	厚さ 0.9	B	Y-8/1 ④破片(肩部)	内面 同心円当て目	

6区12号住居出土遺物（第268図、PL203）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1199	土師器	器 〈3.7〉	−3.0 −9.0	①細砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で体部横方向箆削り	磨滅
	坏	口 (12.0)	Ba	橙5YR-6/4 ④¼	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
		底 (8.0)				
1200	土師器	器 〈3.5〉	−9.0	①細砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で体部横方向箆削り	磨滅
	坏	口 (11.8)	Ba	橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
		底 (7.8)				
1201	須恵器	器 〈3.0〉	−7.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	底部回転糸切り	磨滅著しい
	坏	底 6.7	A	-8/1 ④½(口縁中位～底部)		
1202	須恵器	器 〈2.1〉	±0+2.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	底部左回転糸切り	磨滅
	坏	底 7.0	Ba	Y-8/2 ④破片(口縁中位～底部)		
1203	須恵器	器 〈1.2〉	+15.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	鈕は宝珠状	
	坏蓋	鈕 3.9	C	Y-8/2 ④破片(鈕部)		
1204	須恵器	器 〈1.0〉	+9.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y	鈕はボタン状	天井部自然
	坏蓋		C	-6/1 ④破片(天井部)		釉付着
1205	須恵器	長さ 14.4	+8.0 +39.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y	内面 当て目。外面叩き目撫で調整	軟質。外面
	甕	厚さ 1.5	C	-6/1 ④破片(胴部)		鉄☆付着
1380	紡錘車	長さ 5.5	±0	④完形	円盤状を呈し、側面丸味を持つ	幅5.5
		厚さ 1.3		石材 デイサイト 重さ60g		

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1638	鉄製品 環	縦 2.8 横 1.8	+3.0	環状鉄製品・独立した環状品で用途は不明		
1245	須恵器 甕	長さ 9.5 厚さ 0.7	+32.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
1246	須恵器 甕	長さ 8.7 厚さ 0.8	+35.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
1249	須恵器 坏蓋	器 〈2.5〉 口 (14.6)	+22.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横撫で天井部手持ち篦削外面端部からり調整。内面篦磨き内面黒色処理	外面端部から内面黒色処理
1250	土師器 坏	器 3.2 口 12.3	+5.5 −12.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面一部炭素吸着
1251	土師器 坏	器 3.1 口 12.3	−4.0 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面一部炭素吸着
1252	土師器 坏	器 2.7 口 12.8	+21.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④1/3	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
1253	土師器 坏	器 4.5 口 14.9	+6.0 +8.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
1254	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.3)	+1.0 +12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④1/4	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	磨滅著しい 外面 炭吸着
1255	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (13.7)	−7.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④1/4	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
1256	土師器 坏	器 〈2.8〉 口 (11.0)	+12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④1/4	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
1257	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (12.0)	+7.5 +9.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④1/5	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい 外面炭吸着
1259	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.7)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部篦撫で調整	磨滅著しい 底部黒斑
1260	土師器 坏	器 〈2.6〉 口 (13.5)	+11.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
1261	土師器 坏	器 〈4.1〉 口 (8.1)	+6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④1/5	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部篦撫で調整	磨滅。外面一部黒斑
1263	土師器 甕	器 27.6 口 18.8 底 4.8	+1.0 +3.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で胴部上位横方向下位、底部篦削り調整 内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	内外面一部炭素吸着
1264	土師器 甕	器 〈20.1〉 底 (5.2)	+2.0 +7.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/2(下半部)	外面 胴部下位縦方向底部篦切り調整 内面 撫で調整	磨滅
1265	土師器 甕	器 〈11.1〉 底 4.2	−0.5 −6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④1/4(下半部)	外面 胴部・底部縦方向篦削り調整 内面 撫で調整	内外面一部炭素吸着
1266	土師器 甕	器 〈8.2〉 底 (5.8)	+7.0 +11.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4/ ④1/6(胴下半部)	外面 胴部・底部縦方向篦削り調整 内面 胴部撫で調整	外面一部黒斑
1267	土師器 甕	器 〈16.0〉 口 (20.5)	+0.5 +2.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐2.5YR-5/4 ④1/6(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で調整	
1268	土師器 甕	器 〈15.8〉 口 (18.8)	+19.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④1/6(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部上位横方向下位縦方向篦削り調整	磨滅
1269	土師器 甕	器 〈12.9〉 口 (18.7)	+2.5 +21.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐2.5YR-5/4 ④1/10(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部上位篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	内外面一部炭素吸着
1270	土師器 甕	器 〈7.8〉 口 (16.7)	+16.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	内外面一部炭素吸着
1271	土師器 甕	器 〈6.0〉 口 (20.8)	+6.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	
1272	土師器 甕	器 〈7.2〉 口 (19.0)	+19.0 +27.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	
1273	土師器 甕	器 〈3.5〉 底 (6.7)	+20.0 +25.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	磨滅

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1274	土師器 甕	器 〈4.3〉 底 (6.4)	+6.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	
1275	土師器 小型台付甕	器 13.9 口 10.3 底 8.8	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部・裾部横撫で胴部上位横方向下位・台部縦方向箆削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
1276	須恵器 甕	器 〈12.7〉 口 (27.8)	+4.0 B	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で。外面平行叩き目 内面 同心円当て目	
1277	須恵器 坏	器 3.9 口 13.2 底 7.5	+22.0 +23.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④¾	底部左回転糸切り	外面底部炭素吸着
1278	須恵器 甕	器 43.4 口 26.6	+14.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-4/1 ④ほぼ完形	外面 平行叩き目下半部剝離 内面 当て目	底10.8
1381	石製品 砥石	長さ 8.0 厚さ 2.5	+9.0	④½石材デイサイト重さ100g	4面使用。断面方形	幅3.1
1382	石製品 紡錘車	長さ 5.2 厚さ 1.6	+6.0	④完形石材蛇紋岩重さ60g	断面台形。側面のみ痕あり。上面ドーナツ状に磨耗。線刻あり	幅4.7
1383	石製品 紡錘車	長さ 4.5 厚さ2 .0	+4.5	④完形石材デイサイト重さ50g	歪んだ隅丸方形状を呈する。側☆部縦方向削り。色調はいぶされた黒褐色	幅3.7
1404	縄文 深鉢		埋土	①砂粒 ②普通 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④	平行沈線内に縄文周辺をすり消し	縄文中期
1648	鉄製品 火打金	縦 4.4 横 11.1	+22.5			厚さ0.6
1649	鉄製品 刀子	長さ 〈9.0〉 厚さ 0.6	埋土	刃の大部分と茎の一部を欠失する。茎はしっかりとした造りで細長い関は棟部が角関、刃部が斜め関を呈するものである		幅1.8
1671	須恵器 坏	器 4.0 口 12.5 底 6.5		①粗砂 ②還元 ③浅黄橙10YR-8/3 ④ほぼ完形	ロクロ成形。底部左回転糸切り	磨滅著しい 外面一部炭素吸着
1672	土師器 甕	器 〈14.0〉 口 21.0		①粗砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④¼(上半部)	口縁部横撫で胴部外面横方向箆削り内面横方向箆撫で調整	

6区17号住居出土遺物（第294図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1220	須恵器 坏蓋	器 〈1.2〉 鈕 4.2	−4.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(鈕部)	鈕はリング状ロクロ成形横撫で	天井部一部自然釉付着
1221	須恵器 坏蓋	器 〈3.1〉 底 (7.1)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③灰赤2.5YR-5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。底部周辺箆撫で調整	
1222	須恵器 甕	長さ 10.8 厚さ 1.2	−4.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

6区溝出土遺物（第329・330図、PL205）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号溝	1282	土師器 甕	器 〈3.4〉 底 (6.0)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④⅛(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 撫で調整	磨滅
02号溝	1283	須恵器 坏	器 〈3.5〉 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④¼(口縁～底部)	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
02号溝	1284	須恵器 高台付盤	器 〈3.6〉	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④½(体部)	坏底部右回転箆削り調整。口縁部・台部横撫で	
02号溝	1358	須恵器 甕	器 〈5.0〉 口 (14.6)	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-8/2 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で外面叩き目内面当て目	口縁部内面自然釉付着
02号溝	1361	須恵器 甕	器 〈10.7〉 底 (7.5)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	外面 胴部平行叩き目底部・内面撫で調整	
02号溝	1362	須恵器 甕	器 〈7.8〉	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	外面 胴部平行叩き目底部撫で内面当て目の後撫で調整	
02号溝	1363	須恵器 甕	長さ 8.3 厚さ 0.8	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号溝	1364	須恵器 甕	長さ 7.7 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号溝	1365	須恵器 甕	長さ 6.4 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
07号溝	1405	石臼	径 (27.0) 厚 (12.9)	④上臼¼石材粗粒安山岩重さ3900g	裏面臼目は切線主溝形を呈し、僅かに磨滅	
07号溝	1406	石臼	径 (34.2) 厚 (8.4)	④上臼⅓石材粗粒安山岩重さ5800g	裏面臼目は切線主溝形を呈し、摩擦痕ある。芯棒受けか。未貫通。径2.5cm	
07号溝	1410	磨石	長 19.5 厚 (15.6)	④¾ 石材粗粒安山岩重さ7100g	一面のみ磨面	幅(18.6)
07号溝	1413	板碑	長さ (28.2) 厚さ 2.1	④破片石材緑色片岩重さ1700g	種子橙一切見られず。片面剝離	幅(20.1)
07号溝	1414	板碑	長さ (36.0) 厚さ 2.4	④破片石材雲母石英片岩重さ2520g	端部、三角計上を呈し、茎部？裏表側縁剝離。種子等見られない	幅(20.7)
07号溝	1415	板碑	長さ (31.8) 厚さ 2.7	④破片石材雲母石英片岩重さ3320g	端部、三角形状を呈し、基部または山部か不明。表裏、側縁剝離。種子等見られない。	幅(24.9)
09号溝	1288	鉢	器 〈11.3〉 口 (28.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④1/12	片口。口縁部横撫で外面胴部横方向篦削り調整	中世。内面磨り面あり

5B区土器溜り出土遺物（第339図、PL205・206）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号土器溜り	0520	土師器坏	器 〈3.3〉 口 (10.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	内面磨滅
01号土器溜り	0521	土師器坏	器 〈2.9〉 口 (10.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0522	土師器坏	器 〈3.0〉 口 (10.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0523	土師器坏	器 〈3.3〉 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0524	土師器坏	器 〈4.4〉 口 (12.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0525	土師器坏	器 〈2.8〉 口 (10.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0526	土師器坏	器 〈3.4〉 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0527	土師器坏	器 3.6 口 10.4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0528	土師器坏	器 3.5 口 11.2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/8 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0529	土師器坏	器 〈2.7〉 口 (10.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0530	土師器坏	器 〈2.9〉 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0531	土師器坏	器 〈3.9〉 口 (11.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0532	土師器坏	器 3.1 口 (11.2)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅。外面底部黒斑
01号土器溜り	0533	土師器坏	器 〈3.4〉 口 (12.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0534	土師器坏	器 3.0 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅。外面底部黒斑
01号土器溜り	0535	土師器坏	器 〈3.5〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0536	土師器坏	器 〈4.0〉 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅。外面底部黒斑
01号土器溜り	0537	土師器坏	器 〈3.3〉 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/66 ④⅙	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0538	土師器坏	器 〈3.0〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面口縁一部黒斑
01号土器溜り	0539	土師器盤	器 〈3.5〉 口 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④⅙	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0540	土師器坏	器 〈3.6〉 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
01号土器溜り	0541	土師器甕	器 〈2.6〉 底 (5.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面底部黒斑

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号土器溜り	0543	須恵器 坏	器 〈0.7〉 底 (7.0)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④¼(底部)	底部左回転糸切り	磨滅
02号土器溜り	0544	須恵器 高台付椀	器 〈2.3〉 高台径 6.2	①細砂 ②還元 ③灰黄褐10YR-6/2 ④⅓(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	外面黒斑 内面黒色処理
02号土器溜り	0545	須恵器 甕	長さ 7.2 厚さ 0.8	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号土器溜り	0546	須恵器 甕	長さ 9.6 厚さ 10.0	①細砂 ②還元 ③断面黄灰2.5Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形横撫で。外面口縁櫛状工具による横撫で上下に各二段の波状を施文	内面自然釉付着

5B区土坑出土遺物（第339図、P206）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
11号土坑	0669	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (12.6)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-/4 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	内外面煤付着
11号土坑	0670	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (12.5)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
11号土坑	0671	土師器 坏	器 〈4.4〉 口 (19.6)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
18号土坑	0542	須恵器 皿	器 3.5 口 16.6	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-7/2 ④½	口縁部横撫で底部回転篦切り後右回転篦削り調整	

6区土坑出土遺物（第340・341図、PL206）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
12号土坑	1367	須恵器 甕	長さ 10.6 厚さ 0.8	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
12号土坑	1368	須恵器 大型甕	長さ 13.2 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
76号土坑	1366	須恵器 甕	長さ 7.1 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
147号土坑	1289	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (15.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④¼(口縁～底部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	内面底部炭素吸着
160号土坑	1290	土師器 甕	器 〈5.2〉 口 (19.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④⅛(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨滅
160号土坑	1291	土師器 坏	器 〈2.7〉 口 (10.8)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④½(口縁～底部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
160号土坑	1357	須恵器 高台付壺	器 〈5.3〉 底 (13.0)	①細砂 ②還元 ③内面灰白5Y-8/1 ④破片(胴部～底部)	ロクロ成形。外面胴部下半右回転篦削り底部回転篦撫で調整付高台	外面釉付着
166号土坑	1292	土師器 坏	器 〈3.4〉 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/66 ④¼(口縁～底部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
217号土坑	1293	須恵器 坏	器 〈1.4〉 底 (6.2)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④底部	底部回転糸切り	磨滅
222号土坑	1294	須恵器 坏	器 〈3.4〉 口 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④⅓(口縁～底部)	口縁部横撫で底部篦切り後周辺右回転篦削り調整	
222号土坑	1295	須恵器 坏	器 〈3.4〉 口 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④¼(口縁～底部)	口縁部横撫で底部回転篦切り後手持ち篦削り調整	
222号土坑	1296	土師器 甕	器 〈5.6〉 底 (5.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④底部	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 撫で調整	
222号土坑	1338	須恵器 大型甕	器 64.9 口 (40.5)	①細砂 ②還元 ③灰N-6/1 ④¾	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	口縁～底部自然釉付着
222号土坑	1369	須恵器 甕	器 〈9.6〉	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
222号土坑	1370	須恵器 甕	器 14.4	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	甕胴部破片2枚付着
222号土坑	1372	須恵器 大型甕	器 〈57.9〉	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④½	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	外面肩部自然釉付着
223号土坑	1298	須恵器 短頸壺蓋	器 〈3.0〉	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/1 ④⅛	ロクロ成形。天井部右回転篦削り調整	

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
223号土坑	1300	土師器 甕	器 5.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 撫で調整	磨滅。外面一部黒斑
223号土坑	1306	須恵器 高坏か	器 〈2.3〉 底 (5.5)	①細砂 ②還元 ③黒褐10YR-3/1 ④破片(台部)	ロクロ成形。台部長方形透かし	瓦質
248号土坑	1307	須恵器 皿	器 〈1.4〉 底 (6.2)	①細砂 ②還元 ③灰黄褐10YR-6/2 ④底部	底部篦調整。内面篦撫で	軟質
249号土坑	1304	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④1/3(口縁～底部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
249号土坑	1656	鉄製品 棒状鉄	長さ 10.4 径 2.8	棒状鉄製品。断面五角形状である。片方の先端は生きている可能性高くあるいはタガネ状工具になる可能性もある		
280号土坑	1655	古銭	径 2.3			

6区墓坑出土遺物（第346図、PL207）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号墓坑	1305	鉢	器 14.3 口 29.0	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2/ ④1/3	ロクロ成形。口縁部横撫で底部回転糸切り後篦撫で調整	内面磨面。瓦質。底(14.0)
01号墓坑	1337	内耳鍋	器 〈17.5〉 口 31.1	①細砂 ②還元 ③灰10Y-4/1 ④3/4	口縁部横撫で内外面篦撫で外面胴部篦削り調整	外面胴部煤付着。底(21.7)
04号墓坑	1652	古銭	径 2.3	④		
07号墓坑	1653	古銭	径 2.4	④		
07号墓坑	1654	古銭	径 2.4	④		
08号墓坑	1310	鉢	器 3.4 底 14.4	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。底部左回転糸切り	瓦質
08号墓坑	1311	丸瓦	厚さ 1.8	①やや粗砂 ②半還元 ③黄灰2.5Y-7/2 ④1/4(先端)	凹面は粘土板の合わせ目ありか。粘土板切取成形あり。凸面は撫で整形。側面の面取りは1面	
08号墓坑	1312	平瓦	厚さ 1.7	①やや粗砂 ②半還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④1/6	凸面は撫で整形。側面・端面の面取りそれぞれ1面	09号墓坑と接合
08号墓坑	1412	板碑	長さ (29.1) 厚さ 2.4	④破片石材雲母石英片岩重さ1840g	両面剝離。種子等は見られない。側縁部は未調整であり、未製品	幅(13.5)
09号墓坑	1313	内耳鍋	器 6.5 口 33.2	①細砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④1/6(口縁部)	口縁部横撫で	酸化炎焼成
12号墓坑	1316	片口鉢	器 9.9 口 27.8	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④1/12(口縁部)	口縁部横撫で内面篦撫で外面撫で調整	瓦質
12号墓坑	1317	内耳鍋	器 6.3 口 26.4	①細砂 ②還元 ③黒褐7.5YR-3/1 ④1/6(口縁部)	口縁部横撫で胴部内面篦撫で外面撫で調整	内外面燻し状
12号墓坑	1359	須恵器 広口甕	器 8.0 口 42.7	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	外面自然釉付着

5B区グリッド出土遺物（第349～352図、PL207・208）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
B13－80 グリッド	0658	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (11.9)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B13－81 グリッド	0659	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅外面黒斑
B13－81 グリッド	0660	土師器 甕	器 〈4.4〉 口 (21.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B13－81 グリッド	0661	土師器 甕	器 〈4.2〉 口 (17.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	内外面口縁部横撫で調整	磨滅
B13－81 グリッド	0682	須恵器 坏蓋	器 〈1.6〉 底 (21.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(端部)	ロクロ成形端部横撫でカエリあり天井部左回転篦削り調整	遺構外出土遺物と接合
B13－81 グリッド	1660	剝片	長さ 8.4 厚さ 2.0	④石材硬質泥岩重さ140g	側縁部2ヶ所エグリ見られる	幅8.8
B13－82 グリッド	0662	土師器 坏	器 〈3.0〉 口 (12.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B13－82 グリッド	0663	土師器 盤	器 〈2.3〉 口 (19.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B13－82 グリッド	0679	須恵器 坏	器 〈4.0〉 口 (11.2)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④1/4	口縁部横撫で底部回転篦切り後手持ち撫で調整	遺構外出土遺物と接合

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
B13－91 グリッド	0613	須恵器 坏蓋	器 〈2.0〉 鈕 (2.4)	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④½	鈕は宝珠状天井部左回転篦削り端部・鈕部横撫で調整端部にカエリあり	
B13－91 グリッド	0614	須恵器 高台付坏	器 〈4.2〉 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部・高台部横撫で底部回転篦切り後右回転篦撫で調整。付高台	
B13－91 グリッド	0615	須恵器 壺	器 〈10.7〉 胴 (17.0)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④¼(胴部)	ロクロ成形外面上位横撫で下位左回転篦削り内面当て目後、上位横撫で下位篦撫で	外面肩部に自然釉付着
B13－91 グリッド	0616	須恵器 壺	器 〈1.8〉 口 (9.0)	①細砂 ②還元 ③灰オリー ブ5Y-6/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形口縁部横撫で調整	内面自然釉付着
B13－91 グリッド	0617	須恵器 甕	長さ 9.3 厚み 1.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目内面同心円当て目後撫で調整	
B13－91 グリッド	0618	土師器 坏	器 〈3.0〉	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5Y -6/6 ④¼(底部)	丸底手持ち篦削り調整	磨滅
B13－91 グリッド	0687	須恵器 椀	器 〈5.2〉 口 (15.8)	①細砂 ②還元 ③灰褐7.5 Y-5/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形口縁部横撫で調整	12住・遺構外遺物と接合
B13－91 グリッド	0688	須恵器 高台付壺	器 〈3.3〉 底 (17.6)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。高台部円形の透かし	遺構外出土遺物と接合
B13－91 グリッド	0698	須恵器 鉢	器 〈6.5〉 口 (10.3)	①細砂 ②還元 ③灰N-4/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形	
B13－91 グリッド	0619	土師器 坏	器 2.4 口 (10.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅外面黒斑
B13－92 グリッド	0620	土師器 坏	器 3.6 口 (11.7)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙2.5YR-6/4 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅。内外面一部黒斑
B13－92 グリッド	0623	土師器 坏	器 〈3.6〉 口 (16.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙 5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B13－92 グリッド	0624	土師器 盤	器 〈5.6〉 口 (23.0)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B13－92 グリッド	0625	土師器 甕	器 〈8.0〉 口 (23.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
B13－92 グリッド	0626	土師器 甕	器 〈5.6〉 口 (20.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
B13－92 グリッド	0627	土師器 甕	器 〈4.9〉 口 (22.4)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙 7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
B13－92 グリッド	0628	土師器 甕	器 〈0.8〉 底 (5.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	
B13－92 グリッド	0629	土師器 甕	器 〈1.8〉 底 (6.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 底部篦撫で調整	磨滅
B13－92 グリッド	0630	須恵器 坏	器 〈3.4〉 口 (11.0)	①細砂 ②還元 ③オリ ーブ黒7.5Y-3/1 ④破片 (口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	内面自然釉付着
B13－92 グリッド	0632	須恵器 甕	器 〈3.8〉 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	磨滅
B13－92 グリッド	0684	須恵器 台付盤	器 〈7.2〉 口 (24.6) 底 12.6	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④¼	坏底面左回転篦削り。口縁部・台部横撫で底部回転篦切り後左回転篦削り調整	遺構外遺物と接合
B13－92 グリッド	0686	須恵器 壺	器 〈10.2〉	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(肩部)	ロクロ整形の横撫で肩部３本の沈線に区画された部分に篦による縦方向の掻きやぶりを連続して施す	遺構外遺物と接合
B13－92 グリッド	0695	丸瓦	長さ 〈5.7〉 厚さ 1.0	①普通 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片	凸面は撫で整形か	
B13－92 グリッド	1422	円形 叩き石	長さ 16.2 厚さ 4.2	④完形石材変玄武岩重さ1. 350	卵形を呈し、側縁部打痕見られる	幅3.5
B13－92 グリッド	1634	鉄製品	長さ 〈8.0〉 厚さ 0.3	刃・茎の先端を欠失する。刃・茎ともに薄手扁平な造りである		幅0.8
B13－92 グリッド	1661	打斧	長さ 11.1 厚さ 2.4	④ほぼ完形石材硬質泥岩重 さ200g	刃部幅広のバチ状を呈する。裏面全体自然面。刃部磨耗	幅5.4
B13－93 グリッド	0651	土師器 甕	器 〈9.3〉 口 (19.7)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	
B13－93 グリッド	0654	土師器 甕	器 〈4.8〉 口 (15.8)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	内面炭素吸着

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
B13－93 グリッド	0655	須恵器 高台付椀	器 〈1.8〉 底 7.2	①細砂 ②還元 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	
B13－93 グリッド	0657	須恵器 甕	器 〈6.1〉 底 15.7	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(底部)	撫で調整	
B14－02 グリッド	0552	土師器 坏	器 〈2.8〉 口 (13.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B14－02 グリッド	0555	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 12.4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④⅙	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B14－02 グリッド	0558	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR7/4 ④⅙	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
B14－02 グリッド	0576	土師器 台付甕	器 〈2.4〉 底 (9.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(台部)	内外面横撫で外面上位縦方向篦削り調整	
B14－02 グリッド	0642	須恵器 坏	器 〈3.5〉 底 (6.6)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④破片(底部)	底部回転糸切り後周辺左回転篦削り調整	
B14－02 グリッド	0643	須恵器 高台付椀	器 〈1.3〉 底 (6.5)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④破片(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅
B14－02 グリッド	0645	須恵器 甕	器 〈4.3〉 口 (21.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-½ ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	
B14－02 グリッド	0646	須恵器 甕	長さ 3.9 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(口縁部)	外面 波状文	内面自然釉付着
B14－02 グリッド	0648	須恵器 甕	長さ 6.9 厚さ 0.6	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	外面自然釉付着
B14－02 グリッド	0689	須恵器 甕	器 〈22.8〉	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	B14－04。4住と接合
B14－02 グリッド	0694	丸瓦	長さ 〈4.0〉 厚さ 1.3	①やや細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片	凸面は撫で整形か	
B14－02 グリッド	1633	鉄製品 刀子	長さ 〈6.9〉 厚み 1.2	刃部の一部が欠失する。刃の造りがはっきりせず一部茎状になっている。両関を呈し、茎はしっかりとしたつくりのものである		
B14－02 グリッド	1662	石鏃	長さ 1.4 厚み 0.2	④ほぼ完形石材重さ0.4g	無茎凹基	
B14－03 グリッド	0578	土師器 鉢	器 〈12.0〉 口 (27.1)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④⅓	外面 口縁部横撫で胴部縦方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部横撫で篦撫で	内面胴部炭素吸着
B14－03 グリッド	0580	土師器 甕	器 〈5.6〉 口 25.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
B14－03 グリッド	0581	土師器 甕	器 〈2.3〉 底 (7.0)	①粗砂 ②酸化 ③黒褐7.5YR-3/1 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面黒斑
B14－03 グリッド	0583	土師器 小型甕	器 〈4.2〉 口 11.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位篦削り調整 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	磨滅
B14－03 グリッド	0585	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (19.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
B14－03 グリッド	0589	土師器 坏	器 4.1 口 (15.6)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-6/4 ④⅕(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	内外面一部炭素吸着
B14－03 グリッド	0592	須恵器 坏	器 3.5 口 (11.6)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で外面体部横方向篦削り調整	底 (3.5)
B14－03 グリッド	0593	須恵器 坏蓋	器 3.2 口 16.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④½	鈕リング状ロクロ成形。端部・鈕部横撫で天井部左回転篦削り調整	鈕4.9
B14－03 グリッド	0594	須恵器 坏蓋	器 〈3.0〉 口 (17.3)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④破片(端部)	天井部右回転篦削り端部・鈕部横撫で調整	
B14－03 グリッド	0596	須恵器 坏蓋	器 〈2.2〉 口 (20.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④¼(端部)	ロクロ成形。端部横撫でカエリあり天井部左回転篦削り調整	
B14－03 グリッド	0612	須恵器 坏	器 4.5 口 (14.6)	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部回転篦切り後回転篦撫で調整	磨滅
B14－04 グリッド	0604	須恵器 壺	器 〈7.0〉 底 (6.8)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④⅙(底部)	ロクロ成形。外面胴部下位平行叩き目内面横撫で調整	
B14－04 グリッド	0605	須恵器 椀	器 〈5.5〉 口 (20.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
B14－04 グリッド	0606	須恵器 坏蓋	器 〈2.1〉 口 (22.0)	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/3 ④1/3(端部)	天井部右回転篦削り端部・鈕部横撫で調整	磨滅
B14－04 グリッド	0607	須恵器 坏蓋	器 〈1.4〉 鈕 (4.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(天井部)	鈕リング状天井部右回転篦削り鈕部横撫で調整	
B14－04 グリッド	0608	灰釉陶器 高台付壺	器 〈13.2〉 底 7.7	①細砂 ②還元 ③灰黄褐 10YR-6/2 ④1/4	ロクロ成形。外面胴部横方向篦削り内面台部横撫で底部回転糸切り後撫で調整	自然釉付着
B14－04 グリッド	0609	土師器 甕	器 〈6.9〉 口 (20.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙 5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位篦撫で調整	磨滅
B14－04 グリッド	0610	土師器 甕	器 〈3.4〉 底 (3.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤 褐5YR-5/4 ④破片(底部)	外面 篦削り調整 内面 篦撫で調整	内外面一部炭素吸着
B14－05 グリッド	0665	須恵器 坏	器 〈3.2〉 口 (13.6)	①細砂 ②還元 ③灰白N -8/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	磨滅
B14－05 グリッド	0666	須恵器 坏	器 〈0.9〉 底 4.7	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/ ④1/4(底部)	底部回転糸切り	
B14－05 グリッド	0667	須恵器 高台付椀	器 〈2.1〉 底 (5.9)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④1/4	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅
B14－05 グリッド	0668	土師器 甕	器 〈3.6〉 底 3.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面一部煤付着
5B表採	0672	土師器 甕	器 〈6.9〉 口 (23.7)	①砂粒 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁)	口縁部横撫で、くの字に開く。頸部横方向篦削り。胴上半斜縦位ヘラ削り。内面撫で	

6区グリッド出土遺物（第353図）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
A14－52 グリッド	1318	須恵器 鉢	器 〈4.7〉 底 (17.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(体部～底部)	内外面篦撫で調整底部回転糸切り	
A14－66 グリッド	1320	須恵器 鉢	器 〈6.5〉 底 (15.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④1/6(底部)	内外面篦撫で調整底部回転糸切りあり	内面磨り面あり
A14－66 グリッド	1321	須恵器 擂鉢	器 〈7.0〉 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④1/8(底部)	外面 篦撫で調整底部回転糸切り 内面 放射状に7本1単位の沈線を施す	内面磨り面あり
A14－66 グリッド	1322	須恵器 鉢	器 〈6.4〉 口 (26.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④1/8(口縁部)	横撫で成形瓦質	磨滅
A14－68 グリッド	1323	土師器 甕	器 〈3.7〉 底 (5.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙 7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 篦撫で調整	内外面燻し状
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1324	須恵器 坏	器 1.3 底 8.3	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④底部	口縁部横撫で底部回転糸切り後右回転篦削り調整	磨滅
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1325	須恵器 坏蓋	器 2.3 口 14.7	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④1/3	鈕はリング状ロクロ成形。端部横撫で天井部右回転篦削り調整	
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1326	須恵器 坏蓋	器 2.0 鈕 4.2	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④1/3	鈕はリング状ロクロ成形。鈕部横撫で天井部右回転篦削り調整	
Ⅲ－16・17・ トレンチ・表採	1328	土師器 坏	器 2.5 口 13.7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR -6/8 ④1/4(口縁～底部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	底部炭素吸着
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1329	須恵器 高台付椀	器 3.5 底 9.1	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④1/3(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り後付高台。体部下部右回転篦削り調整	
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1330	須恵器 盤	器 〈3.0〉 口 (22.8)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部周辺右回転篦削り調整	
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1331	土師器 坏	器 3.7 口 15.3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④1/2(口縁～底部)	外面 口縁部横撫で 内面 口縁部横撫で	磨滅著しい
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1332	土師器 台付甕	器 3.3	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④1/3(底部)	外面 縦方向篦削り調整 内面 篦撫で調整	外面燻し状
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1333	土師器 坏	器 3.2 口 14.2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/4(口縁～底部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1334	土師器 坏	器 〈3.5〉 口 (15.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/6(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	内外面一部煤付着
6区表採	1336	須恵器 鉢	器 1.9 底 17.2	①細砂 ②還元 ③灰7.5 YR-6/1 ④破片(底部)	篦撫で調整	
Ⅲ－16・17 トレンチ・表採	1360	須恵器 瓶	器 4.2	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(肩部)	ロクロ成形。横撫で調整。頸部は中心より僅かに離れた所に穿つ	肩部に自然釉付着

5．本動堂台地区（7区）

7区01号住居出土遺物（第357図、PL208）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0699	須恵器	器 〈3.9〉	−17.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	口縁部横撫で底部回転糸切り	摩滅
	坏	口 (11.4)	B	-8/2 ④破片(口縁部)		
0700	須恵器	器 〈4.5〉	−2.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	ロクロ成形。口縁部横撫で	08住出土遺
	坏	口 (13.0)	B	-8/2 ④破片(口縁部)		物と接合
0703	須恵器	器 〈2.6〉	−10.5	①粗砂 ②還元、軟質 ③灰	ロクロ成形。横撫で底部左回転糸切り	
	坏	底 (6.6)	Ba	白10YR-8/2 ④¼(底部)		
0706	土師器	器 〈26.0〉	−8.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR	外面 口縁横撫で胴上位横、下位縦方向箆削	遺構外出土
	甕	口 19.0	Ba	-7/6 ④¼(口縁・下半部)	り．内面口縁部横撫で胴部箆撫で	遺物と接合
0707	土師器	器 〈12.7〉	−3.0 −17.0	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙	外面 口縁部横撫で胴部上位箆削り調整	
	甕	口 (20.6)	Ba	10YR-8/3 ④破片(上半	内面 口縁部横撫で撫で調整	
				部)		
0709	土師器	器 〈7.3〉	−7.5 −17.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り	
	甕	口 (20.0)	C	橙7.5YR-7/4 ④破片(口	内面 口縁部横撫で撫で調整	
				縁部)		
0710	土師器	器 〈3.2〉	−3.5 −7.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 胴部・底部箆削り調整	外面燻し状
	甕	底 (5.0)	B	橙5YR-7/4 ④破片(底部)	内面 胴部・底部撫で調整	
0711	土師器	器 〈7.7〉	−7.5 −14.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい	外面 口縁部横撫で胴部上位箆削り調整	
	小型甕	口 (10.0)	Ba	橙7.5YR-7/4 ④破片(上	内面 口縁部横撫で後撫で調整	
				半部)		

7区02号住居出土遺物（第363図、PL208）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0712	須恵器	器 5.9	+3.0	①細砂 ②還元 ③にぶい	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	外面体部燻
	高台付椀	口 13.5	A	黄橙10YR-7/2 ④¾		し状
		底 6.4				
0713	須恵器	器 5.1	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	内外面燻し
	高台付椀	口 (14.9)		Y-7/1 ④½		状。底
						(7.3)
0714	須恵器	器 5.2	+9.5 +27.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5	口縁部・高台部横撫で	摩滅著しい
	高台付椀	口 (14.0)	C	Y-8/2 ④破片(口縁部)		底 (6.7)
0715	須恵器	器 〈5.6〉	+5.5	①細砂 ②還元 ③にぶい	口縁部横撫で底部回転糸切り	内面燻し状
	高台付椀	口 (15.6)	B	橙7.5YR-7/4 ④破片(口		
				縁部)		
0716	須恵器	器 〈9.9〉	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	内外面箆による横撫で	
	甕	底 (14.0)		-8/1 ④破片(底部)		
1384	砥石	長さ 〈7.6〉	−0.5	④½石材変質デイサイト重さ	2面使用。狭側面の端部3条の研磨痕あり	欠損後も使
		厚さ 2.0		70g		用

7区03号住居出土遺物（第368図、PL208）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0717	須恵器	器 〈2.6〉	+4.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	高台部横撫で底部左回転糸切り	
	高台付椀	底 (7.8)	C	-7/1 ④破片(底部)		
0718	須恵器	器 4.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/	口縁部横撫で底部左回転糸切り	04住・01溝
	坏	口 (12.1)		④¼		遺物と接合
		底 6.0				
0719	須恵器	器 〈5.2〉	−7.5埋土	①細砂 ②還元 ③橙7.5	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り	摩滅
	坏	口 (13.0)		YR-7/6 ④⅙	内面 口縁部横撫で調整	
0720	灰釉陶器	器 〈5.3〉	+5.0	①細砂 ②還元 ③灰白N	ロクロ整形、回転右回り。体部下位はヘラ	大原2号窯式
	高台付椀	口 (15.0)	C	-7/ ④⅕	削り。施釉方法は漬け掛け	期．底(8.4)
0721	灰釉陶器	器 〈3.2〉	+11.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y	ロクロ整形。施釉方法不明	13住出土遺
	椀	口 (13.0)	C	-8/2 ④破片(口縁部)		物と接合
0723	羽釜	器 〈6.7〉	−0.5	①粗砂 ②酸化 ③淡黄2.5	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁部は	外面一部炭
		口 (18.0)	B	Y-8/3 ④破片(口縁部)	Bタイプ	素吸着
0724	羽釜	器 〈5.0〉	+4.0	①粗砂 ②酸化 ③灰白2.5	外面 は縦方向箆削り内面はよ箆撫で調整	摩滅
		底 (8.0)	B	Y-8/2 ④破片(底部)		

7区04号住居出土遺物（第374・375図、PL208）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0725	土師器 甕	器 〈10.3〉 口 (21.0)	+3.0 +20.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位箆削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0726	土師器 甕	器 〈6.2〉 口 (20.0)	−2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	摩滅
0727	土師器 甕	器 〈6.5〉 口 (20.6)	+4.5 +7.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	内面一部炭素吸着
0728	土師器 小型甕	器 〈5.5〉 口 (11.0)	+16.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上半箆削り調整 内面 口縁部横撫で胴部上半箆撫で調整	摩滅
0729	土師器 甕	器 〈3.5〉 底 (4.0)	−0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	摩滅外面燻し状
0730	土師器 甕	器 〈3.5〉 底 (4.0)	+19.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	内外面一部燻し状
0732	土師器 坏	器 〈3.1〉 口 (13.0)	+10.0 +23.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部箆削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	摩滅
0733	須恵器 坏	器 3.9 口 (11.8)	+8.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底 (6.0)
0734	須恵器 坏	器 〈2.2〉 底 (7.2)	+10.0 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5YR-6/1 ④⅛(底部)	底部左回転糸切り	
0736	須恵器 高台付皿	器 〈1.7〉 口 (13.5)	+8.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	摩滅著しい
0737	須恵器 高台付皿	器 〈2.3〉 口 (13.7)	−4.5 B	①細砂 ②還元 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	摩滅
0738	須恵器 甕	器 〈5.5〉 口 (17.0)	+27.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	摩滅
0740	須恵器 甑	器 〈8.5〉	+8.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片	板状を呈し、焼成前、円形及び方形の透かし孔	
1388	縄文 深鉢	厚さ 1.0 (1〜4)	+5.0 +18.0 埋土	①粗砂 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(口縁・胴部)	口縁部・胴部に貼布文。平行沈線文施す	縄文前期同一個体
1400	縄文 深鉢	厚さ 1.2	+5.5	①粗砂 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	隆帯貼布	縄文中期
1657	石鏃	長さ 3.4 厚さ 0.3	±0	④完形石材頁岩重さ1g	無茎凹基	幅0.3

7区05号住居出土遺物（第381・382図、PL208・209）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0741	土師器 坏	器 3.4 口 12.7	−7.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④¾	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0742	須恵器 高台付椀	器 〈2.8〉 底 8.0	−6.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④¼(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	墨書「☆」
0743	須恵器 高台付椀	器 6.1 口 14.7 底 7.7	+3.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④¾	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	内外面一部炭素吸着
0744	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 13.7 底 6.0	+2.5 +4.0 埋土	①細砂 ②還元 ③明赤褐5YR-5/6 ④¾	口縁部横撫で底部左回転糸切り	高台欠損後も使用。一部炭素吸着
0745	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 (14.0)	+2.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	高台欠損後も使用
0746	須恵器 高台付椀	器 〈5.3〉 口 13.7	−1.0 +2.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	磨滅。外面一部燻し状
0747	須恵器 坏	器 3.8 口 (12.2)	+2.5 +4.0 埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④½	口縁部横撫で底部回転糸切り	底6.2
0748	須恵器 坏	器 〈4.0〉 口 (12.4)	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/ ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底 (6.4)
0749	須恵器 坏	器 4.2 口 (12.6)	+1.5 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④⅓	口縁部横撫で底部回転糸切り	一部炭素吸着，底6.6
0750	須恵器 高台付椀	器 〈5.5〉 口 (13.7)	+1.5 +9.5 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	磨滅

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0753	須恵器 鉢	器 〈7.3〉 口 (18.0) 底 7.4	−2.0 +3.0 B	①細砂 ②回転 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅。外面イテハゼあり
0754	土師器 甕	器 23.5 口 20.4	−1.0 +0.5 +1.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④¾(口縁～胴部)	外面 口縁部横撫で胴上位横、下位縦方向箆削り．内面口縁部横撫で撫で調整	胴下半部に炭素吸着
0755	土師器 甕	器 〈7.2〉 底 (4.0)	+1.5 +3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箆削り調整 内面 撫で調整	外面燻し状
0756	土師器 甕	器 〈13.4〉 口 (16.8)	+3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③灰褐7.5YR-4/2 ④¼(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横、下位縦方向箆削り．内面口縁部横撫で撫で調整	内外面一部燻し状
0757	土師器 甕	器 〈9.1〉 口 (20.8)	+2.0 +5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨滅
0758	土師器 甕	器 〈6.7〉 口 (20.7)	+2.5 +3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨滅
0759	土師器 甕	器 〈6.5〉 口 (17.1)	+2.0 +6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	外面一部燻し状
0760	土師器 小型甕	器 〈8.5〉 口 10.2	±0+2.0 +5.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③赤褐10R-5/4 ④½(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部上位箆削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	内外面一部炭素吸着
0761	土師器 小型台付甕	器 (19.7) 口 13.2	+2.5 +3.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④¾(裾欠損)	外面 口縁部・台部横撫で胴上位横、下位縦方向箆削り．内面口縁部・台部横撫で	内外面一部炭素吸着
0763	形象 埴輪	厚さ 1.4	+5.0	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(胴部)	外面 縦方向にタガ貼布刷毛目 内面 指押さえ	
1401	縄文 深鉢	厚さ 1.2	+4.0	①粗砂 ③にぶい黄褐10YR-7/4 ④破片(胴部)	縄文の上に4本一単位の刺突2条	縄文中期

7区06号住居出土遺物（第387図、PL209）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0764	土師器 坏	器 6.3 口 17.5	A	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面一部燻し状
0765	土師器 甕	器 〈6.4〉 口 (21.6)	C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部縦方向箆削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	

7区07号住居出土遺物（第392図、PL209・210）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0766	須恵器 高台付皿	器 3.0 口 13.4	−10.0 A	①細砂 ②還元 ③明褐灰7.5YR-7/2 ④¾	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 底6.6
0767	須恵器 高台付椀	器 〈5.9〉 口 (14.5) 底 (7.2)	−2.5−3.0 Ba	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④½	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅。内外面炭素吸着 墨書「浄」
0768	須恵器 高台付椀	器 6.2 口 (14.4) 底 (8.2)	−10.5 A	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④½	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	内外面口縁部一部炭素吸着
0769	須恵器 高台付椀	器 5.8 口 (13.6)	+9.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④½	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	底6.4
0770	須恵器 高台付椀	器 5.8 口 14.7	±0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④ほぼ完形	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	底8.0
0771	須恵器 高台付椀	器 〈2.0〉 底 8.2	+6.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい橙5YR-7/4 ④¼	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅
0772	須恵器 高台付皿	器 1.5 底 6.2	+31.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④¼	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0773	須恵器 高台付椀	器 2.2 底 7.6	+21.0 C	①細砂 ②還元 ③灰黄褐10YR-6/4 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい
0774	須恵器 坏	器 〈2.0〉 底 6.0	+14.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0776	須恵器 椀	器 3.4 口 14.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0777	須恵器 高台付壺	器 9.1	+2.5 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5YR-6/ ④⅛(下半部)	ロクロ成形。内外面横方向篦撫で外面胴部下位右回転篦削り調整	高台欠損後も使用か
0778	須恵器 甕	器 3.6 底 13.4	−7.0 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-4/1 ④⅛(底部)	内外面横方向篦撫で	
0779	須恵器 甕	器 6.0 底 15.4	+33.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片(底部)	内外面よ篦撫で	磨滅著しい
0782	平瓦	厚さ 2.0	埋土	①普通(砂礫含む) ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④破片	凸面撫で整形	
0842	土師器 鉢	器 9.3 口 (18.8)	±0 +0.5 +8.0 埋土	①細砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④½	外面 口縁部横撫で体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で体部篦撫で	底 (8.9)
0846	須恵器 高台付坏	器 〈3.8〉 口 (13.7)	±0 +10.0 Ba	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④½	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で	磨滅著しい 底 (7.1)
0847	須恵器 高台付椀	器 5.7 口 15.2 底 7.2	−10.0 −10.5 Ba	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④⅓	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着

7区08号住居出土遺物（第398図、PL210）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0783	土師器 坏	器 3.1 口 (11.9) 底 (7.2)	+3.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0784	土師器 坏	器 2.9 口 11.7 底 7.0	−30.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④¼	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0785	土師器 坏	器 3.4 口 (12.3) 底 (8.0)	−8.5 −11.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④¼	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0786	土師器 坏	器 4.1 口 (13.0) 底 (9.4)	−1.0 B	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④⅙	外面 口縁部横撫で体部下半横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で後撫で調整	磨滅著しい
0787	土師器 坏	器 3.0 口 13.6 底 9.2	+6.5 +7.5 −16.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0789	土師器 小型台付甕	器 〈12.2〉 底 9.5	−22.5 −23.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④½(下半部)	外面 高台部横撫で胴部縦方向篦削り 内面 高台部横撫で胴部撫で調整	内外面一部炭素吸着
0790	土師器 小型台付甕	器 〈3.9〉 底 8.6	−37.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅙(台部)	外面 高台部横撫で 内面 胴部篦撫で	
0791	土師器 小型台付甕	器 3.7 底 8.0	+7.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④⅙(台部)	外面 高台部横撫で 内面 胴部篦撫で	
0792	土師器 小型甕	器 5.4 口 11.6	−1.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位撫で調整	磨滅
0793	土師器 甕	器 8.5 口 18.1	−8.0 −9.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅛(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位撫で調整	内外面一部炭素吸着
0794	土師器 甕	器 13.5 口 20.9	−5.0 +10.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅛(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位撫で調整	磨滅著しい
0795	土師器 甕	器 〈9.5〉 口 18.4	−1.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で櫛状工具による撫で	外面口縁部炭素吸着
0796	土師器 甕	器 5.6 口 21.2	−10.0 −27.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位撫で調整	磨滅
0797	土師器 甕	器 5.0 底 4.4	−32.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部縦方向篦削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	内面磨滅。外面底部黒斑
0798	土師器 甕	器 5.0 底 4.4	−13.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部縦方向篦削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	外面一部黒斑
0800	土師器 甕	器 1.7 底 2.8	−22.0 B	①粗砂 ②酸化 ③灰褐5YR-4/2 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	外面一部黒斑
0801	須恵器 高台付椀	器 5.7 口 (14.7)	−12.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④½	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	底8.0

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0803	須恵器 坏	器 4.6 口 (11.9) 底 6.4	+9.5 C	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④¾	口縁部横撫で底部左回転糸切り	10住出土遺物と接合
0804	須恵器 坏	器 3.9 口 (12.6) 底 (6.0)	−18.5 −23.5 B	①細砂 ②還元 ③暗灰黄2.5YR-5/2 ④½	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい 内外面炭素吸着
0805	須恵器 坏	器 4.6 口 13.5 底 6.8	−18.5 A	①細砂 ②還元 ③灰黄褐10YR-6/2 ④¾	口縁部横撫で底部手持ち篦削り調整	内外面一部炭素吸着
0806	須恵器 坏	器 1.9 底 6.2	埋土	①細砂 ②還元 ③暗灰黄2.5YR-5/2 ④破片(底部)	底部回転糸切り	
0807	須恵器 坏	器 〈1.7〉 底 (8.0)	−1.5 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④破片(底部)	底部手持ち篦削り調整	
0808	須恵器 坏蓋	器 2.2 端 15.9	−5.5 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④⅙	ロクロ成形。端部横撫で天井部回転糸切り	底7.6
0809	須恵器 坏蓋	器 3.0 端 14.5	−1.0 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片	ロクロ成形。端部横撫で天井部回転糸切り	
0810	須恵器 坏蓋	器 1.9 鈕 4.1	埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④破片(鈕部)	鈕はボタン状ロクロ成形。鈕部横撫で天井部回転を伴う篦削り調整	磨滅

7区09号住居出土遺物（第400図、PL210・211）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0812	須恵器 高台付坏	器 4.7 口 12.0 底 7.8	+12.0 C	①細砂 ②還元 ③灰10YR-6/1 ④¼	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	04住出土遺物と接合
0814	須恵器 坏	器 〈3.3〉 口 (13.4)	−5.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④⅙	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい 底 (7.2)
0815	須恵器 椀	器 〈5.6〉 口 (13.9)	±0埋土	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	
0817	土師器 坏	器 〈4.0〉 口 (12.7)	−2.0 +2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④⅕(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部横方向底部篦削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0818	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (11.1) 底 (8.0)	+4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味篦削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0819	土師器 小型甕	器 〈4.2〉 口 (11.6)	+1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位横方向撫で	磨滅
0820	平瓦	厚さ 2.0~2.5	埋土	①普通(砂礫少量含む) ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④破片	凸面撫で整形か。側面は面取りを施す	篦書き文字瓦「平」か

7区10号住居出土遺物（第405図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0821	須恵器 高台付椀	器 〈2.2〉 高台径 7.0	±0 +1.0	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④¼(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい 一部炭吸着
0822	土師器 甕	器 〈16.5〉 口 (21.3)	+1.0 −4.0 −5.0 −16.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④⅙(上半部)	口縁部横撫で胴上位横方向下位縦方向篦削り．胴部櫛状工具による撫で	外面胴部炭素吸着
0823	土師器 甕	器 〈5.3〉 口 (15.0)	±0 +1.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	遺構外出土遺物と接合
0824	灰釉陶器 高台付皿	器 〈2.1〉 口 (16.0)	+1.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ整形。体部下位はヘラ削り。施釉方法不明。釉調は透明感のある緑灰色	
0825	須恵器 甕	器 〈10.8〉	±0 +5.0 +10.5	①細砂 ②還元 ③褐灰5YR-6/1 ④破片(口縁部・胴部)	口縁部横撫で外面平行叩き目内面同心円当て目	11・12住出土遺物と接合

7区11号住居出土遺物（第410・411図、PL211）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0829	須恵器 坏	器 3.8 口 (12.4)	−5.0 A	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④¾	口縁部横撫で底部左回転糸切り	墨書「生」 底6.8
0830	須恵器 坏	器 〈2.8〉 口 (12.8)	−0.5 A	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-7/1 ④½	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底 (7.1)
0831	須恵器 坏蓋	器 4.2 端 17.7 鈕 4.0	−0.5 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④完形	鈕はリング状。端部・鈕部横撫で天井部右回転篦削り調整	10住・01溝出土遺物と接合
0832	須恵器 坏蓋	器 4.8 端 16.3	−0.5 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④ほぼ完形	鈕はボタン状。端部・鈕部横撫で天井部右回転篦削り調整	歪みあり鈕4.1
0833	土師器 坏	器 3.2 口 11.9 底 9.5	−11.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	篦記号外面「×」
0834	土師器 坏	器 3.9 口 12.2	−6.0 −7.0 −8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部下位横方向底部篦削り．内面口縁部横撫で撫で調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	内面篦記号「×」
0835	土師器 坏	器 2.9 口 11.8 底 10.3	−5.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨滅外面口縁一部黒斑
0836	土師器 坏	器 3.2 口 12.5	+20.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部下位横方向底部篦削り．内面口縁部横撫で撫で調整	内面篦記号「×」
0837	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (12.9)	−3.0 −8.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0838	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 (13.7)	+15.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④⅙	外面 口縁部横撫で体部横方向篦削り 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨滅著しい
0840	土師器 盤	器 〈4.1〉 口 (16.5)	+0.5 +6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で体部下位横方向底部手持ち篦削り．内面口縁部横撫で	磨滅著しい
0841	土師器 鉢	器 8.8 口 18.7 底 9.5	+3.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④¾	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	
0843	土師器 甕	器 〈8.0〉 口 (21.5)	−1.0 −6.0 −6.5 −7.0B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	内外面一部炭素吸着
0844	土師器 甕	器 〈9.1〉 口 (19.2)	−5.5 −8.0 +20.5C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④⅛(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で調整	磨滅。外面一部黒斑
0845	土師器 甕	器 〈11.0〉 底 (6.1)	+1.0 −2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④⅛(下半部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	外面燻し状 内面磨滅

7区12号住居出土遺物（第418・419・421図、PL212）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0848	須恵器 坏	器 4.1 口 (11.5)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅底 (5.2)
0849	須恵器 坏	器 〈2.5〉 底 5.8	+2.5 +5.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④¼	底部左回転糸切り	
0850	須恵器 坏	器 3.5 口 (11.0) 底 (5.0)	−14.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④¼	口縁部横撫で底部回転糸切り	13住出土遺物と接合
0851	須恵器 坏	器 4.2 口 (12.4)	−32.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底6.0
0852	須恵器 坏	器 4.2 口 (12.0)	+3.0 埋土	①細砂 ②還元 ③外面灰白10YR-7/1内面 橙7.5YR-6/6 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 底6.4
0853	須恵器 坏	器 〈1.7〉 底 6.2	−18.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④¼(底部)	底部左回転糸切り	
0854	須恵器 坏	器 3.6 口 (12.0) 底 (6.0)	+4.5 埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④¼	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい 外面燻し状
0856	須恵器 坏	器 〈3.1〉 口 (12.0)	−4.5 B	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0857	須恵器 坏	器 〈2.9〉 口 (13.0)	−12.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	磨滅
0859	須恵器 坏	器 3.1 口 (13.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④破片(口縁部・底部)	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨滅底 (7.5)
0860	須恵器 坏	器 3.9 口 11.9 底 5.8	+3.0 A	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-6/6 ④完形	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅外面口縁部燻し状
0861	須恵器 坏	器 3.2 口 11.4 底 5.7	+8.5 +22.0 埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい黄2.5Y-6/3 ④⅓	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅外面一部燻し状
0862	須恵器 坏	器 3.6 口 (12.0)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底 (6.7)
0863	須恵器 坏蓋	器 〈2.6〉 口 (16.0)	−4.5 +24.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④¼	天井部回転篦削り調整。端部横撫で	03・09住出土遺物と接合
0864	須恵器 坏蓋	器 〈3.1〉 口 (16.0)	−2.0 +2.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④¼(端部)	天井部右回転篦削り調整。端部・鈕部横撫で	外面端部炭素吸着
0865	須恵器 坏蓋	器 〈3.0〉 口 (16.0)	−4.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④破片(端部)	天井部回転篦削り調整。端部横撫で	磨滅
0866	須恵器 高台付椀	器 3.1 底 8.6	+24.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④¼(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅
0868	土師器 坏	器 3.5 口 12.7 底 (6.7)	−21.5 −27.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	内面一部燻し状
0870	土師器 坏	器 2.9 口 (12.5)	+3.5 −5.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り．内面口縁部横撫で体部撫で調整	内外面一部炭素吸着
0871	土師器 坏	器 3.2 口 (12.0) 底 (7.6)	+8.0 +8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④⅕(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
0872	土師器 坏	器 3.2 口 (11.9) 底 (8.9)	−2.5 −3.0 −5.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④½	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
0873	土師器 坏	器 〈3.2〉 口 11.7 底 7.6	−18.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅓(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
0874	土師器 坏	器 3.3 口 (12.3) 底 (8.7)	−8.5 −13.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④¼	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
0875	土師器 坏	器 3.1 口 12.0 底 9.3	−8.5 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0876	土師器 坏	器 3.7 口 (11.7) 底 (7.9)	−9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④½	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0877	土師器 坏	器 〈2.9〉 口 (12.0) 底 (8.3)	−19.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
0878	土師器 坏	器 2.6 口 (12.0) 底 (8.8)	−12.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位横方向底部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0879	土師器 甕	器 〈19.6〉 口 (21.6)	−13.5 −15.5 −16.0 −18.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙2.5YR-6/4 ④¼(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横、下位縦方向篦削り．内面口縁部横撫で胴部撫で	磨滅
0880	土師器 甕	器 〈24.0〉 口 (21.0)	+2.0 +6.5 −2.0 −4.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④⅙(口縁〜胴下半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横、下位縦方向篦削り．内面口縁部横撫で胴部篦撫で	磨滅著しい外面一部黒斑
0881	土師器 甕	器 〈5.3〉 口 (19.4)	+3.0 −14.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で	内外面一部炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0882	土師器 甕	器 〈9.0〉 口 (20.0)	+2.0 −3.0 −7.5B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	外面一部炭素吸着
0883	土師器 甕	器 〈10.8〉 口 (4.6)	−13.5 −15.5 B	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④¼(下半部)	外面 胴部・底部縦方向篦削り調整 内面 胴部・底部篦撫で調整	外面底部炭素吸着
0884	土師器 甕	器 〈4.0〉 底 4.6	+10.0 −29.0 B	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部篦削り調整	内外面一部炭素吸着
0885	土師器 甕	器 〈3.4〉 底 4.0	+4.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部篦撫で調整	
0888	土師器 台付甕	器 〈4.3〉	−8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(底部)	外面 胴部下半縦方向篦削り。台部横撫で 内面 胴部下半篦撫で	外面燻し状
0889	土師器 台付甕	器 〈2.5〉	−1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部下半縦方向篦削り。台部横撫で 内面 胴部下半篦撫で	外面燻し状
0890	土師器 台付甕	器 〈2.0〉 台径 (10.0)	−27.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(裾部)	外面 台・端部横撫で	
0891	土師器 甕	器 〈4.7〉 口 (11.2)	+19.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴部上位篦撫で	磨滅
1385	砥石	長さ 10.5 厚さ 3.7	+1.0	④½石材雲母石英片岩重さ475g	4面使用。上部欠損。広側面U字状磨滅溝あり	幅7.8
1416	円形 叩き石	長さ 14.0 厚さ 3.6	+5.0	④完形石材雲母石英片岩重さ1500g	隅丸方形を呈する。打痕不明瞭	幅14.6
1417	円形 叩き石	長さ 18.7 厚さ 5.1	+4.5	④完形石材砂岩重さ2320g	楕円形を呈する。打痕不明瞭	幅16.6
1658	打製石斧	長さ 14.7 厚さ 1.2	+7.5	④完形石材黒色片岩重さ315g	片側縁部のみエグリ入る。両端部丸味持つ	幅1.7

7区13号住居出土遺物（第425・426図、PL213）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0722	須恵器 椀	器 〈4.2〉 口 (14.0)	−6.0 −10.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④¼	ロクロ成形。口縁部横撫で	磨滅著しい 一部炭吸着
0892	須恵器 高台付皿	器 〈1.9〉 口 (12.5)	+8.0 +22.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5Y-7/4 ④⅓	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で	磨滅著しい
0893	須恵器 坏	器 3.1 口 12.9 底 5.9	−1.0 +14.0 C	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④ほぼ完形	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
0894	須恵器 高台付椀	器 3.5 底 7.0	+8.0 +26.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④⅓(底部)	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0895	須恵器 高台付椀	器 〈3.5〉 高台径 (7.4)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④⅓(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0899	須恵器 高台付椀	器 〈1.8〉 底 7.2	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④¼(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0901	須恵器 坏	器 〈2.5〉 底 6.2	+24.0 C	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④⅕(底部)	底部左回転糸切り	
0902	須恵器 坏	器 〈2.1〉 底 6.0	+8.5 C	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-5/1 ④½(底部)	底部左回転糸切り	
0903	須恵器 坏	器 〈1.7〉 底 6.0	+7.0 C	①細砂 ②還元 ③灰褐7.5YR-6/2 ④⅕(底部)	底部左回転糸切り	
0904	須恵器 高台付椀	器 〈5.5〉 口 (14.0)	+16.0 C	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	台部欠損後も使用か
0907	須恵器 甕	器 〈7.8〉 口 (24.0)	+8.5 +20.0 C	①細砂 ②還元 ③明褐灰7.5YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	磨滅
0908	須恵器 甕	器 〈14.6〉 底 (15.0)	+0.5 +3.0 C	①細砂 ②還元 ③断面にぶい褐7.5 YR-5/3 ④破片(胴下部)	内外面篦撫で調整	01号溝出土遺物と接合
0910	土師器 坏	器 6.2 口 17.1	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④½	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
0911	土師器 土錘	器 3.6 穴径 0.4	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/6 ④完形重さ1.5g	外面 撫で調整	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0912	土師器 甕	器 〈24.2〉 口 19.3	−3.0 +4.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐2.5YR-5/4 ④¾(口縁〜胴下部)	外面 口縁部横撫で胴上位横、下位縦方向箆削り．内面口縁部横撫で胴部撫で	
0913	土師器 甕	器 〈7.3〉 口 (18.2)	−2.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	磨滅著しい
0914	土師器 甕	器 〈13.0〉 口 (18.0)	+4.0 +6.5 −11.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部上位箆削り調整 内面 口縁部横撫で胴部上位箆撫で調整	内面磨滅
0915	土師器 甕	器 〈6.3〉 口 (20.0)	+1.0 −6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴部上位箆撫で	磨滅
0916	土師器 小型甕	器 〈5.2〉 口 (12.0)	−10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	磨滅著しい
0917	土師器 台付甕	器 4.7 底 10.4	−14.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(台部)	外面 台部横撫で 内面 台部横撫で撫で調整	
0918	土師器 台付甕	器 〈4.5〉 台径 (9.0)	+16.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(台部)	外面 台部横撫で 内面 台部横撫で撫で調整	磨滅
1386	砥石	長さ 15.2 厚さ 6.5	+1.5	④ほぼ完形石材変玄武岩重さ1280g	磨面不明瞭。埋設により片面変色	幅8.5
1390	縄文 深鉢	厚さ 0.8	埋土	①粗砂 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(胴部)	棒状貼布。平行沈線を施す	縄文前期
1639	釘	長さ (6.8) 厚さ 0.4	+25.0	茎端を欠失する。しっかりとした厚手の造りである。茎部に木質の遺存は認められない		幅0.4

7区14号住居出土遺物（第431図、PL213）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0919	土師器 坏	器 3.4 口 12.1	−1.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	12住出土遺物と接合
0920	土師器 坏	器 3.4 口 12.5	−4.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-5/4 ④½	外面 口縁部横撫で底部手持ち箆削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0921	土師器 坏	器 〈3.3〉 口 (14.7)	+1.5 −10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部箆削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨滅
0923	土師器 小型甕	器 〈4.5〉 口 (11.8)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向箆削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向箆撫で	磨滅
0924	須恵器 高台付椀	器 〈1.8〉 底 6.9	埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④¼(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 一部炭吸着
0925	須恵器 甕	器 〈5.8〉	+5.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後撫で調整 内面 同心円当て目	
1387	軽石	長さ 9.8 厚さ 5.2	+5.0	④ほぼ完形石材角閃石安山岩重さ240g	凹石。両面各1孔あり。両面磨面あり	幅8.4

7区15号住居出土遺物（第436図、PL213）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0927	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 12.7	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④⅓	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0928	須恵器 高台付椀	器 〈3.0〉 底 (3.3)	+6.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい 炭素吸着
0929	須恵器 高台付椀	器 〈4.6〉 口 (10.2)	−5.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	内外面炭素吸着
0930	灰釉陶器 高台付坏	器 4.4 口 (14.0) 底 (8.0)	+4.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④⅙	ロクロ整形。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。釉調は不透明な灰色。	大原2号窯式期。重ね焼き痕あり
0931	灰釉陶器 坏	器 〈2.9〉 口 (13.0)	+7.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ整形。施釉方法は漬け掛け。釉調は不透明な灰色	
0932	灰釉陶器 高台付坏	器 〈2.8〉 底 (7.0)	+5.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(底部)	ロクロ整形。高台は貼付。体部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け	
0933	羽釜	器 〈6.7〉 口 (18.0)	+10.0 C	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙10YR-8/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で鍔の形状はCタイプ口縁部はDタイプ内外面箆による横撫で	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0934	羽釜か	器 〈8.1〉 底 (7.0)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙10YR-8/3 ④1/6(下半部)	外面 縦方向篦削り内面篦撫で底部篦削り調整	磨滅

7区16号住居出土遺物（第441図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0826	土師器 甕	器 〈6.7〉 口 (10.4)	+1.0 +1.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	磨滅
0827	土師器 甕	器 〈1.2〉 底 (4.2)	+3.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 胴部・底部篦撫で調整	磨滅
0828	須恵器 高台付椀	器 〈2.1〉 底 (7.6)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい

7区18号住居出土遺物（第446図）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0926	須恵器 高台付椀	器 〈5.1〉 口 (13.9)	+2.0 −3.0 B	①粗砂 ②還元 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片(口縁部・底部)	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で。高台欠損後も使用	内面燻し状

7区19号住居出土遺物（第451・452図、PL213・214）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0937	羽釜	器 〈10.2〉 口 (20.0)	−1.5 −2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④1/4(上半部)	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁部はDタイプ内外面撫で調整	磨滅著しい外面一部黒斑
0938	羽釜	器 〈20.0〉 口 (19.0)	±0 +1.0 −0.5 +4.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④1/3(口縁〜胴下部)	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁はBタイプ外面上半撫で下半篦削り	内外面一部炭素吸着
0939	羽釜	器 〈15.0〉 口 (20.0)	+1.0 +1.5 −5.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④1/6(上半部)	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁部はDタイプ内外面撫で調整	磨滅
0940	羽釜	器 〈10.0〉 口 (21.6)	±0 −0.5 +5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁部はDタイプ内外面撫で調整	内面磨滅。炭素吸着
0941	羽釜	器 〈9.5〉 口 (19.1)	+1.0 −1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁部はDタイプ内外面撫で調整	内面磨滅
0942	羽釜	器 〈7.9〉 口 (21.6)	+7.0 +16.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で鍔の形状はCタイプ口縁部はBタイプ内外面撫で調整	外面燻し状 内面磨滅
0943	羽釜	器 12.2 底 7.4	−0.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④1/6(上半部)	外面 下半部縦方向底部篦削り調整内面撫で調整	溝出土遺物と接合
0944	羽釜	器 〈6.0〉 底 (9.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐2.5 YR-5/3 ④破片(底部)	外面 下半部縦方向底部篦削り調整内面撫で調整	
0945	羽釜	器 〈3.3〉 底 (9.0)	+5.0 C	①粗砂 ②酸化 ③灰褐5YR-6/2 ④破片(底部)	外面 下半部縦方向底部篦削り調整内面撫で調整	
0947	羽釜	器 〈4.9〉 底 (8.9)	−12.0 −19.0 B	①粗砂 ②酸化 ③淡黄2.5Y-8/3 ④破片(底部)	外面 下半部底部篦削り調整内面撫で調整	磨滅著しい
0948	須恵器 坏	器 3.8 口 11.2	−11.0 A	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④完形	口縁部横撫で底部左回転糸切り	内面煤付着
0950	須恵器 甕	長さ 7.2 厚さ 0.9	+24.0 +29.5 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
0951	灰釉陶器 高台付坏	器 〈3.3〉 口 (8.9)	+17.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-8/ ④破片(口縁部)	ロクロ整形。施釉方法不明。釉調は外面が不透明な灰色、内面は緑灰色	重ね焼き痕あり
0952	軒丸	長さ (12.5) 厚さ 1.3	−10.0	①やや細粒 ②酸化 ③にぶい黄橙10YR-7/4 ④破片	凸面は篦削り整形。側面は面取りを1面施す	
0953	平瓦	長さ (12.1) 厚さ 1.7	−2.0 −20.0 +25.5	①普通 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は篦撫で整形。側面は面取りを3面施す	
0954	丸瓦	長さ (7.9) 厚さ 1.1	−2.5 −3.0	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片	凸面は撫で整形。側面は面取りを3面施す	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0955	丸瓦	長さ (11.7) 厚さ 1.7	−9.0 −9.5 −12.0	①細粒 ②酸化 ③灰褐5YR-6/2 ④破片	凸面は撫で整形	
0956	瓦	長さ (6.0) 厚さ 2.0	埋土	①やや粗粒(砂礫少量含む) ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は撫で整形。側面・端面は面取りをそれぞれ1面施す	種別は不明
0957	丸瓦か	長さ 〈8.7〉 厚さ 0.8	−1.5埋土	①やや粗粒(砂礫含む) ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は篦削り整形。端面は面取りを1面施す	
0958	瓦	長さ 〈5.3〉 厚さ 1.2	埋土	①普通 ②半還元 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片	凸面は撫で整形	種別は不明
1371	丸瓦	長さ 〈7.0〉 厚さ 1.4	埋土	①やや細粒 ②酸化 ③にぶい黄橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は撫で整形。側面・端面は面取りをそれぞれ1面施す	
1640	鉄滓	縦 2.6 横 3.8	+0.5			厚さ1.6

7区20号住居出土遺物（第456図、PL214）

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0959	土師器 坏	器 〈2.5〉 口 (12.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち篦削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨滅著しい
0960	須恵器 甕	器 〈4.4〉 口 (12.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	

7区溝出土遺物（第465・466図、PL214〜216）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溝	0977	須恵器 坏	器 4.9 口 12.2	①細砂 ②還元 ③断面灰白10YR-8/2 ④¼	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅。外面爛し状。底6.2
01号溝	0980	須恵器 坏	器 〈3.3〉 口 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	外面黒斑。墨書「☆」
01号溝	0981	須恵器 坏蓋	器 〈3.6〉	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④⅙(端部)	天井部右回転篦削り端部・鈕部横撫で	磨滅著しい
01号溝	1023	須恵器 坏	器 〈1.8〉 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③断面浅黄橙7.5 YR-8/4 ④破片	ロクロ成形。底部回転糸切り	内面底部墨書「☆」
01号溝	1024	須恵器 甕	長さ 7.5 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
01号溝	1025	須恵器 坏蓋	器 〈1.7〉 鈕 3.4	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(鈕部)	鈕はボタン状ロクロ成形。鈕部横撫で天井部回転糸切り後右回転篦削り調整	
01号溝	1392	縄文 深鉢	厚さ 1.8	①粗砂 ②普通 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(胴部)	棒状貼布。綾杉状平行沈線施す	縄文前期
01号溝	1403	縄文 深鉢	厚さ 1.2	①粗砂 ②普通 ③にぶい黄橙10YR-6/4 ④破片(胴部)	刺突文	縄文中期
02号溝	0982	須恵器 坏	器 〈2.3〉 底 7.4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④¼(底部)	底部手持ち篦削り調整	外面底部墨書
02号溝	0983	須恵器 坏	器 3.4 底 5.7	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5Y-3/2 ④½	ロクロ成形。底部左回転糸切り	内外面炭素吸着
02号溝	0985	須恵器 甕	器 〈5.9〉	①細砂 ②還元 ③にぶい褐7.5YR-6/3 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後撫で調整 内面 同心円当て目	
03号溝	0961	須恵器 高台付椀	器 〈5.4〉 口 (15.0)	①細砂 ②還元 ③断面7.5YR-8/2 ④⅕(口縁部)	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で	磨滅。外面炭素吸着
03号溝	0962	須恵器 高台付椀	器 〈3.9〉 高台径 (9.2)	①粗砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④¼(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	
03号溝	0966	土師器 台付甕	器 〈4.5〉 台径 (10.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(台部)	外面 台部横撫で 内面 胴部下半篦撫で調整台部横撫で	
03号溝	0968	平瓦か	長さ 〈3.7〉 厚さ 1.1	①細砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/6 ④破片	凸面は撫で整形	
03号溝	0969	須恵器 甕	長さ 〈11.2〉 厚さ 1.3	①細砂 ②還元 ③断面灰白7.5 YR-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行格子状叩き目 内面 同心円当て目	
03号溝	0970	須恵器 甕	長さ 〈8.4〉 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
03号溝	0971	須恵器 甕	器 〈7.2〉 底 (16.0)	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片(底部)	外面 平行叩き目の後撫で調整 内面 撫で調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
03号溝	0973	須恵器 甕	長さ 〈7.8〉 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-5/1 ④破片(口縁部)	内外面横撫で整形。外面口縁部沈線2本波状文施す	
03号溝	0975	灰釉陶器 台付壺	器 〈6.5〉	①細砂 ②還元 ③断面灰白7.5 YR-8/2 ④破片(口縁部)	ロクロ整形。施釉方法不明。釉調はやや透明感のある緑灰色	口縁部内外面肩部に釉
03号溝	1642	鉄製品 不明	長さ 19.5 厚さ 0.4	用途不明の金具。L字状に屈曲し、共に鋲を打ち込んでおりなんらかの部材に取りつけた縁金具の可能性がある		幅3.0
04号溝	0986	内耳鍋	器 〈9.9〉 口 (28.6)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で内外面撫で調整。内面、口縁部に把手付着	内外面燻し状
04号溝	0988	平瓦	長さ 〈9.3〉 厚さ 1.2	①普通 ②還元 ③黄灰2.5Y-7/2 ④破片	凸面は撫で整形。端面は面取りが施されているが面の数は不明	
04号溝	1407	石臼	径 (33.9) 厚 9.9	④¼(上臼) 石材粗粒安山岩重さ1900g	裏面磨滅。臼目なし	
04号溝	1408	石臼	径 (34.0) 厚 7.8	④½(下臼) 石材牛伏砂岩重さ5300g	全体にザラついた石材。臼目等磨耗により消失。芯受孔径(3.2cm)	
04号溝	1409	石臼	径 (30.0) 厚 8.5	④⅓(上臼) 石材牛伏砂岩重さ2600g	表裏面剝離、欠損。臼目なし	
05号溝	0990	須恵器 高台付坏	器 〈4.3〉 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④¼	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい
05号溝	0991	須恵器 鉢	器 〈6.3〉 口 (24.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片	ロクロ成形。口縁部横撫で	
05号溝	0992	土師器 盤	器 〈4.4〉 口 (22.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
07号溝	0976	須恵器 高台付椀	器 〈4.1〉 底 (9.0)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。高台部横撫で	内面黒色処理。篦磨き

7区粘土溜り出土遺物（第474図、ＰＬ215）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号粘土溜り	1019	須恵器 高台付椀	器 7.2 底 8.2	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-4/1 ④½(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	β13-90グリッド
01号粘土溜り	1020	土師器 甕	器 5.1 口 21.2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篦削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向篦撫で	β13-90グリッド磨滅著しい
01号粘土溜り	1021	土師器 甕	器 3.9 底 4.4	①粗砂 ②酸化 ③灰褐5YR-5/2 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 撫で調整	β13-90グリッド内外面燻し状

7区土坑出土遺物（第474図、ＰＬ216）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
21号土坑	1006	羽釜	器 〈6.4〉 口 (18.0)	①粗砂 ②還元気味 ③明黄褐10YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁部はAタイプ内外面撫で調整	外面炭素吸着
28号土坑	1007	灰釉陶器 高台付坏	器 〈1.1〉 底 (3.5)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(底部)	ロクロ整形。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ	
28号土坑	1008	須恵器 高台付椀	器 〈7.5〉 口 (16.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④¼(口縁部・底部)	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	高台径7.6
28号土坑	1009	羽釜	器 〈4.9〉 底 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③明黄褐10YR-7/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部篦削り調整 内面 撫で調整	磨滅
55号土坑	1010	須恵器 坏蓋	器 5.2 端部 (17.9)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④½	鈕はボタン状天井部回転糸切り後右回転篦削り調整。端部・鈕部横撫で	鈕4.3
55号土坑	1011	内耳鍋	器 〈11.3〉 口 (28.0)	①☆☆ ②☆☆ ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で内外面篦撫で調整	外面燻し状
65号土坑	1012	瓦	厚さ 0.8	①やや細粒 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片	凸面は撫で整形	種別は不明
65号土坑	1013	須恵器 坏	器 〈1.0〉 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③にぶい褐7.5YR-3/6 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
78号土坑	1014	須恵器 高台付坏	器 〈4.0〉 口 (11.4)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/3 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で。高台欠損後も使用か	内面炭化物付着
109号土坑	1016	須恵器 高台付椀	器 〈1.5〉 底 (8.5)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	
123号土坑	1017	羽釜	器 〈5.8〉 口 (21.0)	①粗砂 ②還元気味 ③淡黄5Y-8/3 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で鍔の形状はAタイプ口縁部はDタイプ内外面撫で調整	

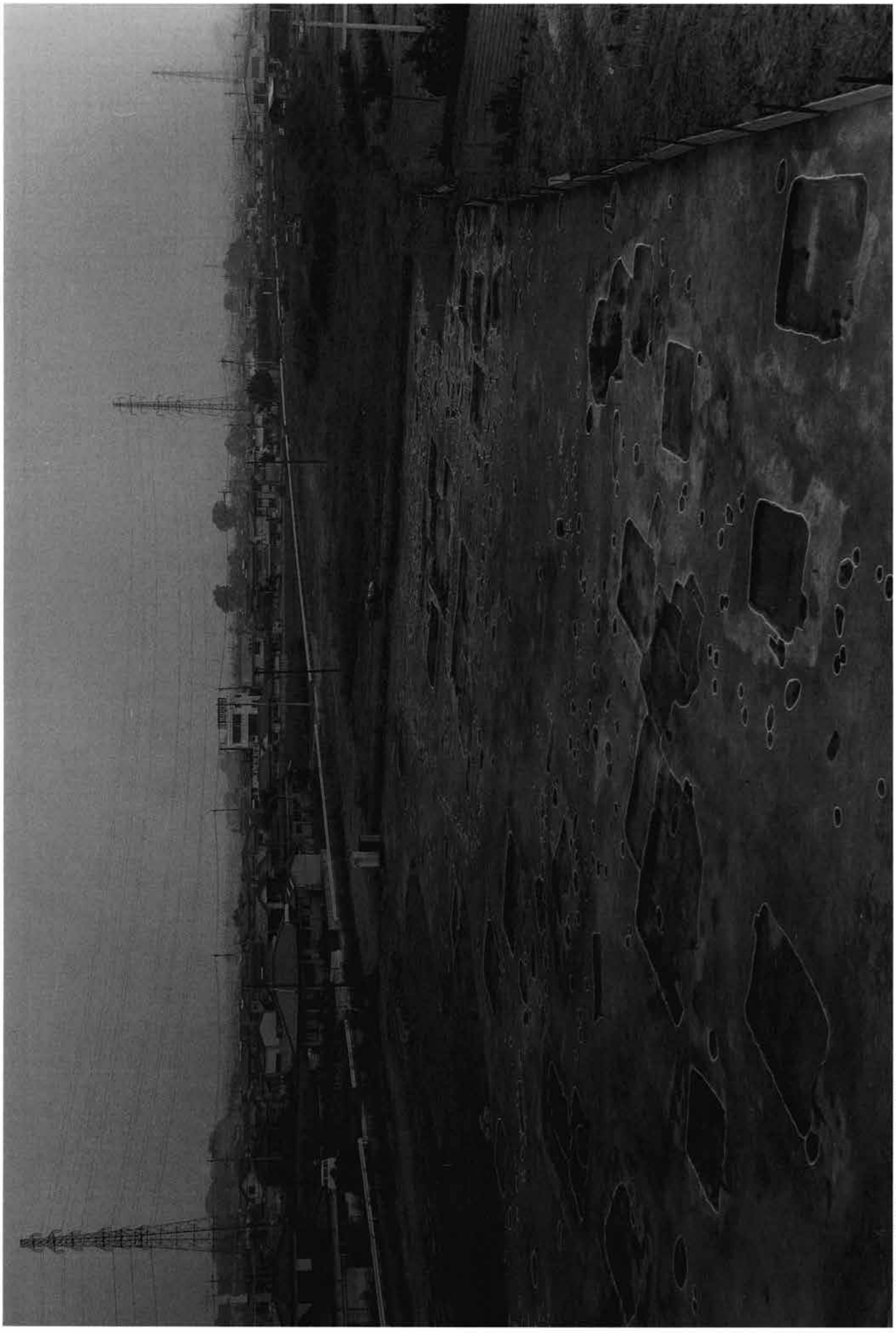
7区グリッド出土遺物（第476図、PL215・216）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
D13−83 グリッド	1022	須恵器 甕	器 4.1 口 14.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整。口縁部横撫で	外面肩部に自然釉付着
α13−98 グリッド	1393	縄文 深鉢	厚さ 1.5	①砂粒 ②普通 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片	棒状貼布。横方向平行沈線文施す	縄文前期2個体
α13−98 グリッド	1395	縄文 深鉢	厚さ 1.8	①砂粒 ②普通 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
α13−98 グリッド	1396	縄文 深鉢	厚さ 1.5	①砂粒 ②普通 ③橙5YR-6/6 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
α13−98 グリッド	1397	縄文 深鉢	厚さ 1.8	①粗砂 ②普通 ③橙7.5YR-6/6 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
α13−98 グリッド	1398	縄文 深鉢	厚さ 2.1	①砂粒 ②普通 ③にぶい赤褐5YR-5/4 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
α13−98 グリッド	1399	縄文 深鉢	厚さ 2.7	①☆☆ ②☆☆ ③橙5YR-6/6 ④☆☆	2本の隆帯平行	縄文中期
α14−17 グリッド	1402	縄文 深鉢	厚さ 2.1	①砂粒 ②良好 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片	外面頸部隆帯に平行の掻きやぶりあり内外面、磨き施す	縄文中期
α14−18 グリッド	1389	縄文 深鉢	厚さ 2.1	①砂粒 ②やや軟 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④破片	ボタン状貼布。平行沈線文施す	縄文前期
α14−18 グリッド	1391	縄文 深鉢	厚さ 1.2	①砂粒 ②普通 ③橙7.5YR-6/6 ④破片	棒状貼布。平行沈線文施す	縄文前期
D14−25 グリッド	1318	土師器 鉢	器 〈7.2〉 口 19.6	①細砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④½(口縁部)	口縁部横撫で底部平底気味体部横方向底部篦削り．内面、撫で調整後篦磨き	内面一部黒斑
α14−49 グリッド	1030	瓦	厚さ 1.7	①やや細粒 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片	凸面撫で整形	種別は不明

7区トレンチ・表採出土遺物（第476・477図、PL215・216）

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02トレンチ	0994	須恵器 甕	長さ 8.4 厚さ 2.4	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02トレンチ	0995	須恵器 甕	長さ 6.6 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫での後櫛状工具による波状文を施す	
02トレンチ	0996	須恵器 高台付椀	器 〈2.7〉 高台径 6.9	①細砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④¼(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい
02トレンチ	0997	丸瓦	長さ 〈13.1〉 厚さ 2.8	①普通(砂少量含む) ②還元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④破片	凸面は篦撫で。端面は面取り1面施す	
04トレンチ	0999	須恵器 甕	器 〈8.7〉 口 19.2	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ調整。櫛状工具による波状文。外面平行叩き目、内面同心円当て目	
07トレンチ	1001	須恵器 甕	長さ 11.1 厚さ 1.4	①細砂 ②還元 ③灰白N-8/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
08トレンチ	1002	土師器 坏	器 2.9 口 11.9 底 7.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④⅓	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨滅
08トレンチ	1003	須恵器 高台付椀	器 5.7 口 14.8	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④½	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 底6.4
Ⅲ−08・09トレンチ	0993	土師器 坏	器 3.6 口 12.4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持ち篦削り．内面口縁部横撫で	(内大溝)
Ⅲ−08・09トレンチ	1004	灰釉陶器 高台付坏	器 〈3.4〉 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で	漬け掛け (内大溝)
Ⅲ−08・09トレンチ	1005	丸瓦	長さ 〈13.9〉 厚さ 1.6	①やや粗粒(砂含む) ②酸化③にぶい橙5YR-6/4 ④破片	凸面は篦撫でか。側面は2面端部は1面の面取りを施す	形状は行基 (内大溝)
表採	1027	須恵器 高台付椀	器 4.5 口 12.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5YR-7/1 ④完形	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 底5.6
表採	1028	須恵器 坏	器 4.3 口 12.8	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④⅓	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底6.8
表採	1029	須恵器 坏	器 3.4 口 12.3	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	
表採	1394	縄文 深鉢	厚さ 1.2	①☆☆ ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④☆☆	半載竹管による平行沈線によって菱形文を施す	縄文前期

写　真　図　版



1．篠塚狐穴地区（４Ａ１区）全景　東から

1．篠塚狐穴地区（4AI区）全景　東から

2．篠塚狐穴地区（4AI区）全景　東から

1・４ＡⅡ区01号住居全景　北から

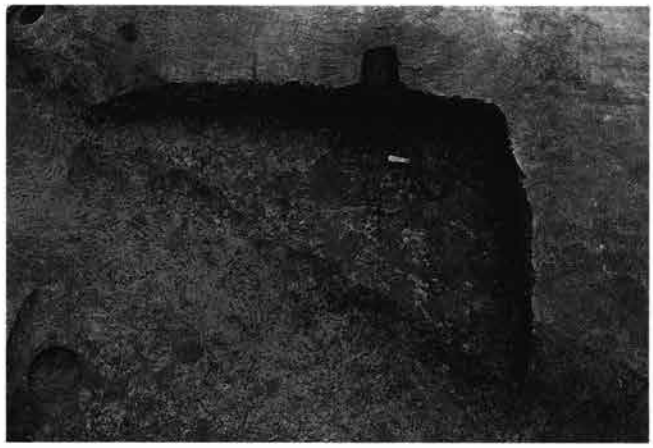
2・４ＡⅡ区02号住居竈　南から

3・４ＡⅡ区01号住居竈　北から

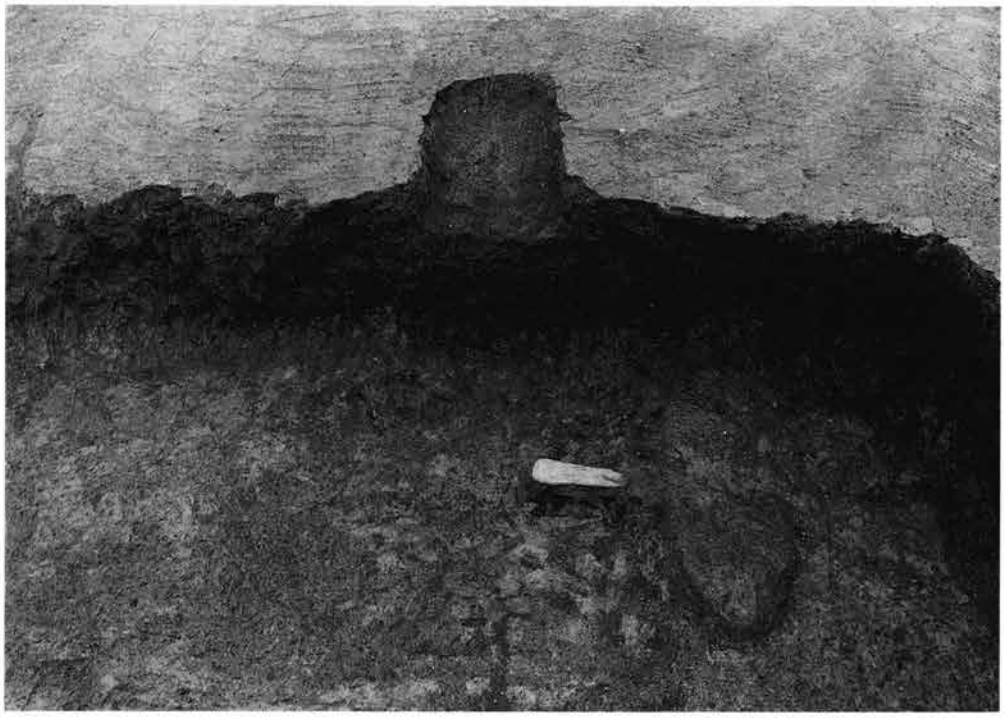
4・４ＡⅡ区02号住居全景　南から

1・４ＡⅡ区03号住居全景　南東から

2・４ＡⅡ区03号住居遺物出土状態　南西から



3・４ＡⅡ区04号住居全景　西から



4・４ＡⅡ区04号住居竈　西から

1・４ＡⅡ区06号住居全景　南西から

2・４ＡⅡ区07号住居竈　南西から

3・４ＡⅡ区06号住居竈　南西から

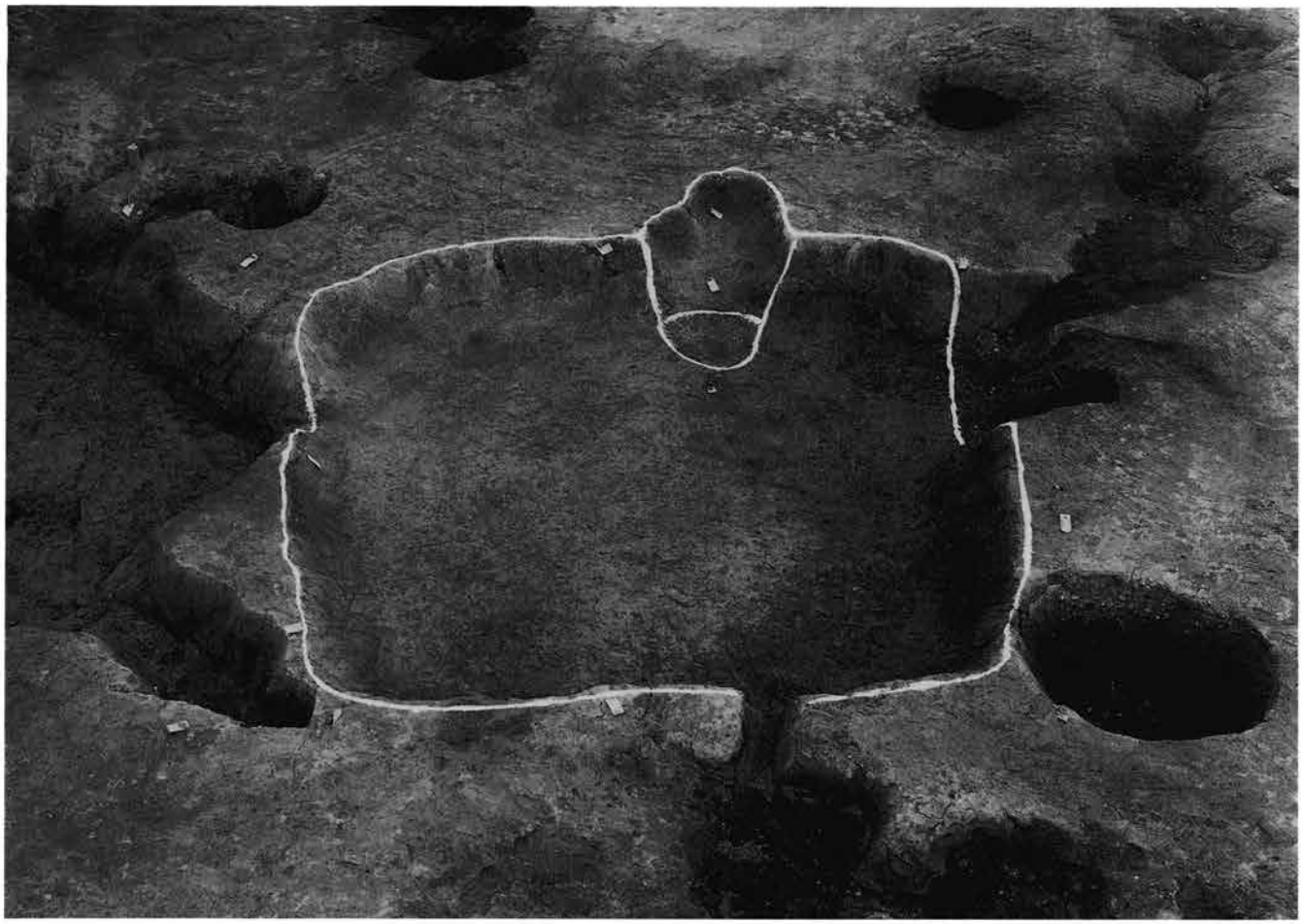
4・４ＡⅡ区07号住居　南西から

1・４ＡⅡ区08号住居全景　西から

2・４ＡⅡ区09号住居全景　西から

1・４ＡＩ区10号住居全景　西から

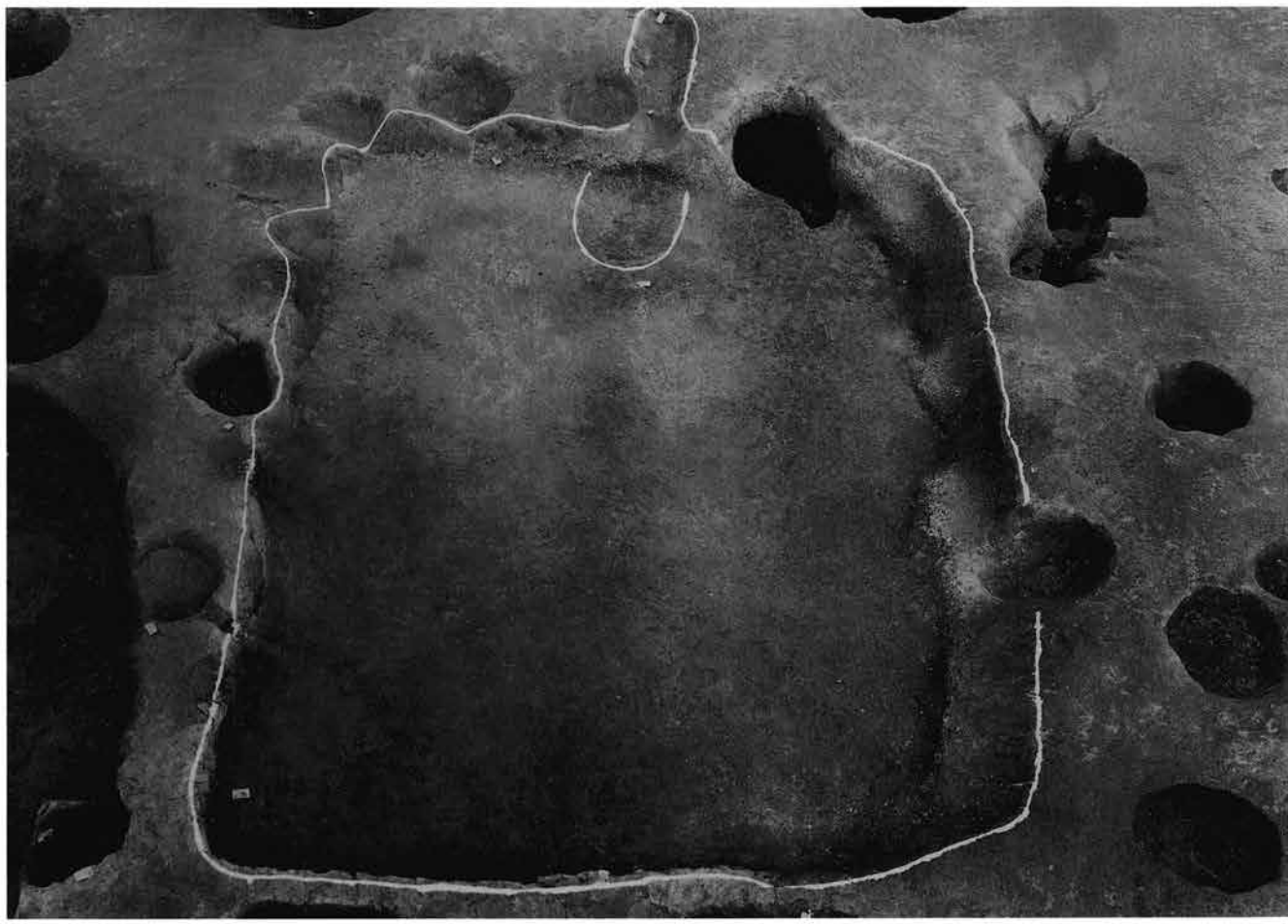
2・４ＡＩ区11号住居全景　西から



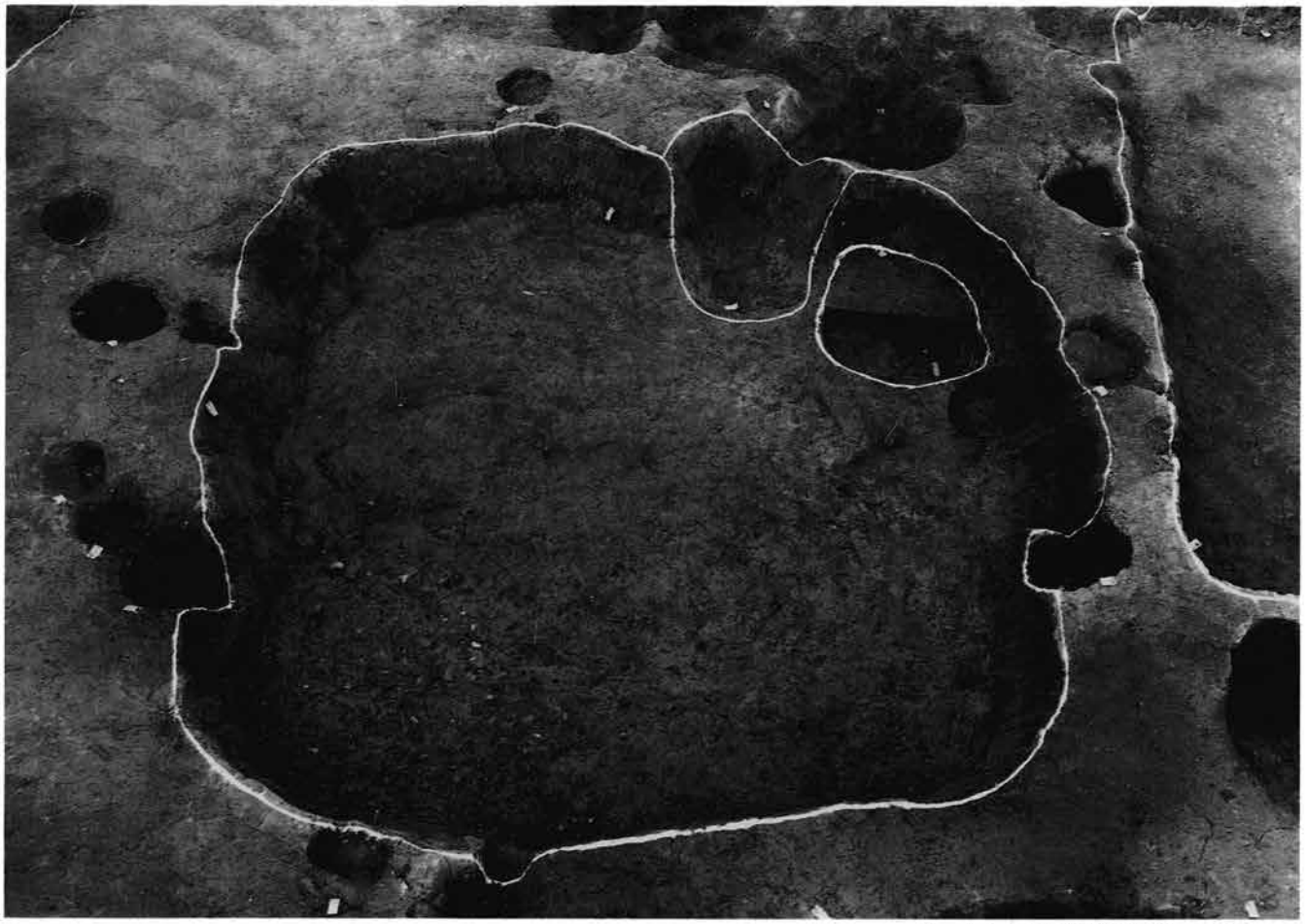
1・４ＡＩ区12号住居全景　南西から

2・４ＡＩ区13号住居全景　南西から

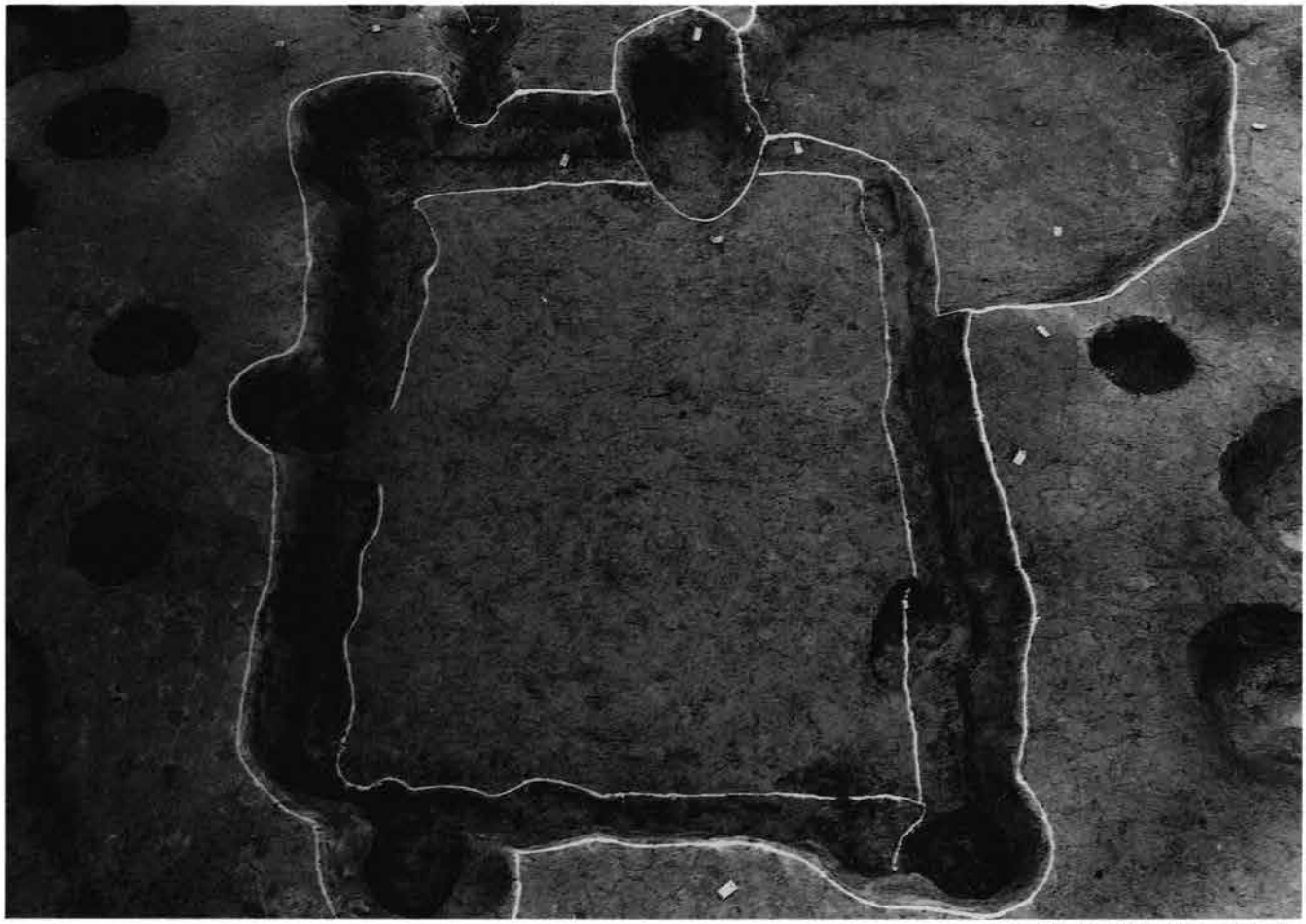
1・４ＡＩ区14号住居全景　西から



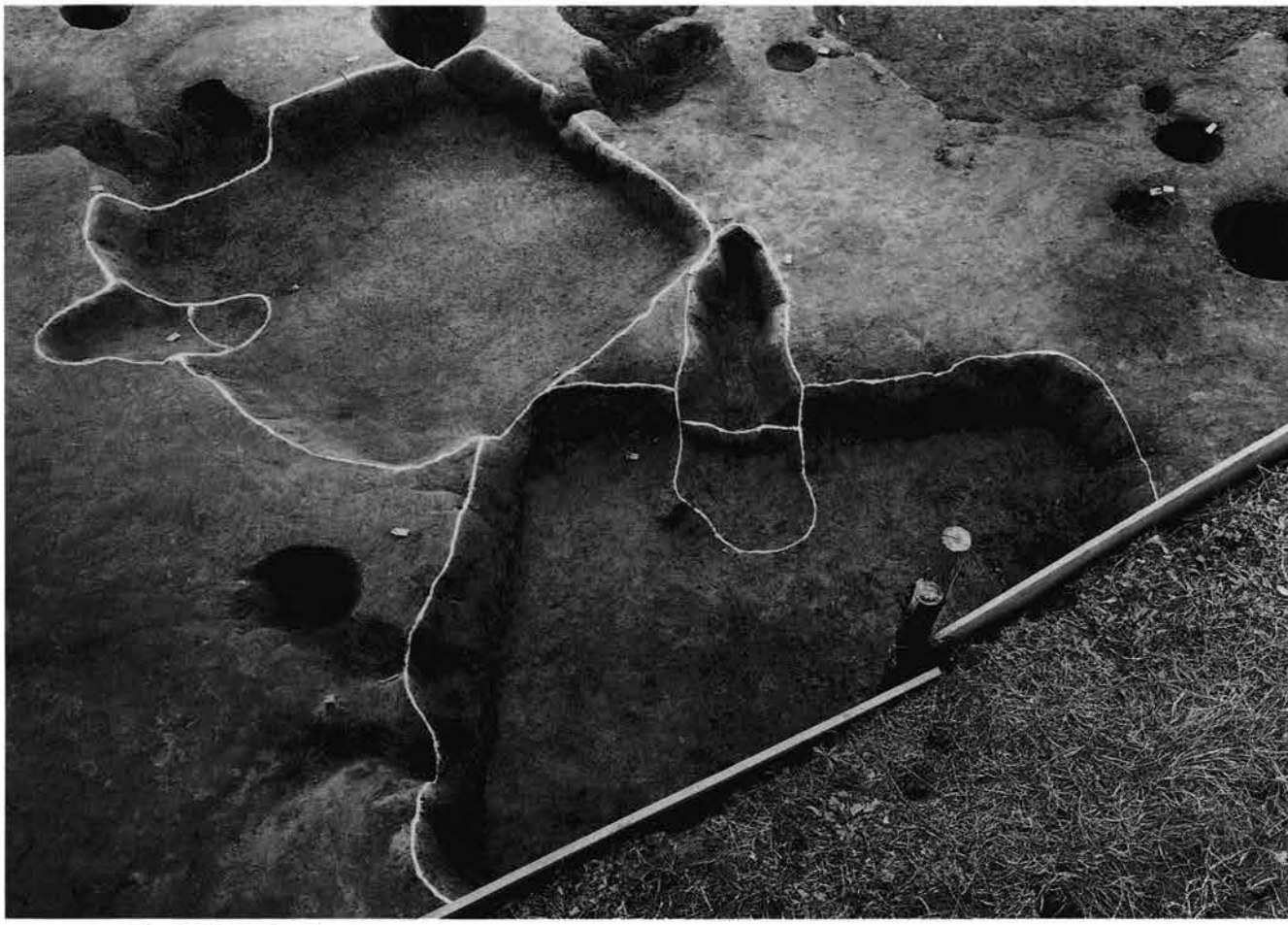
2・４ＡＩ区15号住居全景　南西から



１・４ＡＩ区16号住居全景　南西から



２・４ＡＩ区17号住居全景　西から



1・４ＡＩ区18号住居全景　北から

2・４ＡＩ区19号住居全景　南西から

1・４ＡⅠ区21号住居全景　南西から

2・４ＡⅠ区22号住居全景　西から

1・４ＡＩ区23・25号住居全景　南西から

2・４ＡＩ区24号住居竈遺物出土状態　西から

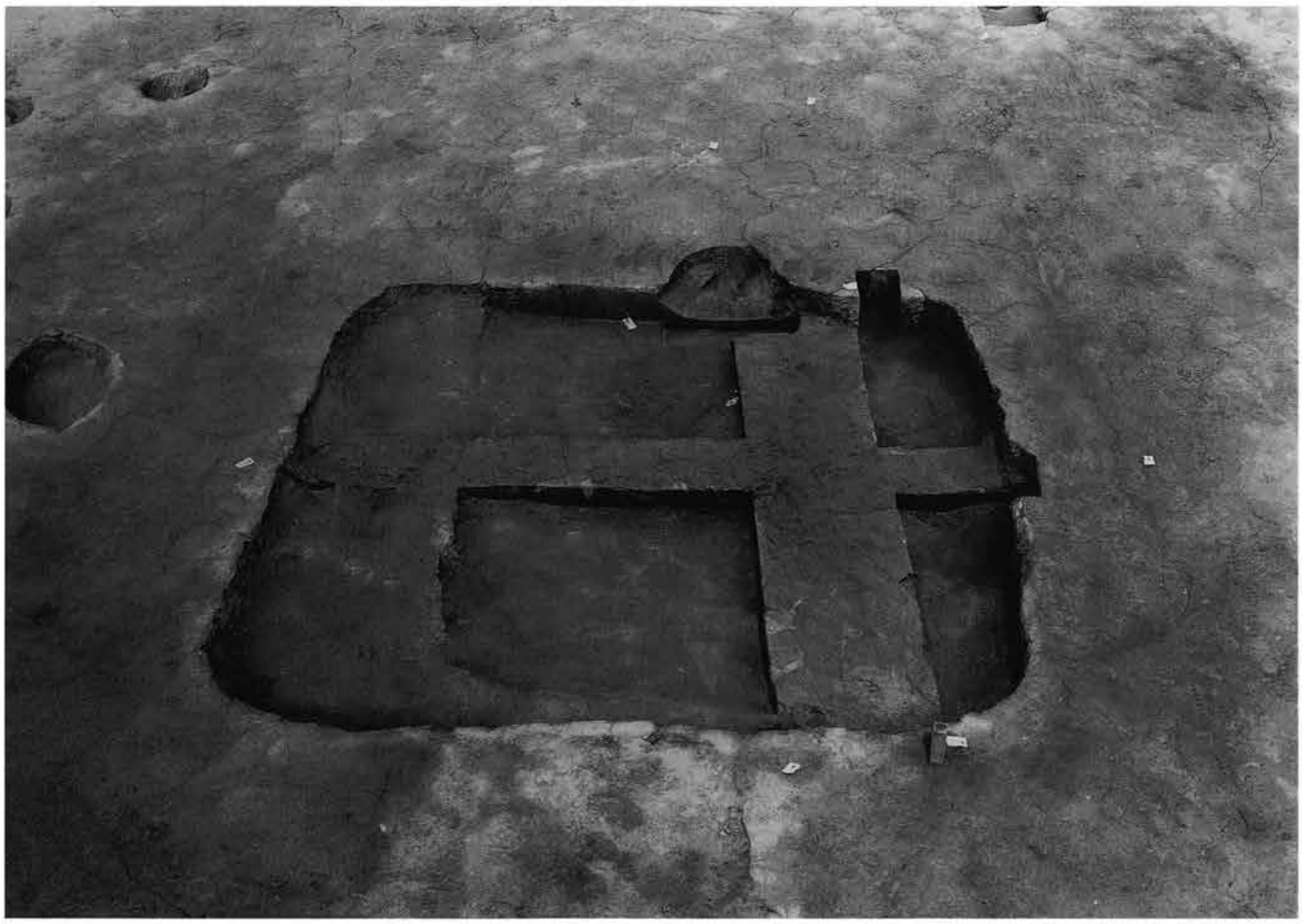
3・４ＡＩ区24号住居全景　西から

1・４ＡⅠ区26号住居全景　西から

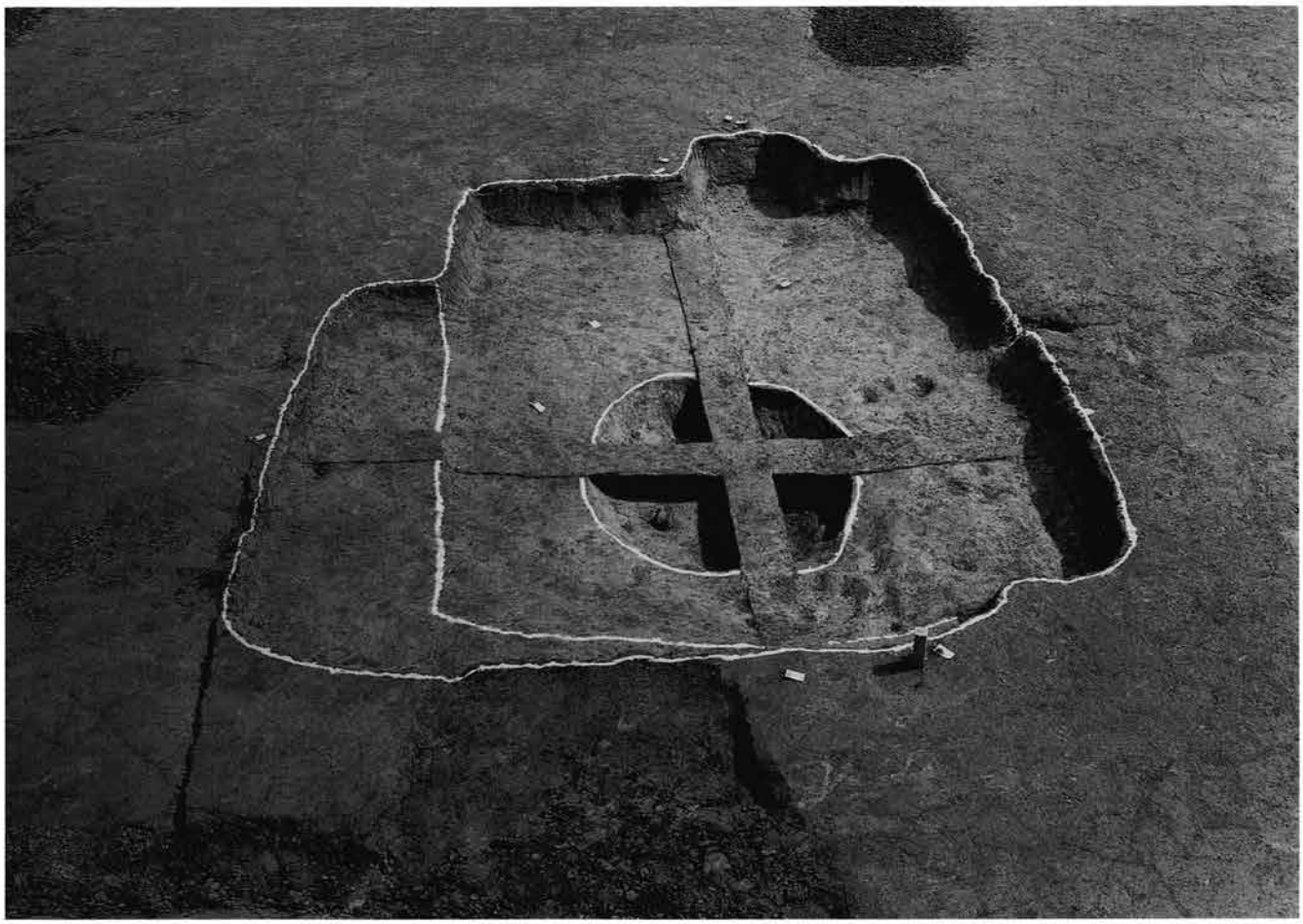
2・４ＡⅠ区27号住居全景　南西から

1・４ＡＩ区28号住居全景　西から

2・４ＡＩ区30号住居住居全景　南西から



1・４ＡⅠ区32号住居全景　西から

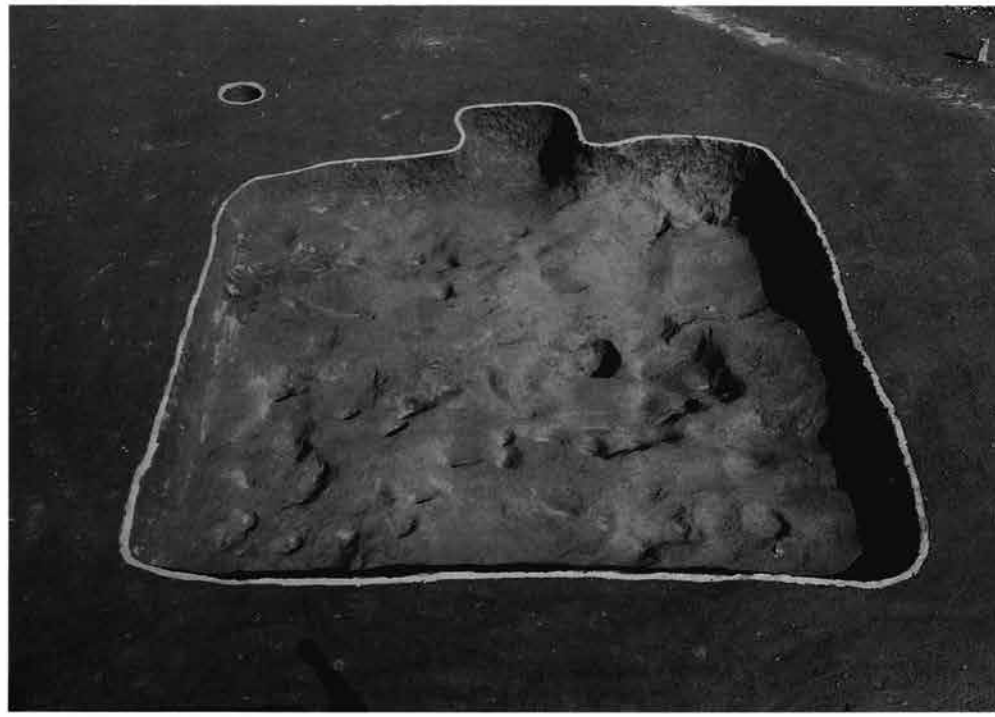


2・４ＡⅠ区33号住居全景　西から

1・４ＡＩ区34号住居全景　西から

2・４ＡＩ区34号住居遺物出土状態　北西から

3・４ＡＩ区34号住居貯蔵穴遺物出土状態



4・４ＡＩ区34号住居堀り方全景　西から

1・４ＡＩ区35号住居全景　南西から

2・４ＡＩ区36号住居全景　南西から

1・４ＡＩ区37号住居全景　南西から

2・４ＡＩ区38号住居全景　西から

1・４ＡⅠ区39号住居全景　南西から

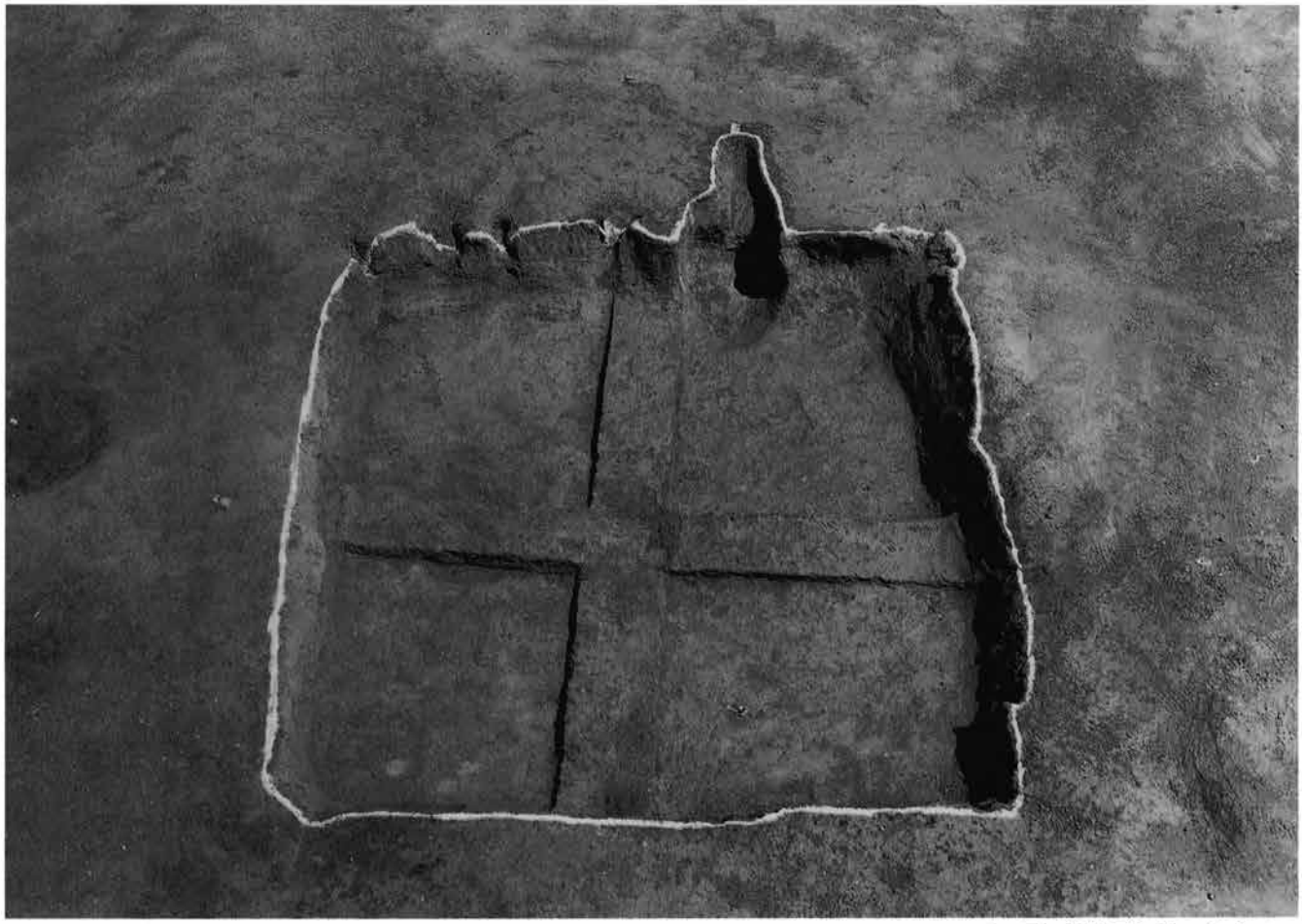
2・４ＡⅠ区39号住居竈　南西から

3・４ＡⅠ区40号住居竈遺物出土状態

4・４ＡⅠ区40号住居全景　南東から

1・４ＡＩ区41号住居・03号竪穴状遺構全景　南西から

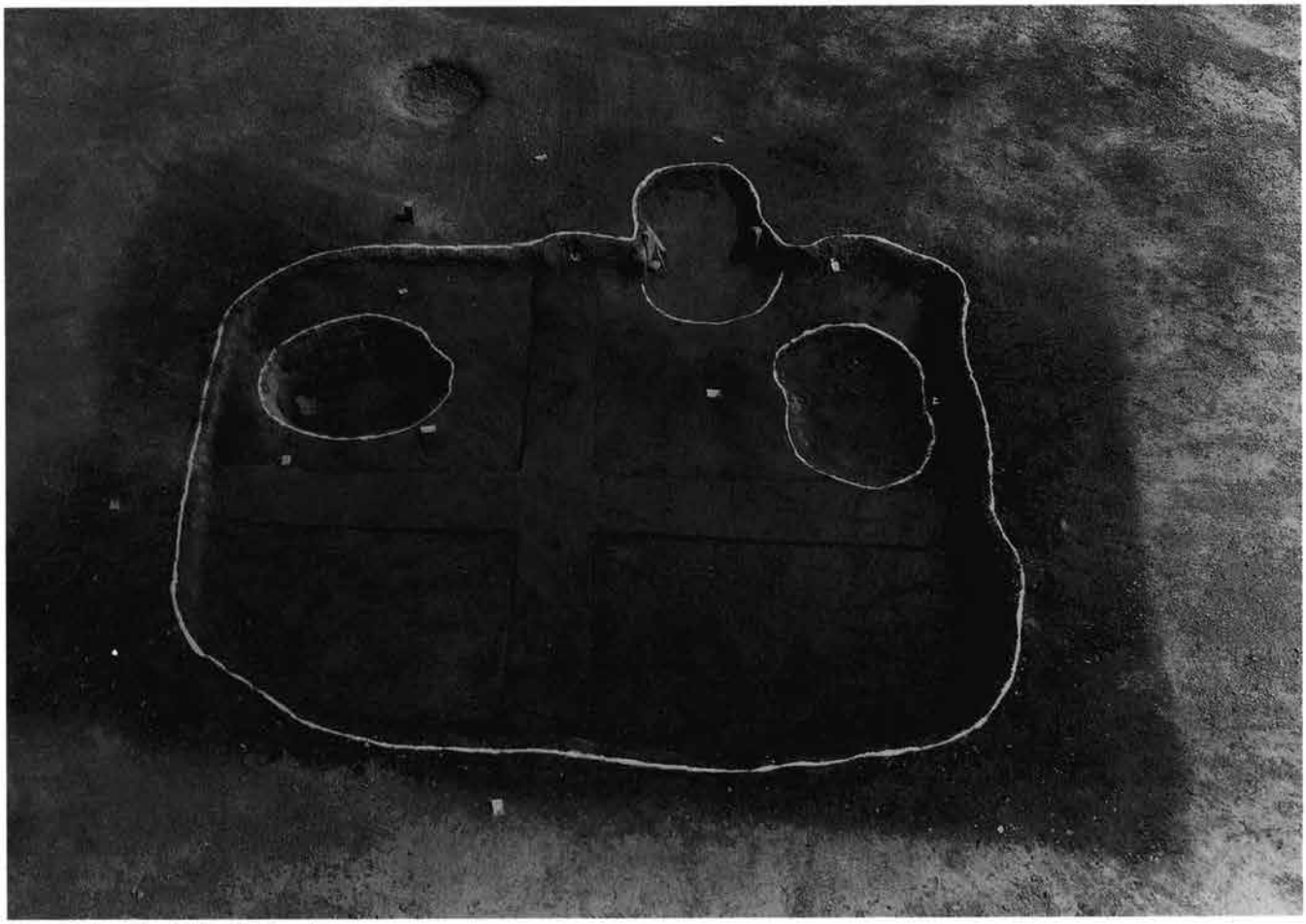
2・４ＡＩ区42号住居全景　西から



1・４ＡⅠ区43号住居全景　南西から

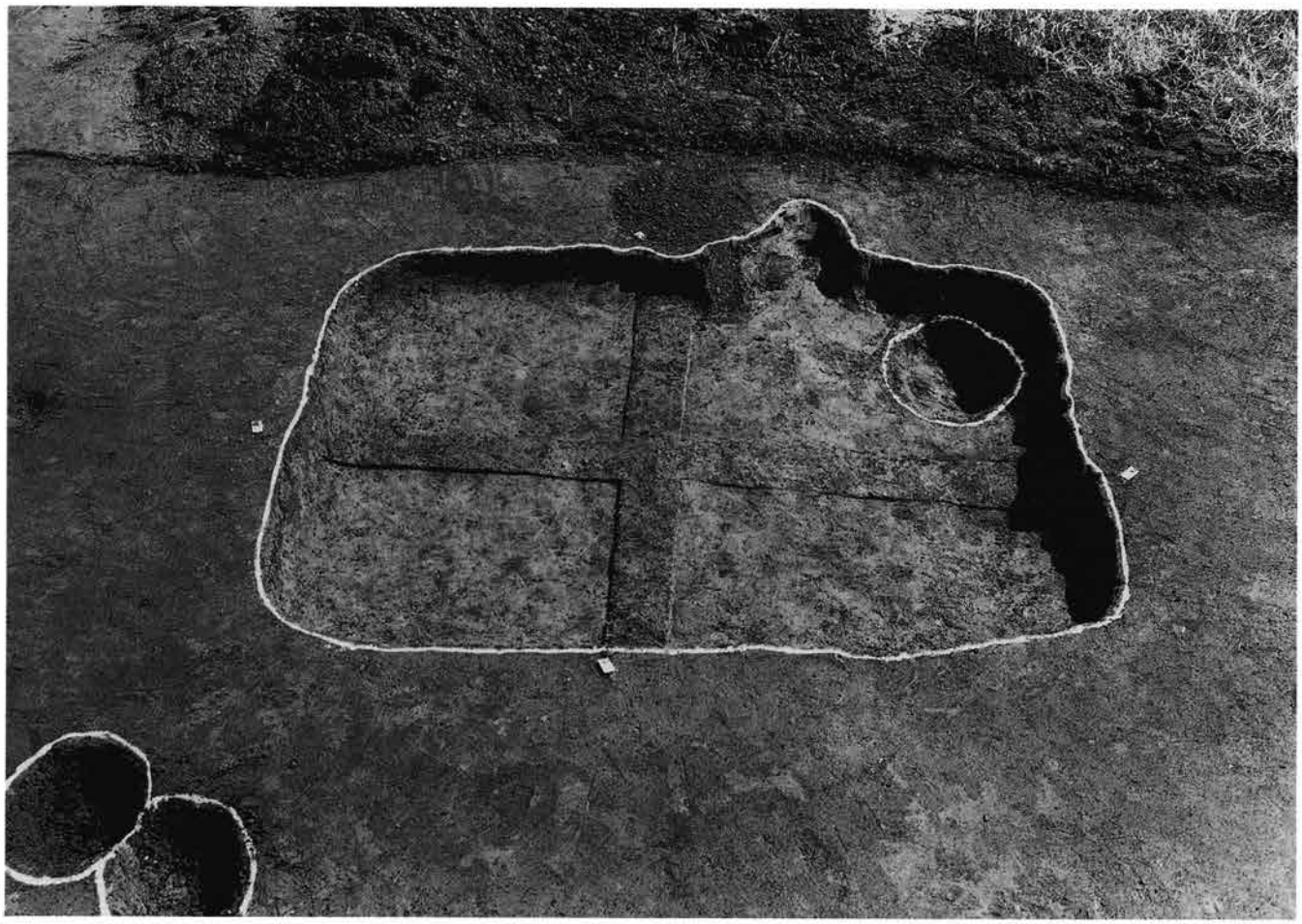
2・４ＡⅠ区44・56号住居全景　西から

１・４ＡＩ区45号住居全景　西から



２・４ＡＩ区46号住居全景　南西から

１・４ＡＩ区47号住居全景　南西から



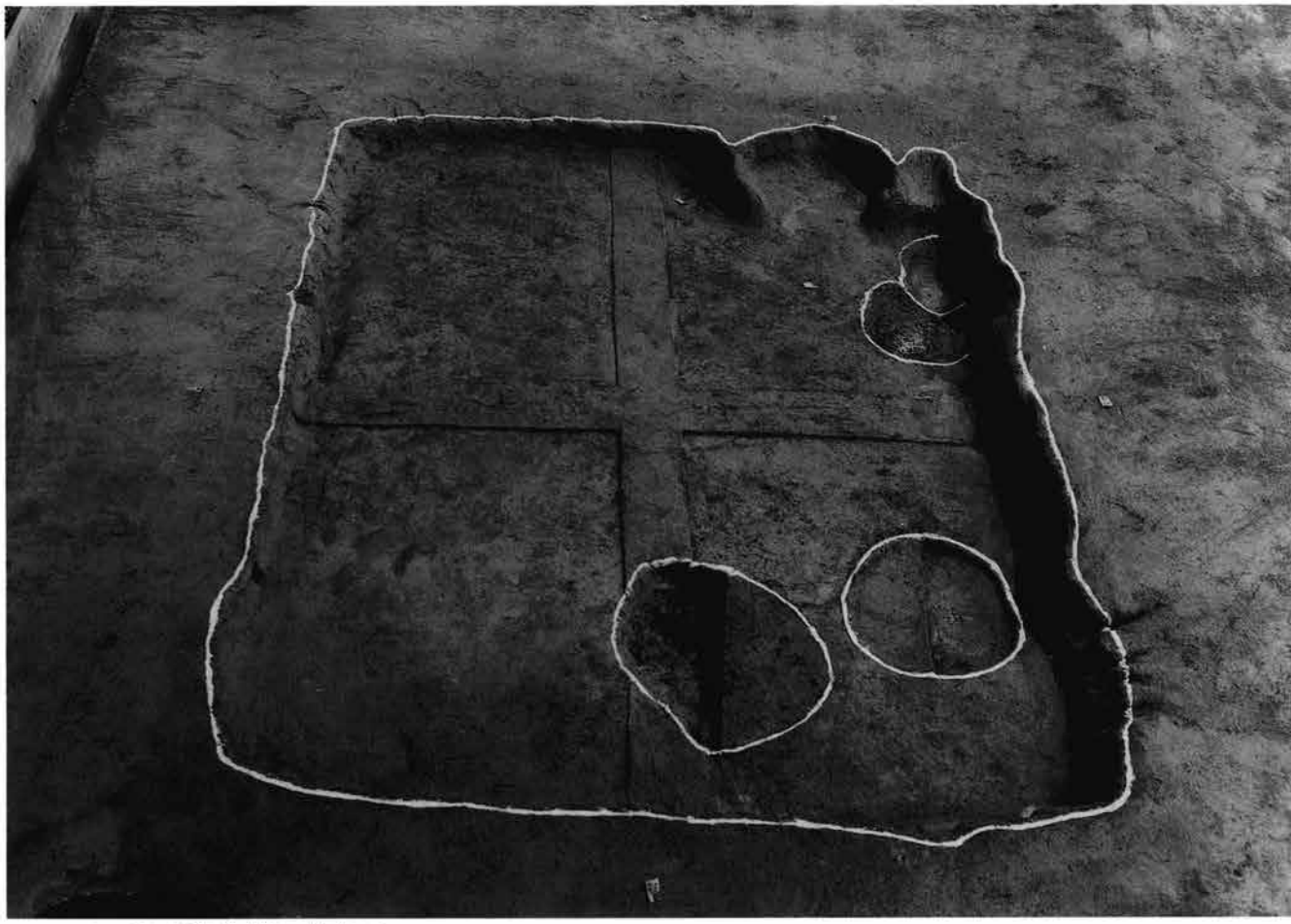
２・４ＡＩ区48号住居全景　西から

1・４ＡⅠ区52号住居全景　西から

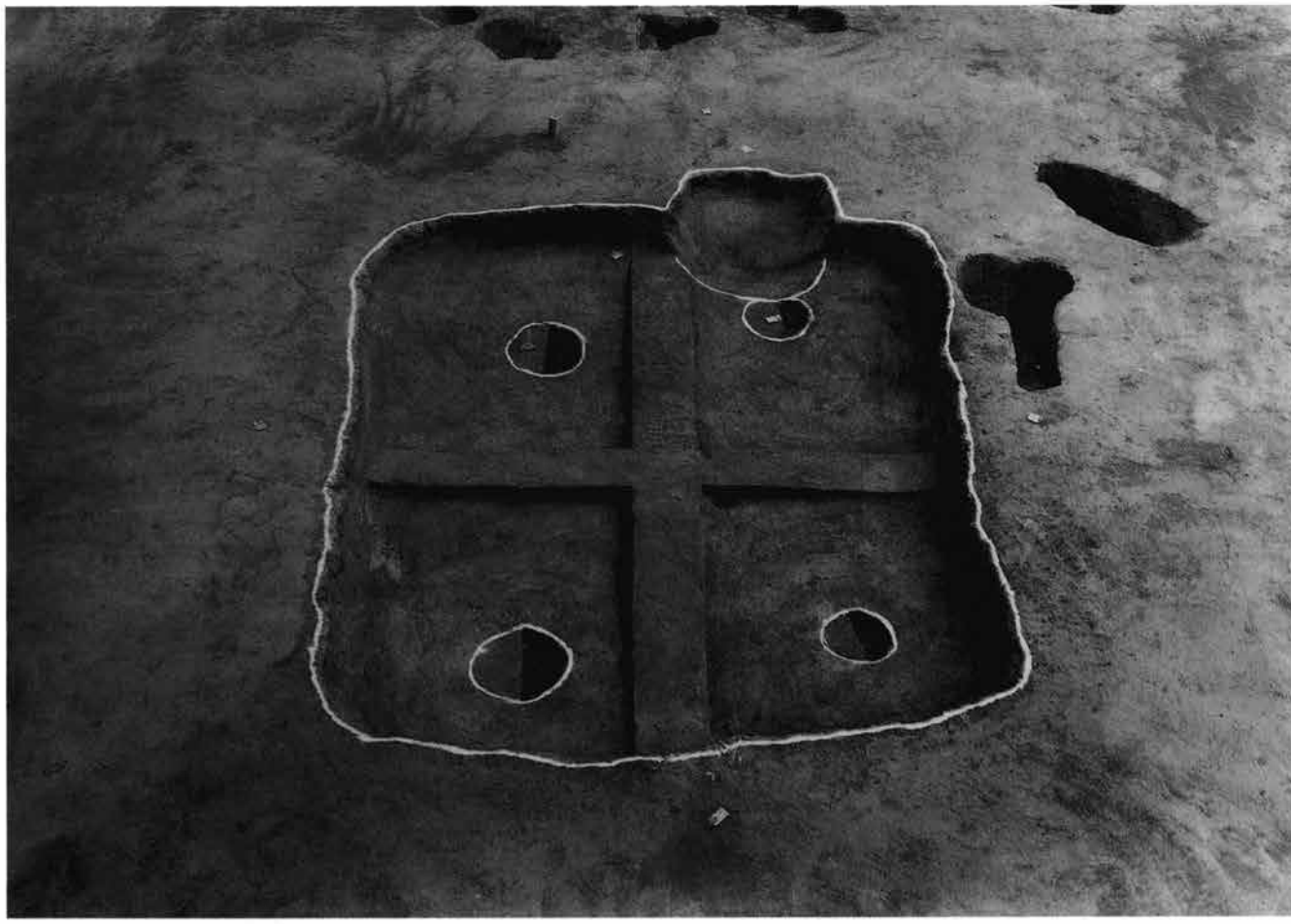
2・４ＡⅠ区53号住居全景　西から

１・４ＡＩ区54号住居全景　南西から

２・４ＡＩ区55号住居全景　西から

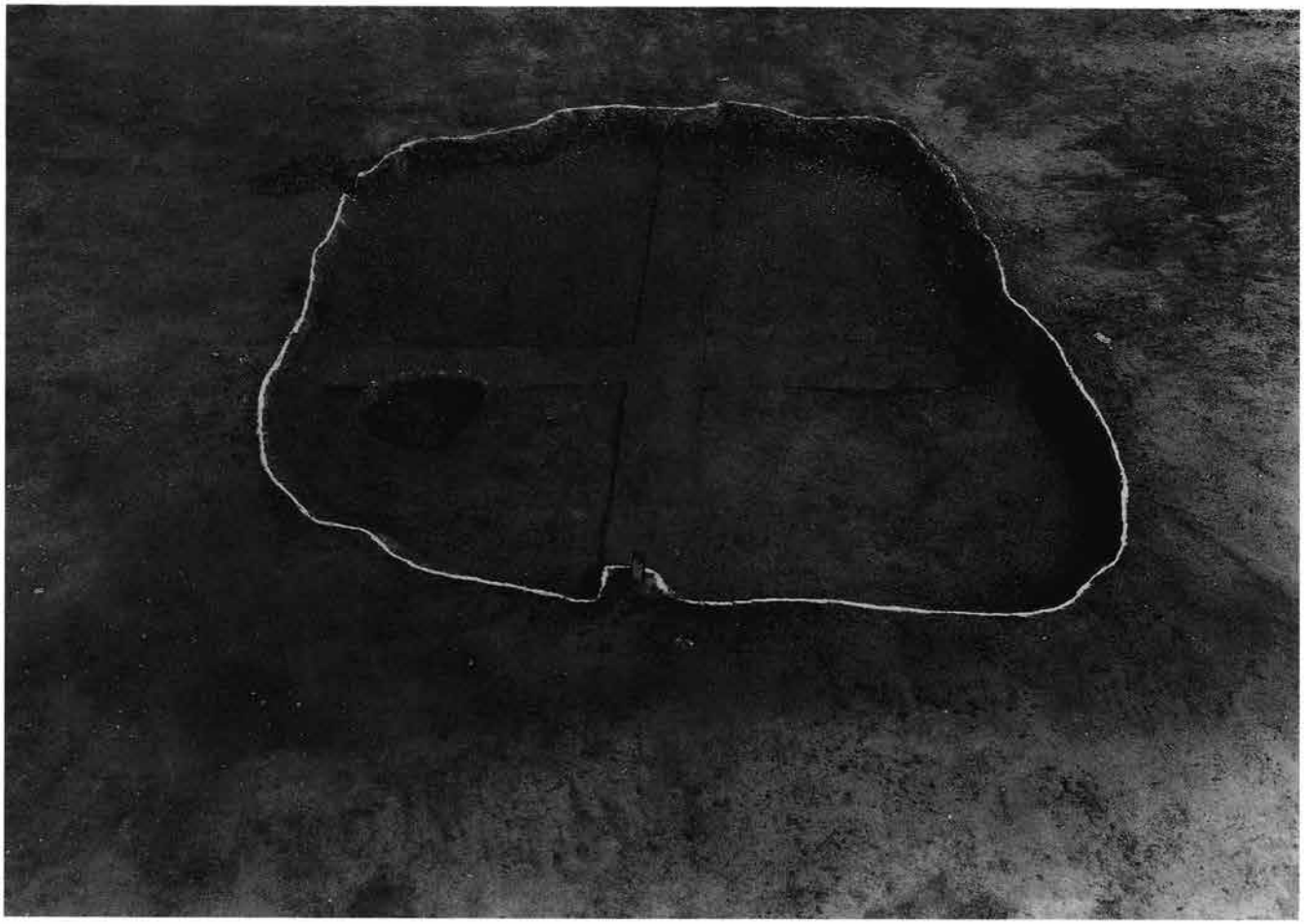


1・４ＡＩ区57号住居全景　南西から



2・４ＡＩ区58号住居全景　南西から

1・４ＡⅠ区59号住居全景　南西から



2・４ＡⅠ区60号住居全景　西から

１・４ＡⅠ区61号住居全景　西から

２・４ＡⅠ区64号住居全景　北東から

1・４ＡＩ区65号住居全景　東から

2・４ＡＩ区65号住居竈遺物出土状態　東から

3・４ＡＩ区66号住居竈セクション

4・４ＡＩ区66号住居全景　南西から

1・４ＡⅠ区01号掘立柱建物全景　南東から

2・４ＡⅠ区02号掘立柱建物全景　南東から

3・４ＡⅠ区03号掘立柱建物全景　南東から

4・４ＡⅠ区04号掘立柱建物全景　南東から

5・４ＡⅠ区05号掘立柱建物全景　南東から

6・４ＡⅠ区06号掘立柱建物全景　南東から

7・４ＡⅠ区07号掘立柱建物全景　南東から

8・４ＡⅠ区08号掘立柱建物全景　南東から

１・４ＡＩ区09号掘立柱建物全景　南東から

２・４ＡＩ区10号掘立柱建物全景　南東から

３・４ＡＩ区11号掘立柱建物全景　南東から

４・４ＡＩ区12号掘立柱建物全景　南東から

５・４ＡＩ区13号掘立柱建物全景　南東から

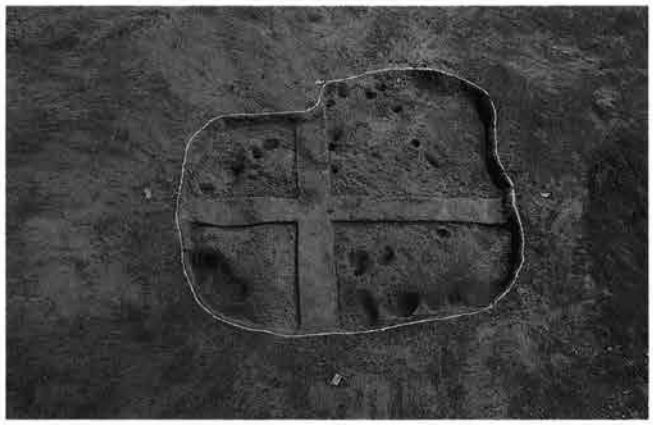
６・４ＡＩ区14号掘立柱建物全景　南東から

７・４ＡＩ区15号掘立柱建物全景　南東から

８・４ＡＩ区16号掘立柱建物全景　南東から

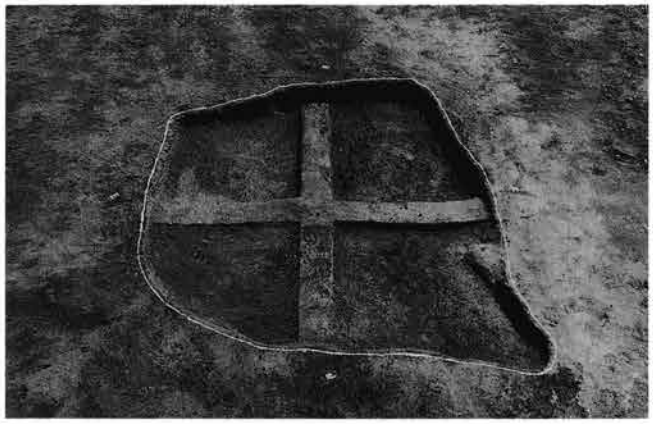
1・４ＡＩ区17号掘立柱建物全景　南東から

2・４ＡＩ区掘立柱建物・柵列・垣根全景　東から



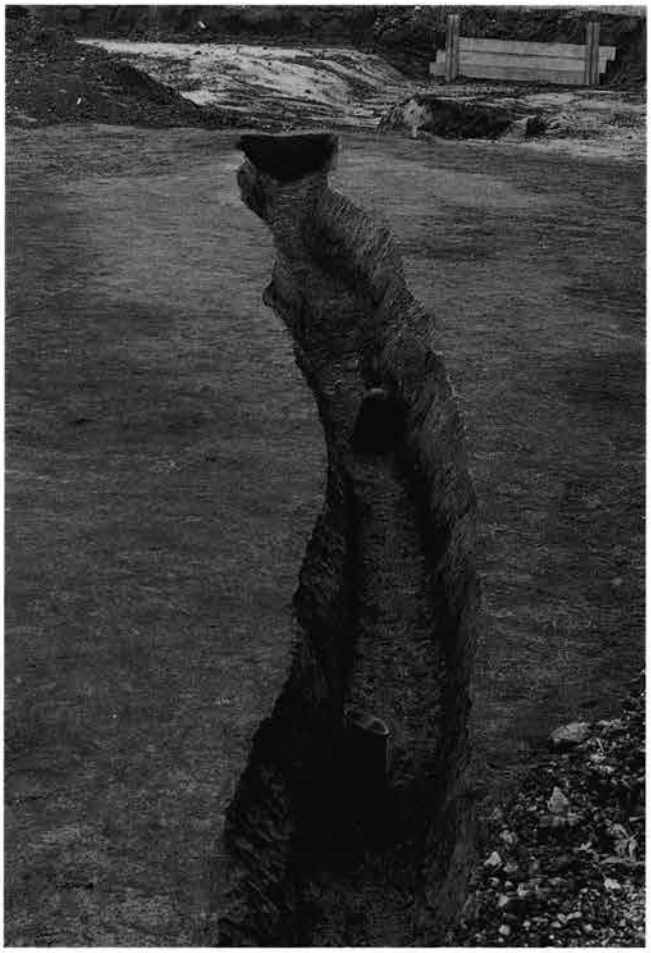
3・４ＡＩ区02号竪穴状遺構全景　南西から

4・４ＡＩ区03号竪穴状遺構全景　西から



4・４ＡＩ区04号竪穴状遺構全景　西から

5・４ＡＩ区05号竪穴状遺構全景　西から



1・４ＡⅠ区01号溝全景　北東から

2・４ＡⅡ区02号溝全景　北東から

3・４ＡⅠ区04号溝全景　西から

4・４ＡⅠ区01号土坑全景　北から

5・４ＡⅠ区02号土坑全景　西から

6・４ＡⅠ区03号土坑全景　北から

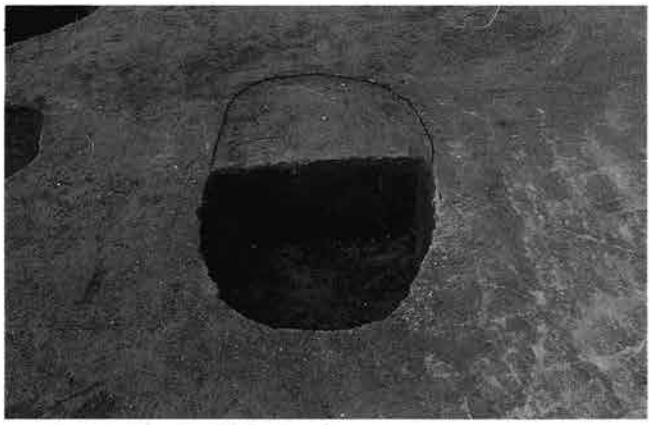
7・４ＡⅠ区05号土坑全景　北から

1・４ＡＩ区07・08号土坑全景　北から

2・４ＡＩ区10号土坑全景　南から

3・４ＡＩ区19号墓坑全景　東から

4・４ＡＩ区206号土坑全景　東から

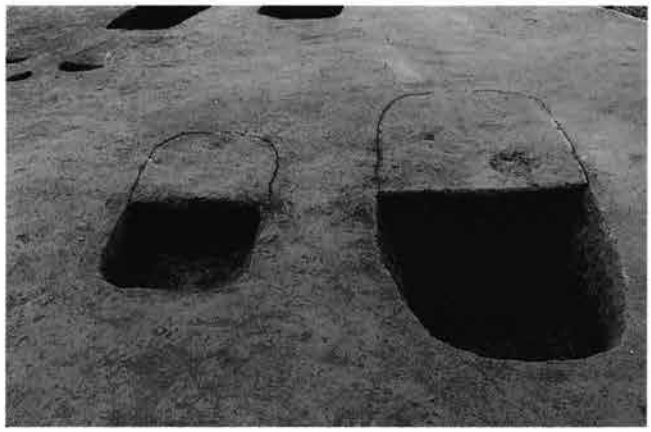


5・４ＡＩ区208号土坑全景　南から

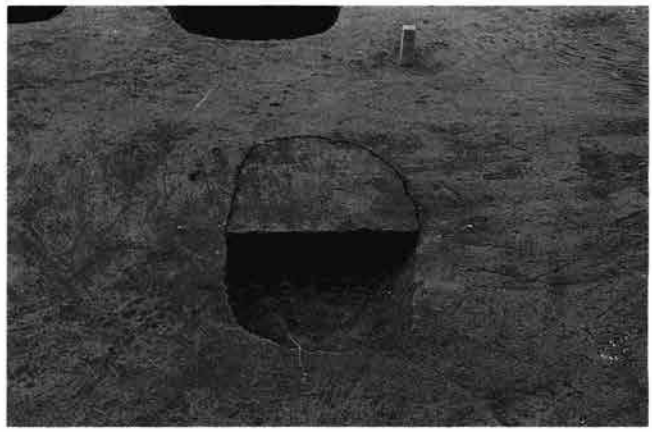
6・４ＡＩ区801号土坑全景　南西から

7・４ＡＩ区01・02号墓坑全景　東から

8・４ＡＩ区03号墓坑全景　南東から



1・４ＡＩ区04号墓坑全景　東から

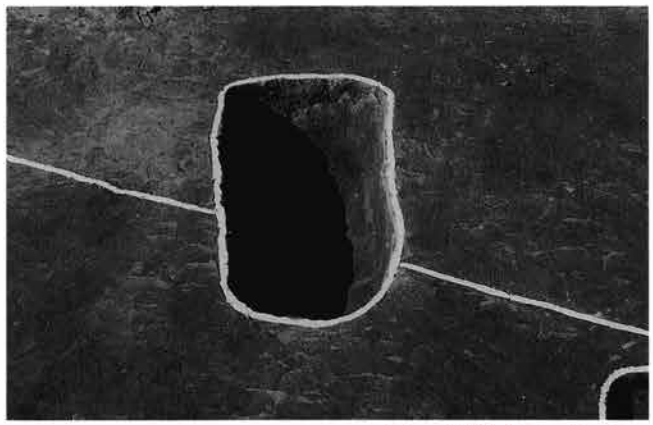


2・４ＡＩ区05号墓坑全景　東から

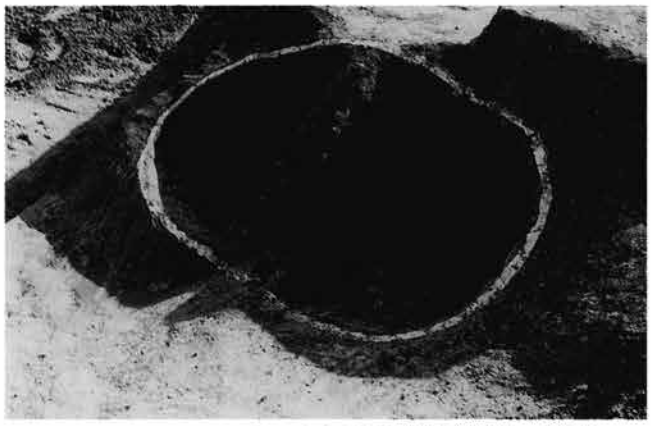
3・４ＡＩ区07号墓坑全景　南から

4・４ＡＩ区08号墓坑全景　南から

5・４ＡＩ区10号墓坑全景　南から



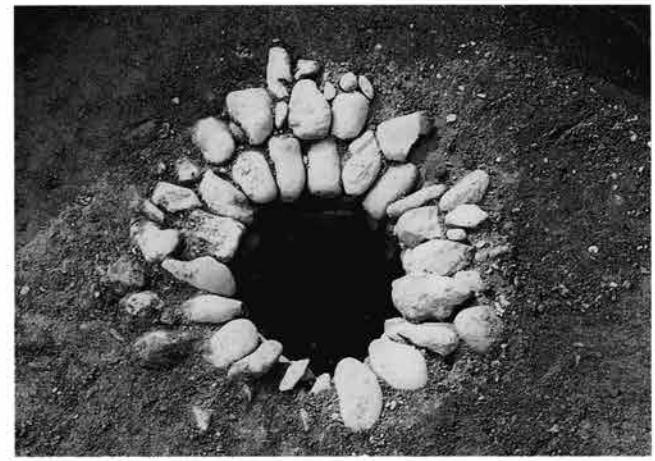
6・４ＡＩ区11号墓坑全景　南から



7・４ＡＩ区12号墓坑全景　南西から

8・４ＡＩ区15号墓坑全景　南から

1・４ＡⅡ区01号井戸掘り方　南から



2・４ＡⅡ区01号井戸全景　北から

3・４ＡⅡ区01号井戸断面　南から

4・４ＡⅠ区02号井戸全景　西から

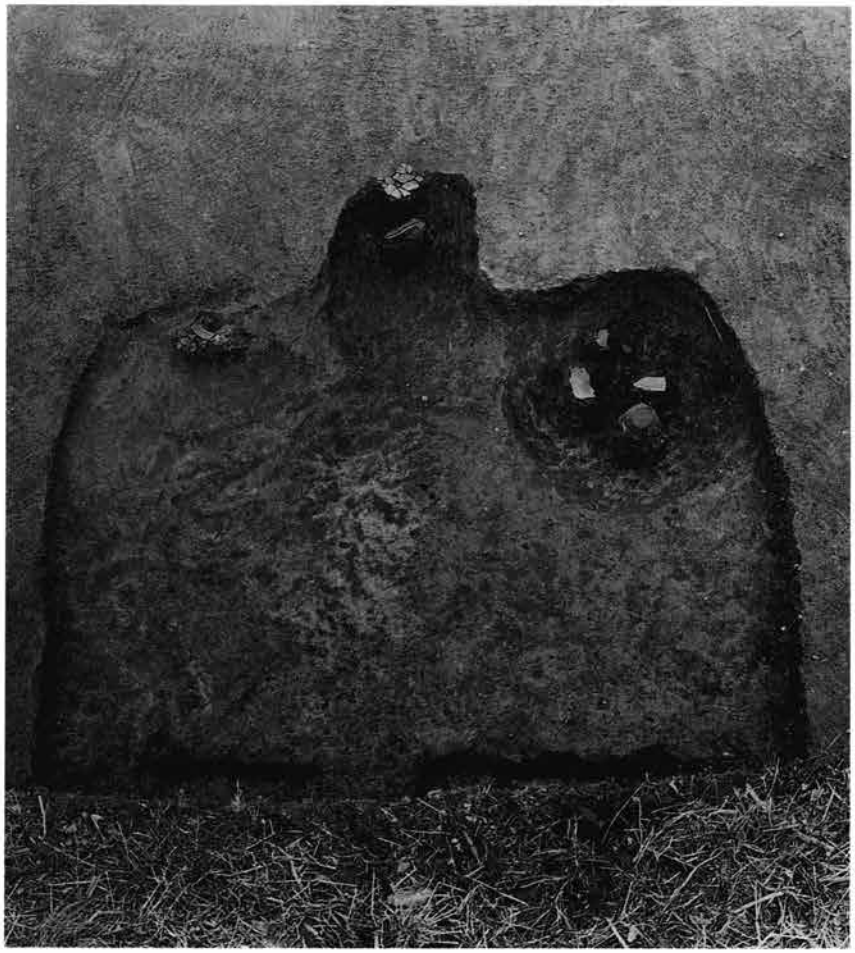
1・篠塚四反歩地区（４Ｂ区）全景　西から

1・篠塚四反歩地区（４Ｂ区）全景　北東から

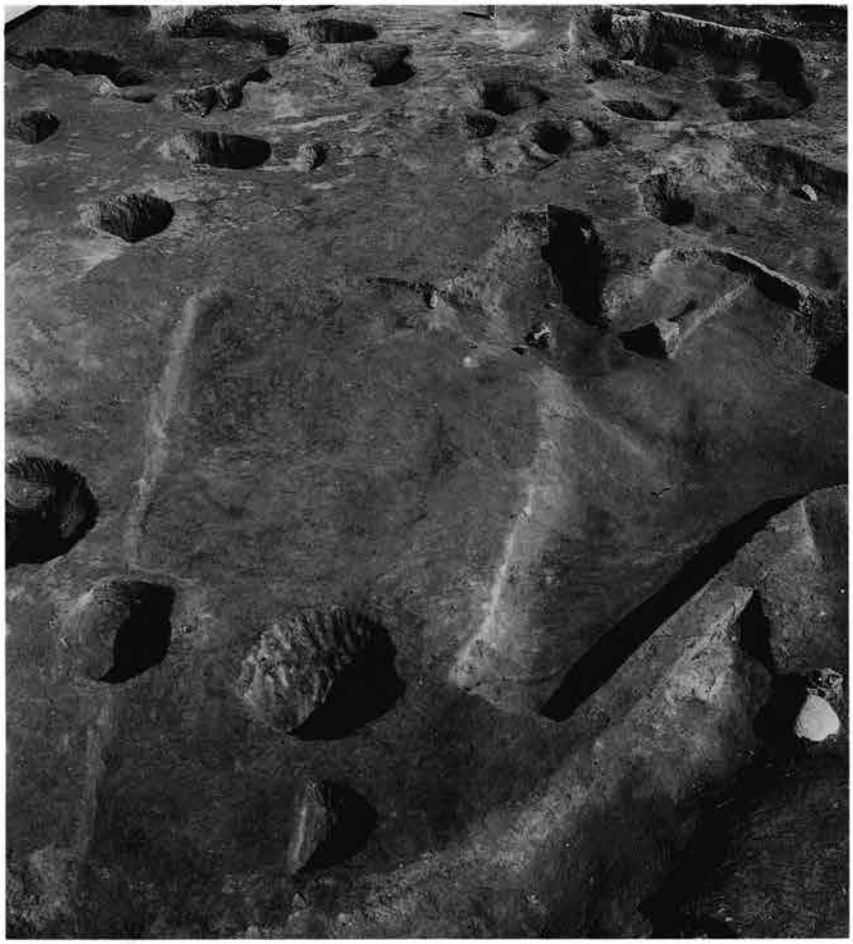
2・篠塚四反歩地区（４Ｂ区）全景　南から

１・４Ｂ区01号住居全景　西から

２・４Ｂ区02号住竈遺物出土状態　西から



３・４Ｂ区02号住居全景　西から



1・４Ｂ区03号住居全景　西から

2・４Ｂ区03号住居竈　西から

3・４Ｂ区04号住居全景　西から

1・４Ｂ区05号住居竈　西から

2・４Ｂ区05号住居全景　西から

3・４Ｂ区05号住居焼失状態　西から

4・４Ｂ区05号住居遺物出土状態　北東から

5・４Ｂ区05号住居遺物出土状態　東から

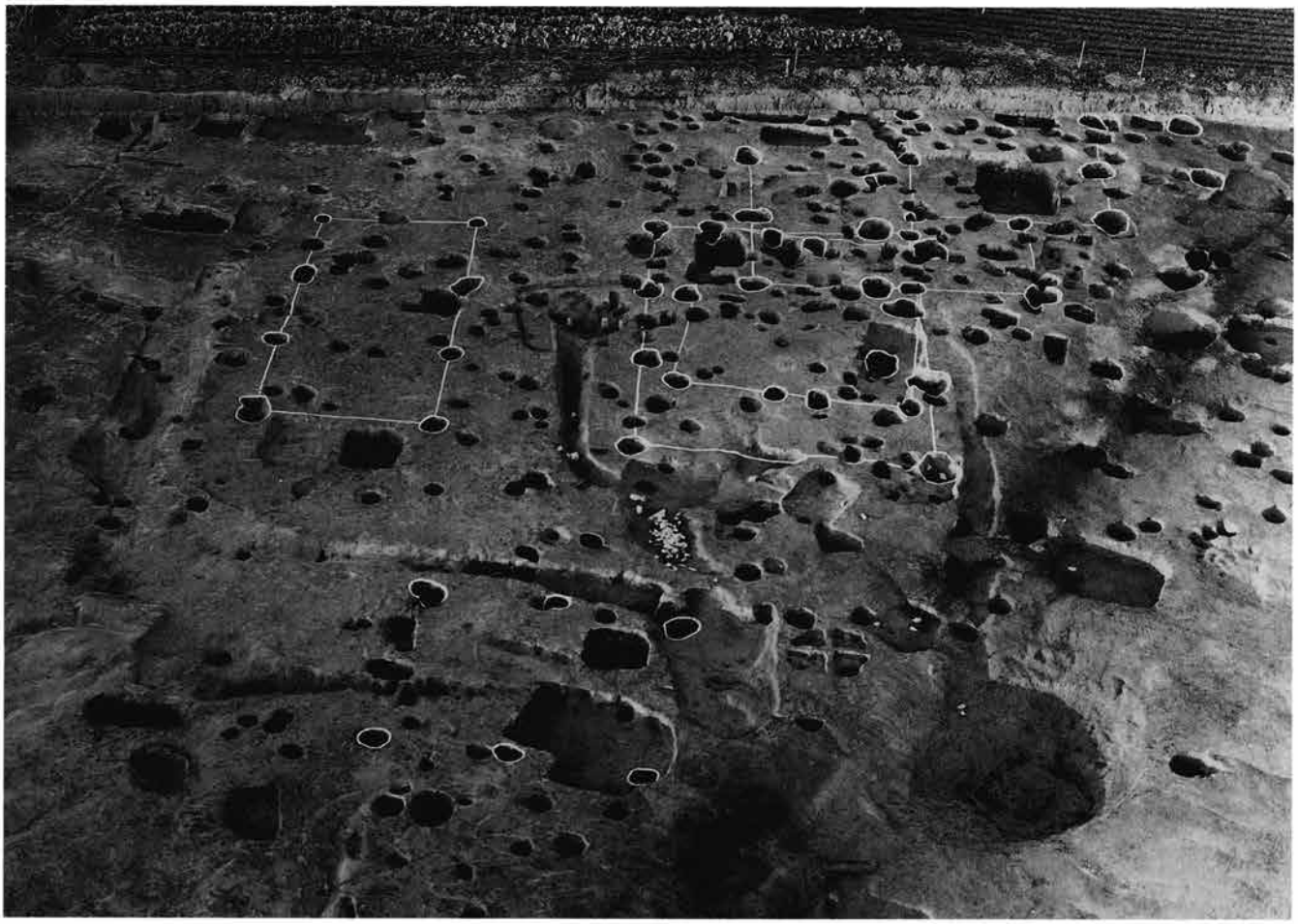
6・４Ｂ区05号住居炭化材出土状態　西から

1・４Ｂ区06号住居全景　西から

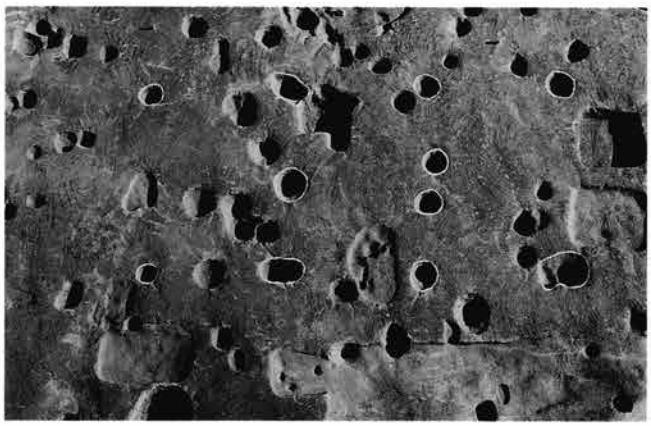
2・４Ｂ区06号住居竈　西から

3・４Ｂ区06号住居遺物出土状態　西から

4・４Ｂ区06号住居遺物出土状態　西から



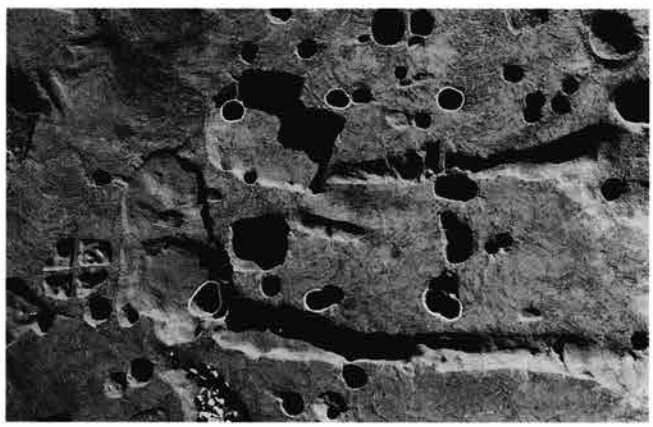
1・４Ｂ区掘立柱建物群全景　南から



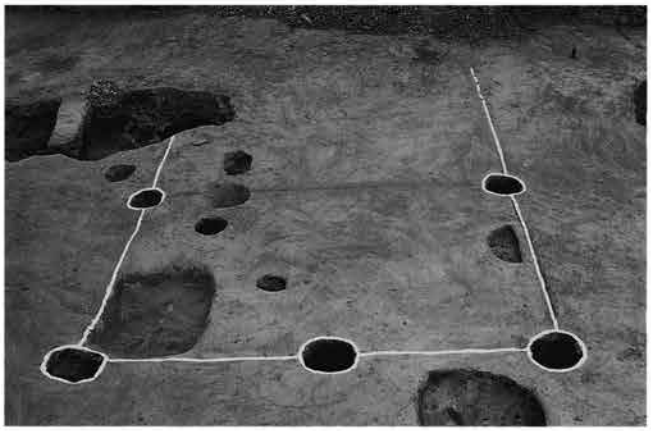
2・４Ｂ区01号掘立柱建物全景　西から

3・４Ｂ区02号掘立柱建物全景　西から

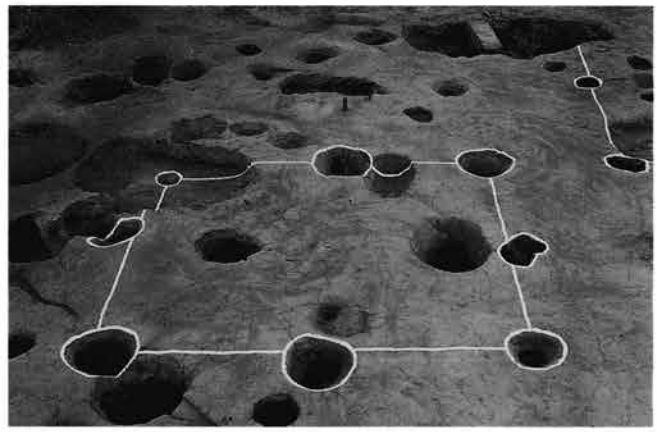
4・４Ｂ区03号掘立柱建物全景　西から



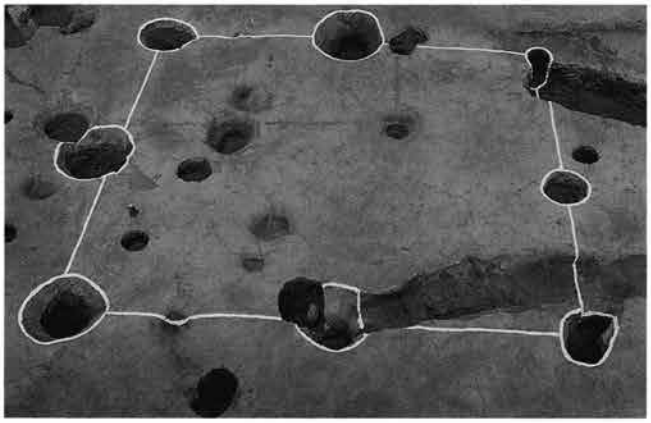
5・４Ｂ区04・05号掘立柱建物全景　西から



1・４Ｂ区08号掘立柱建物全景　南から

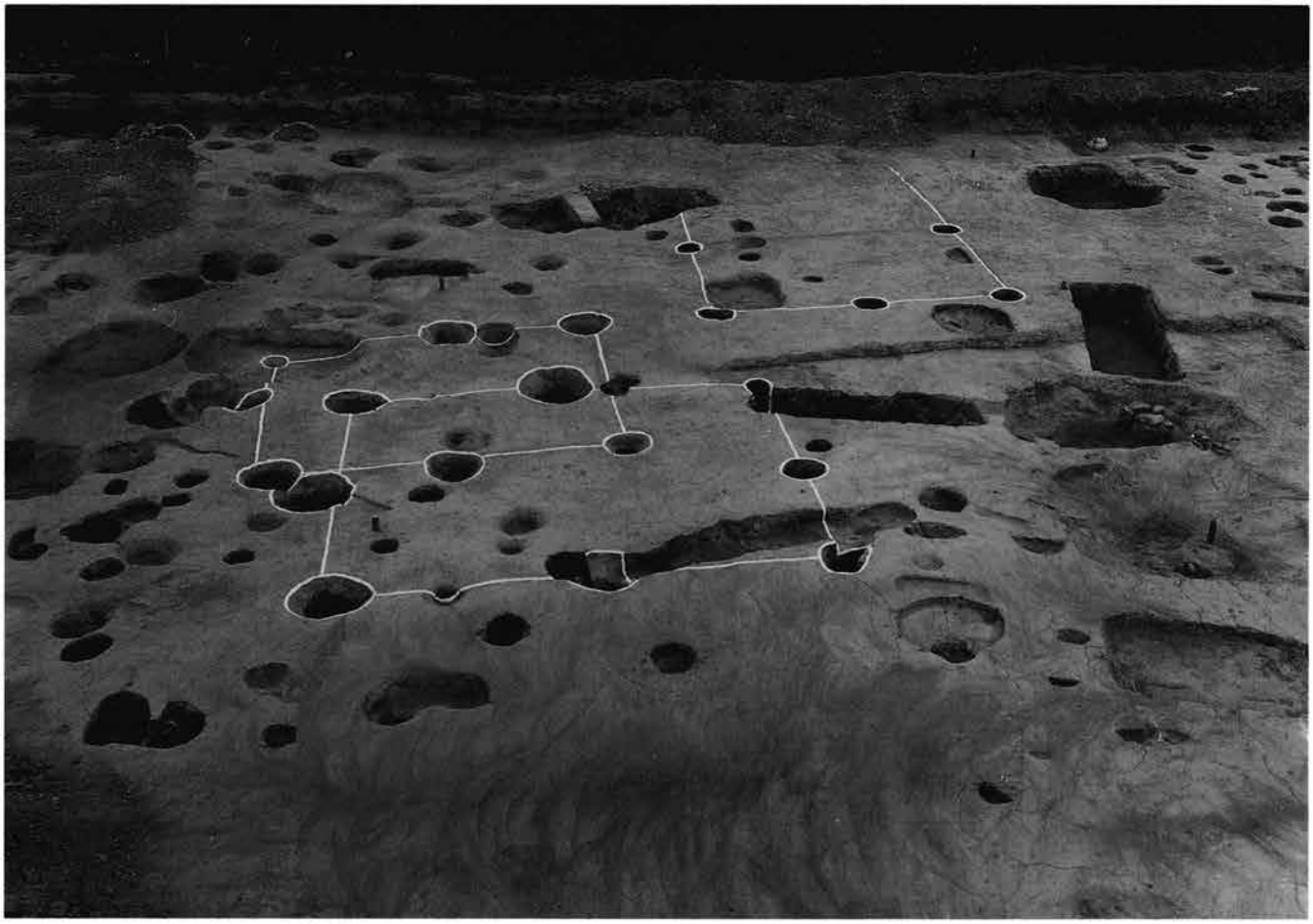


2・４Ｂ区09号掘立柱建物全景　南から



3・４Ｂ区10号掘立柱建物全景　南から

4・４Ｂ区11号掘立柱建物全景　南から



5・４Ｂ区08・09・10号掘立柱建物全景　南から

１・４Ｂ区01号溝全景　北から

２・４Ｂ区02号溝全景　北から

３・４Ｂ区03号溝全景　北から

４・４Ｂ区02号溝内集礫出土状態　南から

５・４Ｂ区04号溝全景　南から

６・４Ｂ区04号溝内遺物出土状態　南から

７・４Ｂ区04号溝セクション　北から

８・４Ｂ区04号溝セクション　南から

1・４Ｂ区05号溝全景　南から

2・４Ｂ区05号溝遺物出土状態　南から

3・４Ｂ区06号溝全景　南西から

4・４Ｂ区08・09・10号溝全景　南西から

5・４Ｂ区11号溝全景　南から

6・４Ｂ区旧河道全景　西から

7・４Ｂ区旧河道遺物出土状態　西から

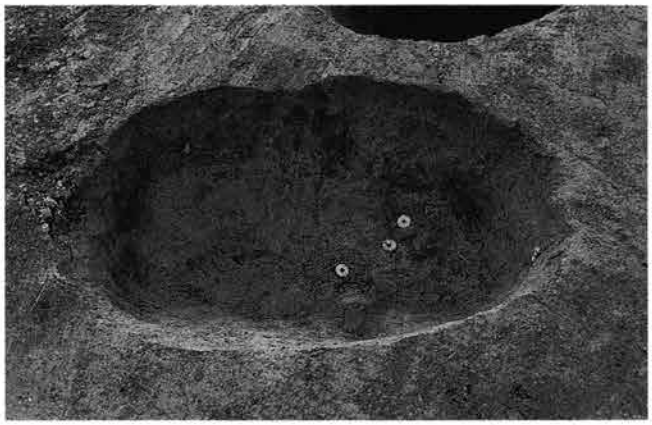
8・４Ｂ区旧河道遺物出土状態　東から

1・４Ｂ区01号土坑全景　西から

2・４Ｂ区03号土坑全景　北から

3・４Ｂ区03号土坑遺物出土状態　西から

4・４Ｂ区15・16・18・19・25号土坑全景　北から



5・４Ｂ区32号土坑全景　東から

6・４Ｂ区137号土坑全景　東から

7・４Ｂ区142・242号土坑全景　西から

8・４Ｂ区233・234号土坑全景　北から

1・４Ｂ区244・245号土坑全景　北から

2・４Ｂ区246号土坑全景　西から

3・４Ｂ区271～300号土坑群全景　南から

4・４Ｂ区327号土坑遺物出土状態　北から

5・４Ｂ区337号土坑全景　東から

6・４Ｂ区337号土坑セクション　東から

7・４Ｂ区375号土坑滑石出土状態　南西から

8・４Ｂ区385号土坑全景　南から

1・4B区386号土坑全景　西から

2・4B区429号土坑全景　南から

3・4B区430号土坑全景　南から

4・4B区431号土坑全景　南から

5・4B区432号土坑全景　南から

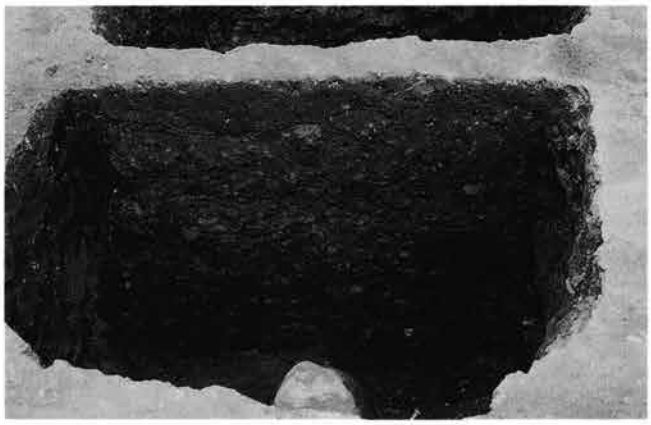
6・4B区433号土坑全景　東から

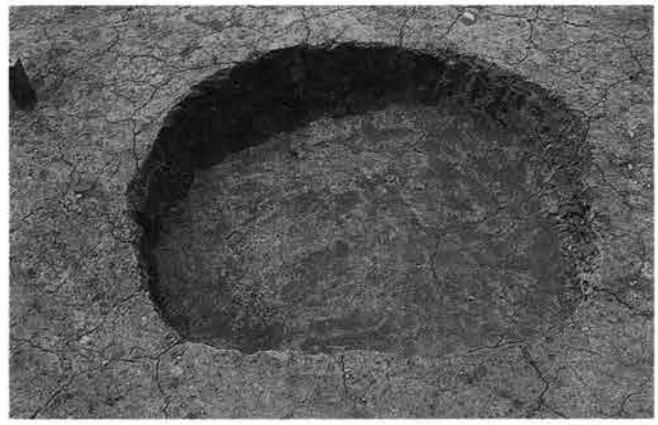
7・4B区436号土坑・1085～1088号土坑群全景　南から

8・4B区442号土坑全景　西から

1・４Ｂ区478号土坑（19掘立－Ｐ４）遺物出土状態　南から

2・４Ｂ区469号土坑全景　南から


3・４Ｂ区551号土坑セクション　南から


4・４Ｂ区602号土坑全景　北から

5・４Ｂ区607・608号土坑全景　北から

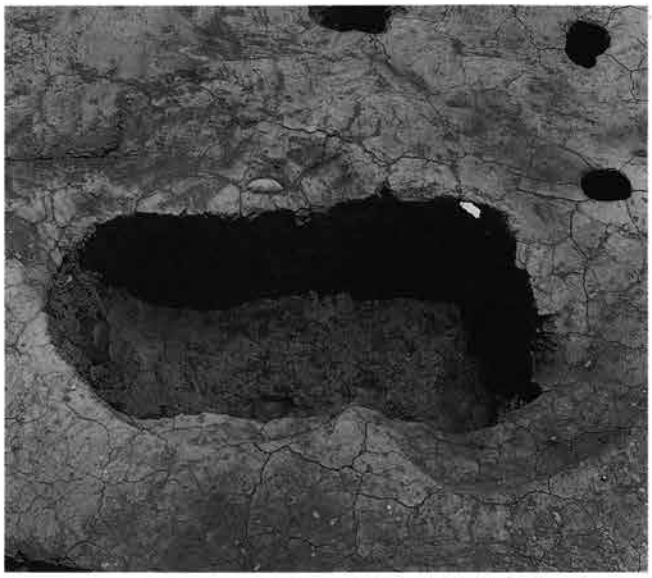
6・４Ｂ区651号土坑全景　南から

7・４Ｂ区652号土坑全景　南から

8・４Ｂ区673号土坑全景　南から

1・４Ｂ区672号土坑（23掘立Ｐ－８）全景　北西から

2・４Ｂ区705号土坑セクション　南から



3・４Ｂ区706号土坑全景　西から

4・４Ｂ区721号土坑全景　東から

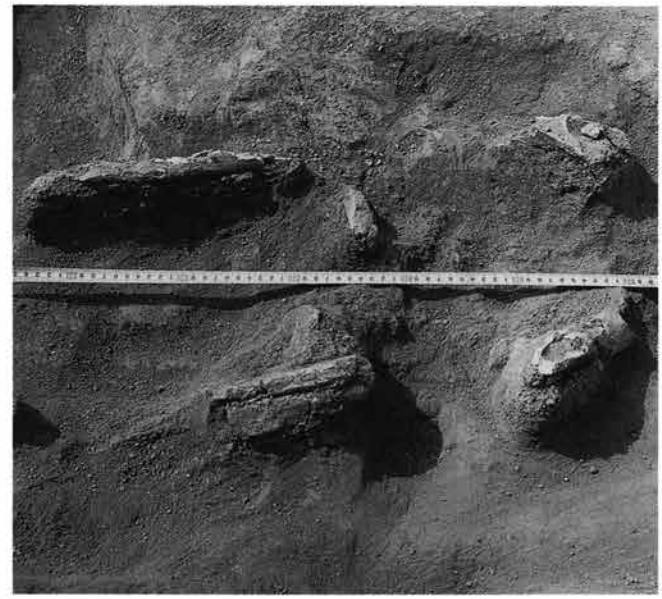
5・４Ｂ区830号土坑全景　南から

6・４Ｂ区838号土坑全景　北から

1・４Ｂ区01号墓坑全景　北西から

2・４Ｂ区05号墓坑全景　東から

3・４Ｂ区03号墓坑全景　南東から



4・４Ｂ区03号墓坑人骨出土状態　南東から

5・４Ｂ区04号墓坑全景　西から

6・４Ｂ区04号墓坑人骨出土状態　西から

01住－1

01住－1
01住－2

01住－2

01住－4

04住－1215

04住－13

01住－5

06住－1216

04住－16

06住－19

06住－20

07住－883

07住－27

07住－28

07住－26

4 A II区01・04・06・07号住居出土遺物

08住−39

08住−42

08住−41

08住−40

09住−56

09住−53

09住−46

09住−54

09住−52

09住−55

09住−65

09住−60

09住−59

10住−91

10住−791

10住−93

10住−92

4ＡⅡ区08・09・Ⅰ区10号住居出土遺物

11住−104

11住−108

11住−109

11住−106

11住−113

11住−107

14住−125

14住−130

14住−124

14住−131

14住−1277

17住−141

15住−1206

16住−1218

17住−142

21住−202

17住−1278

4ＡⅠ区11・14・15・16・17・21号住居出土遺物

18住−145

21住−194

21住−167

21住−160

21住−186

21住−189

21住−161

21住−188

21住−190

21住−184

21住195

21住−197

21住−185

21住−196

21住−201

21住−168

21住−169

21住−171

21住−177

4ＡＩ区18・21号住居出土遺物

21住−1221

21住−205

21住−170

21住−1282

21住−1281

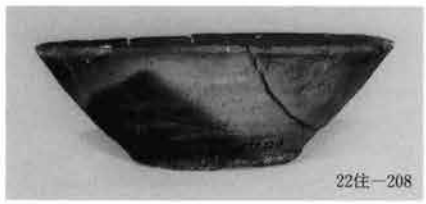
21住−1279

22住−213

22住−214

22住−207

22住−210


22住−208

22住−206

22住−211

22住−209

22住−216

22住−217

22住−218

22住−219

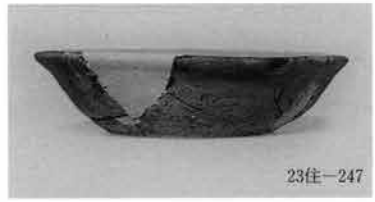
22住−220

22住−225

22住−1283

4ＡＩ区21・22号住居出土遺物

23住－271


23住－247

24住－258

23住－477

24住－262

25住－267

24住－227

24住－248

24住－249

26住－272

24住－257

26住－260

26住－355

26住－352

26住－261

26住－350

26住－351

４ＡＩ区23～26号住居出土遺物

26住－324

26住－329

26住－328

26住－331

26住－330

26住－332

26住－335

26住－326

26住－334

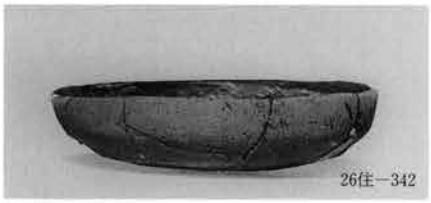
26住－336

26住－338

26住－340

26住－325

26住－327


26住－342

26住－348

26住－299

26住－300

26住－302

26住－297

26住－292

26住－356

26住－357

26住－296

26住－290

26住－291

26住－305

４ＡＩ区26号住居出土遺物

26住－383

26住－308

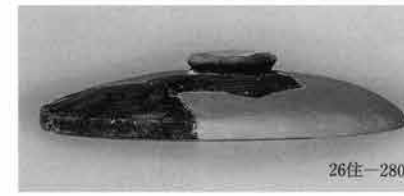
26住－307

26住－306

26住－295

26住－289

26住－277


26住－280

26住－275

26住－289

26住－276

26住－369

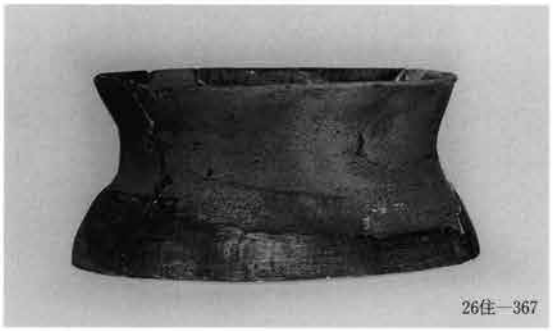
26住－370

26住－365

26住－379

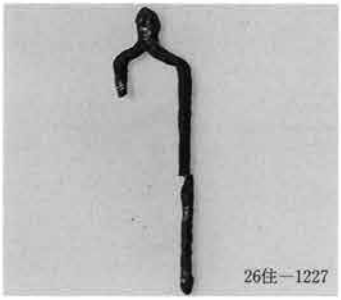
4ＡＩ区26号住居出土遺物

26住−311


26住−367

26住−1285

26住−1223


26住−1227

26住−1224

26住−1228

28住−393

28住−404

28住−391

28住−398

28住−403

28住−392

28住−400

28住−399

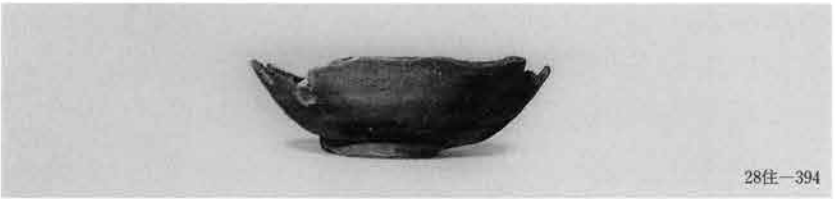
28住−396

28住−390

28住−397

28住−395

28住−406


28住−394

28住−1230

4ＡⅠ区26・28号住居出土遺物

28住－405

29住－416

30住－278

30住－420

30住－413

30住－417

30住－426

30住－415

30住－422

30住－428

30住－448

30住－427

30住－429

30住－432

30住－433

30住－443

32住－458

32住－456

32住－451

32住－452

4ＡＩ区28～30・32号住居出土遺物

32住－453

33住－460

33住－463

32住－457

33住－449

34住－465

34住－464

34住－466

34住－467

34住－471

34住－472

34住－468

34住－469

34住－474

34住－475

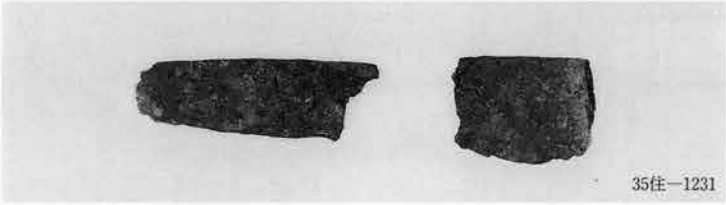
34住－470

34住－473

35住－479

35住－478

35住－480


35住－1231

35住－1286

35住－1286

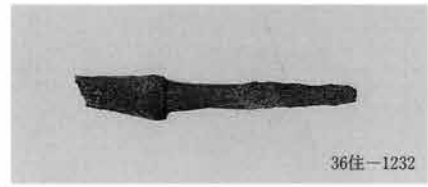
４Ａ１区32～35号住居出土遺物

36住－485

36住－484

36住－483

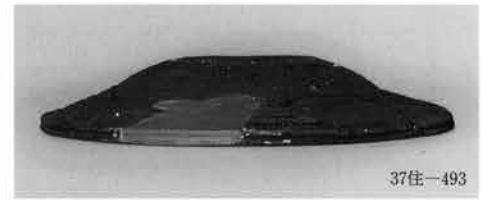
36住－486


36住－1232

37住－497

37住－490

37住－491


37住－493

37住－492

37住－496

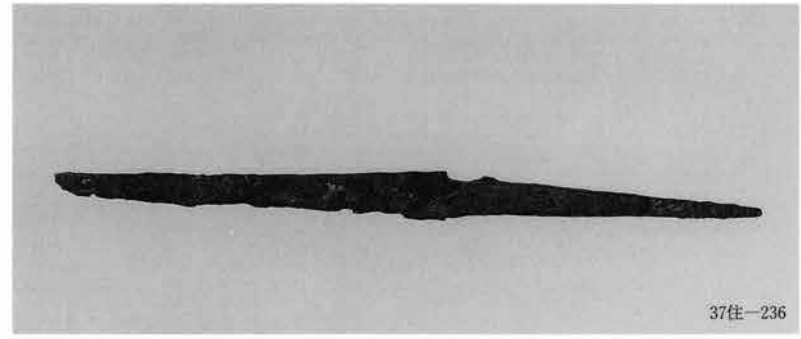
37住－502

37住－1234

37住－494

37住－499

37住－1287


37住－236

4ＡＩ区36・37号住居出土遺物

37住－495

38住－512

39住－517

38住－510

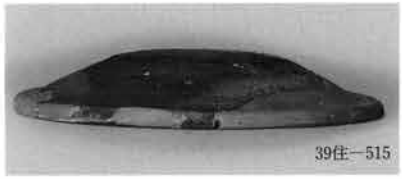
38住－1288

38住－506

38住－504

39住－516

38住－509


39住－515

40住－520

40住－518

40住－519

40住－570

40住－526

40住－570

4ＡＩ区37～40号住居出土遺物

41住−535

41住−536

41住−537

41住−527

41住−530

41住−528

41住−531

41住−532

41住−543

41住−538

41住−541

41住−540

41住−539

41住−1237

42住−547

42住−548

42住−544

42住−546

42住−546

42住−1292

43住−555

43住−556

4ＡⅠ区41〜43号住居出土遺物

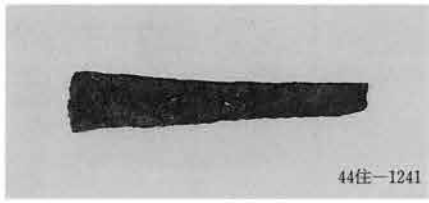
43住−554

44住−562

44住−560

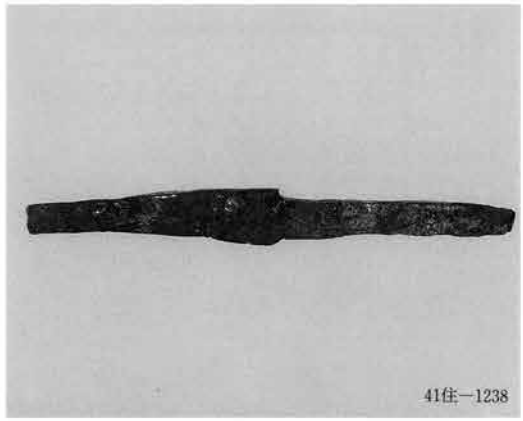
43住−1293

44住−559


44住−1241

44住−561

44住−1242


41住−1238

44住−565

44住−568

44住−566

44住−567

4ＡⅠ区41・43・44号住居出土遺物

45住－577

45住－576

45住－578

45住－575

45住－579

45住－572

45住－583

46住－585

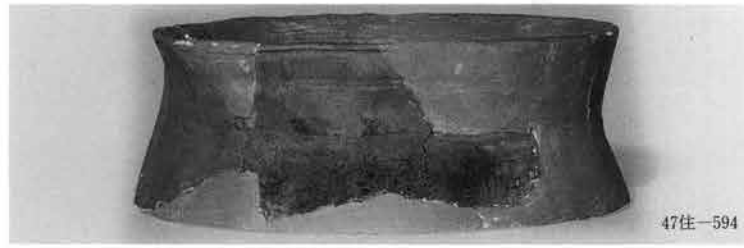
46住－587

46住－586

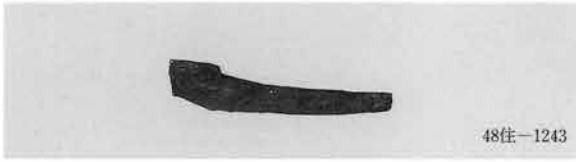
45住－1197

46住－589

47住－593


47住－594

47住－595


48住－1243

48住－1244

02井－603

02井－613

4ＡＩ区45～48号住居・02号井戸出土遺物

02井−614

52住−625

52住−622

02井−611

52住−626

52住−630

02井−616

52住−624

52住−623

53住−644

53住−643

52住−631

53住−645

53住−642

53住−642

54住−650

54住−649

54住−648

55住−657

55住−656

55住−654

4ＡＩ区52〜55号住居・02号井戸出土遺物

55住−653

55住−655

55住−659

55住−663

55住−1297

55住−1296

55住−660

57住−667

57住−668

57住−1076

57住−1246

57住−673

57住−672

4ＡＩ区55・57号住居出土遺物

59住－681

58住－677

57住－1298

58住－679

59住－1247

60住－685

60住－1249

61住－690

61住－689

61住－691

60住－687

61住－695

61住－693

4ＡⅠ区57～61号住居出土遺物

61住−694

64住−698

64住−699

64住−700

65住−711

65住−712

65住−714

65住−716

65住−717

65住−715

65住−723

65住−713

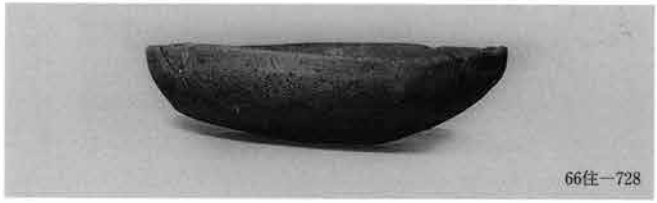
65住−705

65住−718

65住−710

65住−726

4ＡＩ区61・64・65号住居出土遺物


66住－728

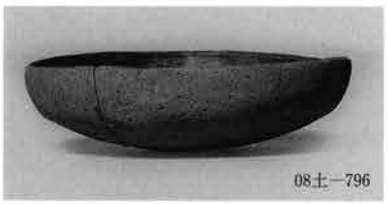
66住－732

66住－729

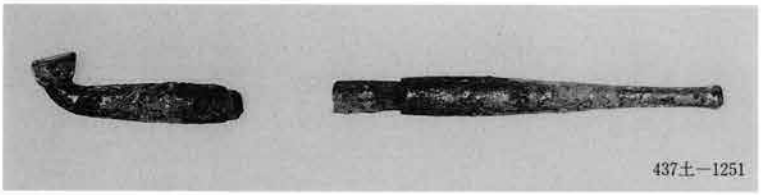
66住－730

66住－734

05掘－1299


08土－796

566土－801


437土－1251

1274土－865

745土－807

801土－863

1274土－864

01溝－788

01溝－772

1274土－866

01溝－773

01溝－777

４ＡⅠ区66号住居・05号掘立柱建物・08・437・566・745・801・1274号土坑・01号溝出土遺物

01溝—774

01溝—776

01溝—780

01溝—775

01溝—781

01溝—782

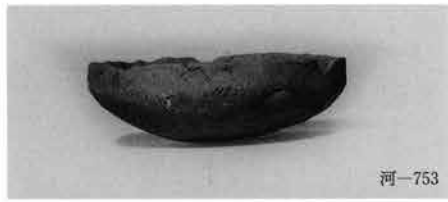
01溝—783

01溝—785

01溝—784

02井—602

河—739


河—753

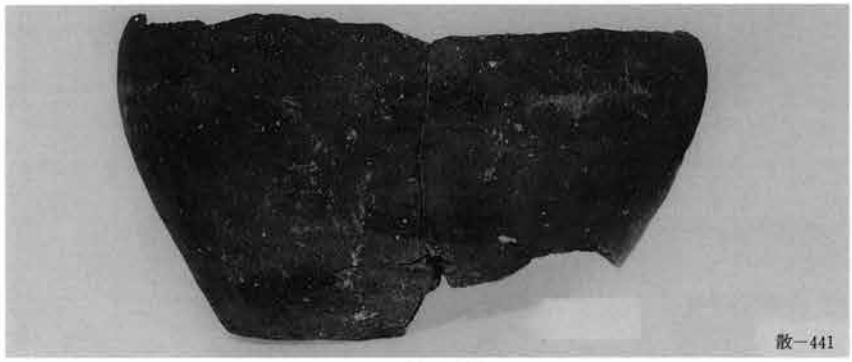
河—754

河—755

散—440

散—437

河—756


散—441

河—757

河—758

4ＡＩ区01号溝・02号井戸・散布範囲・旧河道出土遺物

河−746

河−792

グ−1196

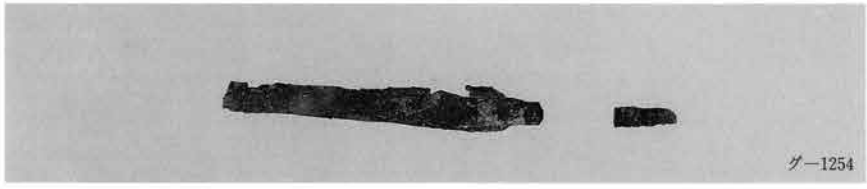
グ−79

グ−826

グ−825

グ−828

01住−884


グ−1254

01住−885

表−89

表−873

05住−921

05住−922

05住−923

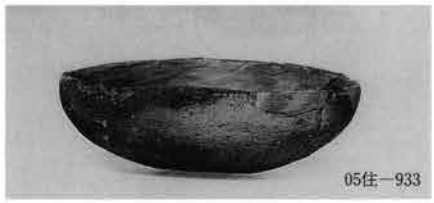
05住−924

05住−925

05住−926

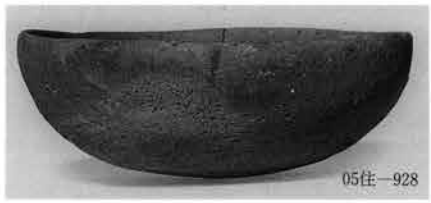
05住−931

05住−932


05住−933

４ＡⅠ区・旧河道・グリッド・表採、４Ｂ区01・05号住居出土遺物

05住−927


05住−928

05住−929

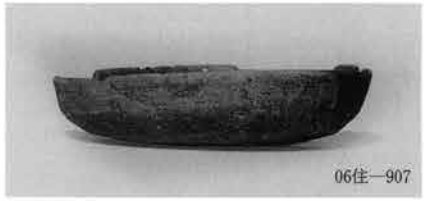
05住−930

05住−936

05住−920

05住−919

06住−905


06住−907

06住−908

06住−906

06住−911

06住−909

4 Ｂ区05・06号住居出土遺物

06住―901

02溜池―950

02溜池―1106

01溜池―946

02溜池―1106

06掘―1117

02溜池―1110

02溜池―1111

19掘―1311

19掘―1320

19掘―1313

19掘―1312

19掘―1321

19掘―1314

4 Ｂ区06号住居・01・02号溜池・06・19号掘立柱建物出土遺物

04溝
—1262

05溝—1091

21掘—1317

04溝—1082

15溝—1094

16溝—1095

11溝—1092

369土—1260

369土—1261

25土—1113

246土—1119

352土—1127

375土—1129

327土—1121

561土—1135

375土—1128

777土—1200

327土—1122

32土—1308

705土—1198

32土—1309

表—1199

32土—1310

4 Ｂ区04・05・11・15・16号溝・31号掘立柱建物・25・32・246・327・352・361・369・375・561・705・777号土坑・表採出土遺物

137坑
—1259

705土
—1316

137土—1116

137土—1115

河—1049

河—1050

河—1051

河—1052

河—1053

河—1054

河—1141

河—1142

河—1159

河—1160

河—1161

河—1166

4 溝—1088

グ—1190

グ—1177

1・篠塚清太地区（5区）全景　西から

1・5区全景　東から

2・5区東側三角地　西から

1・5区01号住居全景　西から

2・5区01号住居竈　西から

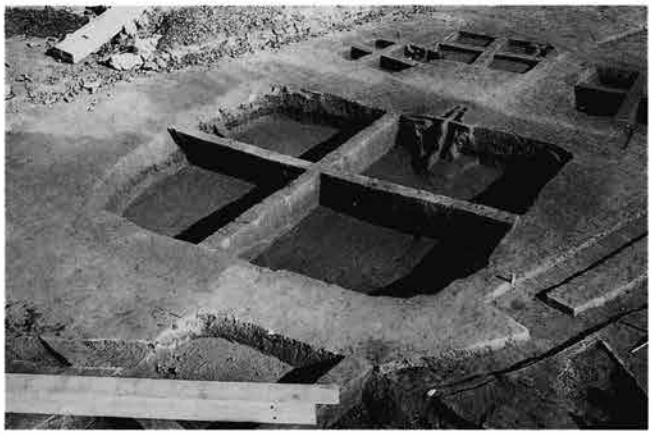
3・5区01号住居竈　南から

4・5区02号住居全景　西から

5・5区02号住居竈　西から

1・5区03号住居全景　南西から

2・5区03号住居竈　南西から



3・5区03号住居土層断面　南から

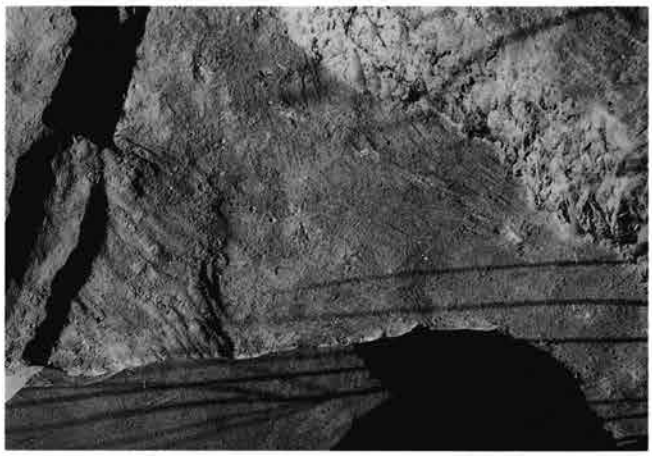
4・5区04号住居全景　西から

5・5区04号住居竈　西から

1・5区05号住居全景　南西から

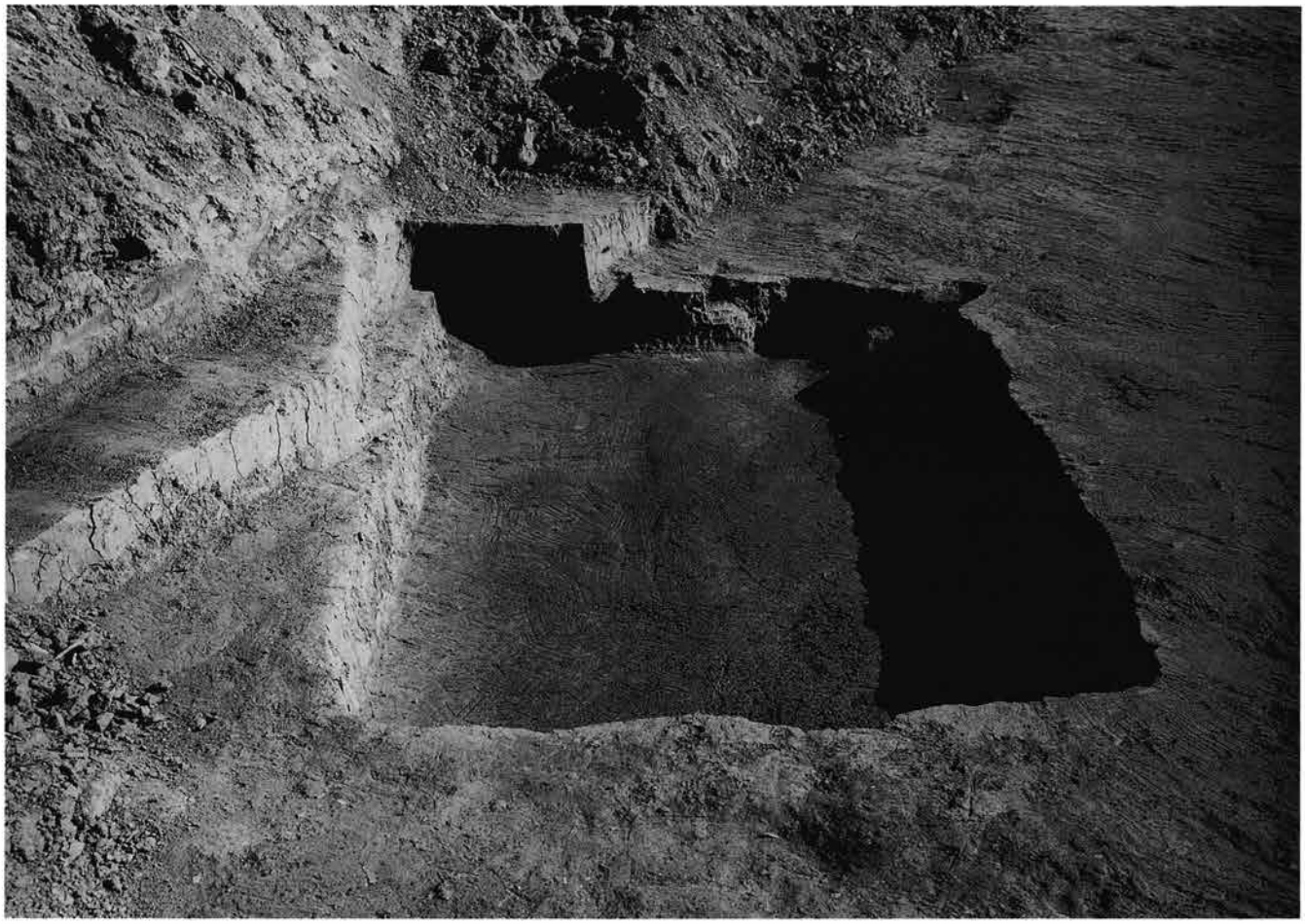
2・5区05号住居竈　南西から

3・5区06号住居全景　北から



4・5区06号住竈　西から

5・5区07号住居全景　北から



1・5区08号住居全景　西から

2・5区09号住居全景　南西から

1・5区08号住居竈　西から

2・5区09号住居竈　南西から

3・5区10号住居土層断面　北から

4・5区11号住居竈　西から

5・5区11号住居全景　西から

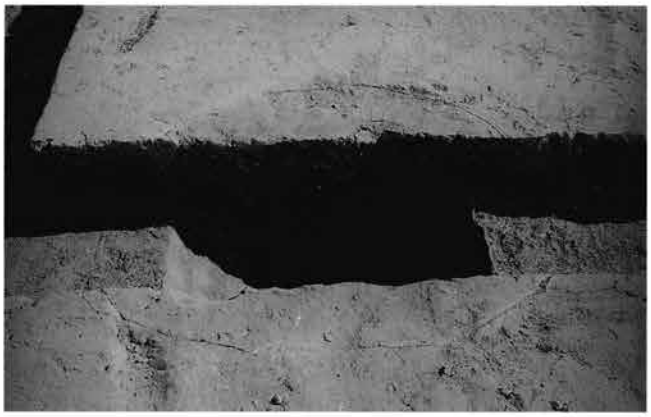
1・5区10・37号土坑全景　南から

2・5区11号土坑全景　南から

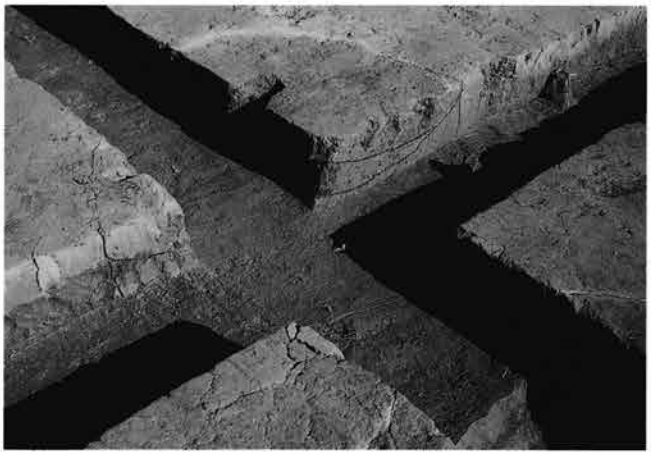
3・5区34号土坑全景　北西から

4・5区01号溜井全景　南西から

5・5区01号溜井全景　東から



6・5区01号焼土遺構断面　西から



7・5区02号焼土遺構断面　南西から

8・5区03号焼土遺構断面　南東から

1・篠塚清太地区（5A区）全景　東から

1・5A区04号溝全景　北西から

2・5A区重複状態　13・15号住居　西から

1・5A区01号住居全景　西から

2・5A区01号住居遺物出土状態

1・5A区01号住居堀り方　西から

2・5A区02号住居遺物出土状態　西から

3・5A区02号住居竈遺物出土状態　西から

4・5A区02号住居竈　西から

5・5A区03号住居全景　西から

1・5A区03号住居掘り方　西から

2・5A区03号住居竈　西から

3・5A区03号住居貯蔵穴遺物出土状態　西から

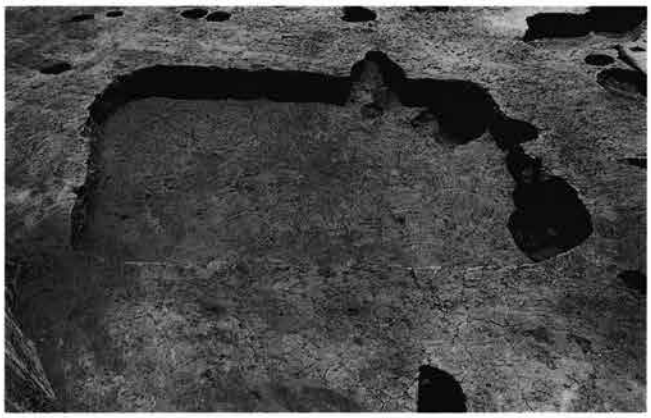
4・5A区03号住居竈掘り方　西から

5・5A区03号住遺物出土状態　西から

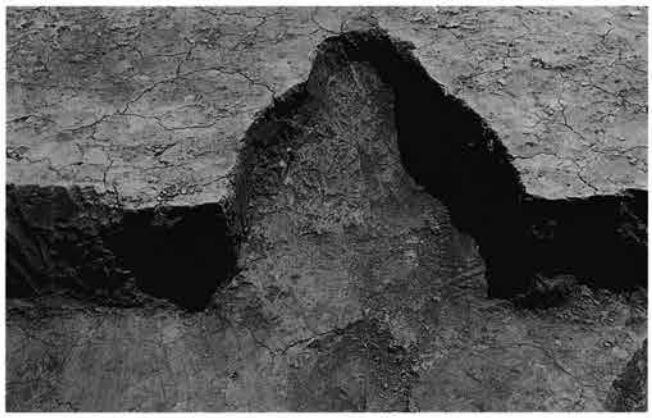
6・5A区03号住居竈セクション　西から

7・5A区03号住居柱穴セクション　南から

8・5A区03号住居竈掘り方　西から



1・5A区04号住居全景　西から



2・5A区04号住居竈　西から

3・5A区05号住居全景　南西から

4・5A区05号住居竈　北西から

5・5A区06号住居全景　西から

6・5A区06号住居竈遺物出土状態　西から

7・5A区06号住居貯蔵穴遺物出土状態　北から

8・5A区06号住居貯蔵穴土層断面　東から

1・5A区07号住居全景　西から

2・5A区07号住居掘り方　西から

3・5A区08号住居竈遺物出土状態　西から

4・5A区08号住居竈　西から

5・5A区09号住居全景　西から

1・5A区09号住居掘り方　西から

2・5A区09号住居竈　西から

3・5A区10号住居全景　西から

4・5A区10号住居掘り方　西から

5・5A区10号住居遺物出土状態　西から

1・5A区10号住居竈　西から

2・5A区10号住居竈　西から

3・5A区11号住居　北西から

4・5A区11号住居竈　北西から

5・5A区12号住居全景　西から

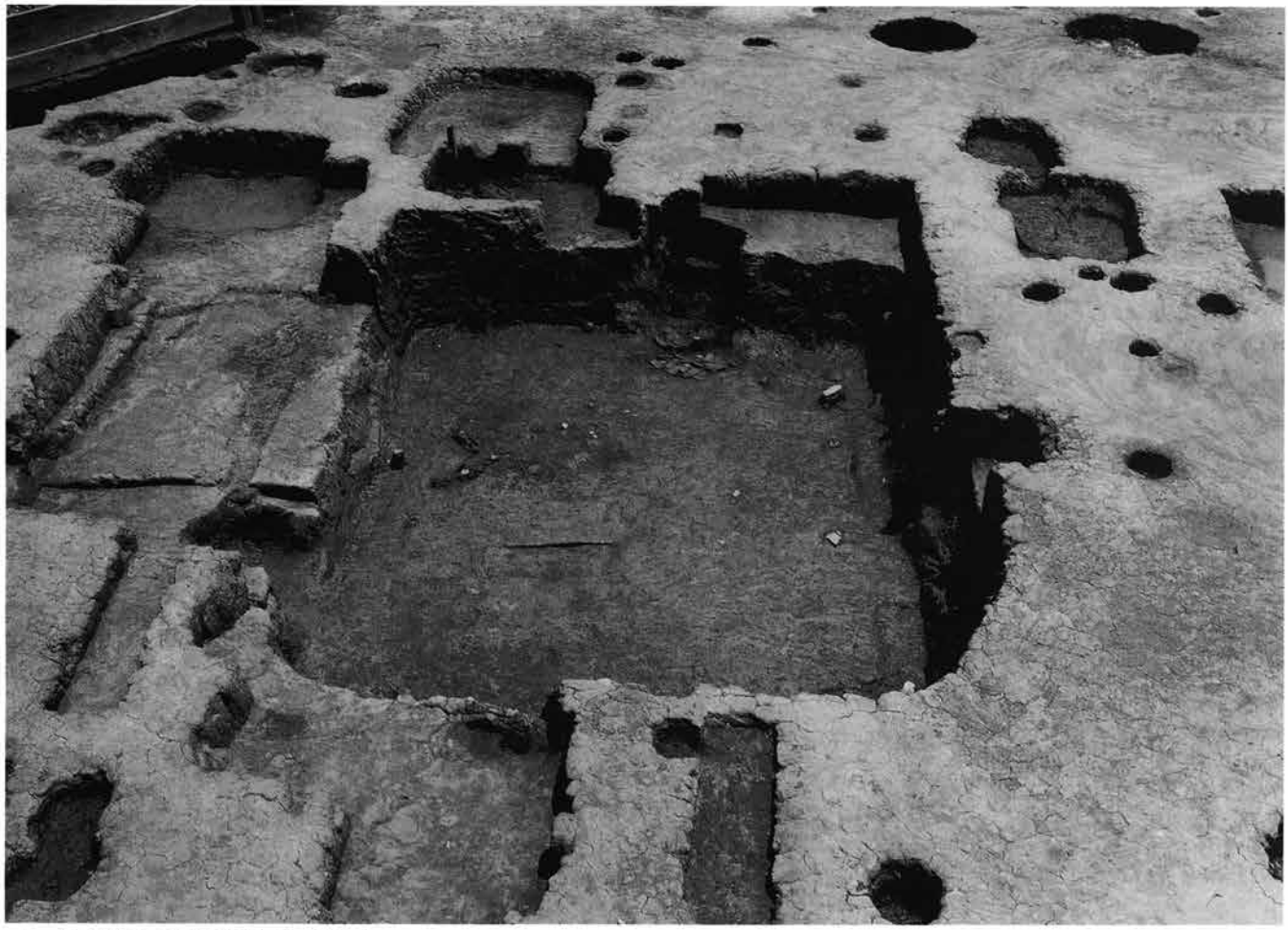
1・5A区12号住居掘り方　西から

2・5A区12号住居竈　西から

3・5A区13号住居全景　西から

4・5A区13号住居竈　西から

4・5A区13号住居貯蔵穴遺物出土状態　東から



1・5A区14・15号住居全景　西から

2・5A区14・15号住居掘り方　西から

3・5A区14号住居竈　西から

4・5A区16号住居全景　東から

5・5A区17号住居全景　西から

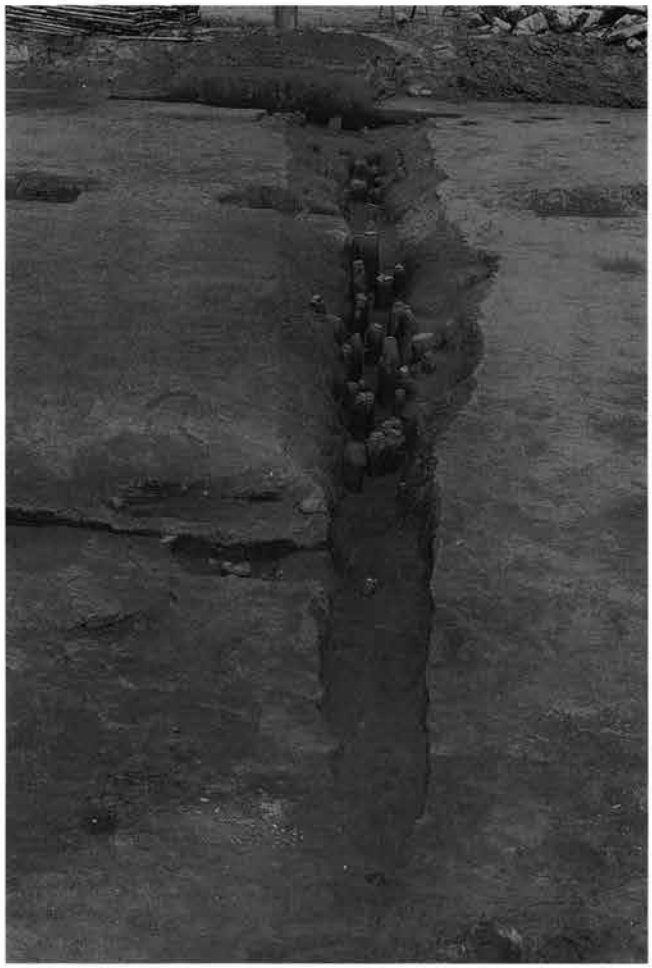
1・5A区18号住居・04号溝全景　北西から

2・5A区17号住居竈　西から

3・5A区18号住居竈　西から

4・5A区18号住居掘り方　西から

5・5A区18号住居04・06・07号溝全景　北西から



1・5A区02号溝全景　西から

2・5A区02号溝　西から

3・5A区02号溝　東から

4・5A区08号住居・02号溝　西から

5・5A区03号溝　北から

6・5A区04号溝　南東から

7・5A区04号溝　北西から

1・5A区04号溝全景　北西から

2・5A区05号溝　東から

3・5A区04・05・06・07号溝全景　東から

4・5A区01号掘立柱建物　北から

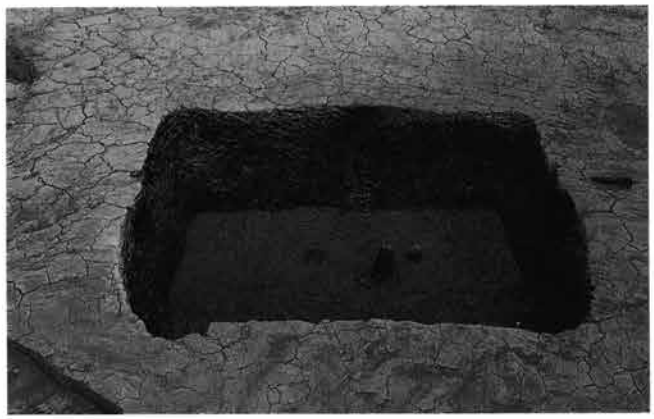
5・5A区02号掘立柱建物　北から

1・5A区土坑群　北から

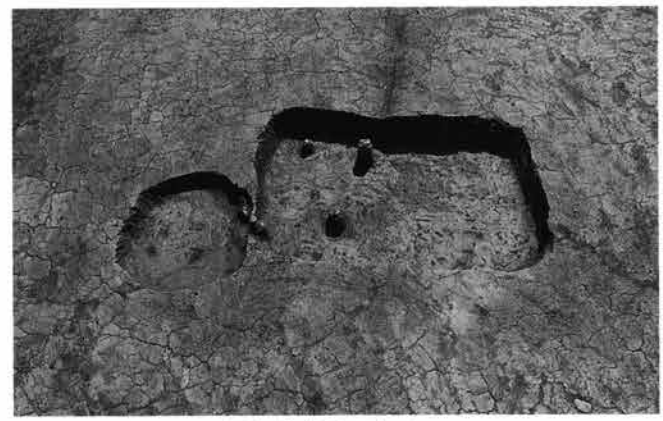
2・5A区87号土坑全景　南西から

3・5A区201・202・203・204・205号土坑全景　西から

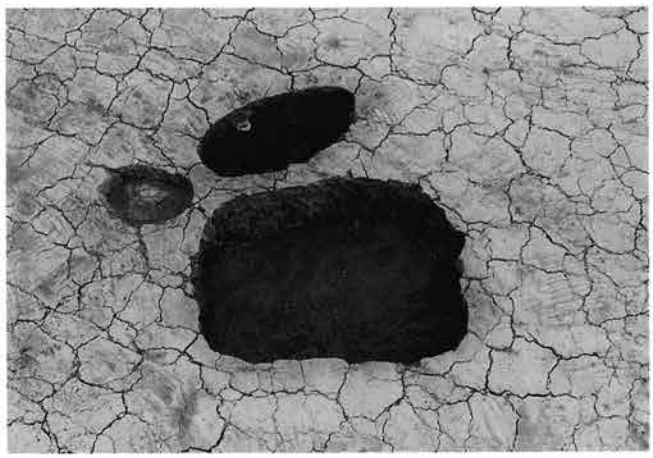
4・5A区206号土坑全景　西から



5・5A区221号土坑全景　南から

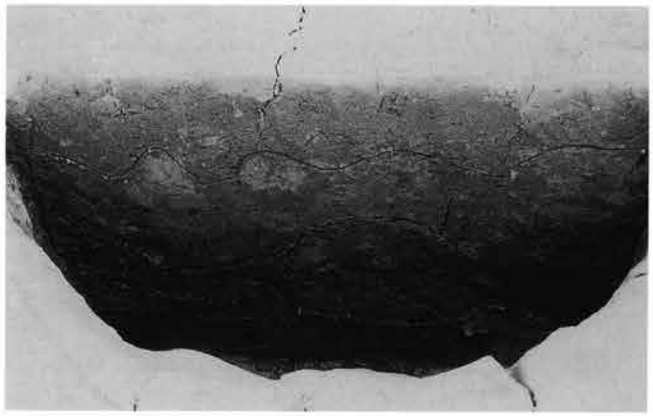


6・5A区241・242号土坑全景　西から

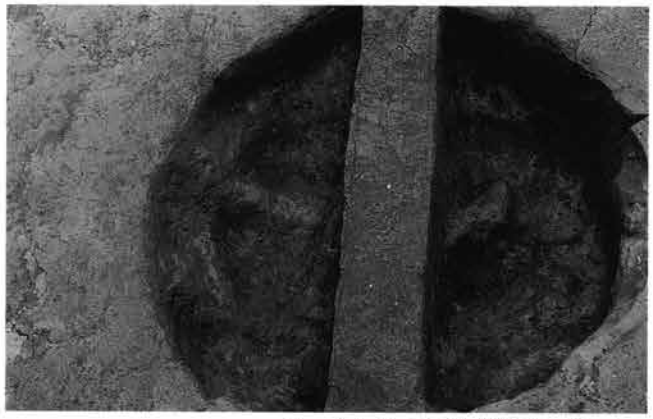


7・5A区247・248・249号土坑全景　北から

8・5A区251号土坑全景　東から



1・5A区256号土坑断面　南から



2・5A区257号土坑断面　西から

3・5A区270号土坑全景　南東から

4・5A区275号土坑全景　東南から

5・5A区283・284号土坑全景　南から

6・5A区313号土坑全景　西から

7・5A区331・333号土坑全景　西から

8・5A区289・290・292・293・334号土坑全景　西から

1・5A区378・379号土坑遺物出土状態　東から

2・5A区402号土坑遺物出土状態　東南から

3・5A区404号土坑焼土　南から

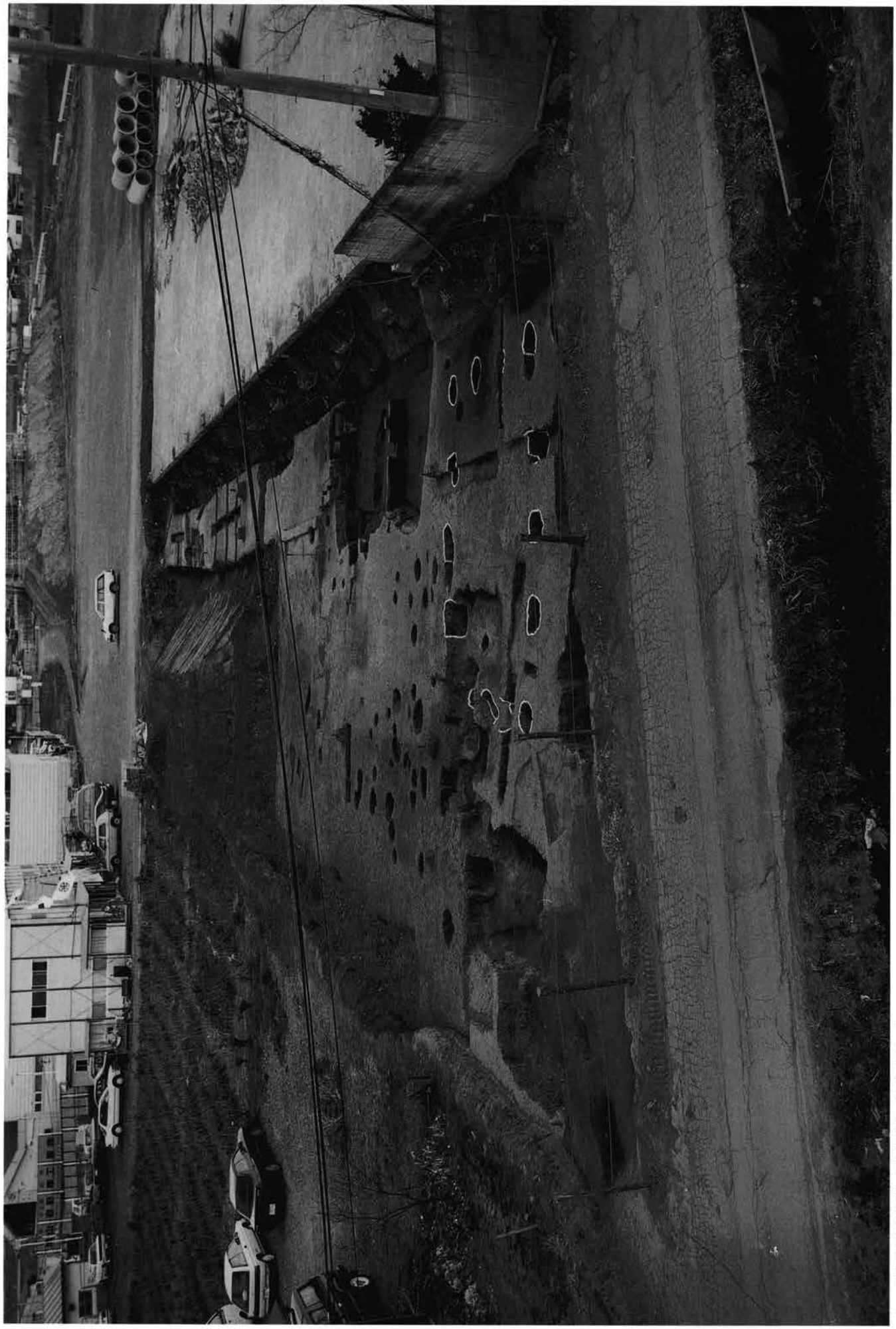
4・5A区405号土坑全景　南から

5・5A区406号土坑全景　東から

6・5A区413号土坑セクション　南から

7・5A区414号土坑断面　南西から

8・5A区01墓坑全景　東から



1・下大塚北原地区（5 B区）全景　西から

1・5B区全景　東から

2・5B区グリッド遺物出土状態　東から

1・5B区01号住居遺物出土状態　西から

2・5B区01号住居掘り方　西から

3・5B区01号住居竈　西から

4・5B区01号住居内土坑遺物出土状態　北から

5・5B区01号住居遺物出土状態・№402　西から

１・５Ｂ区02号住居全景　西から

２・５Ｂ区02号住居竈　西から

３・５Ｂ区03号住居竈　西から

４・５Ｂ区03号住居全景　西から

５・５Ｂ区03号住居掘り方遺物出土状態　西から

６・５Ｂ区03号住居内土坑遺物出土状態　南から

1・5B区03号住居掘り方遺物出土状態　東から

2・5B区04号住居全景　西から

3・5B区05号住居遺物出土状態　東から

4・5B区05号住居全景　東から

5・5B区06号住居竈出土状態　西から

6・5B区06号住居竈煙道部出土状態　西から

1・5 B区06号住居全景　西から

2・5 B区06号住居第1・2・3竈　西から

3・5 B区06号住居遺物出土状態　西から

4・5 B区07号住居遺物出土状態　南から

5・5 B区07号住居全景　東から

1・5B区08号住居竈出土状態　南から

2・5B区09号住居竈出土状態　南から

3・5B区10号住居全景　南から

4・5B区10号住居竈出土状態　南から

5・5B区10号住居竈断面　南から

１・５Ｂ区11号住居全景　西から

２・５Ｂ区11号住居竈出土状態　西から

３・５Ｂ区11号住居貯蔵穴遺物出土状態　南から

４・５Ｂ区12号住居竈　西から

５・５Ｂ区12号住居竈掘り方　西から

1・5B区12号住居全景　西から

2・5B区12号住居遺物出土状態　西から

3・5B区13号住居遺物出土状態　北から

4・5B区13号住居全景　南から

１・５Ｂ区14号住居竈　東から

２・５Ｂ区14号住居竈掘り方　東から

３・５Ｂ区14号住居全景　東から

４・５Ｂ区15号住居全景　北西から

５・５Ｂ区15号住居断面　北西から

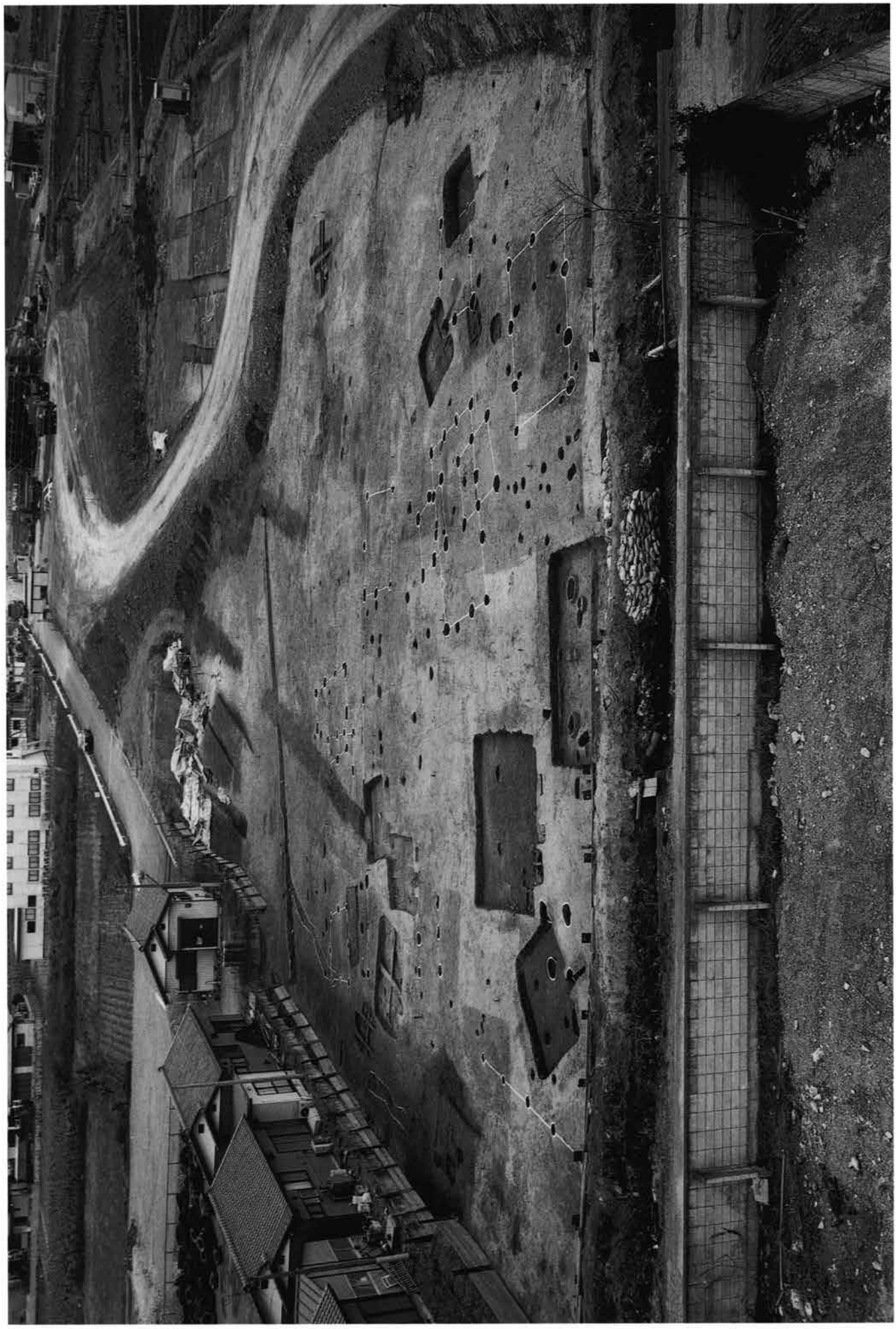
1・5B区01号掘立柱建物全景　東から

2・5B区20号土坑全景　南西から

3・5B区59号土坑全景　東から

4・5B区18号土坑遺物出土状態　南東から

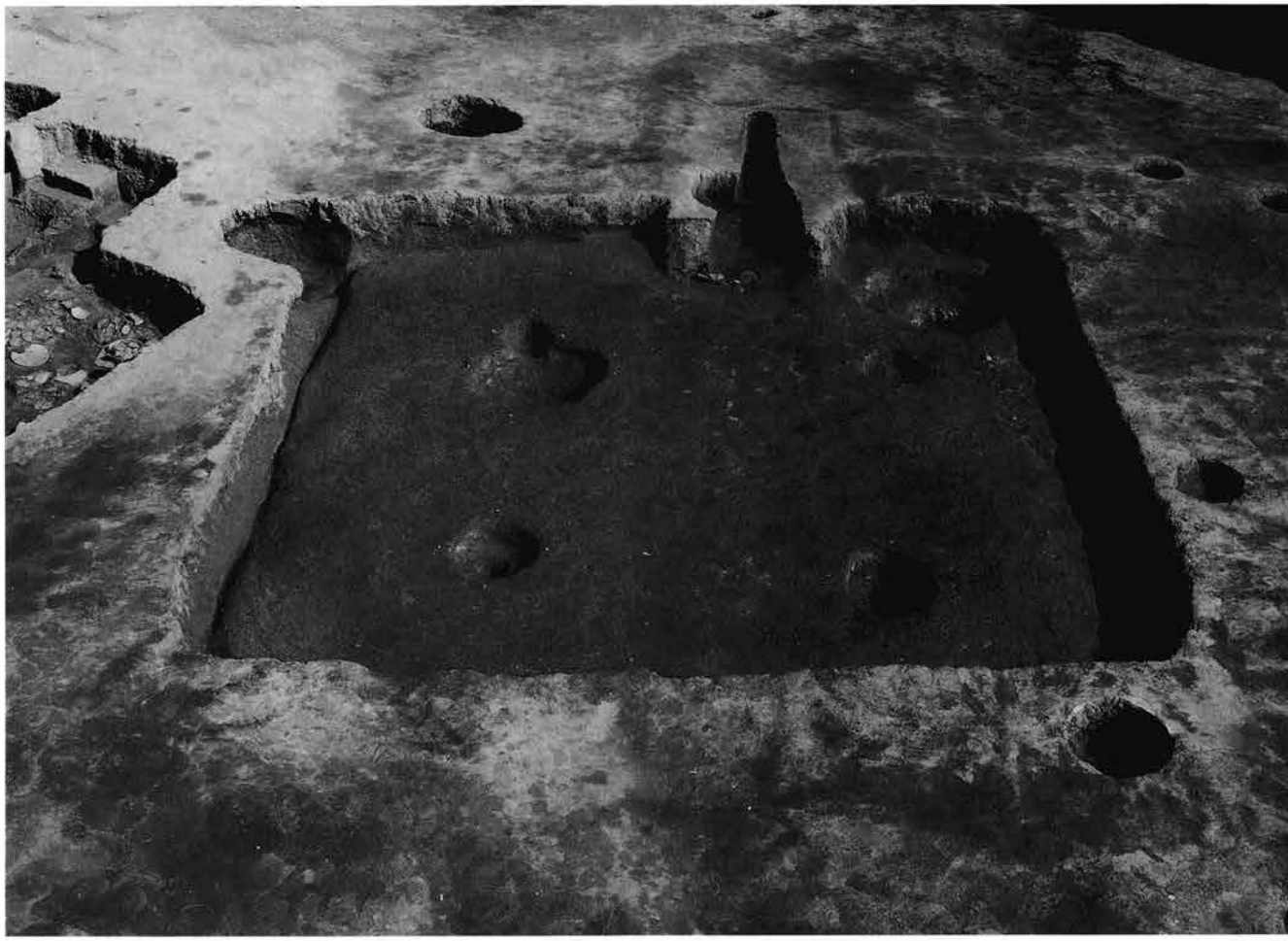
5・5B区01号土器溜り全景　西から



1・下大塚北原地区（6区）全景　東から

1・6区掘立柱建物群全景　西から

2・6区側道部分全景　東から



1・6区01号住居全景　南西から

2・6区01号住居竈　南西から

3・6区01号住居貯蔵穴遺物出土状態　南西から

4・6区01号住居竈遺物出土状態　西から

5．6区01号住居遺物（薦編石）　西から

1・6区02号住居全景　南西から

2・6区02号住居竈遺物出土状態　南西から

3・6区02号住居竈　南西から

4・6区03a号住居竈遺物出土状態　南西から

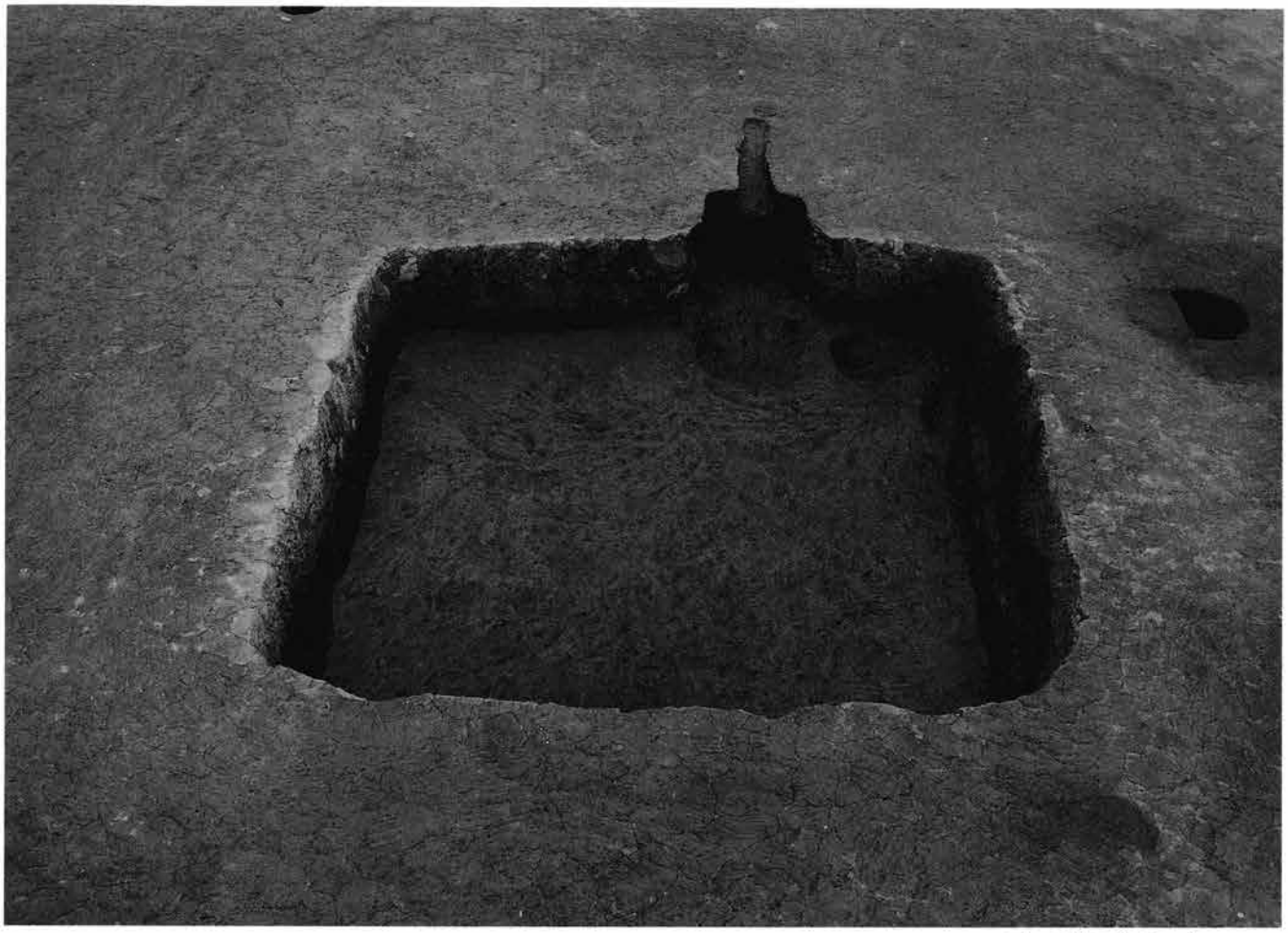
5・6区3a号住居遺物出土状態　北西から

1・6区03a号住居全景　西から

2・6区03b号住居全景　西から

1・6区03b号住居貯蔵穴遺物出土状態　西から

2・6区03a・b号住居掘り方　西から



3・6区04号住居全景　南西から

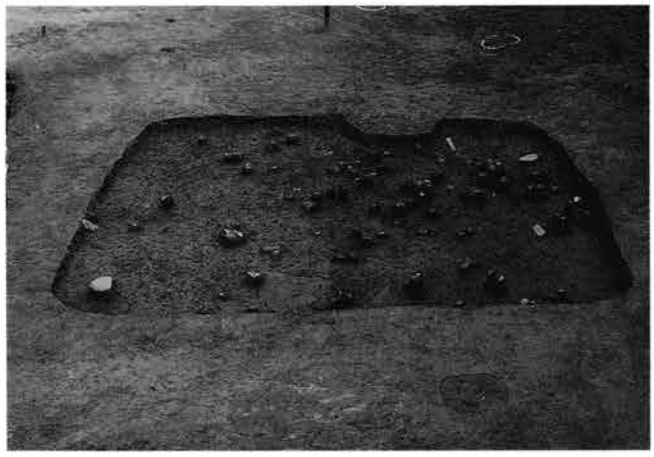
4・6区04号住居竈　南西から

5・6区04号住居遺物出土状態№1119　西から

1・6区05号住居全景　西から

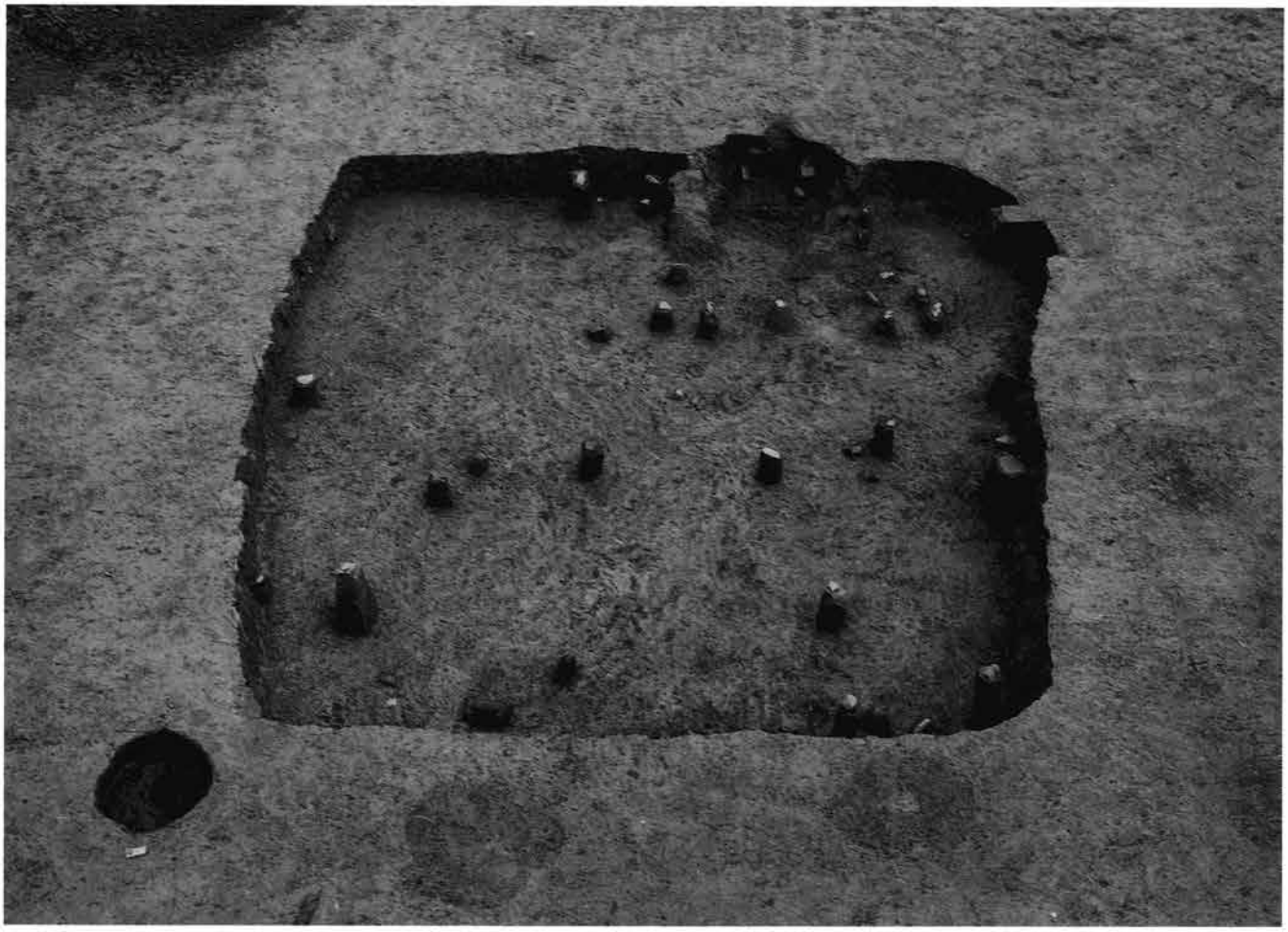
2・6区05号住居竈　西から

3・6区05号住居竈遺物出土状態　西から



4・6区05号住居遺物出土状態　西から

5・6区05号住居遺物出土状態№1132　西から



1・6区06号住居全景　西から

2・6区06号住居竈遺物出土状態　西から

3・6区06号住居竈　西から

4・6区06号住居掘り方　西から

5・6区06号住居内土坑　東から

1・6区07号住居全景　南西から

2・6区07号住居竈　南西から

3・6区07号住居竈遺物出土状態　西から

4・6区07号住居遺物出土状態　南西から

5・6区07号住居遺物出土状態　東から

1・6区08号住居全景　南西から

2・6区08号住居竈遺物出土状態　南西から

3・6区08号住居竈　南西から

4・6区08号住居遺物出土状態　南西から

5・6区08号住居遺物出土状態　西から

1・６区09号住居全景　西から

2・６区09号住居掘り方　西から

3・６区09号住居遺物出土状態　西から

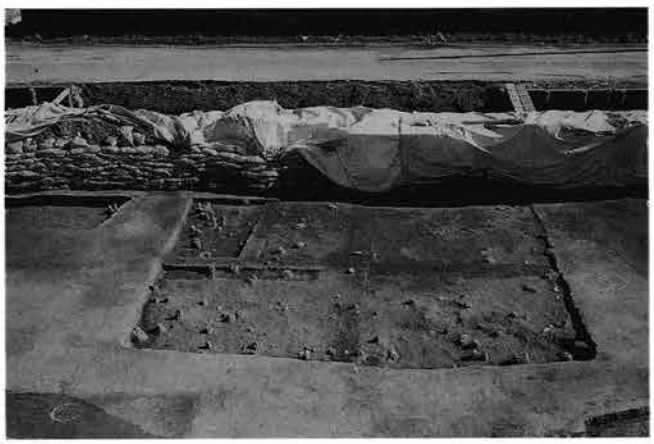
5・６区09号住居竈遺物出土状態　西から

4・６区09号住居竈　西から

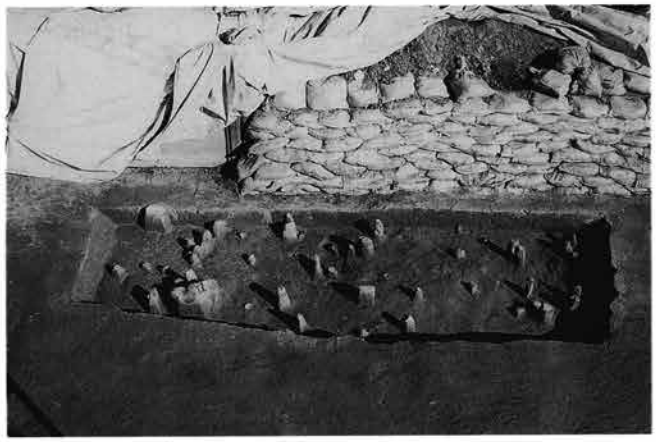
1・6区10号住居全景　南西から

2・6区10号住居竈　南西から

3・6区10号住居遺物出土状態№1175　南西から



4・6区11号住居遺物出土状態　西から



5・6区12号住居遺物出土状態　西から

1・6区11号住居全景　南西から

2・6区12号住居全景　西から

3・6区13号住居竈内遺物出土状態　西から

4・6区13号住居竈掘り方　西から

1・6区13号住居全景　西から

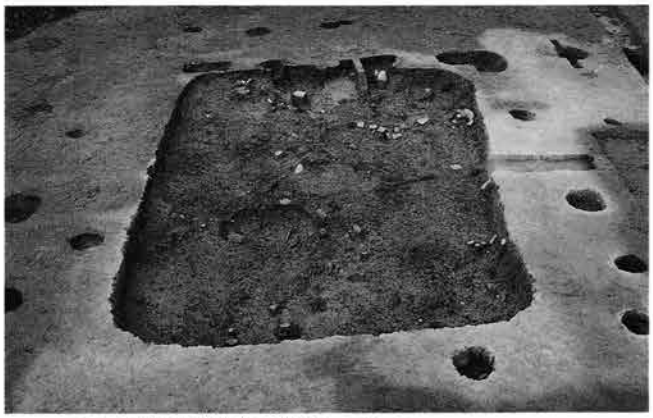
2・6区14号住居全景　西から

1・6区14号住居竈　西から

2・6区15号住居竈　南西から

3・6区15号住居全景　南西から

4・6区16号住居竈　西から



5・6区16号住居遺物出土状態　西から

1・6 区16号住居全景　西から

2・6 区16号住居貯蔵穴遺物出土状態　北西から

3・6 区16号住居階段状遺構炭化材出土状態　西から

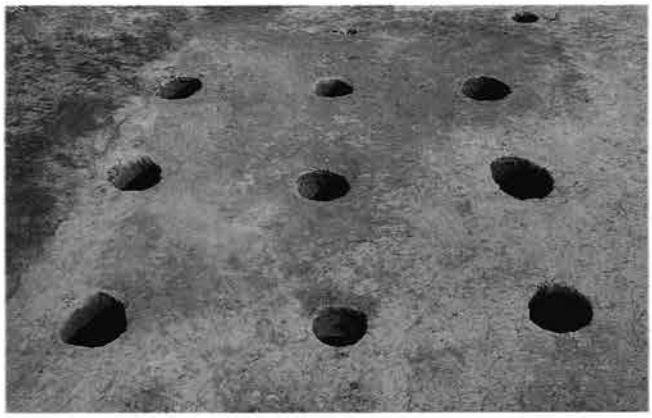
4・6 区16号住居繊維質敷物出土状態　北から

5・6 区16号住居壁の屋根　西から

1・6区17号住居竈崩落断面　南西から

2・6区17号住居竈　西から

3・6区17号住居・247号土坑全景　西から

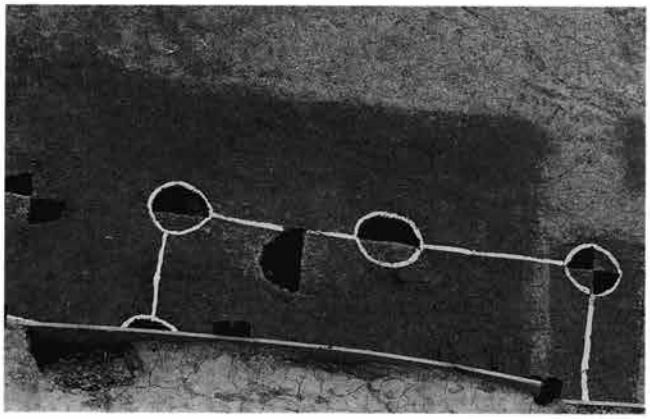


4・6区01号掘立全景　西から

5・6区02号掘立、06号住居全景　西から

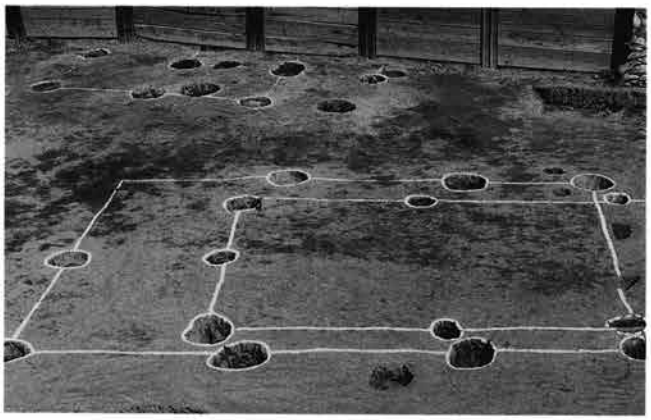
1・6区03号掘立柱建物全景　西から

2・6区04号掘立柱建物全景　東から

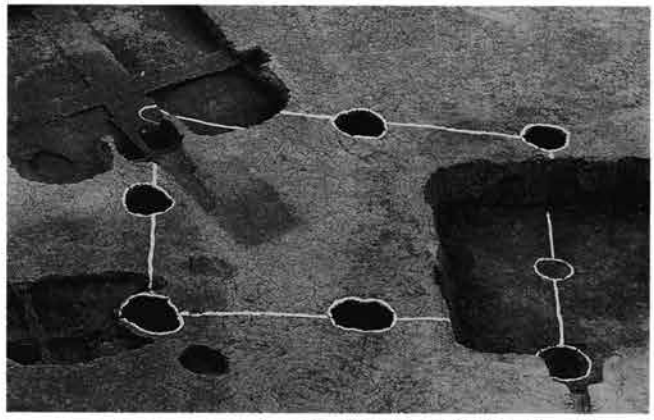


3・6区05号掘立柱建物　東から

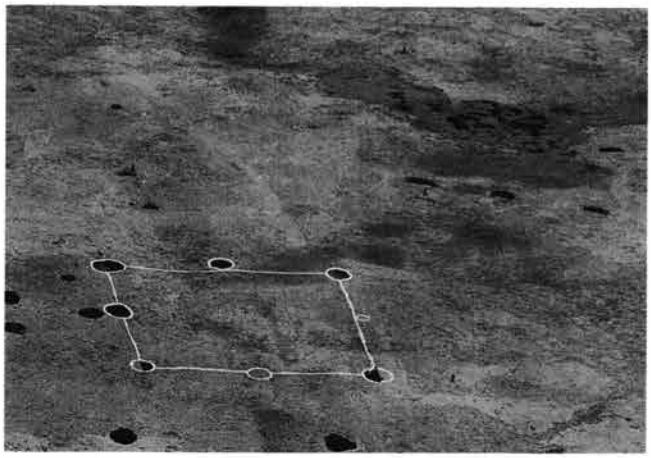
4・6区05・06号掘立柱建物　西から



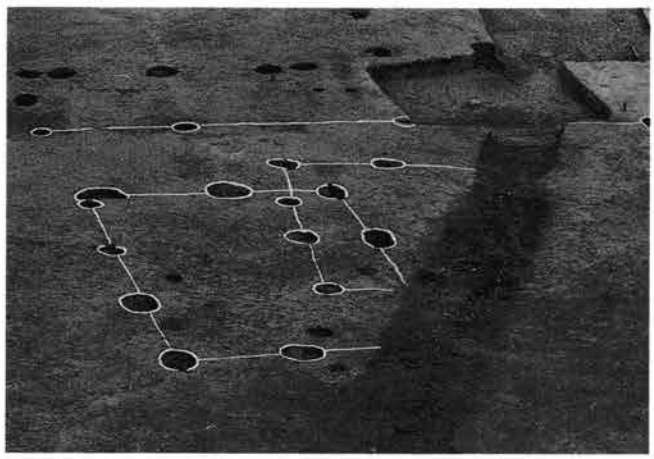
5・6区07・18号掘立柱建物全景　西から



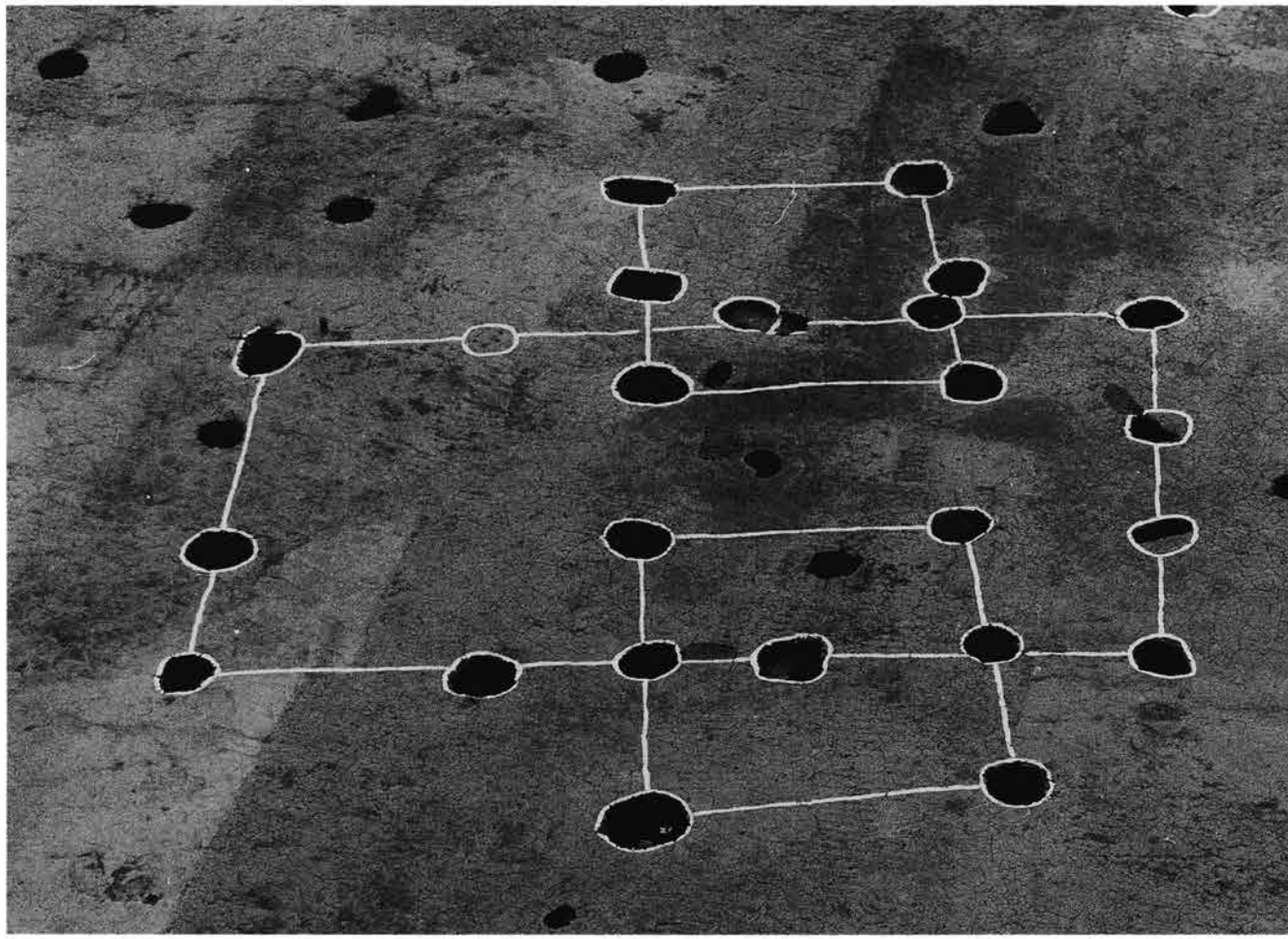
6・6区08号掘立柱建物全景　東から



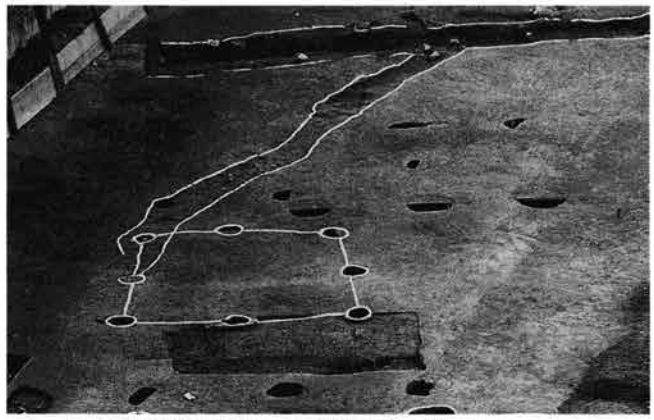
7・6区12号掘立柱建物全景　東から



8・6区13・14号掘立柱建物全景　西から

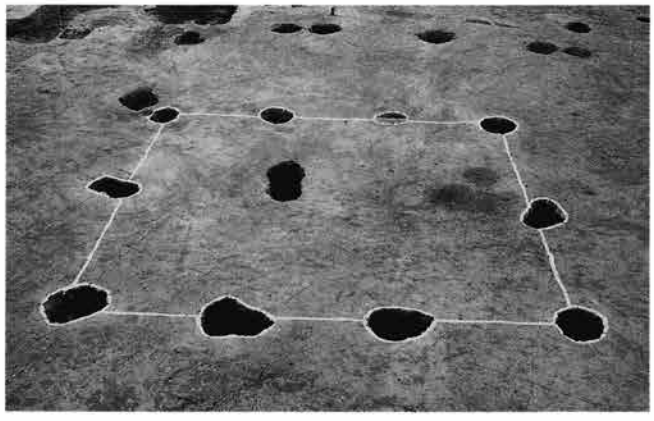


1・6区09・10・11号掘立柱建物全景　東から



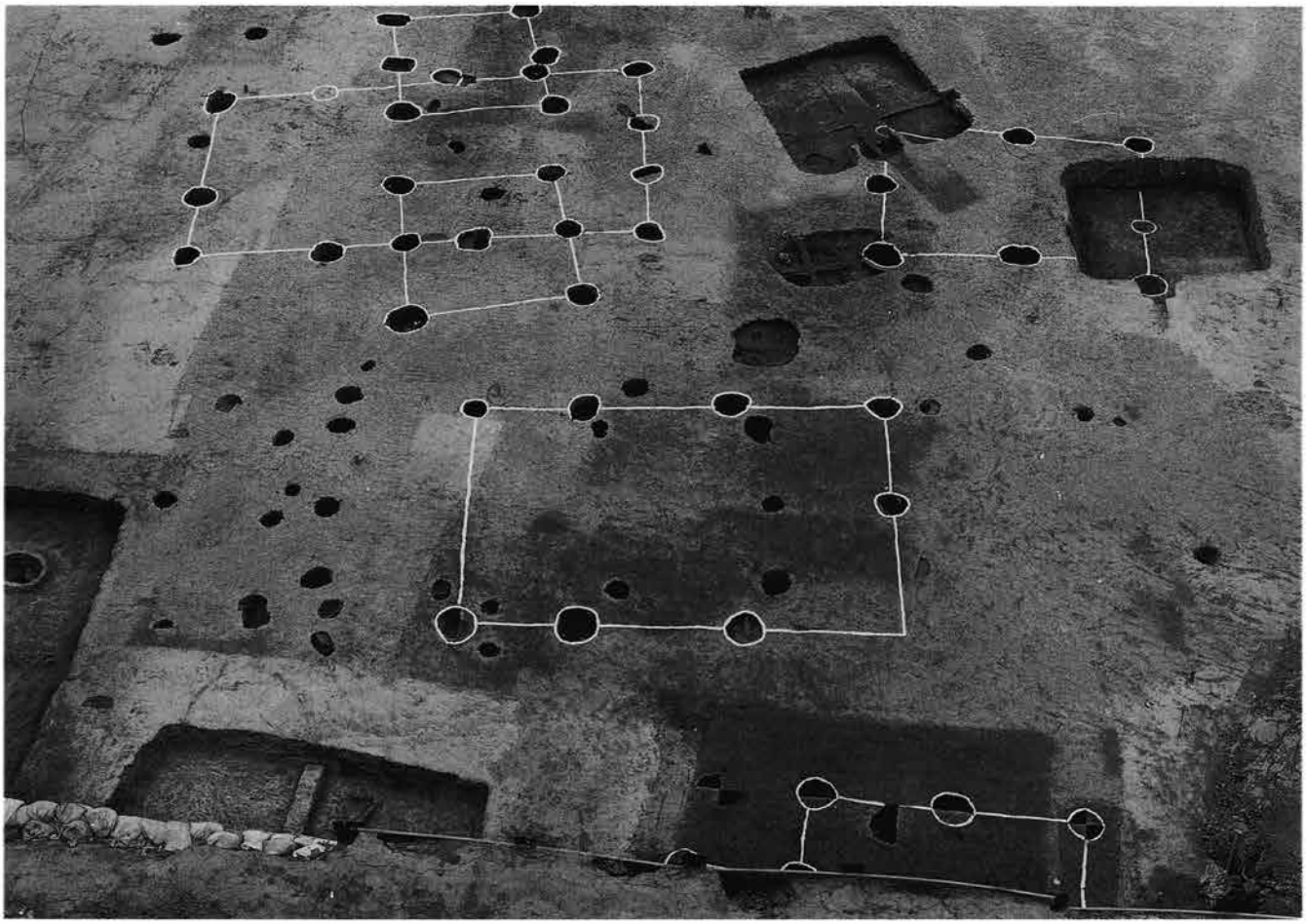
2・6区15号掘立柱建物・01号溝全景　東から

3・6区16号掘立柱建物全景　東から



4・17号掘立柱建物全景　東から

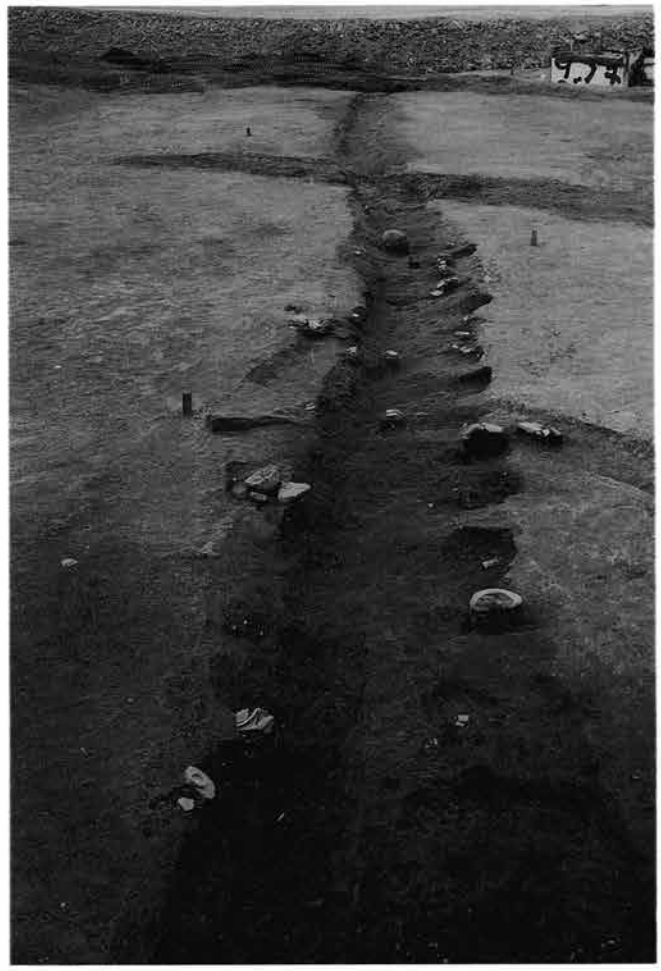
5・6区19号掘立柱建物全景　西から



1・6区掘立柱建物群全景　東から

2・6区掘立柱建物群全景　東から

1・6区01号溝全景　西から



2・6区02号溝全景　南西から

3・6区04号溝全景　東から

4・6区04号溝分岐状態　北から

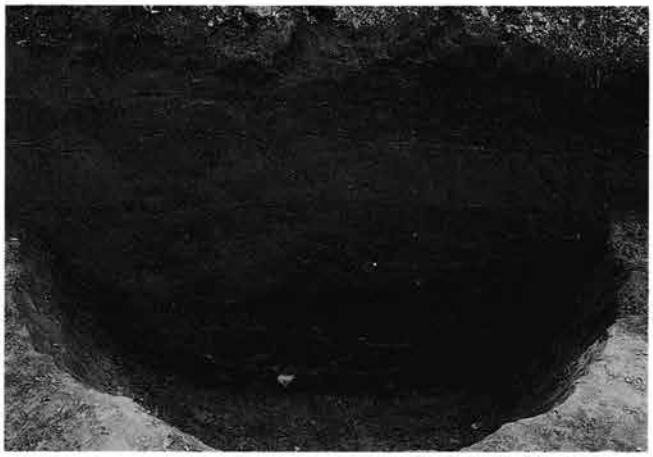
5・6区04号溝土層断面　東から

6・6区06号溝、247・248号土坑全景　北から

1・6区07・08・09号溝全景　北から

2・6区07・08号溝全景　西から

3・6区07号溝内礫出土状態　東から



4・6区01号井戸土層断面　北から

5・6区222号土坑内遺物出土状態　東から

1・6区247号土坑全景　東から

2・6区248号土坑全景　北から

3・6区249号土坑全景　東から

4・6区280号土坑全景　南から

5・6区01号墓坑全景　東から

6・6区02号墓坑全景　西から

7・6区03号墓坑全景　西から

8・6区04号墓坑全景　西から

1・6区05号墓坑全景　東から

2・6区06号墓坑全景　南から

3・6区07号墓坑全景　東から

4・6区07号墓坑人骨出土状態　東から

5・6区墓坑群　南から

1・6区08号墓坑全景　南から

2・6区08・09号墓坑　西から

3・6区10号墓坑全景　南から

4・6区北壁基本土層　南から

5・6区水田址全景　西から

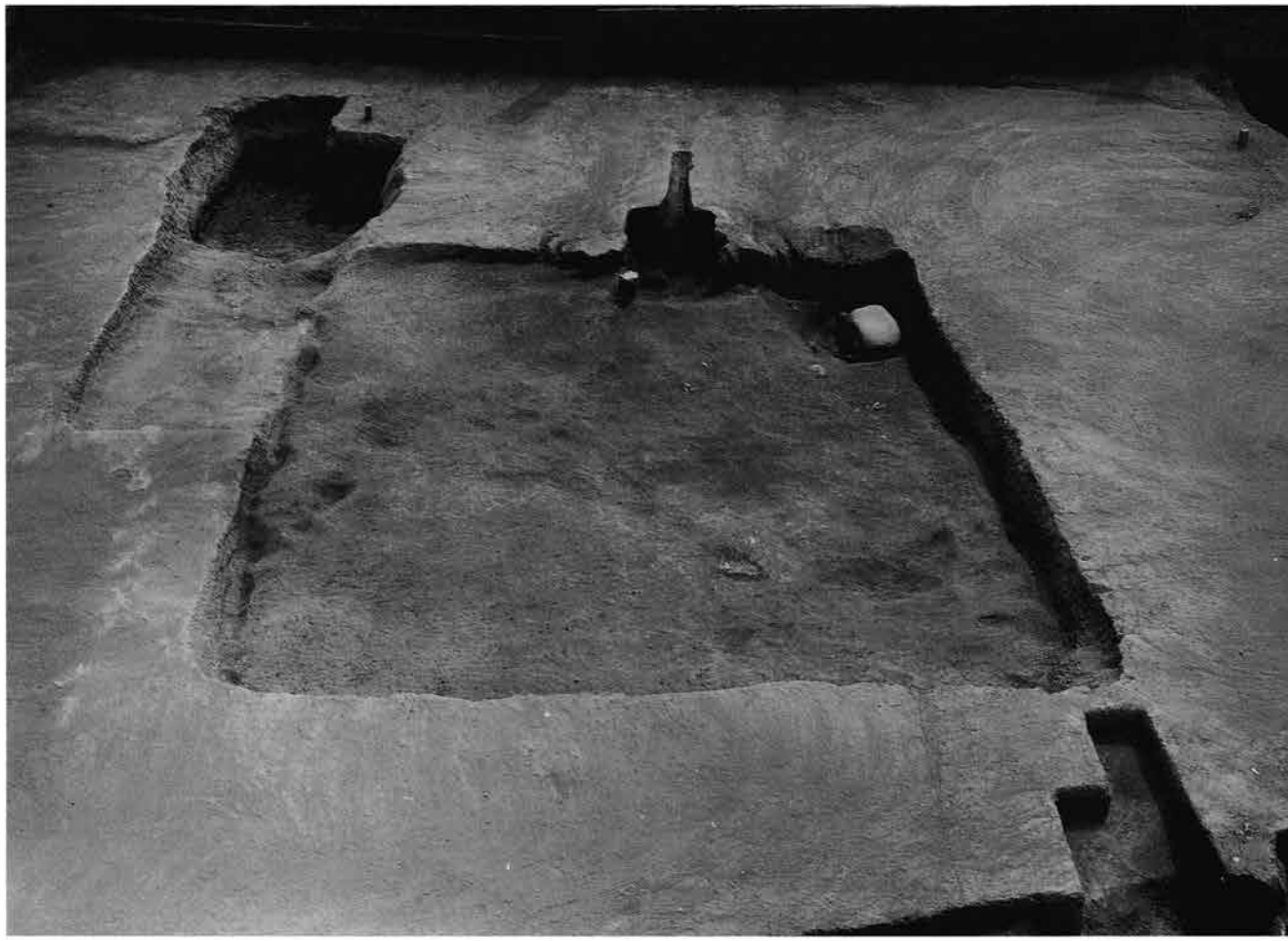
1・6区水田址　東から

2・6区水田址　西から

1・本動堂地区（7区）全景　西から

1・7区全景　西から

2・7区溝群　南から



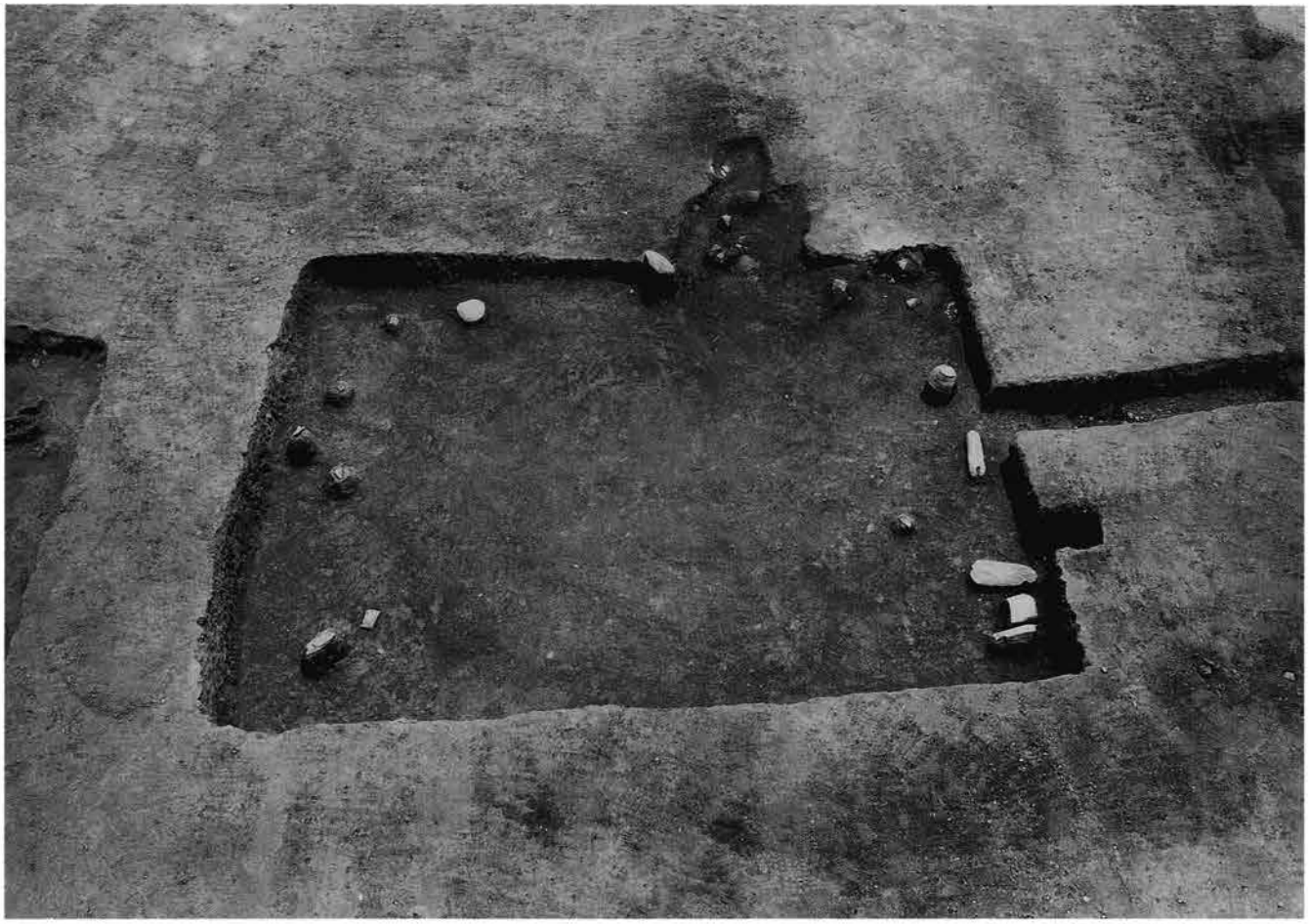
1・7区01号住居全景　西から

2・7区01号住居掘り方　西から

3・7区01号住居竈　西から

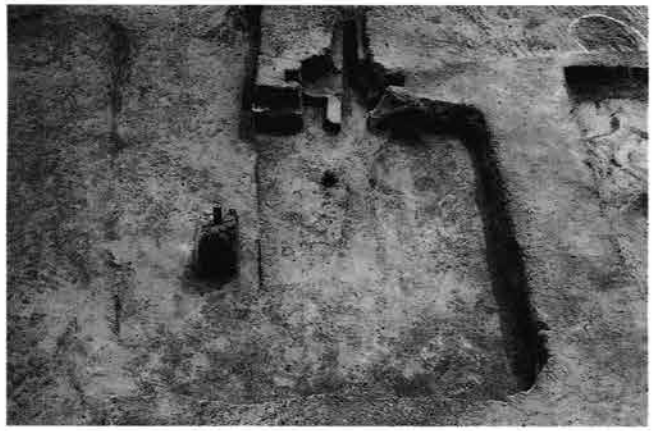
4・7区02号住居掘り方　西から

5・7区02号住居竈　西から



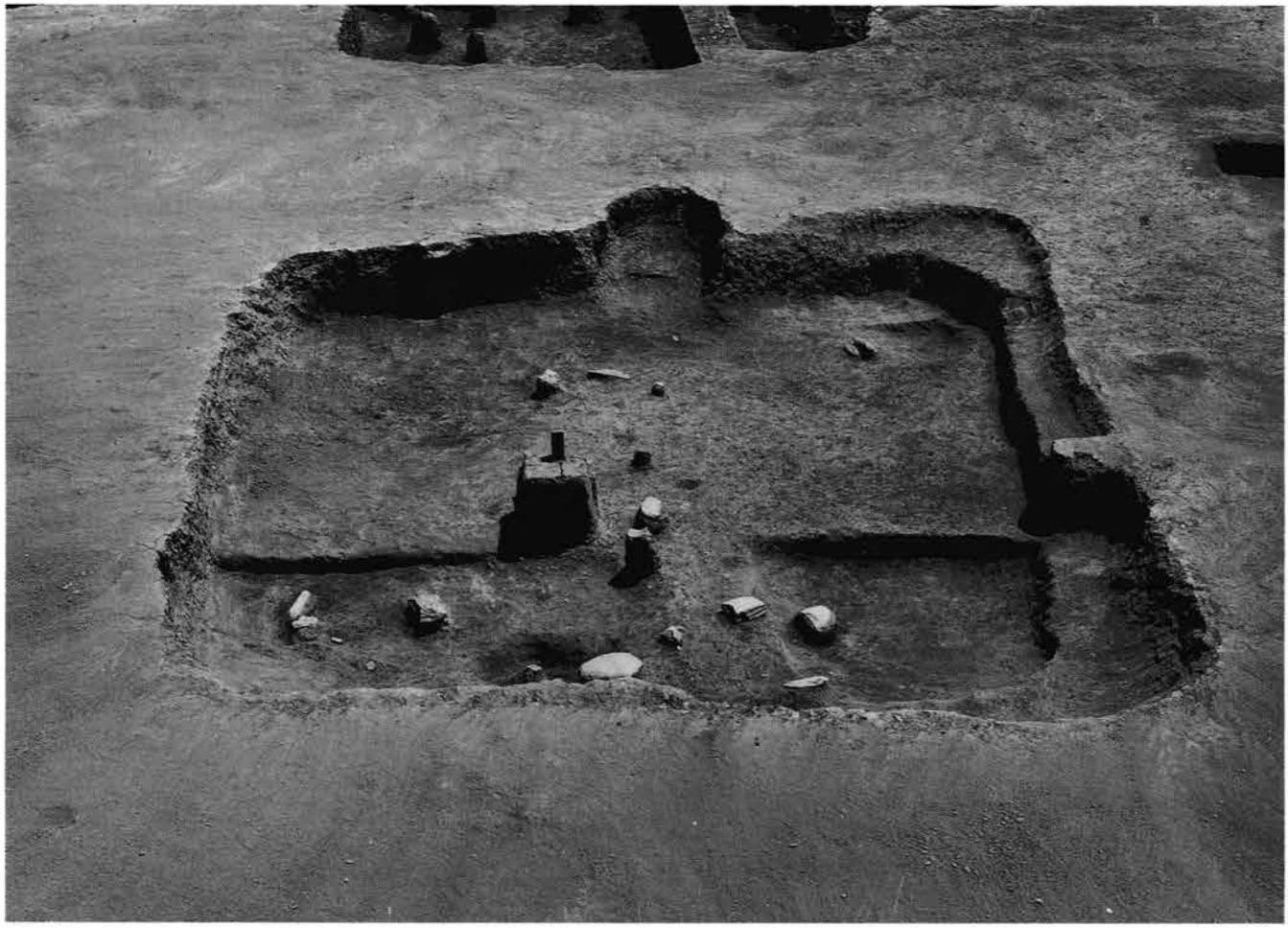
1・7区02号住居全景　西から

2・7区03号住居全景　西から



1・7区03号住居竈　西から

2・7区03号住居竈掘り方　西から



3・7区04号住居全景　西から

4・7区04号住居掘り方　西から

5・7区04号住居竈　西から

1・７区04号住居竈遺物出土状態　西から

2・７区04号住居竈・貯蔵穴　西から

3・７区05号住居全景　西から

4・７区05号住居竈　西から

5・７区05号住居竈遺物出土状態　西から

１・７区06号住居全景　西から

２・７区06号住居掘り方　西から

３・７区06号住居遺物出土状態　西から

４・７区06号住居竈　西から

５・７区06号住居竈付近遺物出土状態　西から

１・７区07号住居全景　西から

２・７区07号住居竈　西から

３・７区07号住居貯蔵穴遺物出土状態　北西から

４・７区07・08号住居掘り方　西から

５・７区08号住居竈　西から

1・7区01・08号住居遺物出土状態、07号住居出土状態　西から

2・7区09号住居全景　西から

１・７区10号住居全景　西から

２・７区10・11号住掘り方　西から

３・７区10号住居竈　西から

４・７区10号住居・11号住居掘り方　西から

５・７区11号住居竈　西から

1・7区11号住居全景　西から

2・7区12号住居全景　西から

1・7区12号住居掘り方　西から

2・7区12号住居竈　西から

3・7区13号住居全景　西から

4・7区13号住居掘り方　西から

5・7区13号住居遺物出土状態　西から

1・7区13号住居竈　西から

2・7区13号住居竈遺物出土状態　西から

3・7区14号住居全景　西から

4・7区14号住居掘り方　西から

5・7区14号住居竈　西から

１・７区15号住居全景　西から

２・７区15号住居掘り方　西から

３・７区15号住居竈　西から

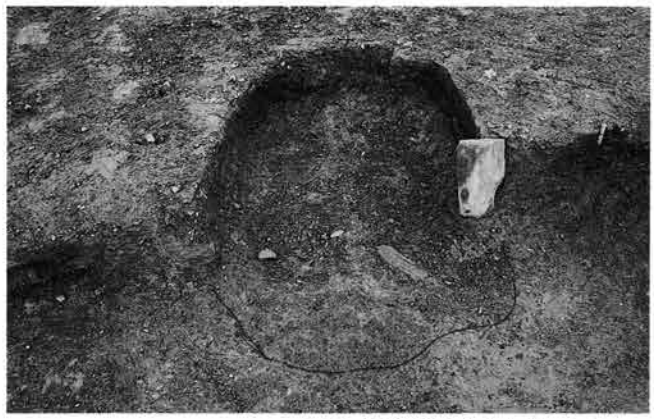
４・７区16号住居全景　西から

５・７区16号住居竈　西から

7区16号住居掘り方　西から

7区17号住居全景　西から

1・7区17号住竈　西から



2・7区17号住居竈出土状態　西から

3・7区18号住居全景　西から

4・7区18号住居掘り方　西から

5・7区18号住居竈　西から

1・7区19号住居全景　西から

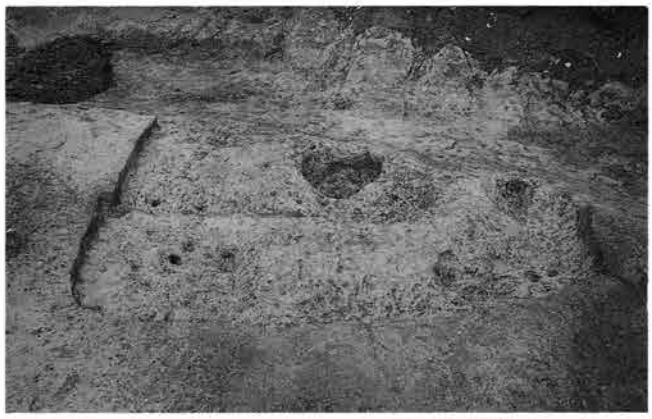
2・7区19号住居掘り方　西から

3・7区19号住居遺物出土状態　西から

4・7区19号住居竈　西から

5・7区19号住居竈遺物出土状態　西から

１・７区19号住居竈・貯蔵穴遺物出土状態　西から



２・７区20号住居掘り方　西から

３・７区20号住居全景　東から

４・７区01号溝全景　西から

５・７区02号溝全景　北から

1・7区03号溝全景　北西から

2・7区04号溝全景　南から

3・7区04号溝内礫群　東から

4・7区06号溝全景　北から

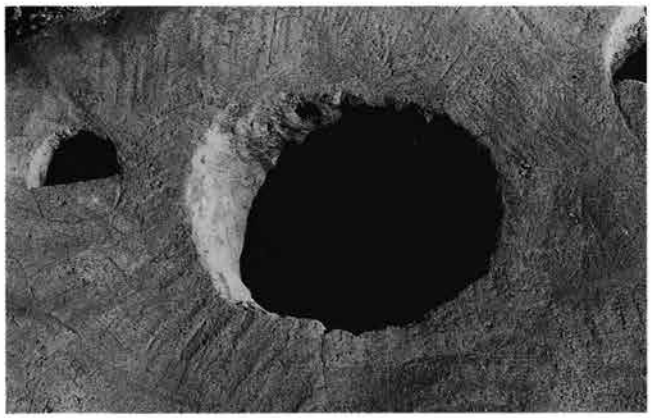
5・7区02・04号溝重複部分　南から

1・7区01号土坑断面　南東から

2・7区04号土坑全景　西から

3・7区05号土坑全景　南から

4・7区07号土坑全景　南から



5・7区12号土坑全景　南から

6・7区14号土坑全景　南から

7・7区16号土坑全景　東から

8・7区17号土坑全景　南から

1・7区21号土坑全景　東から

2・7区28号土坑全景　西から

3・7区33号土坑全景　東から

4・7区34号土坑セクション　西から

5・7区35号土坑全景　西から

6・7区36号土坑全景　西から

7・7区37号土坑全景　西から

8・7区38号土坑全景　西から

1・7区43号土坑全景　南から

2・7区46号土坑全景　南から

3・7区55号土坑全景　東から

4・7区65号土坑全景　北から

5・7区74号土坑全景　北から

6・7区79号土坑全景　南西から

7・7区113・114・115号土坑全景　南から

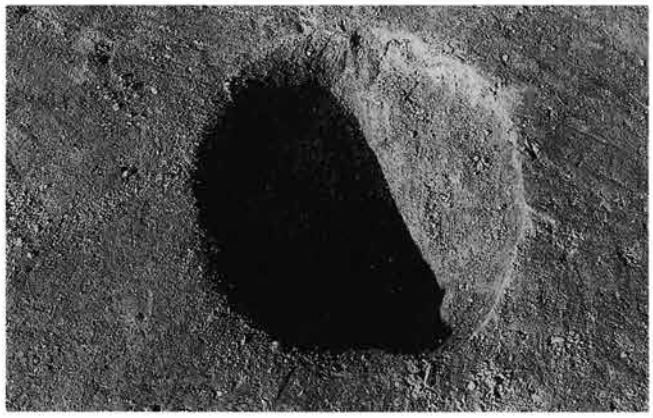
8・7区02号溝縁辺ピット群　南西から

1・7区02号溝縁辺ピット群　西から

2・7区02号溝縁辺ピット群　西から

3・7区103号土坑全景　北西から

4・7区02号溝縁辺ピット群　北西から

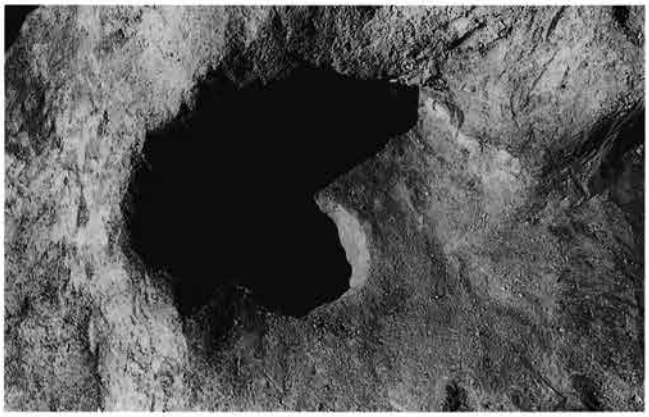


5・7区110号土坑全景　南から

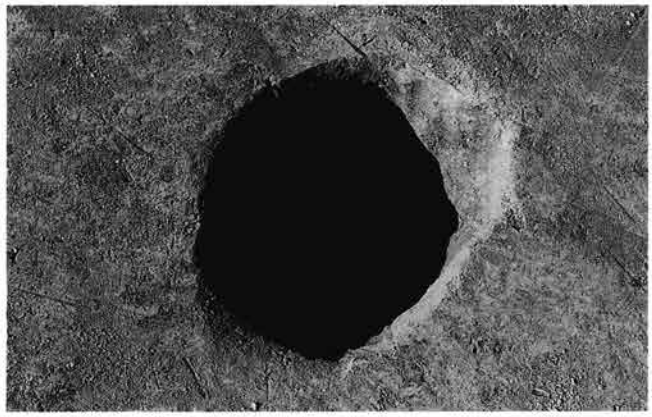
6・7区111・112号土坑全景　南から

7・113・114・115号土坑全景　南から

8・7区116・117・118号土坑全景　南から



1・7区119号土坑全景　南から



2・7区120号土坑全景　南から

3・7区123号土坑全景　南から

4・7区02号溝縁辺ピット群部分　西から

5・7区02号溝縁辺ピット群全景　西から

6・7区01号墓坑人骨出土状態　南西から

7・7区01号粘土溜り全景　北から

01住－1

02住－24

02住－28

03住－29

01住－22

03住－30

03住－31

03住－40

03住－54

03住－57

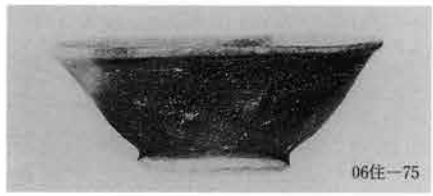
03住－58

03住－55

03住－48

5区01・02・03号住居出土遺物

06住−72


06住−75

07住−77

09住−12

09住−20

02住−170

02住−225

09住−21

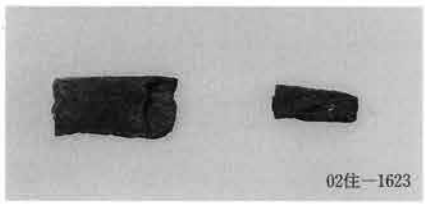
02住−172

02住−226

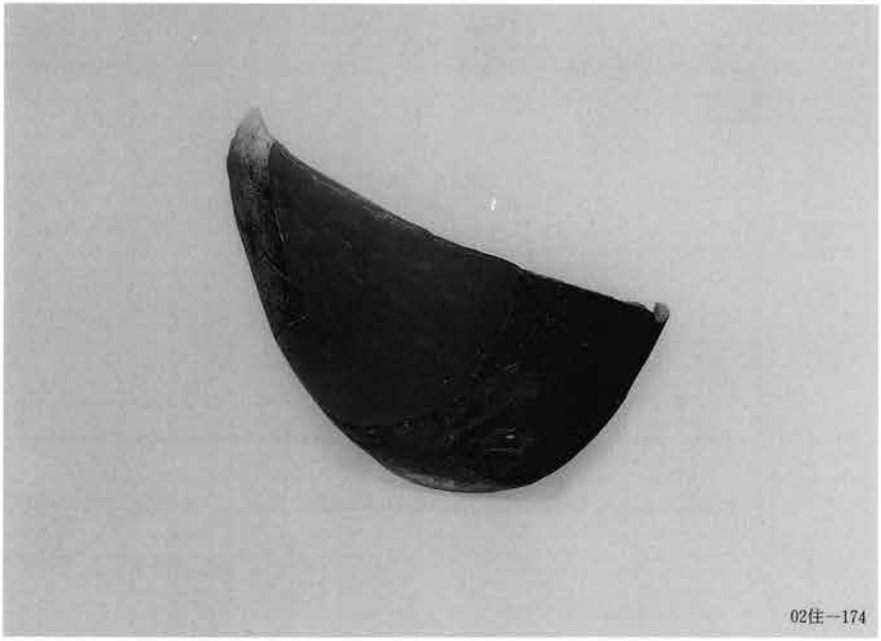
02住−227

02住−181

02住−228

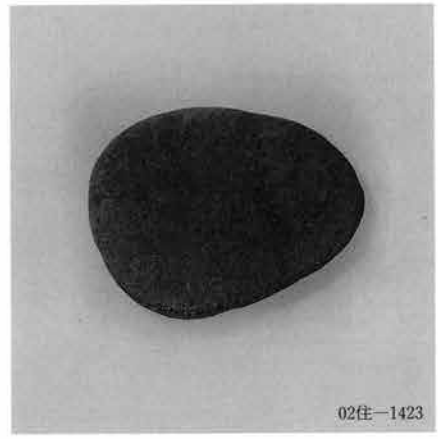

02住−1623

02住−180


02住−174

5区06・07・09号住居・5A区02号住居出土遺物

02住−1424

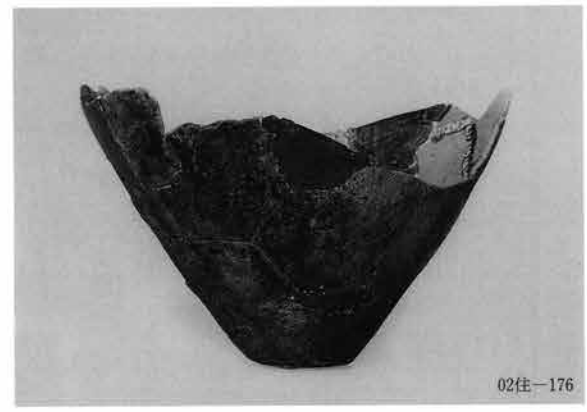

02住−1423

02住−1374

02住−224

02住−176

02住−224


02住−176

03住−182

03住−183

02住−175

5 A区02・03号住居出土遺物

03住−184

03住−185

03住−186

03住−189

03住−221

03住−205

03住−206

03住−207

03住−1651

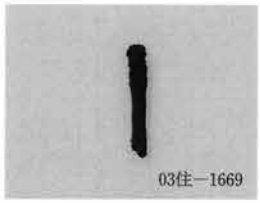
03住−1668

03住−1624

03住−1626

03住−1666

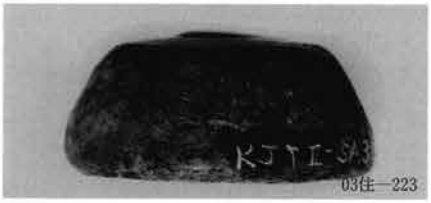
03住−1667

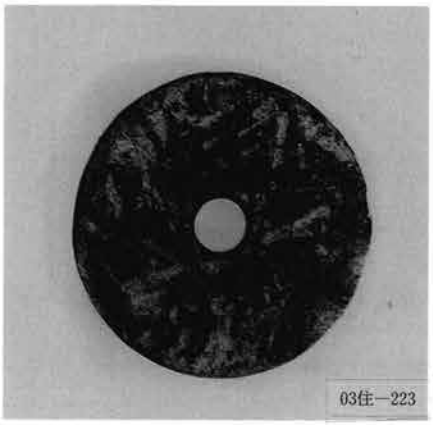

03住−1669

03住−1625

03住−401

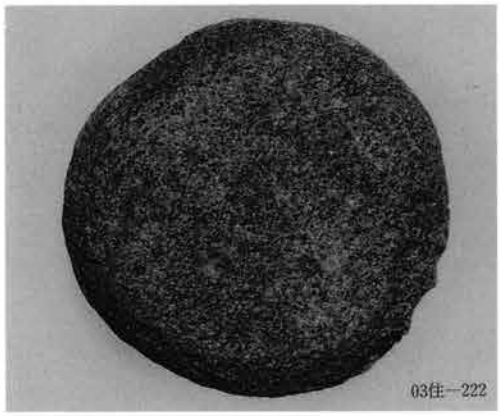
03住−193


03住−223


03住−223

03住−194

5A区03号住居出土遺物


03住—222

03住—218

04住—1627

06住—238

06住—239

07住—254

06住—242

06住—241

07住—253

06住—240

06住—240

07住—253

08住—1628

08住—1425

10住—1663

09住—259

09住—260

5A区03・04・06・07・08・09・10号住出土遺物

10住—270

10住—262

10住—264

10住—271

10住—263

10住—293

10住—279

13住—1629

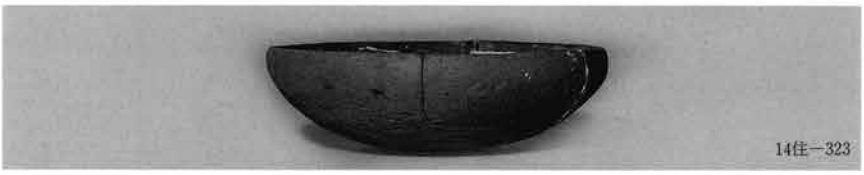
12住—299

12住—298

13住—307

13住—308

12住—306


14住—323

14住—332

17住—345

5A区10・12・13・14・17号住居出土遺物

14住−331

17住−344

02土−1621

02土−1622

11土−154

33土−100

33土−101

68土−2

68土−4

68土−3

68土−5

68土−6

68土−7

68土−8

378土−400

68土−15

5 A区14・17号住居、378土坑、 5 区02・11・33・68号土坑出土遺物

11土−116

11土−114

11土−115

203土−1375

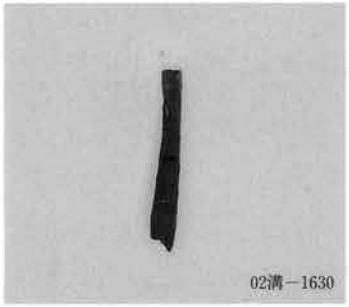
313土−1411

02溝−1664

02溝−1665

03溝−383

グ−136


02溝−1630

グ−155

33土−131

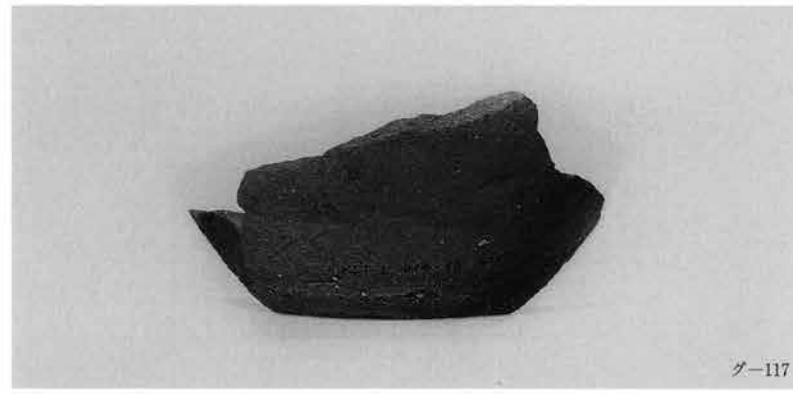
33土−131

02溝−378

33土−131

5区11・33号土坑・5A区203・313号土坑、5A区02・03号溝、5区グリッド出土遺物

グ—119


グ—117

グ—119

グ—392

グ—394

表—1631

01住—402

01住—418

01住—419

01住—420

01住—421

01住—423

02住—433

02住—434

5区5A区グリッド・表採、5B区01・02号住居出土遺物

02住−435

02住−441

06住−1632

06住−465

09住−459

09住−637

10住−674

09住−639

09住−681

11住−547

11住−549

11住−550

11住−548

11住−621

11住−644

11住−622

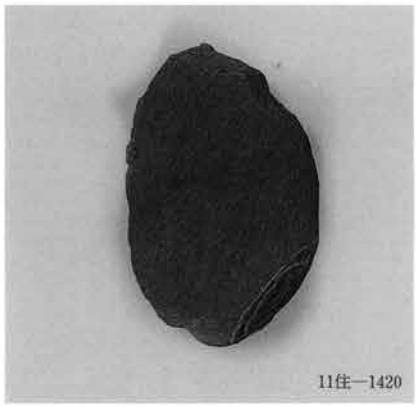
11住−561

11住−1643

11住−696

11住−487

5 B区02・06・09・10・11号住居出土遺物


11住−1420

12住−468

12住−471

11住−470

12住−476

12住−481

13住−494

15住−499

15住−1421

15住−500

15住−505

15住−501

15住−503

13住−492

5 B区11・12・13・15号住居出土遺物

01住−1036

01住−1035

01住−1037

01住−1034

01住−1042

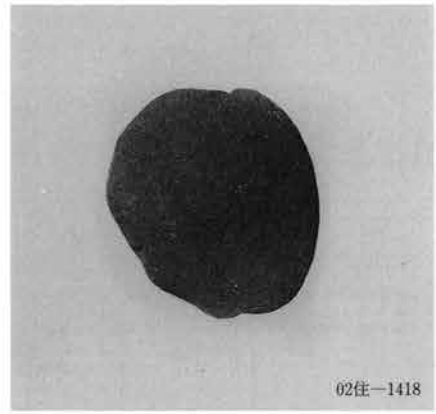
6区01号住居出土遺物

02住−1141

02住−1142

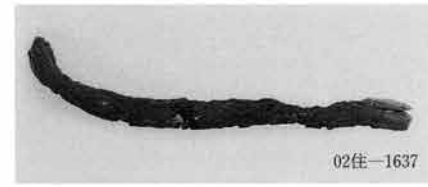
02住−1044

02住−1046


02住−1418

02住−1644

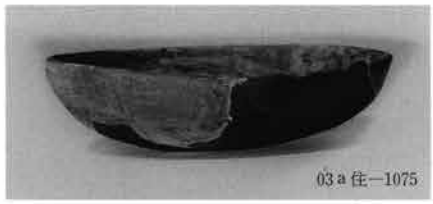
02住−1049


02住−1637

03 a 住−1067

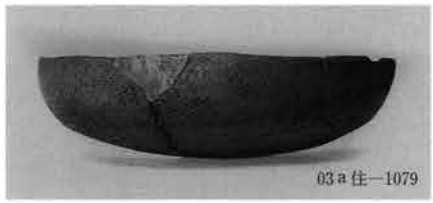
03 a 住−1070

03 a 住−1074


03 a 住−1075

03 a 住−1076

03 a 住−1078


03 a 住−1079

03 a 住−1080

03 a 住−1088

03 a 住−1073

03 a 住−1083

03 a 住−1089

03 a 住−1090

03 a 住−1091

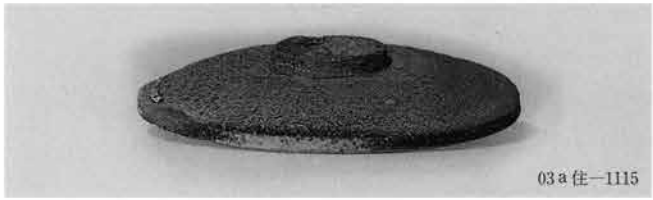
03 a 住−1092

03 a 住−1093

03 a 住−1094

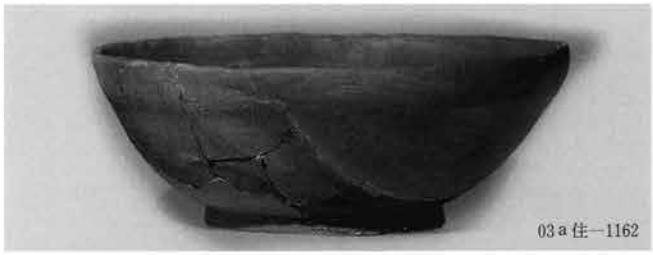
03 a 住−1279

6 区02・03 a 号住居出土遺物


03 a 住—1115

03 a 住—1116

03 a 住—1095


03 a 住—1162

03 a 住—1057

03 a 住—1117

03 a 住—1060

03 a 住—1061

03 b 住—1068

03 b 住—1069

03 b 住—1071

6 区03 a ・03 b 号住居出土遺物

03 b 住−1059

03 b 住−1072

03 b 住−1077

03 b 住−1081

03 b 住−1082

03 b 住−1056

03 b 住−1058

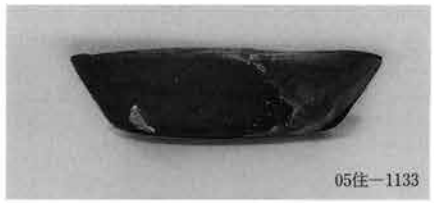
03 b 住−1063

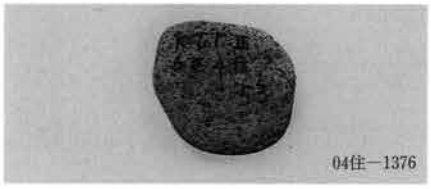
03 b 住−1062

6 区03 b 号住居出土遺物

04住—1119

05住—1132


05住—1133


04住—1376

05住—1124

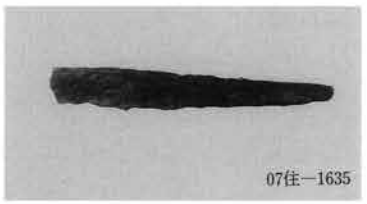
05住—1125

06住—1140

06住—1636

05住—1645

06住—1150

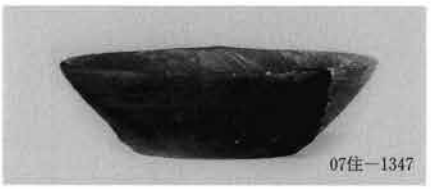

07住—1635

07住—1646

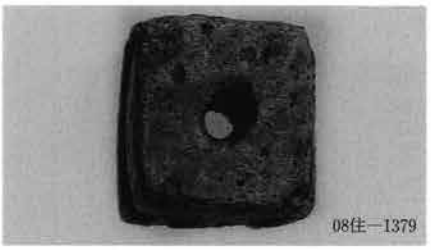
07住—1339

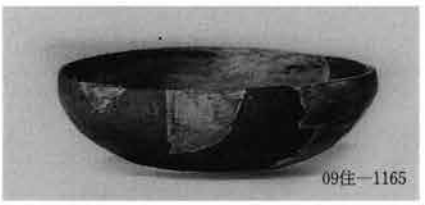
07住—1340

07住—1341


07住—1347

08住—1659

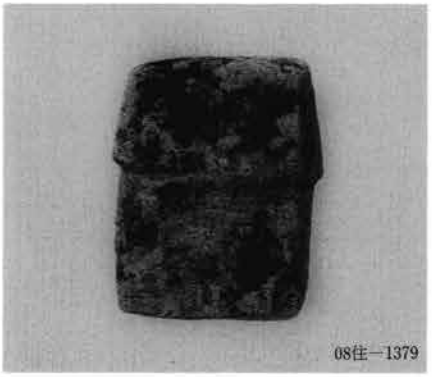

08住—1379


09住—1165

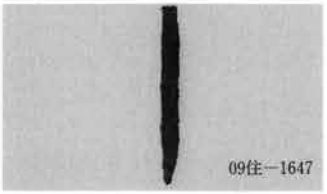
09住—1166

09住—1163

09住—1164

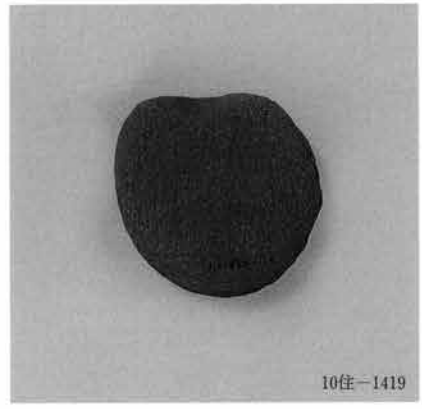

08住—1379

09住—1171


09住—1647

6区04・05・06・07・08・09号住居出土遺物

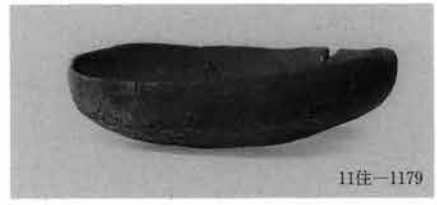
09住−1169


10住−1419

10住−1175

10住−1176

11住−1178


11住−1179

11住−1182

11住−1185

11住−1186

12住−1638

11住−1190

15住−1218

12住−1380

14住−1215

16住−1250

14住−1215

16住−1251

16住−1233

16住−1234

16住−1252

16住−1242

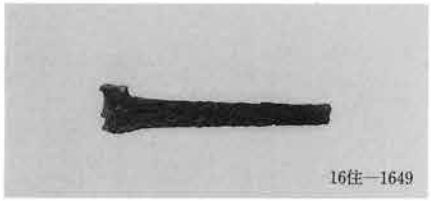
16住−1277

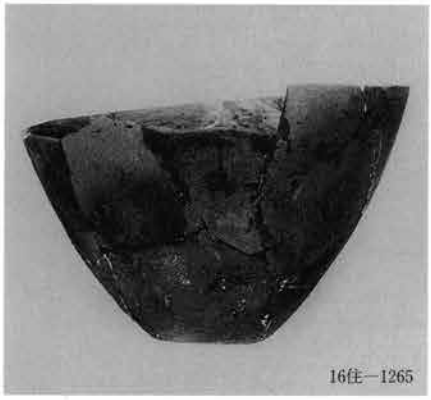
16住−1253

6区09・10・11・12・14・15・16号住居出土遺物

16住−1224

16住−1223

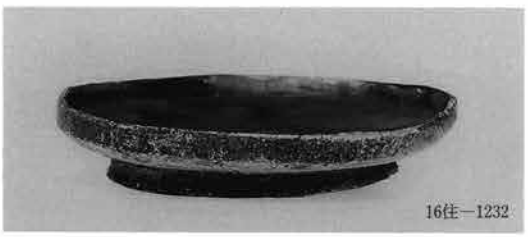

16住−1649


16住−1265

16住−1225

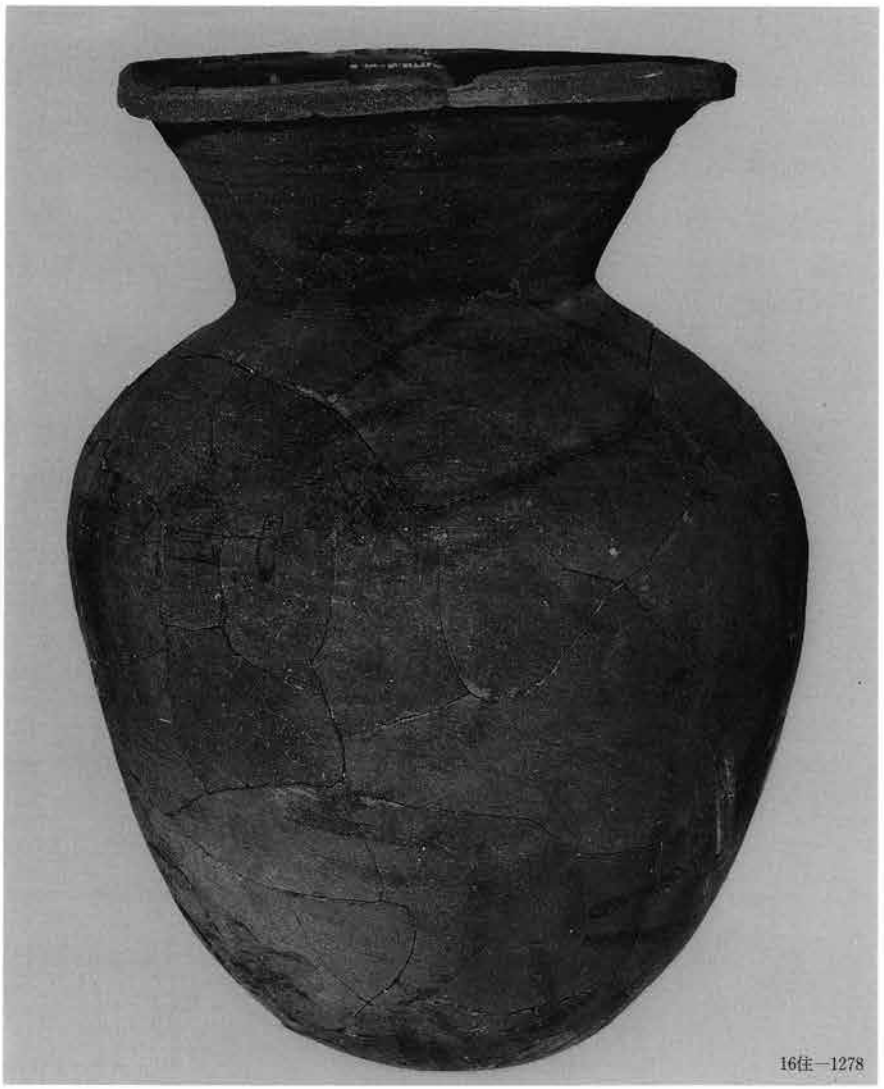
16住−1648

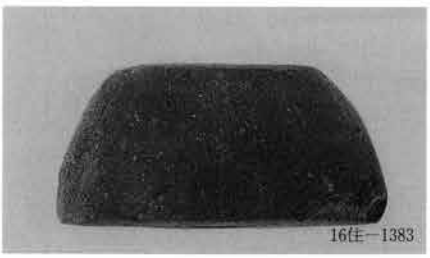
16住−1382

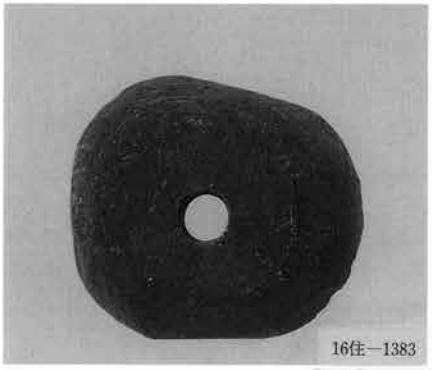

16住−1232

16住−1404

16住−1382


16住−1278


16住−1383

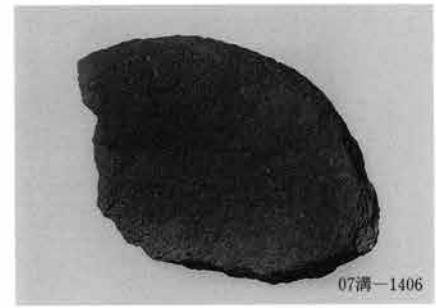

16住−1383

6区16号住居出土遺物

16住－1275

07溝－1405

07溝－1404


07溝－1406

16住－1264

07溝－1410

07溝－1406

16住－1263

溝
－1414

07溝－1415

01土器溜り－521

07溝－1413

01土器溜り－522

01土器溜り－524

01土器溜－520

01土器溜り－523

01土器溜り－525

6区16号住居、07号溝、５Ｂ区01号土器溜り出土遺物

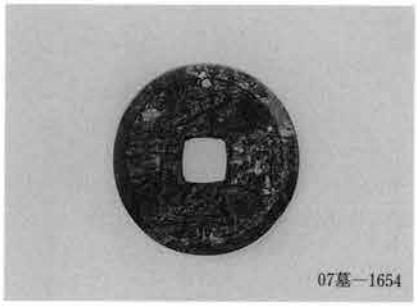
280土—1655

07墓—1653

04墓—1652

18土—542

04墓—1652


07墓—1654

01墓—1337

01土器溜り—526

01土器溜り—527

01土器溜り—528

222土—1338

01土器溜り—529

01土器溜り—530

160土—1291

5 B区01号土器溜り・18号土坑、6区160・222・280号土坑、01・04・07号墓坑出土遺物

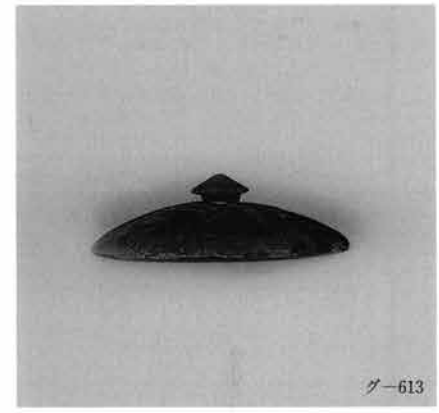
08墓—1312

08墓—1312

08墓—1412

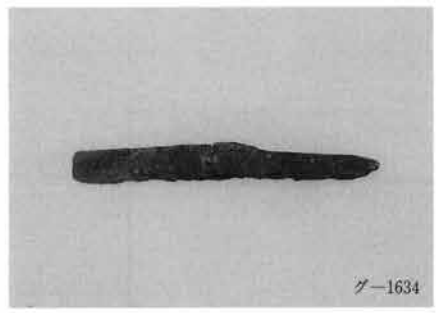
08墓—1311

08墓—1311

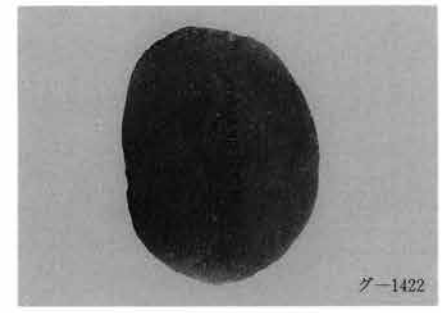

グ—613

グ—684

グ—620


グ—1634

グ—1661


グ—1422

グ—1633

グ—1662

グ—578

6区08号墓坑、5 B区グリッド出土遺物

グ—593

グ—604

グ—608

01住—706

02住—1384

02住—713

02住—712

03住—720

03住—718

05住—756

04住—1388・1

04住—1657

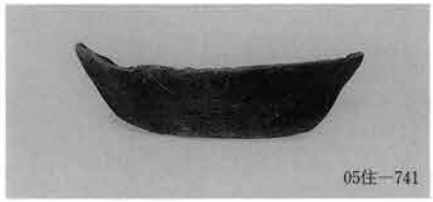
04住—1388・3

05住—754

04住—1388・4

04住—1400

5 B区グリッド、7区01・02・03・04・05号住居出土遺物


05住−741

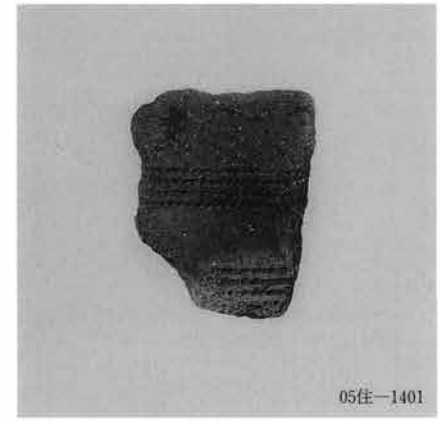
05住−743

05住−744

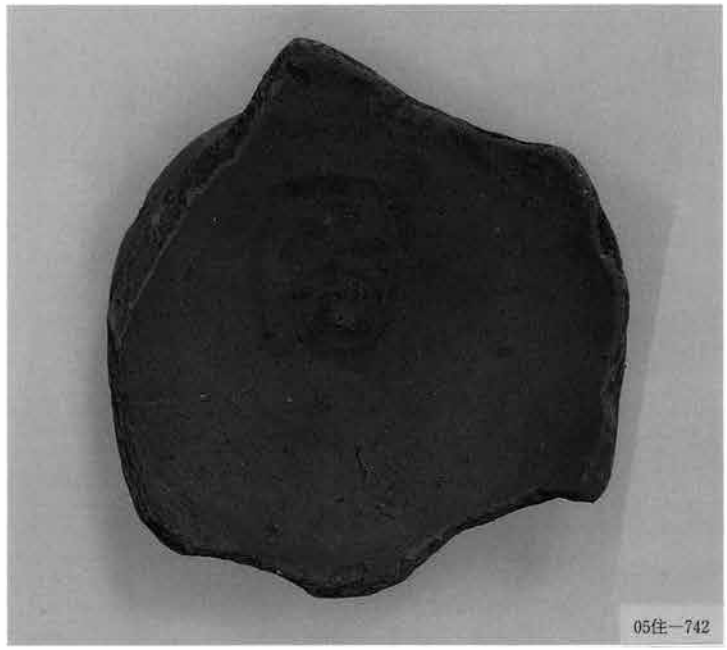
05住−745

05住−747

05住−753


05住−1401

05住−742


05住−742

05住−760

05住−761

06住−764

07住−766

07住−767

07住−768

07住−769

07住−770

7区05・06・07号住居出土遺物

07住−771

07住−846

07住−847

07住−842

07住−777

08住−783

08住−803

08住−805

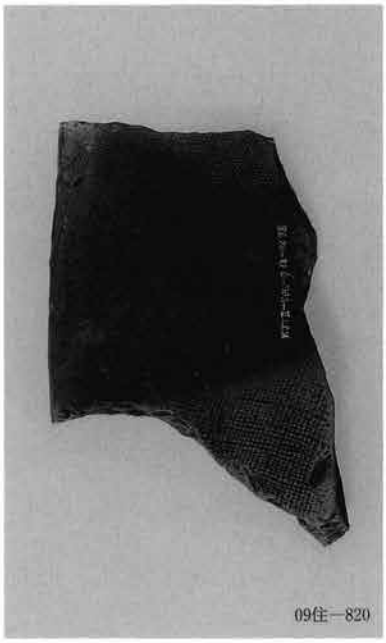
08住−801

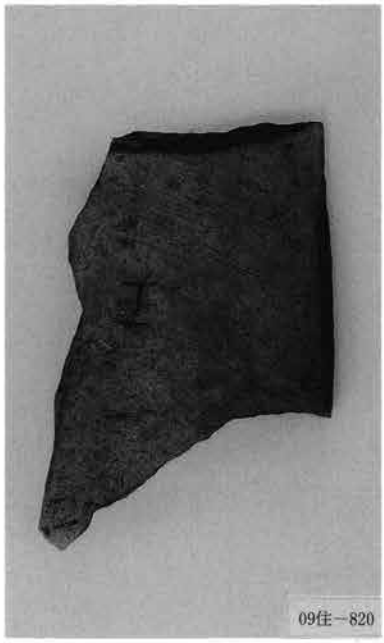
08住−790

08住−789

08住−804

08住−791


09住−820


09住−820

拡大写真

7区07・08・09号住居出土遺物

9住—812

11住—833

11住—835

11住—829

11住—829

11住—841

11住—832

11住—831

11住—836

11住—834

11住—836

11住—834

7区09・11号住居出土遺物

12住−868

12住−872

12住−876

12住−860

12住−861

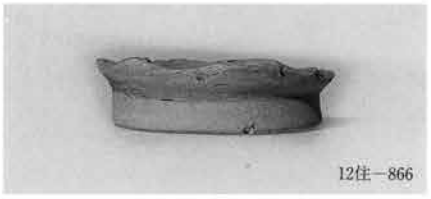
12住−862

12住−875

12住−870

12住−873

12住−874


12住−866

12住−883

12住−1658

12住−848

12住−848

12住−1417

12住−1416

12住−879

7区12号住居出土遺物

13住—892

13住—893

13住—894

13住—917

13住—1390

13住—912

13住—910

13住—1639

13住—911

14住—919

14住—920

15住—927

19住—948

19住—1640

19住—1641

19住—937

19住—939

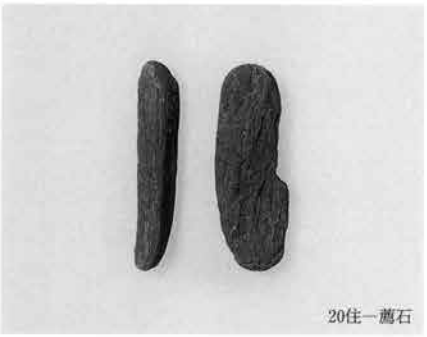
7区13・14・15・19号住居出土遺物

19住—943

19住—952

19住—953

19住—955

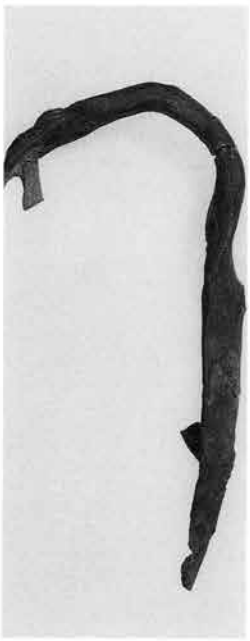


20住—薦石

01溝—1392

02溝—983

02溝—982

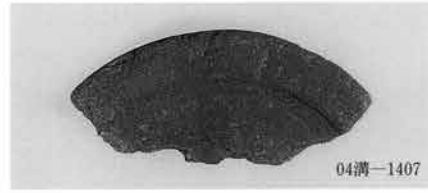


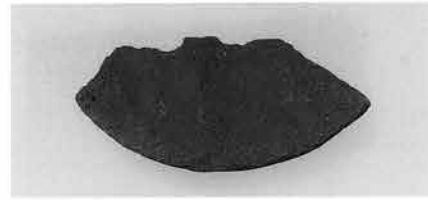
03溝—1642

02溝—982

7区19・20号住居、01・02・03号溝出土遺物

04溝—1408


04溝—1407



04溝—1409

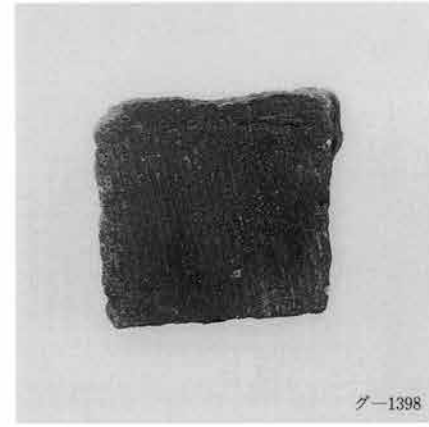
04溝—1408

08・09トレ—1005

粘土溜り
—1019

グ—1399

グ—1397


グ—1398

グ—1396

グ—1389

グ—1393・1

グ—1395

グ—1391

グ—1393・2

7区04号溝、01号粘土溜り、08・09トレンチ、グリッド出土遺物

グ—1402

01溝—1403

グ—1018

02トレ—997

02トレ—997

08・09トレ—993

08トレ—1002

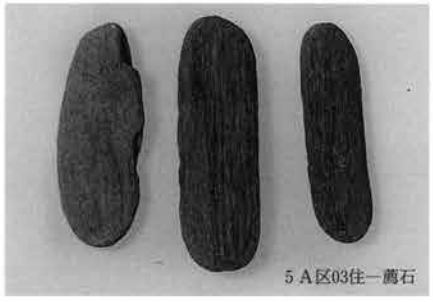
表—1027

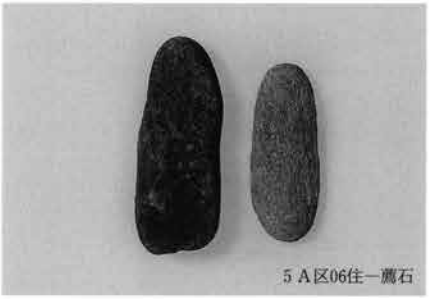
表—1028

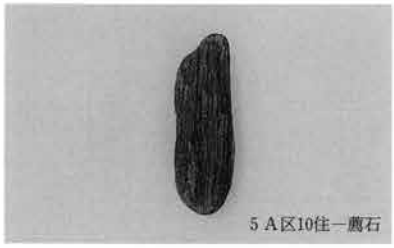
08トレ—1003

55土—1010

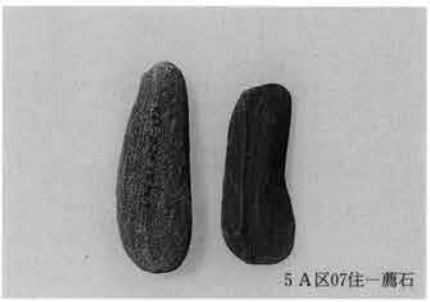
表—1394

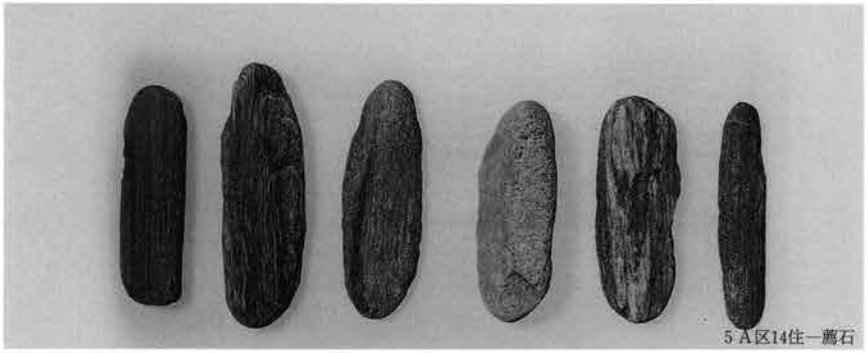

5A区03住—薦石


5A区06住—薦石

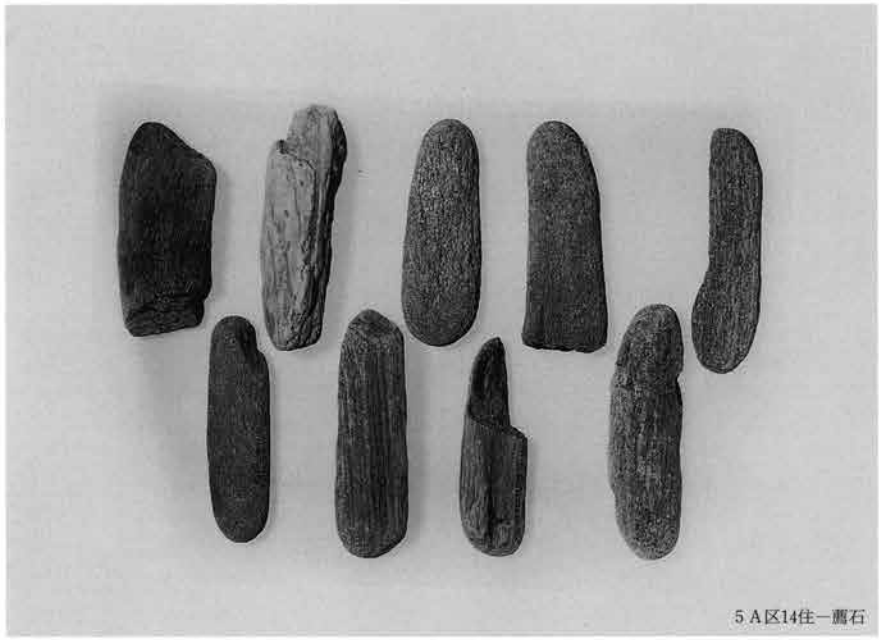

5A区10住—薦石

5A区13住—薦石


5A区07住—薦石

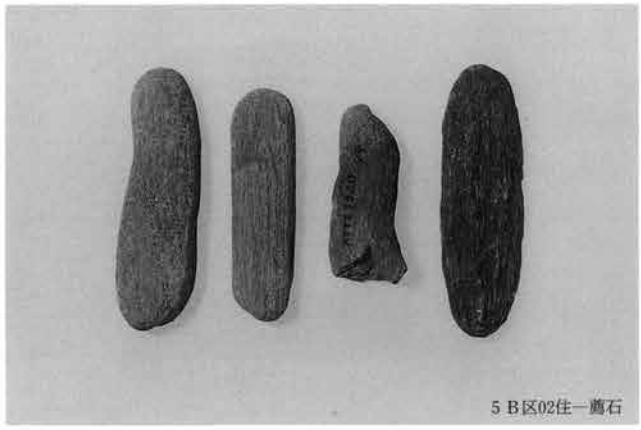

5A区14住—薦石

7区55号土坑、01号溝、02・08・09トレンチ、グリッド、表採出土遺物、薦編み石


5A区14住一薦石

5A区16住一薦石

5B区01住一薦石


5B区02住一薦石

5B区03住一薦石

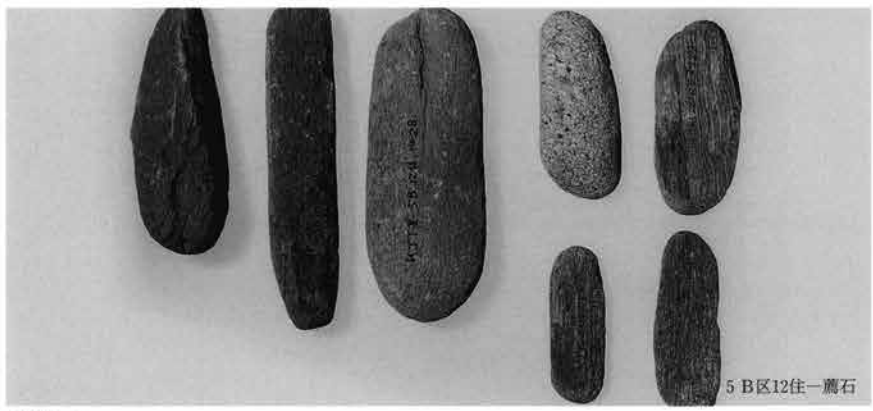
5B区05住一薦石

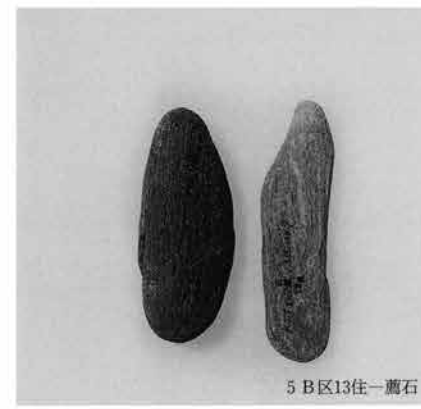
5B区06住一薦石

5B区11住一薦石

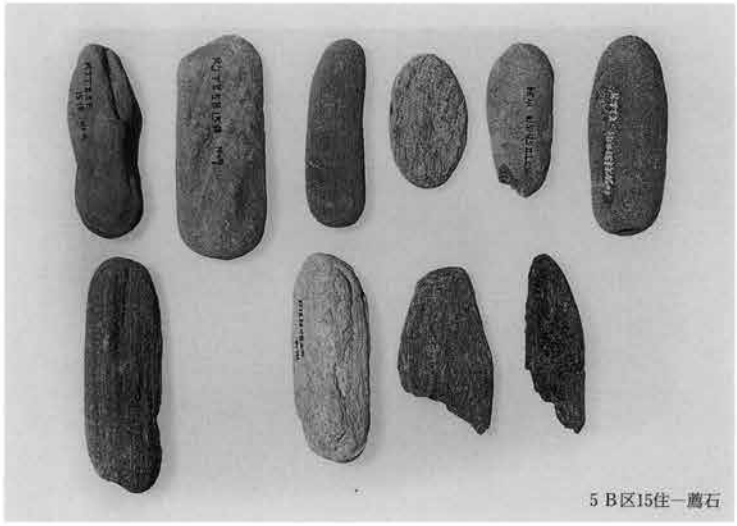
5B区14住一薦石

5B区07住一薦石

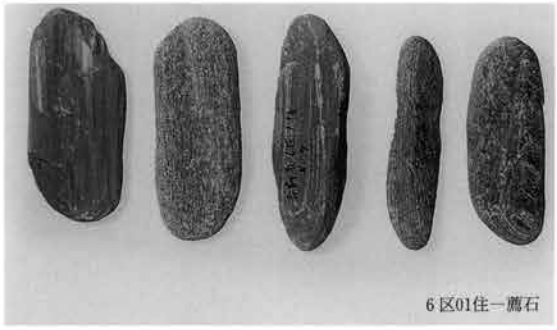

5B区12住一薦石


5B区13住一薦石

薦編み石



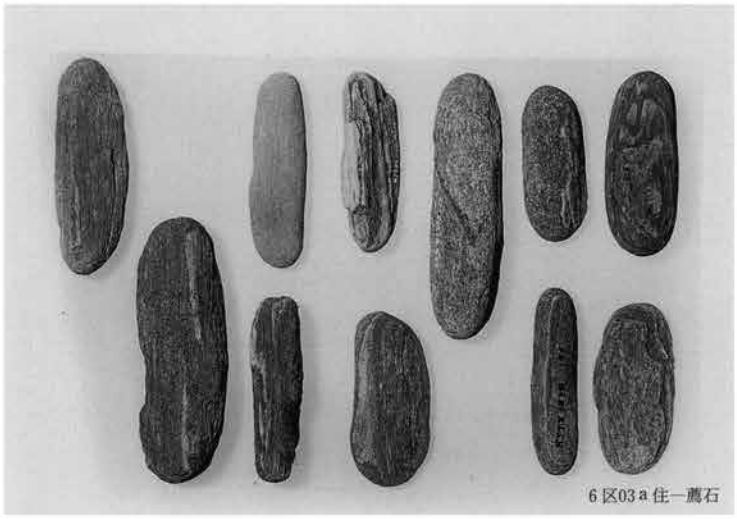
5 B区15住一薦石



6 区01住一薦石

6 区02住一薦石

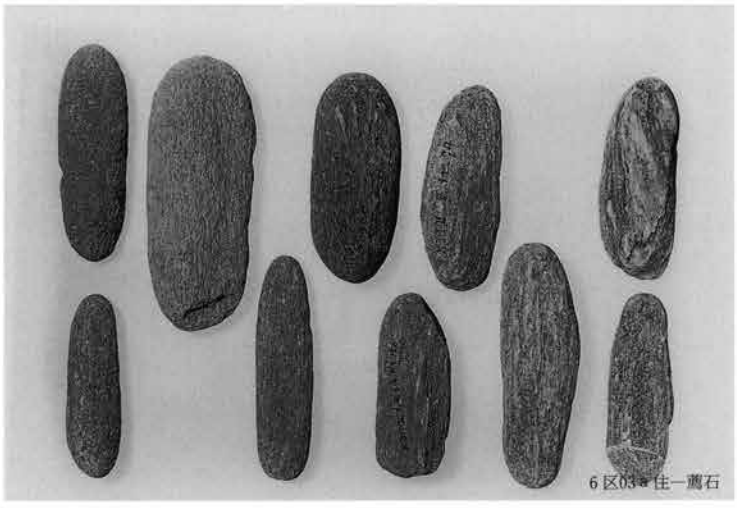
6 区05住一薦石



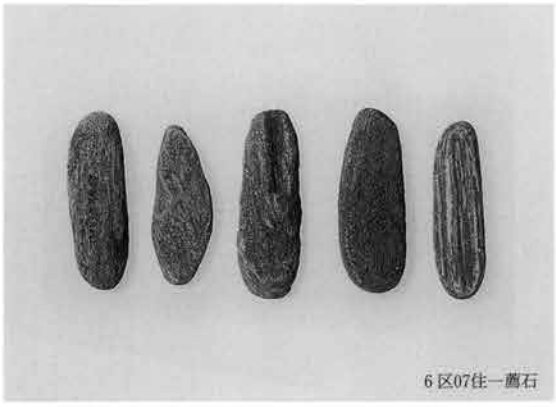
6 区03 a 住一薦石

6 区06住一薦石

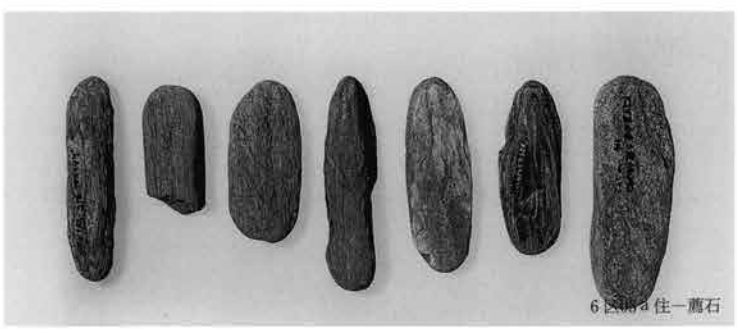
6 区08住一薦石



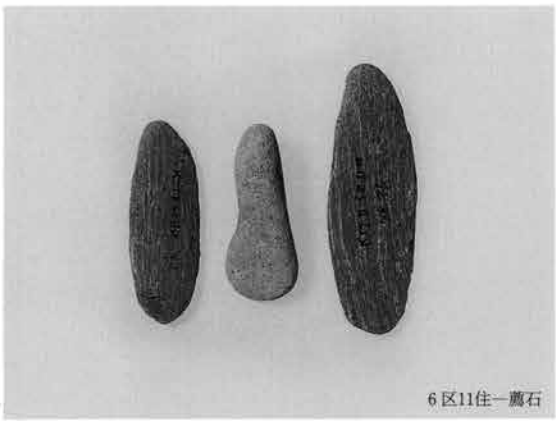
6 区03 a 住一薦石



6 区07住一薦石

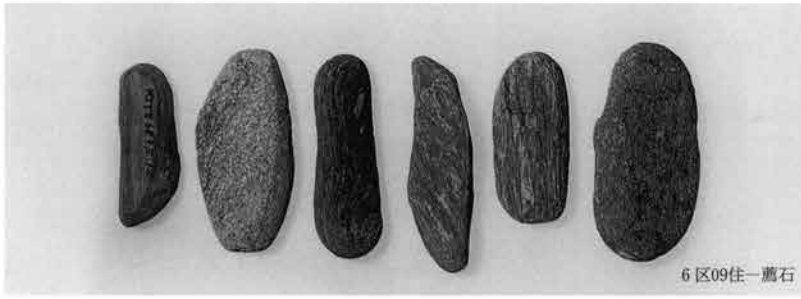


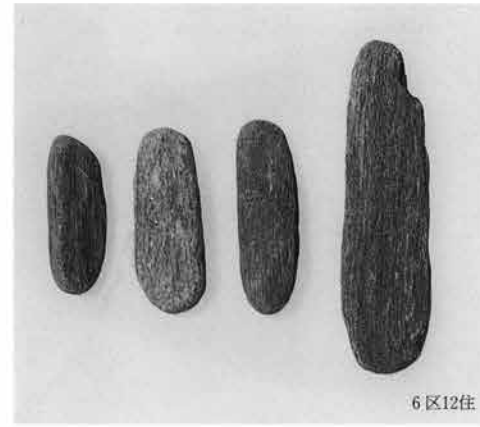
6 区08 a 住一薦石



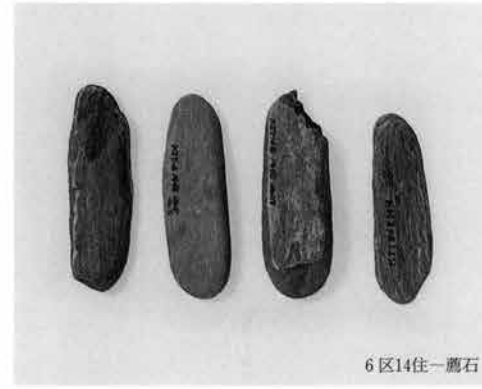
6 区11住一薦石

薦編み石


6区09住—鷹石


6区12住

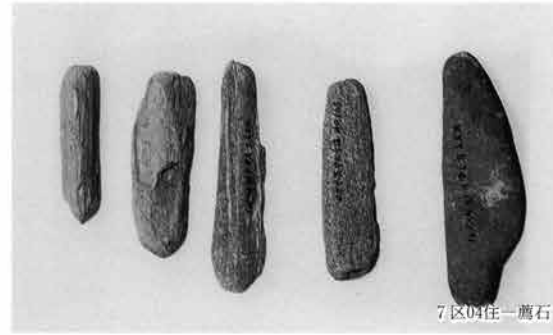
6区16住—鷹石

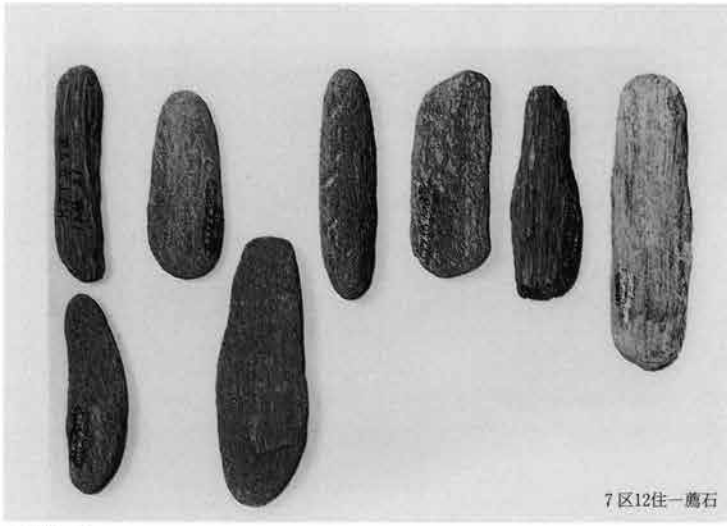

6区14住—鷹石

7区05住—鷹石

7区02住—鷹石

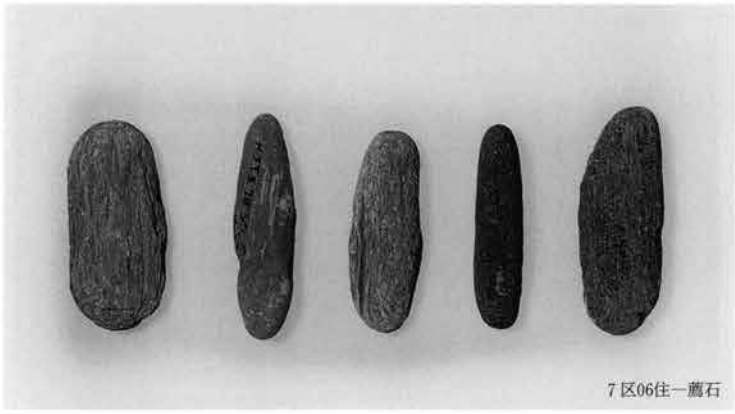
7区09住—鷹石


7区04住—鷹石


7区12住—鷹石

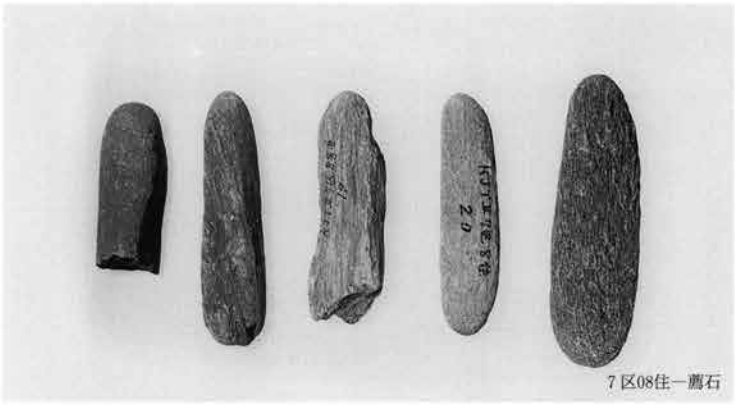
7区19住—鷹石

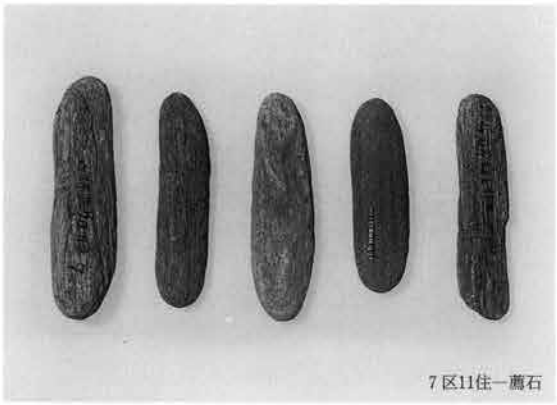
鷹編み石


7区06住一薦石

7区13住一薦石

7区15住一薦石


7区08住一薦石


7区11住一薦石

5A区02住一竈材

5A区02住一竈材

5A区02住一竈材

5A区02住一竈材

7区07住一竈材

7区12住一竈材

7区12住一竈材

7区11住一竈材

7区12住一竈材

7区12住一竈材

7区13住一竈材

薦編み石・竈構築材

㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団
調 査 報 告 第 141 集

上栗須寺前遺跡群Ⅰ

第3分冊《自然科学分析・写真図版編》

関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第13集

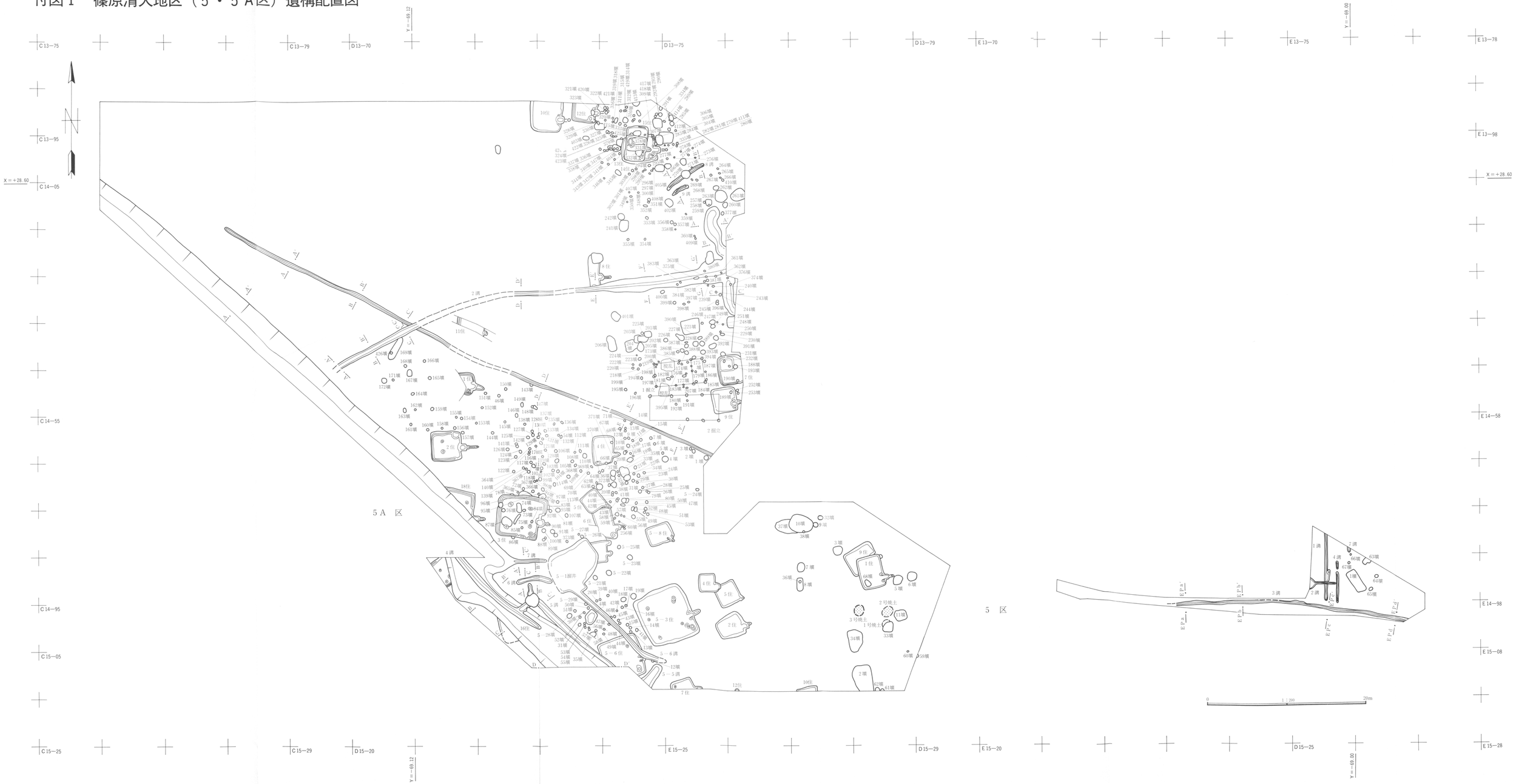
平成6年3月20日 印刷
平成6年3月25日 発行

編集／㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橘村大字下箱田784－2
電話（0279）52－2511(代表)

発行／群 馬 県 考 古 資 料 普 及 会
勢多郡北橘村大字下箱田784－2
電話（0279）52－2511(代表)

印刷／朝 日 印 刷 工 業 株 式 会 社

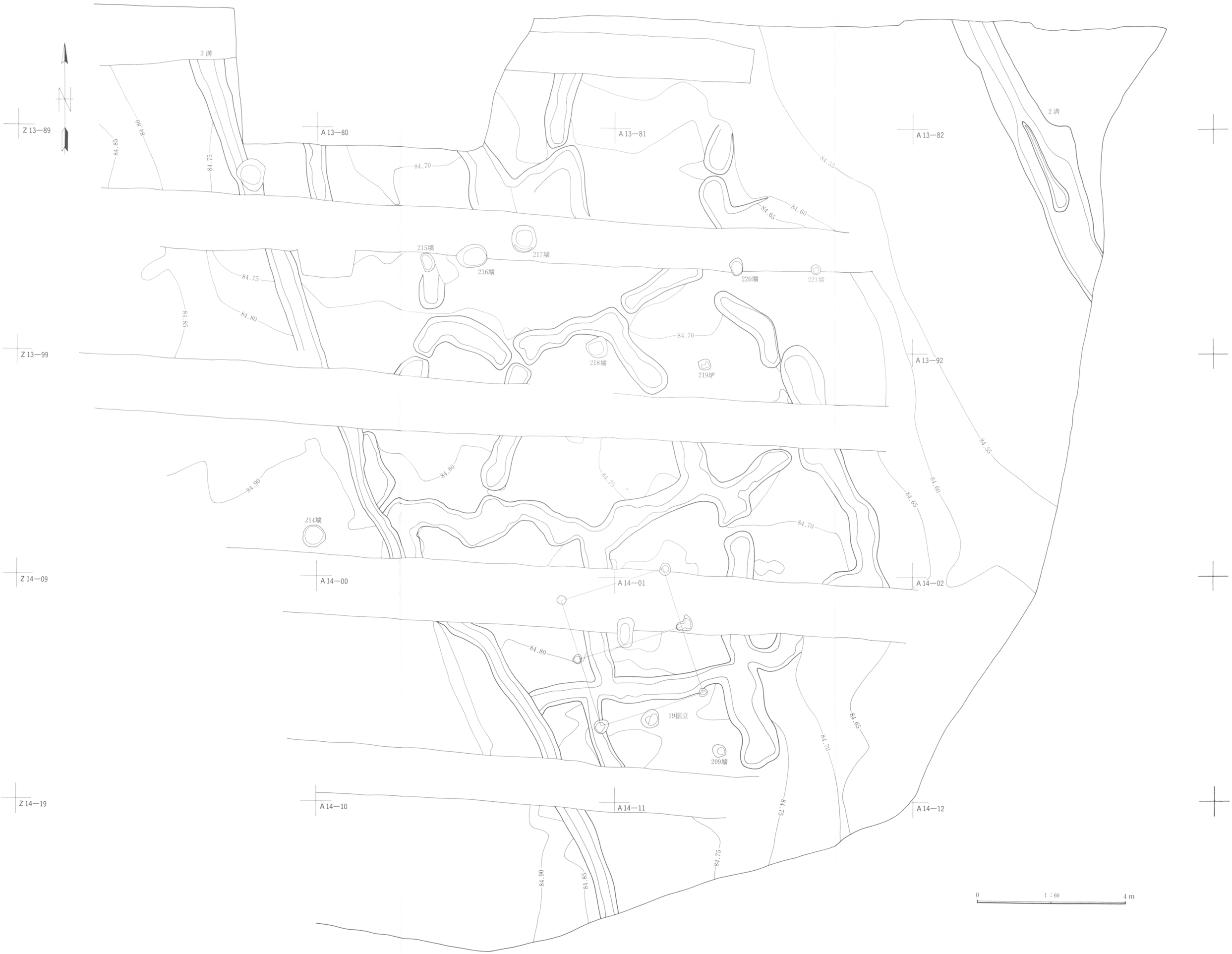
付図１　篠原清大地区（５・５Ａ区）遺構配置図



付図２　下大塚北原地区（６・５Ｂ区）遺構配置図

付図３　本動堂台地区（７区）遺構配置図

付図４　６区水田跡


N
Z 13—89
Z 13—99
Z 14—09
Z 14—19
A 13—80
A 13—81
A 13—82
A 13—92
A 14—00
A 14—01
A 14—02
A 14—10
A 14—11
A 14—12
3 溝
2 溝
215壙
216壙
217壙
218壙
219壙
220壙
221壙
214壙
209壙
19掘立
84.90
84.85
84.80
84.75
84.70
84.65
84.60
84.55
0
1：60
4 m

付図５　藤岡台地とその周辺の地形学図

国土地理院「高崎」　１：50,000

山地

丘陵

高位段丘

中位段丘

下位段丘（微高地）

下位段丘（低地部）

前橋泥流堆積面
（自然堤防）

前橋泥流堆積面
（後背湿地）

井野川泥流堆積面
（微高地）

井野川泥流堆積面
（低地部）

沖積低地（Ⅰ面）
（中州・自然堤防）

沖積低地（Ⅰ面）
（後背湿地）

沖積低地（Ⅱ面）
（自然堤防）

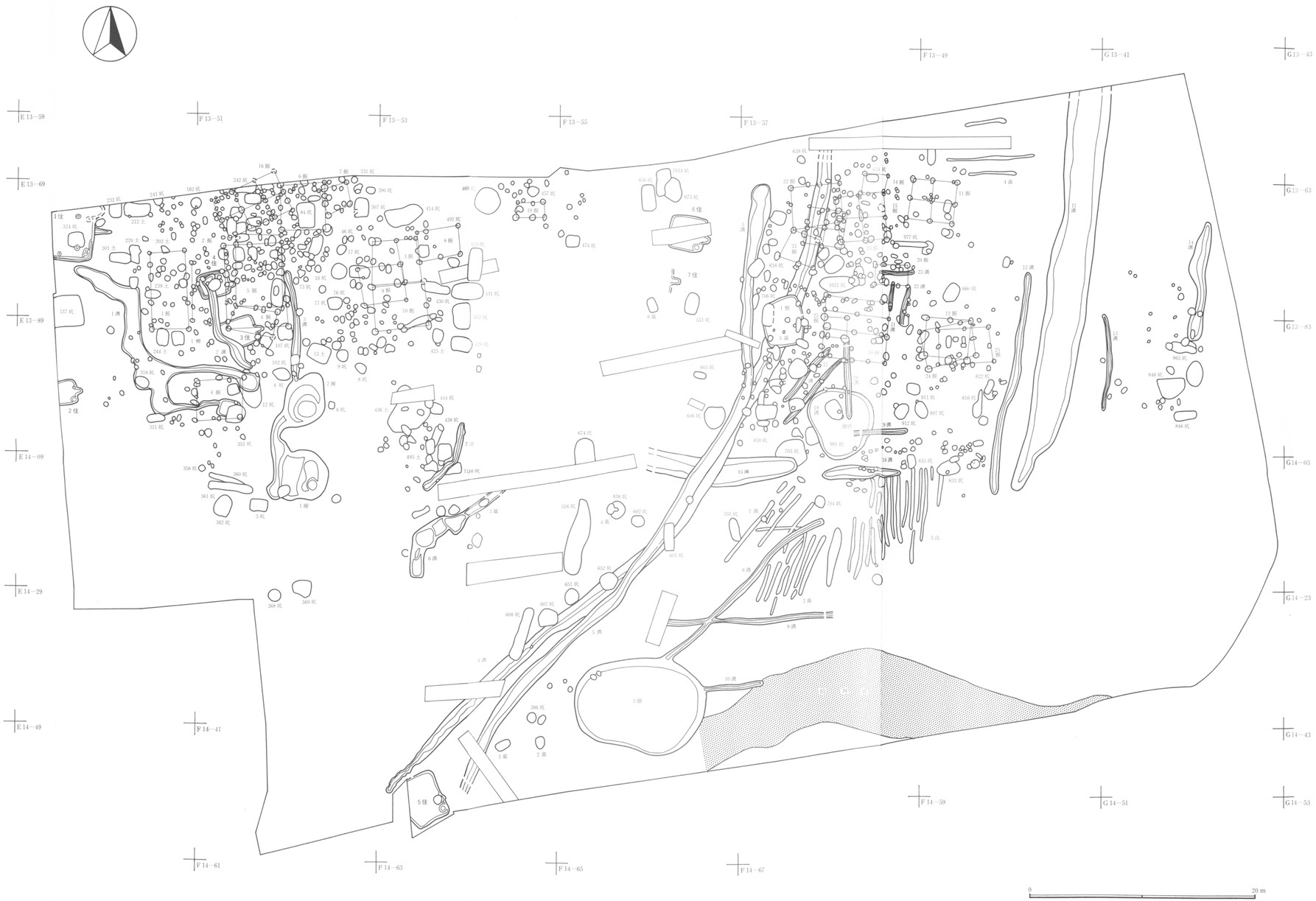
沖積低地（Ⅱ面）
（後背湿地）

旧河道

活断層

付図１　篠塚狐穴地区（４ＡⅡ区）

付図２　篠塚四反歩地区（４ＡⅠ区）



付図３　篠塚四反歩地区（４Ｂ区）